同一一 織物製造者ハ第五條又ハ第七條ニ該當スル場合ヲ除クノ外消費税納付前ニ於テ織物ヲ他ニ引渡スコトヲ得ス

同二一 織物ノ製造者販賣者又ハ第一三條但書ノ場合ニ於ケル製造ノ製品者ノ代理人戸主家族同居者雇人其ノ他ノ従業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ織物ノ製造者販賣者又ハ第一三條但書ノ場合ニ於ケル製品ノ製造者ヲ處罰ス

織物消費税法第一〇條カ汎ク第五條又ハ第七條ニ該當スル場合ヲ除ク外消費税納付前ニ於テ製造場税關又ハ保税倉庫ヨリ織物ヲ引取ルコトヲ得スト規定セルハ畢竟製造者以外ノ者カ製造場ヨリ織物ヲ引取ル場合及ヒ製造者自ラ之ヲ移出スル場合等一切ノ場合ヲ豫想シ苟モ其冒頭ニ示セル例外ノ場合ニアラスシテ製造場ヨリ場外ニ消費税未納ノ織物ヲ移出スル行爲ヲ引取ト名付ケ其引取行爲者ノ何人タルカヲ區別セサル法意ナリト解スルヲ相當トス」

織物消費税納付前ニ於テ製造者自ラ製造場ヨリ織物ヲ引取リタル場合ニ於テハ其引取ト同時ニ織物消費税法第一〇條ノ禁令ニ違背スルモノニシテ之カ所持ノ繼續ヲ須ツニアラサレハ違犯行爲トナラスト論スルヲ許サヽルモノトス」

案スルニ織物製造場ヨリ織物ヲ引取ル者ハ製造者以外ノ者ナルヲ通常ノ事態トスヘシ然レトモ本來織物消費税法ノ規定ハ製造場又ハ法律ニ於テ之ト同視スヘキモノト定メタル場所以外ニ織物ノ移出セラルル場合ニハ先ツ消費税ヲ徴收スルヲ以テ其目的トセルヤ明瞭ニシテ製造業者ト雖モ製造場ニ於テ他人ニ之ヲ引渡サスシテ自ラ製造場ヨリ其他ノ場所ニ之ヲ移出シタル後或ハ之カ所持ヲ繼續シ或ハ直ニ之ヲ他人ニ交付スルコトハ事實上有リ得ヘキ事項ナルト同時ニ脱税ノ虞多ク徴税ノ目的ヲ達シ難キニ至ルコトハ製造者以外ノ者カ製造場ヨリ織物ヲ引取ルト製造者自ラ之ヲ移出

スルトニ依リテ何等ノ差異ナキヤ勿論ナリトス而シテ織物消費税法第一〇條カ汎ク「第五條又ハ第七條ニ該當スル場合ヲ除ク外消費税納付前ニ於テ製造場税關又ハ保税倉庫ヨリ織物ヲ引取ルコトヲ得ス」ト規定セルハ畢竟叙上一切ノ場合ヲ豫想シ苟モ其冒頭ニ示セル例外ノ場合ニアラスシテ製造場ヨリ場外ニ消費税未納ノ織物ヲ移出スル行爲ヲ引取ト名ツケ其引取行爲者ノ何人タルカヲ區別セサル法意ナリト解スルヲ相當トスヘク且製造者自ラ之ヲ「引取リ」タル場合ニ於テハ其引取ト同時ニ同條ノ禁令ニ違背スルモノニシテ之カ所持ノ繼續ヲ須ツニアラサレハ違犯行爲トナラスト論スルヲ許サス原判示事實ハ論旨ノ冒頭ニ示セルカ如クニシテ織物製造業者タル判示會社カ製造場ニ於テ直チニ他人ニ織物ヲ引渡シタル場合ニアラサルカ故ニ被告ハ同法第二一條ニ基キ同法第一〇條ノ規定ニ違背シタルモノトシテ責任ヲ負ハサルヘカラサルハ當然ナリ(大審院大正九年(れ)第二二五二號同年十二月三日刑一部末弘裁判長遠藤水本平野中西各判事判決)

上告棄却〇原審金澤地方裁判所〇織物消費税法違犯被告事件〇被告人中村署七辯護人澤邊浩同菊江久治

【關係事項】

(一七三)

不動産登記法四六ノ二 債權者カ民法第四二三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ債權者及ヒ債務者ノ氏名又ハ名稱住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載シ且代位原因ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

同一五〇 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所に抗告ヲ爲スコトヲ得

同一五八 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第一五四條乃至第一五七條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

民事訴訟法四六四第一項 抗告ヲ適法ニシテ且理由アリトスルトキハ抗告裁判所ハ不服ヲ申立テラレタル裁判ヲ廢棄シテ自ラ更ニ裁判ヲ爲シ又ハ不服ヲ申立テラレタル裁判所又ハ裁判長ニ委任シテ裁判ヲ爲サシムルコトヲ得

甲ノ家督相續人タル債務者乙ノ債權者丙ハ自己ノ債權保全ノ必要アルトキハ甲ノ所有タリシ土地ニ付キ債務者乙ニ代位シテ家督相續所有權移轉ノ登記ヲ申請

スル權利ヲ有スル者ナルヲ以テ丙カ右代位登記ヲ爲シタル後乙ノ申請ニ因リ登記官吏カ該家督相續登記ヲ錯誤ノ登記トシ抹消シタルトキハ丙ハ右抹消ノ處分ニ關シ登記上ノ直接利害ヲ有スルモノトス」
再抗告裁判所ハ事件カ裁判ヲ爲スニ熟セサル場合ニ在リテハ如上事實ヲ確定スルノ權限ヲ有スル原裁判所ニ委任シ以テ事件ニ付キ相當ノ裁判ヲ爲サシムヘキモノトス」

案スルニ原裁判所ノ判示スル所ニ依レハ抗告人ハ若林文治ニ對シ額面金三萬圓及ヒ六萬圓ノ爲替手形債權ヲ有シ其債權ハ督促手續ニ依リテ確定シ右債務者文治ハ若林謙次郎ノ長男ニシテ右謙次郎ノ死亡ニ因リ大正九年七月一日其家督相續ヲ爲シタリ又同人ハ多額ノ負債アリテ財産隱匿ノ恐アルヲ以テ抗告人ハ同年四月五日亡謙次郎ノ所有タリシ本件ノ土地ニ付キ債務者ノ代位ニ依ル家督相續登記ヲ爲スコトヲ太田原區裁判所ニ申請シ同日右代位登記ノ記入アリタルモ同年同月七日右債務者文治ノ申請ニ因リ同區裁判所登記官吏ハ右家督相續登記ヲ錯誤ノ登記ト爲シ之ヲ抹消シタルモノナリト主張シ因テ右抹消ノ處分ニ對シ原裁判所ニ抗告ヲ爲シタルコト明白ナリ果シテ然ラハ抗告人ハ民法第四二三條ノ規定ニ從ヒ右債務者文治ニ代位シテ登記ヲ申請スル權利ヲ有スル者ナルヲ以テ前示抹消ノ處分ニ關シ登記上ノ直接利害ヲ有スルコト言ヲ待タス然ルニ原裁判所ハ事茲ニ出テスシテ漫然「抗告人ハ其主張自體ニヨリ明白ナルカ如ク本件不動産ノ所有者タリシ亡若林謙次郎ノ長男タル若林文治ニ對シ手形上ノ債權ヲ有スト云フニ止マリ抗告人ノ代位登記ニ係ル本件不動産ニ付キ登記上直接ニ利害關係ヲ有スルモノニ非ラス從テ本件不動産ニ付登記官吏カ抗告人主張ノ處分ヲ爲シタレハトテ抗告人ヨリ抗告ヲ爲シ得ヘキモノニアラサルヲ以テ」トシ抗告棄却ノ裁判ヲ爲シタルハ違法ナルヲ免カレス而シテ原裁判所ハ前示ノ如ク抗告人ノ主張自體ニ基キ抗告ヲ理由ナシトシテ裁判シタルニ止マリ抗告人ノ主張ノ如ク抗告人カ債權者ニシテ又債務者文治カ家督相續ニ因リ本件不動産ノ所有權ヲ取得シタルモノナルヤ否ヤノ事實ヲ確定セス斯ル事實ノ確定ハ本件ニ付キ終局的裁判ヲ爲スニ心要ナル事項ナルコト言ヲ待タサル所ナリト雖モ還ハ原裁判所ノ裁判ノ憑據ト爲リタル事實ヲ標準トシ原裁判所カ法律ニ違背シタルヤ否ヤヲ調査シ因テ以テ再抗告ノ當否ヲ判斷スヘキ當院ニ屬セサルヲ以テ本件ハ當院ニ於テ未タ終局的裁判ヲ爲スニ熟セサルモノト云フヘシ斯クノ如ク事件カ裁判ヲ爲スニ熟セサル場合ニ在リテハ如上ノ事實ヲ確定スルノ權限ヲ有スル原裁判所ニ委任シ以テ事件ニ付キ相當ノ裁判ヲ爲サシムルヲ當然ノ筋合ナリトス（大審院大正九年(ク)第一一〇號同年十月十三日民三部横田裁判長大倉礒谷松岡霙淵各判事決判）

【關係事項】取消委任○原審宇都宮地方裁判所○登記官吏ノ處分ニ對スル抗告事件○抗告人株式會社星野産業銀行代理人辯護士石川文之助

（一七四）

（一）一明治八年五月二日及ヒ同年五月一五日ノ大政官指令ニ所謂幼者又ハ幼稚トハ當時ノ用語トシテ未タ意思能力ヲ有セサル者ヲモ含ム旨趣ナルコト疑ナキ所ニシテ民法施行以前ニ於テハ意思無能力者ト雖モ場合ニ依リ分家ヲ爲スヲ得

民法施行法一　民法施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外民法ノ規定ヲ適用セス
民法七四三　家族ハ戸主ノ同意アルトキハ……分家……ヲ爲スコトヲ得但未成年者ハ親權ヲ行フ父若クハ母又ハ後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
同八四三　養子ト爲ルヘキ者カ一五年未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代リ緣組ノ承諾ヲ爲スコトヲ得繼父母又ハ嫡母カ前項ノ承諾ヲ爲スニハ親族會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

タリシコト明カナリ而シテ分家ハ本人カ意思能カナキ者ナルトキハ父母代リテ之ヲ爲スヲ得タルコト養子縁組ノ場合ニ養子ト爲ルヘキ者カ幼者ナルトキハ父母代リテ縁組ヲ承諾スルヲ得タルト同様ナリシヲ以テ分家當時六年三ケ月ノ幼者ニシテ意思能力ヲ有セサリシニセヨ其分家ヲ無效ナリト謂フヲ得サルモノトス」

(二) 民法實施前ノ法規ニ於テハ養嗣子ニ非サル養子カ養親ノ家督相續ヲ爲スヘキヤ否ヤハ養親ノ意思如何ニ因リテ定マルヘキ事實上ノ問題ナリトス」

(一) 然レトモ原判決ニ引用スル明治八年五月二日ノ太政官指令ニ後見ヲ立テ願出ツル時ハ幼稚ト雖モ事ニ害ナキ分ニ限リ聽許ストアリ又同年五月十五日ノ太政官指令ニ幼者ト雖モ後見人ヲ立ツル以上ハ分家分籍不苦トアリ所謂幼者又ハ幼稚トハ當時ノ用語トシテ未タ意思能力ヲ有セサル者ヲモ含ム趣旨ナルコト疑ナキ所ニシテ民法施行以前ニ於テハ意思無能力者ト雖モ場合ニヨリ分家ヲ爲スヲ得タリシコト明カナリ而シテ分家ハ本人カ意思能力ナキ者ナルトキハ父母代リテ之ヲ爲スヲ得タルコト養子縁組ノ場合ニ養子ト爲ルヘキ者カ幼者ナルトキハ父母代リテ縁組ヲ承諾スルヲ得タル(大正四年(オ)第二二七號同年二月十六日言渡)ト同様ナリシヲ以テ上告人カ分家當時六年三ケ月ノ幼者ニシテ意思能力ヲ有セサリシニセヨ之ヲ理由トシテ直ニ其分家ヲ無效ナリト謂フ可カラス故ニ原院カ舊法時代ニ於テハ意思能力ナキ幼者モ場合ニヨリ分家ヲ爲スヲ得タル旨判示シタルハ不法ニアラス上告人ノ引用スル本院判例ハ分家ハ任意行爲ナルカ故ニ廢嫡ニ付キ被廢嫡者ノ承諾ヲ必要トセサル事例ヲ以テ之ヲ律ス可カラサルコト又ハ分家ト廢嫡トハ別個ノ事柄ナレハ分家アリタルノ故ヲ以テ直ニ廢嫡ヲ了シタリト推定ス可カラサルコト若クハ隱居ハ後見人カ幼者ニ代リ

テ之ヲ爲スヲ得サルコト等ヲ示シタルニ過キスシテ意思能力ナキ幼者ハ絶對ニ分家ヲ爲スコトヲ得サルモノト爲シタルニ非サレハ論旨ハ理由ナシ

(二) 然レトモ原院ハ差戻前ノ第二審證人川島熊吉池田藤次郎玉置格山田常吉ノ各證言ト上告人カ養子トナリタル當日直ニ分家シ居ル事實トニ依リ川島芳平カ上告人ヲ養子ト爲シタルハ上告人ヲシテ分家セシメ川島家ノ増殖ヲ計ルニ在リテ芳平ノ家督ヲ相續セシムル爲メニ非サリシ事實ヲ認メタルモノナルコト判文上明示スル所ニシテ即チ芳平カ上告人ヲ養子ト爲シタルハ同人ノ家督ヲ相續セシメサル約旨ニ出テタルコトヲ認メタルモノト謂フヘシ假リニ然ラスシテ單ニ芳平ニ上告人ヲ相續人トスル意思ナリシコトヲ認メタルモノトスルモ民法施行前ノ法規ニ於テハ養嗣子ニ非サル養子カ養親ノ家督相續ヲ爲スヘキヤ否ヤハ養親ノ意思如何ニ因リテ定マルヘキ事實上ノ問題ナルコト本院判例(明治三十年(オ)第四九四號同三十一年十月二十九日言渡)ニ示ス所ニシテ上告人ハ相續權ヲ有セサリシ筋合ナルヲ以テ分家ヲ爲スニ付廢嫡ノ要ナキコト勿論ナレハ原院カ上告人ヲ廢嫡セサリシハ固ヨリ當然ニシテ之カ爲メ分家ヲ無效ナリト云フ可カラサル旨判定シタルハ正當ニシテ不法ナシ(大審院大正九年(オ)第四八八號同年十月二十八日民二部馬場裁判長田上磯谷成道三宅判事判決)

【關係事項】 上告棄却○原審大阪控訴院○家督相續回復請求事件○上告人川島源吉訴訟代理人辯護士岡村司同山崎茂被上告人川島一郎訴訟代理人辯護士吉崎龜之助

【判旨第一點民法實施前ニ於ケル幼者ノ養子縁組ニ關スル同趣旨判例】

民法施行以前ニ在リテ幼者カ他家ノ養子ト爲ルニハ家ニ在ル父母之ニ代ハリ縁組ノ承諾ヲ爲スヘク父母共ニ死亡シ又ハ所在不明等ニ依リ其意思表示ヲ爲スコト能ハサルトキハ親族協議ノ上幼者ニ代ハリ縁組ノ意思表示ヲ爲シ得タリシコトハ夙ニ行ハレタル我國ノ慣例ナリトス(大審院大正四年(オ)第二二七號同年六月一六日民三部判決本書第四卷民法五三二頁)

【判旨第二點民法實施前ニ於ケル養子ト家督相續ニ關スル同趣旨判例】

民法實施前ノ法則ニ於テハ養嗣子ニ非サル養子カ養親ノ家督相續ヲ爲スヘキヤ否ヤハ養親ノ意思如何ニ因リテ定マル事實上ヘ

問題ナリ（大審院明治三〇年(オ)第四九四號同三一年一〇月二九日判決民錄三一年第九卷六四頁）

「明治四一年巖手縣令第七號（大正五年同縣令第一六號改正）巖手縣警察犯處罰令第一條第四號ノ精神ハ他人ノ權義事項ニ干渉シテ健訟ノ風ヲ長シ其他權利ノ行使義務ノ履行ヲ紛雜ナラシメ因テ善良ノ風俗ヲ害スル虞アル行爲ヲ禁止スルニ在ルモノトス從テ他人ノ土地賣買ノ周旋ヲ爲ス行爲ノ如キハ行爲者カ自己ノ利益ヲ圖ル意思ニ出テタルト否トヲ問ハス該法規ニ該當セサルモノトス」

【上告理由】原判決ハ「大正九年一月中盛岡市内ニ於テ法令ノ規定ニ依ルニアラスシテ利害關係ナキ盛岡市下小路上關光次郎土地賣事件ニ付キ報酬ヲ受クルコトヲ約シテ其周旋ヲ爲シ以テ自己ノ利益ヲ圖リタルモノナリ」トノ事實ヲ認定シタリ然レトモ右ノ認定ハ抽象的ノ記述ニシテ如何ノ土地ヲ何人ニ賣却シ又ハ周旋ヲ爲シ因リテ何等ノ利益ヲ得タルヤ具體的ノ明示ナキニヨリ被告ノ所以ハ果シテ岩手縣警察犯處罰令第一條第四號ニ該當スルヤ否ヤ分明ナラス乃チ原判決ノ事實認定ハ法律ヲ適用スルニ由ナキ不備ノ違法ノ裁判ナリ

【判決理由】原判決ノ判示事實ハ洵ニ論旨ニ掲クル所ノ如シ依テ案スルニ明治四十一年岩手縣令第七號（大正五年同縣令第十六號改正）岩手縣警察犯處罰令第一條第四號ハ法令ノ規定ニ據リ許容セラレタル法律事務ニ從事スル者ニアラスシテ自己カ利害ノ關係ナキニ拘ハラス濫ニ他人ノ訴訟事件非訟事件其他ノ權義事項ニ付キ紹介鑑定和解仲裁ヲ爲シテ關與スルコト又ハ如上ノ他人ノ債權ニ付キ取立又ハ讓受ケノ形式ヲ執リテ關與スルコト及名義ノ如何ヲ問ハス之ト類似ノ方法ニ依リ他人ノ權義事項ニ關與スルコトヲ禁止スル趣旨ト解スヘキヲ以テ其法規ノ精神ハ他人ノ權義事項ニ干渉シテ健訟ノ風ヲ長シ其他權利ノ行使義務ノ履行ヲ紛雜ナラシメ因テ善良ノ風俗ヲ害スル虞アル行爲ヲ禁止スルニ在ルモノト謂ハサルヘカラス故ニ他人ノ土地賣買ノ周旋ヲ爲ス行爲ノ如キハタトヒ行爲者カ自己ノ利益ヲ圖ル意思ニ出テタリトスルモ又タトヒ利害關係ヲ有セサルモノトスルモ其行爲ハ前示岩手縣令第一條第四號ニ該當セサルモノトス故ニ原判決カ其判示事實ヲ以テ同條同號ノ構成要素ヲ具備スルモノト認メタルハ擬律錯誤ノ違法アルモノニシテ論旨ハ結局理由アリ（大審院大正九年(れ)第二〇〇二號同年十一月六日刑三部堀裁判長水本藤波泉二横村各判事判決）

【關係事項】破毀自判○原審盛岡地方裁判所○岩手縣警察犯處罰令違反被告事件○被告人森千次郎辯護人志賀和多利

（一七五）

商標法一　自己ノ生產製造加工選擇證明取扱又ハ販賣ノ營業ニ係ル商品ナルコトヲ表彰スル爲商標ヲ專用セントスル者ハ本法ニ依リ商標ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

登錄ヲ受クルコトヲ得ヘキ商標ハ文字圖形記號又ハ其結合ニシテ特別顯著ナルモノナルコトヲ要ス

同二　左ニ揭クル商標ニ付テハ之ヲ登錄セス

四　同一商品ニ慣用スル標章ト同一又ハ類似ノモノ

五　世人ノ周知スル他人ノ標章ト同一又ハ類似ニシテ同一商品ニ使用スルモノ

同三　同一商品ニ使用スヘキ同一又ハ類似ノ商標ニ付各別ニ登錄ヲ受クルノ權利ヲ有スル者二人アルトキハ最先ニ出願ヲ爲シタル者ニ限リ登錄ス其同日ノ出願ニ係ルトキハ關係者ノ協議ニ依リ協議調ハサルトキハ共ニ之ヲ登錄セス

（一）所謂隔離的觀察トハ二箇別異ノ商標ヲ直接ニ相對照比較スルニ非スシテ之ヲ各別ニ時ト所トヲ異ニシテ觀察スルノ意義ニシテ商標ノ外觀上類似スルヤ否ヤヲ定ムルニハ所謂隔離的觀察ヲ以テ標準ト爲スヲ當然トス」

（二）商標法ノ類似商標ニ關スル規定ハ畢竟商標ノ混同誤認ヲ防止センコトヲ目的トスルモノニ外ナラサレハ商標ヲ構成スル各部分ニ主要ナルモノト然ラサルモノトノ區別アリトスルモ隔離的觀察ニ於テ其各部分ヲ總括シタル全體ノ外觀上苟モ之ト相紛ハシクシテ混同誤認シ易キモノハ商標法上相類似スルモノ

ト謂ハサル可カラス」

(一)然レトモ原審決ノ理由ニ所謂隔離的觀察トハ二箇別異ノ商標ヲ直接ニ相對照比較スルニ非スシテ之ヲ各別ニ時ト所トヲ異ニシテ觀察スルノ意義ナルコト自明ナリ而シテ商標ノ外觀上類似スルヤ否ヤヲ定ムルニハ所謂隔離的觀察ヲ以テ標準ト爲スヲ當然トス何トナレハ二個ノ商標ニシテ之ヲ直接ニ相對照比較スレハ容易ニ相異ナルコトヲ知リ得ルモノト雖モ之ヲ各別ニ時ト所トヲ異ニシテ觀察スルトキハ容易ニ相異ナルコトヲ知リ難クシテ彼此混同誤認スルノ虞アルコト少シトセサル所ニシテ且商品ノ需要者カ商標ニヨリテ取引ヲ爲スニ當リ一々商標ノ對照比較ヲ爲スコトナク所謂隔離的觀察ヲ爲スニ過キサルハ世間一般ノ取引ノ狀態ニ於テ普通トスル所ナレハナリ然レハ原審ニ於テ本件登錄商標ト上告人ノ使用スル(イ)號標章トヲ比較シ叙上ノ趣旨ニ基ク所謂隔離觀察ヲ標準トシテ外觀上二者相類似スルモノト認メタルハ正當ナリ畢竟上告論旨ハ原審決ノ趣旨ヲ誤解シテ全ク之ニ副ハサル非難ヲ爲スモノニ過キス

(二)然レトモ原審決ノ理由ニハ本件登錄商標ヲ構成スル一切ノ文字圖形彩色等ヲ示シ之ヲ上告人ノ使用スル(イ)號標章ニ比較シ兩者ハ其一部分ノ文字圖形等ニ異ナル所アルモ其他ノ着色及ヒ圖形文字ノ配置組合セ等殆ト同一ニシテ之ヲ隔離的ニ觀察スルトキハ其全體ノ外觀上頗ル相紛ハシク自他商品ノ甄別上混同誤認ヲ生スルノ虞アルモノト認ムル旨說示シアリテ其趣旨ハ上告所論ノ附隨的部分及ヒ要素ニ非サル部分等ヲ除外シタルニ非スシテ總テ此等ノ部分ヲ包含シ一切ノ文字圖形彩色及ヒ其配置組合セ等ヲ總括シタル全體ヲ隔離的ニ觀察シ以テ兩者ノ頗ル相紛ハシキモノナルコトヲ認メタルニ在ルヤ自明ナリ而シテ商標法ノ類似商標ニ關スル規定ハ畢竟商標ノ混同誤認ヲ防止セントスルモノニ外ナラサレハ商標ヲ構成スル各部分ニ所論ノ如キ主要ナルモノト然ラサルモノトノ區別アリトスルモ隔離的觀察ニ於テ其

各部分ヲ總括シタル全體ノ外觀上苟モ之ト相紛ハレタレテ混同誤認シ易キモノハ商標法上相類似スルモノト謂ハサル可カラス故ニ原審決ハ既ニ適法ノ理由ヲ具備セルモノニシテ原審ニ於テ更ニ右所論ノ如キ各問題ニ論及スルノ必要ナカリシコト明白ナレハ毫モ所論ノ如キ違法アルコトナシ(大審院大正九年(オ)第七二七號同年十月二十九日民一部田部裁判長榊原尾古鈴木鬼澤各判事判決

【關係事項】上告棄却○原審特許局○登錄商標權利範圍確認請求事件○上告人小林喜重訴訟代理人辯護士名合孟被上告人臼田榮太郎

【判旨第一點類似商標ト隔離的區別ニ關スル同趣旨判例】

一 一個ノ商標カ孰レモ楕形欄及ヒ其中央ニ現ハレタル動物ノ圖形顯著ニシテ隔離的觀察ニ於テハ其外觀著シク類似シ之ヨリ生スル自然ノ稱呼モ亦同一ナルトキハ商標法上二者相類似スルモノト云ハサルヘカラス(大審院明治四二年(オ)第五六號同年三月一二日判決)

二 商標ヲ區別スルニハ隔離的ノ區別アルコトヲ要ス(特許局審判第四五八號明治三三年一〇月六日審決四法正解二九二頁)

【判旨第二點商標ノ類否ト認定標準ニ關スル同趣旨判例】

一 商標法ノ類似商標ニ關スル規定ハ畢竟商標ノ混同誤認ヲ防カンコトヲ目的トスルモノニ外ナラサレハ商標ニシテ他ノ商標ト混同誤認セラルルノ虞アルモノハ其虞ヲ生スル原因カ商標中ノ一部分ニ在ルトキト雖モ商標法第三條ニ所謂類似ノ商標ニ該當スルモノトス(大審院(オ)第六一號同年三月四日民一部判決本書第八卷諸法一三五頁)

二 商標法第三條ニ所謂類似ノ商標トハ圖形文字若クハ記號ノ全體カ相類似セルモノノミニ限ラス其主要部分卽チ他ノ注意ヲ惹ク部分ニ於テ類似シ其他商標ノ圖形文字若クハ記號ヨリ生スル稱呼ニ於テ類似スル等ノ如ク世人ニ混同誤認セラレ易キモノヲ包含スル趣旨ナリ(同上大正四年一〇月一六日民二部判決本書六五卷諸法四〇六頁)

三 商標ノ類否ハ必スシモ要部ノミヲ以テ判定スヘキモノニ非ス縱令要部ヲ異ニスル商標ト雖モ附帶ノ圖形文字等ノ爲ニ其ノ全體ニ於テ相紛ハシキ觀ヲ呈スルモノナルトキハ之ヲ類似商標ト謂ハサルヘカラス(特許局審判第一五一九號明治四二年四月一三日審決)

四 商標ノ類否ハ其要部ニ就テノミ決スヘキモノニアラス兩商標カ彼此混同ノ概念ヲ生セシムル虞アルモノハ類似ト云ハサルヘカラス(同上審判第七一號乃至第七二六號明治三七年六月一日審決)

五 商標ノ類否ハ啻ニ其主要部分ニ付テノミナラス其商標全體構造ニ付テモ之ヲ認定スヘキモノナルコト舊商法條例施行細則

第三〇條第二號ノ規定ニ徵シテモ明ナリ(同上審判決第五三七號明治三四年一二月二七日審決同第五三八號審決)

【同上ニ關スル異趣旨判例】

一 商標ヲ組成スル圖形又ハ文字等カ主要部分ト附記部分トニ分離シテ觀察シ得ラルルモノナル時ハ其主要部分カ離隔的觀察ニ於テ他ノモノト異別ノ外觀ヲ呈スルニ於テハ縱合附記部分ニ於テ類似スル所アリトモ二個ノ商標ハ相類似セサルモノト云ハサルヘカラス(大審院大正元年民事判決錄九〇一頁)

二 商標類似ナルヤ否ヤハ商標ヲ組成スル圖形又ハ文字等ノ主要部分ヲ以テ決スヘキモノトス(同上明治四十五年(オ)第二四八號大正元年十月十八日民二部判決本書第一卷諸法八一頁)

三 商標ノ類否ハ其主要部分ニ依リ決定スヘキモノナリ(特許局審判第四六三號明治三四年一月二二日審決)

(一七六)

産業組合法三二 民法……第五三條……ノ規定ハ產業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

同三五 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ付テモ亦同シ

民法五三 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

産業組合ノ代表機關タル理事カ組合ト契約ヲ爲シ又ハ訴訟ヲ爲ス場合ニ於テハ特ニ監事ヲ以テ組合ノ代表機關ト爲スコトハ產業組合法第三五條ノ規定スル所ニシテ同法條ハ特定ノ場合ニ於ケル組合ノ代表機關ヲ監事ノミニ限定シ理事ノ代表權ヲ絶對ニ排除シタルモノト解スヘク從テ組合ニ對シ自ラ契約又ハ訴訟ノ相手方タラサル他ノ理事ト雖モ斯ル場合ニ組合ヲ代表スヘキ權限ナキハ勿論又右ノ規定ニ反シ組合ヲ代表シテ爲シタル理事ノ行爲ハ全然無效ニシテ無權代理人ノ行爲トシテ組合ノ追認ニ依リ效力ヲ發生スヘキモノニアラス」

案スルニ產業組合法第三二條民法第五三條ニ依レハ產業組合ノ代表機關ハ理事ニシテ理事ハ總テ組合ノ事務ニ付テ組合ヲ代表スルノ權限ヲ有スト雖モ組合カ理事ト契約ヲ爲シ又ハ訴訟ヲ爲ス場合ニ於テハ特ニ監事ヲ以テ組合ノ代表機關ト爲スコトハ產業組合法第三五條ノ明規スル所ニシテ同法條ハ叙上特定ノ場合ニ於ケル組合ノ代表機關ヲ監事ノミニ限定シ理事ノ代表權ヲ絶對ニ排除シタルモノト解スヘク從テ組合ニ對シ自カラ契約又ハ訴訟ノ相手方タラサル他ノ理事ト雖モ斯ル場合ニ組合ヲ代表スヘキ權限無キハ勿論又右ノ規定ニ反シ組合ヲ代表シテ爲シタル理事ノ行爲ハ全然無效ニシテ元ヨリ無權代理人ノ行爲トシテ組合ノ追認ニ依リ效力ヲ發生スヘキモノニアラサルナリ本件ニ於テ上告人ハ產業組合法ニ基キ設立サレタル組合ニシテ本件係爭ノ契約ハ同組合ノ理事長タル進藤長治カ組合ヲ代表シテ同組合ノ理事タル被上告人トノ間ニ締結セラレタルコトハ原審ノ確定スル所ナレハ原審カ產業組合法第三五條ニ依リ右契約ヲ無效ナリト判示シ無權代理ノ法則ヲ適用セサリシハ洵ニ相當ナリ(大審院大正九年(オ)第四〇七八同年十月四日民二部馬場裁判長田上鬼澤成道三宅各判事判決)

【關係事項】 上告棄却〇原審大阪控訴院〇組合損失負擔金請求事件〇上告人無限責任山口蘭絲生產販賣組合訴訟代理人辯護士吉田三市郎同田坂貞雄同阿保淺次郎同佐々木藤市郎同長重國助同川口庄藏同吉野源太郎同佐々木重天被上告人太田垣義亮訴訟代理人辯護士秋山襄同山本仲次郎

按スルニ產業組合法第三五條ハ組合ヲ代表機關ヲ監事ノミニ限定シ理事ノ代表權ヲ排除シタルモノナリトノ判旨ハ吾人ノ贊成スル處ナレトモ右ノ規定ニ反シ組合ヲ代表シテ爲シタル理事ノ行爲ハ全然無效トナス點ニハ疑ナキ與ハス蓋シ同條ヲ規定シタル所以ハ特定ノ場合ニ組合ノ代表機關ヲ監事ノミニ限定シ以テ組合ノ利益ヲ保護センカ爲メナリ故ニ組合ノ利益カ保護セラルヽニ於テハ之レヲ絶對無效トナスノ要ナシ然リ而シテ監事カ組合ヲ代表スヘキ場合ニ於テモ監

事ハ之レヲ他人ニ代理セシムルコトヲ得ルモノナレハ他人ニ代理セシメタル行爲ハ無效ナリト解スヘキ理由ナク從テ亦他人ノ爲シタル無權代理行爲モ追認シ得サルノ理ナシ

而シテ理事ハコノ場合ニ於テハ組合代表權ナクコノ者ノ代理行爲ハ恰モ他人カ代理行爲ヲ爲シタル場合ト同シク無權代理行爲ナリト謂ハサルヘカラス從テ監事カ之ヲ追認スルトキハ組合ニ對シテ效力ヲ生スルモノト信ス斯クノ如ク解スルモ何等組合ノ利益ヲ害スル事ナク反テ組合ヲ保護スル法ノ精神ニ合スト信スルナリ或ハ理事カ組合ト他ノ理事ヲ組合ノ代理人トシテ取引ヲ爲スコトヲモ同條ハ禁止スル法意ナレハコノ場合ニ於テハ組合ヲ代表スル理事ニツキテハ無權代理ノ規定ヲ適用シ得トスルモ組合ト取引ヲ爲ス理事ハ代理行爲ヲ爲ス者ニアラサルヲ以テ無權代理人ニアラサルハ明ナリ故ニ其者ノ行爲ハ追認ニヨリ有效トナルモノニアラスト然レトモ之ハ同條ヲ商法一七六條ト同樣ニ解スルモノニシテ不當ナリ蓋シ商法一七六條ニハ取締役ハ監査役ノ承諾ヲ得タルトキニ限リ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得ト規定シ而テ同條ハ會社ト取引ヲ爲ス取締役ノ方面ヨリ規定シ取締彼カ他ノ取締役ヲ會社ノ代理人トシテ爲ス行爲ハ代理行爲ニアラサルヲ以テ無權代理説ヲ採用シ得サルハ明ナリト雖モ組合法三五條ハ之ト異リ代表機關ノ何人ナルカヲ規定シタルニ過キサルヲ以テ組合ト理事ト取引ヲ爲ス場合ニ於テ他ノ理事カ組合ヲ代理スル行爲ハ無權代理行爲ナルヲ以テ追認ヲ許サザルノ理ナシ從テ該判決ニハ賛成シ與ハサルヲ遺憾トス

(一七七)

衆議院議員選擧法施行令一四　投票用紙ハ投票管理者及投票立合人ノ面前ニ於テ選擧人ヲシテ其ノ住所氏名ヲ自稱セシメ選擧人名簿ニ對照シタル後之ヲ交付スヘシ

同一三　投票管理者ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參集シタル選擧人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後內蓋ヲ鎖ス可シ

衆議院議員選擧法三二　郡市長ハ各投票區內ニ於ケル選擧人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選擧ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選擧ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ得ス

同三三　投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ス

同一〇七　立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ投票管理者選擧長ハ臨時ニ選擧人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

衆議院議員選擧法施行令第十四條ニ投票用紙ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選擧人ヲシテ其住所氏名ヲ自稱セシメ選擧人名簿ニ對照シタル後之ヲ交付スヘシトアル規定ハ投票ヲ爲サントスル選擧人ノ本人ナルヤ否ヤヲ確メ人違等ノ過誤若ハ其他ノ不正行爲ヲ豫防スルノ手續ニ外ナラサルヲ以テ投票管理者及投票立會人ノ總テカ選擧人ヲ熟知シ其本人ナルコト明白ナル場合ニ其住所氏名ヲ自稱セシムル手續ヲ省略シテ投票用紙ヲ交付スルモ事實上之ガ爲ニ選擧ノ公正ヲ害セサルニ依リ選擧ノ無效ヲ來ササルモノトス」

郡長ノ選任シタル五名ノ投票立會人ノ一人カ選擧ノ當日指定ノ時刻ニ參會セサルニ拘ラス缺員ノ儘選擧ヲ施行シタルハ第一〇七條ニ違背シタルモノトス」未タ法律ノ要求スル最小數ノ三名ヲ缺クニ至ラサル場合ニ在リテ縱令之カ補充ヲ爲サザル點ニ於テ法ノ違背アルニセヨ之カ爲メニ其選擧ノ公正ヲ維持セラレサルニ到リタルモノト看做スヘキニアラサレハ其選擧ヲ無效ト爲スヘキモノニアラス」

大正九年五月十日施行セラレタル衆議院議員選擧ニ付キ被告ハ兵庫縣第七選擧區ノ選擧長トシテ同月十二日開カレタル選擧會ニ於テ木下甚三郎ヲ以テ投票ノ最多數ヲ得タル者トシ同人ヲ當選者ナリト告知シタル事故ニ原告等カ孰モ同選擧區ニ屬スル前記肩書ノ市又ハ村ニ於テ選擧人名簿ニ登錄セラレタル選擧有權者ナルコトハ雙方ノ爭ナキ所ナリ而シテ證人山崎伊三郎吉岡勘七ノ證言證人藤田寅吉ノ證言ノ一部ト證人栂野保三丸尾儀兵衞ノ證言ニ依リ其ノ成立ヲ認ムルニ足ルヘシ第一號證ニ依レハ前示第七選擧區ニ屬スル明石郡魚住村ニ於テハ選擧ノ當日投票管理者タル同村長山崎伊三郎及其ノ投票區ノ投票立會人トシテ郡長ノ選任シタル四名中栂野保三五百藏香助丸尾儀兵衞山崎藤三郎ノ四名ハ孰レモ午前七時ノ定刻迄ニ魚住村役場內ニ設ケラレタル投票所ニ參會シタルモ投票立會人ノ一人田口政五郎ハ定刻迄ニ參會セサリシヲ以テ投票管理者タル山崎村長ハ之カ補充トシテ臨時ニ選擧人ノ中ヨリ立會人ヲ選任セムトシタルモ投票ノ爲現ニ參集シタル選擧人五百藏光照藤田寅吉ノ兩名ノ內一人ハ本人ノ事故ノ爲他ノ一人ハ其ノ身分地位名譽等立會人タルニ適セサリシ爲臨時ニ適當ナル立會人ヲ選任シ得サル場合ナリトシ此ノ理由ノ下ニ一名缺員ノ儘投票ヲ施行スヘキ旨ヲ宣言シ前示四名ノ立會ヲ以テ午前七時ヨリ引續キ午後六時ニ至

ル迄選擧ヲ施行シタルモノニシテ投票管理者タル山崎村長ハ選擧人ヲシテ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參集シタル選擧人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後內蓋ヲ鎖シタルコト並投票用紙ハ當日現ニ投票シタル選擧人總明三百三十二人中投票管理者及投票立會人ノ各自ニ於テ本人ヲ熟知シ人違ナキコト白ナル場合ニ其ノ者ヲシテ其ノ住所氏名ヲ自稱セシメ選擧人名簿ニ對照シタル後之ヲ交付シタルモノナルコトヲ認メ得ヘキノミナラス該投票區ノ投票所ハ魚住村役場內宿直室四疊接室ノ二間ヲ取擴ケ十二疊間ノ一室（東西二間南北三間）ト爲シ之ニ充テタルモノニシテ其ノ東側ニ投票管理者及投票立會人ノ座席（南北一列ニ）ヲ設ケ投票記載所ハ其ノ兩側ニ於ケル南方ノ一端ヨリ北方約一間半ノ高サ二尺五六寸ニシテ幅一尺二寸程ノ卓子ヲ列ネ其ノ上部ヲ役場用ノ書類箱ノ蓋即木製ノ板幅二尺高サ二尺二寸ノモノヲ用ヒテ之ヲ五箇所ニ區劃シ其ノ上部ヲ蔽フカ爲ニ二間ノ板三枚ヲ釘付トシ以テ屋根樣ト爲シタル上其ノ各所ニ椅子ヲ配置シ選擧人ハ之ニ腰ヲ卸シ又ハ卸スコトナク西方ヘ面シテ記載シ得ル樣設備セラレタルモノニ係リ投票記載所ト投票管理者及投票立會人ノ座席トノ間約一間餘ヲ距ツルニ過キサルヲ以テ投票所トシテ其ノ室ノ稍狹隘ニ過クル憾之ナキコトアラサルモ選擧人ハ投票記載所ノ各區劃內ニ身體ヲ持チ行キ頭部ヲ突込ムニアラサレハ記載シ得サル狀況ニ在リテ選擧人各自ノ簡單ナル注意ト相俟テ優ニ投票管理者及投票立會人其ノ他ノ窺視又ハ投票交換等ノ不正ノ手段ヲ防クコトヲ得ル程ノモノナリシ事實ヲモ之ヲ認メ得ヘク原告代理人ノ立證ニ依リテハ如上認定ヲ左右スルニ足ラサルヲ以テ右事實ニ依レハ本件魚住村ニ於テ施行セラレタル選擧ハ毫モ衆議院議員選擧法施行令第十三條ニ違背シタル廉ナキコト自ラ明瞭ナルノミナラス又投票所ノ狹隘ナルカ爲ニ現ニ投票ヲ窺視スル等不正手段ノ行ハレタリト認ムヘキ事跡ナキ本件ニ於テハ選擧人ハ各自隱蔽手段ヲ行フ等相當ノ注意ヲ用ヒ其ノ自由意思ニ基キ投票ヲ爲シタルモノト推測スヘキヲ當然トスルカ故ニ此ノ點ニ於テモ何等選擧ヲ無效トスルニ足ラサルヤ言ヲ俟タス又衆議院議

員選擧法施行令第十四條ニ投票用紙ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選擧人ヲシテ其住所氏名ヲ自稱セシメ選擧人名簿ニ對照シタル後之ヲ交付スヘシトアル規定ヲ投票ヲ爲サムトスル選擧人ノ本人ナルヤ否ヤヲ確メ人違等ノ過誤若クハ其ノ他ノ不正行爲ヲ豫防スル手續ニ外ナラサルカ故ニ本件ノ如ク投票管理者及投票立會人ノ總テカ當該選擧人ヲ熟知シ其ノ本人ナルコト明白ナル場合ニ其ノ住所氏名ヲ自稱セシムル手續ヲ省略シテ投票用紙ヲ交付シタレハトテ事實上之カ爲ニ毫モ選擧ノ公正ヲ害セサルニ依リ此點ヲ捉ヘテ選擧ノ無效ヲ云爲スル原告ノ主張ハ謂ハレナキモノト云フヘク最後ニ投票立會人ノ一人缺員ノ儘施行シタル選擧ノ效力如何ニ付キ按スルニ衆議院議員選擧法第三十二條ニ郡市長ハ各投票區內ニ於ケル選擧人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選擧ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選擧ノ當日投票所ニ參會セシムヘシト規定シ法律カ投票管理者ヲシテ投票ニ關スル事務ヲ擔保セシムル外投票立會人ヲ設ケテ選擧ノ施行ヲ監視セシムル所以ノモノハ因テ以テ選擧ノ公正ヲ維持スルニ遺憾ナキヲ期スルノ趣旨ニ出テタルモノナルコト明白ニシテ其ノ第百七條ニ於テ立會人指定時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ投票管理者ハ臨時ニ選擧人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシト規定シタルハ其ノ選任セラレタル立會人中ニ缺員ヲ生シタル場合ニ處スル補充ノ方法ヲ定メタル者ナルカ故ニ本件ノ如ク郡長ノ選任シタル五名ノ投票立會人中ノ一人カ選擧ノ當日指定ノ時刻ニ參會セサリシニ拘ラス投票管理者カ之ヲ補充スルコトナク他ノ四名ノ立會ヲ以テ選擧ヲ施行シタルハ前示第百七條ノ規定ニ違背シタルモノナルヤ言ヲ俟タス而シテ法律カ投票立會人ノ數ヲ三名以上五名以下ト定メ少クトモ三名ヲ下ルヘカラサルモノト爲シタルハ之以下ノ人員ヲ以テシテハ監視ノ實ヲ擧クルニ足ラサルモノト認メタルニ因ルモノナルコト亦明白ナルカ故ニ其ノ選擧カ實際三名以下ノ投票立會人ノ立會ノ下ニ施行セラレタル場合ナラムニハ法律上到底之ヲ以テ公正ヲ維持セラレタル選擧ナリト看做シ得ヘキ限リニアラスト雖

モ本件ノ如ク郡長ノ選任シタル五名ノ投票立會人中一名不參ノ爲其缺員ノ儘施行セラレタルニ止マリ未タ法律ノ要求スル最少數ノ三名ヲ缺クニ至ラサル場合ニ在リテハ縱令之カ補充ヲ爲ササル點ニ於テ法ノ違背アルニセヨ之カ爲ニ其ノ選擧ヲ以テ絕對ニ公正ヲ推持セラレサリシモノト看做スヘキ趣旨ニアラサルコトハ選擧法中前示各法條ノ規定ノ精神ニ鑑ミ首肯スルニ足ルカ故ニ事實四名ノ投票立會人ノ立會ニ依リテ監視ノ實ヲ擧クルニ十分ナル場合ニシテ之カ爲ニ現ニ選擧ノ自由又ハ公正ヲ害スルカ如キ不正手段行ハレタル事迹ナキトキハ其選擧ハ之ヲ無效ト爲スヘキモノニアラスト解スルヲ相當トス本件ニ於テ魚住村投票所ノ選擧カ五名ノ投票立會人中一缺員ノ儘施行セラレタルカ爲ニ選擧ノ自由公正ヲ害スルカ如キ不正手段ノ現ニ行ハレタル事實ハ原告ノ立證ニ依リテハ之ヲ認ムルヲ得サルニ反シ前示說示スル魚住村投票所ニ於ケル設備ノ狀況竝同投票所ニ於テ投票シタル選擧人ノ數ト選擧施行ノ顚末ニ關シ證人山崎伊三郎ノ證言スル所竝乙第一號證ニ記載スル所トヲ綜合スレハ同投票所ニ於ケル選擧ハ事實上四名ノ投票立會人ノ立會ニ依リテ十分監視ノ實ヲ擧ケ其ノ自由公正ヲ嚴守セラレタルモノナルコトヲ認メ得ルニ難カラサルヲ以テ原告ノ此ノ點ノ主張モ亦結局採用スルニ足ラス然レハ則原告ノ本件請求ハ到底理由ナキモノトシテ排斥ヲ免レサルニ依リ訴訟費用ニ付キ民事訴訟法第七十二條第一項第八十一條第二項ヲ適用シ主文ノ如ク判決ス（大坂控訴院大正九年(サ)第一號同九年十月廿日民一櫻田裁判長安藤織田各判事判決）

【關係事項】衆議院議員選擧無效請求事件〇原告鞍谷清愼外一三人右訴訟代理人辯護士八尋伊三池善一濱野徹太郎小杉重昌原告柳瀨靜右訴訟代理人辯護士畑勇佐吉野春五從參加人藤井竹松外一人訴訟代理人辯護士佐野春五池善一被告高倍權太郎從參加人木下甚三郎右訴訟代理人辯護士草鹿甲子太郎青木雷三郎

（一七八）

衆議院議員選擧法一四　選擧事務ニ關係アル官吏吏員ハ其選擧區內ニ於テ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三

箇月ヲ經過セサル者亦同シ

同七〇　有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選擧區內ノ議員定數ヲ以テ選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ當選人ニシテ當選證書付與前ニ於テ其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ又ハ當選證書付與ノ前後ヲ問ハス選擧ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無效トナリタルトキ又ハ被選擧權ヲ有セサルニ因リ選擧無效トナリタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選人ト爲ウサリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

前項ノ場合ヲ除ク外選擧訴訟若クハ當選訴訟ノ結果ニ依リ必要ナルトキハ本條ノ例ニ依リ更ニ當選人ハ定ム

町村制八　町村公民ハ町村ノ選擧ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選擧セラルル權利ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ一年以下其町村公民權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止期間以內其者ノ負擔スヘキ町村稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ增課スルコトヲ得

一　疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
二　業務ノ爲常ニ町村內ニ居ルコトヲ得サル者
三　年齡六十年以上ノ者
四　官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
五　四年以上名譽職町村吏員町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者
六　其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

同六三　町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選擧ス

同六四第三項　有給町村長及有給助役ハ三月前ニ申立ツルトキハ任意退職スルコトヲ得

村長退職屆ハ單純無條件ノモノニシテ當該役場ヘ提出ト同時ニ其效力ヲ發生ス・ヘキモノナレハ收受簿ニ登錄ヲ爲シタルト否トハ退職ノ發效ニ何等ノ影響ヲ有スルモノニ非ス」

町村制第六十四條第三項ニ於テハ有給町村長ハ三ケ月以前ニ申立ツルトキハ任意退職ヲ求ムルコトヲ得ル旨規定セルニ拘ラス名譽職町村吏員ニ付テハ同法第八條第二項ニ於テ同項第一號乃至第六號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其職ヲ辭シ若ハ其職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ其町村公民權ヲ停止シ場合ニ依リテハ町村稅ヲ增課スル旨ヲ規定シタルノミニシテ他ニ何等ノ規定ヲ設ケサルニ由リテ之ヲ觀レハ町村制ニ於テハ名譽職町村吏員ノ退職ニ付テハ官吏關係ニ於ケル退官退職ノ場合ト異リ其一方的意思表示ノミニ因リテ當然且即時ニ退職ノ效力ヲ生スルモノトス」

大正九年五月十日施行ノ福島縣第八區（耶麻郡河沼郡）衆議院議員總選擧ニ付原告ハ耶麻郡ニ於テ二千三百七十三票河沼郡ニ於テ八百八十二票合計三千二百五十五票ノ投票ヲ得衆議院議員選擧法第七十條ノ法定數ニ達シタルコト被告ハ耶麻郡ニ於テ二千八百四十三票河沼郡ニ於テ二千五百五十七票合計五千四百票ノ投票ヲ得當選人ト定メラレ其當選ヲ承諾シ大正九年五月二十一日福島縣知事ハ當選者トシテ被告ノ氏名ヲ告示シタルコト被告カ大正六年以降右選擧區內ナル河沼郡日橋村々長ノ職ニ在リタル處大正九年中ニ至リ其職ヲ辭シタルコトハ爭ナキ所ナリ故ニ被告ハ右村長在職中選擧事務ニ關係アル吏員ナリシヲ以テ其之ヲ罷メタル後本件選擧ノ日迄ニ三箇月ヲ經過セサルニ於テハ其關係者タル河沼郡內ニ於テハ本件選擧ニ付被選擧權ヲ有セサルコト衆議院議員選擧法第十四條ノ規定ニ依リ明カナリ故ニ若シ果シテ原告主張ノ如ク被告ノ村長退職カ大正九年二月二十六日又ハ其後ナリトセンカ本件選擧當日迄三箇月ニ滿タサルヲ以テ被告ハ河沼郡ニ於テハ被選擧權ヲ有セス從テ同郡ニ於ケル被告ノ得票ハ無效タル結果被告ノ有效得票ハ耶麻郡ノ分二千八百四十三票ノミトナリ原告ノ得票總數ニ比シ少數ナルニヨリ被告ノ當選ハ無效タルヘク若シ又之ニ反シ被告ノ村長退職ノ時期カ其主張ノ如ク大正九年一月二十一日ナリトセンカ本件選

擧當日迄三箇月以上ヲ經過シ河沼郡ニ於テ被選擧權ヲ有シタルニヨリ被告ノ當選ハ有效タルヘキヲ以テ先ツ被告ノ退職ノ時期ニ付按スルニ乙第一號證ノ退職屆謄本ニ證人前田德三郎ノ證言ヲ綜合スレハ被告ハ一身上ノ都合ニ依リ河沼郡日橋村長ヲ退職スル旨ノ大正九年一月二十日付被告名義ノ退職屆書ヲ同村助役前田德三郎ニ宛テ同日東京市ヨリ郵便ニ付シテ發送シ該屆書ハ其翌二十一日同村役場ニ到達シ同村助役前田德三郎ノ受理スル所トナリタルヿヲ認メ得ヘク該退職屆ハ前田德三郎個人ニ對シ之ヲ預ケタリトノ原告ノ主張ハ之ヲ認ムヘキ確證ナシ原告ニ於テハ右退職屆書ハ或事件發生シタルトキハ之ヲ受付クヘク又ハ打電シタルトキ正式ニ發表スヘキコトノ條件ヲ付シ又ハ追テ被告ヨリノ指圖ヲ俟ツテ其到達ノ日ニ溯リ受付ケタルコトニ取計フヘキコトノ條件ヲ付シテ被告ヨリ前田德三郎ニ預ケラレタルモノニシテ該屆書ノ正式ニ受付ケラレタルハ同年二月二十六日ナリト主張スルニヨリ按スルニ第一乙第五號證ノ一二ノ日橋村役場大正九年度收受簿中一月二十一日ノ部ニ被告ノ退職屆ヲ收番號四十五號ヲ以テ收受シタル旨ノ記載アリ乙第一號證ニ依レハ右退職屆書ニハ同村役場大正九年一月二十一日付受付印ノ押捺アルコトヲ認メ得レトモ證人前田德三郎ノ證言ニ依レハ右收受簿ハ被告ノ退職屆書受領ノ際後日記入ノ目的ヲ以テ一月二十一日ノ部一行ヲ空欄ニ右退職屆收受ノ旨記入ヲ爲シ以テ一月二十一日ニ受付ケタル旨溯記シタルモノニ係リ又右退職屆書押捺ノ受付印モ同年二月ニ至リ溯捺シタルモノナルコトヲ認メ得ヘクシテ被告ノ退職屆ハ原告主張ノ如キ條件ヲ付シテ前田德三郎ニ預ケ置カレタルモノニ係リ同年二月ニ至リ其條件ヲ實現シテ到達ノ日ニ溯リテ受理シタルコトニ仕做シタルモノト爲スヘキカ如シ然レトモ乙第二號證八田生ヨリ日橋村役場前田德三郎宛一月二十五日付郵便葉書ハ之ニ押捺ノ郵便日付印ニ徴シ大正九年一月二十五日發信ニ係ルモノナルコト明ニシテ「拜啓去ル二十日付ヲ以テ差出置候書面ハ何日付ニテ御受付セラレ候ヤ至急御返事相成度取急御照會仕候議會ハ險惡ナルモノト覺悟仕候云々」ノ文詞アリ之ニ證人前田德三郎ノ證言ヲ綜合スルトキハ被告ハ帝國議會開會中大正九年一月二十五日即チ右退職屆發送ノ數日後ニ於テ東京市ヨリ前田德三郎ニ對シ右葉書ヲ以テ前叙退職屆ハ何日付ヲ以テ受付ケラレタルヤヲ照會シ而モ其照會ハ最モ人目ニ觸レ易キ郵便葉書ヲ以テシタルコトヲ認メ得タリ此事實ハ原告主張ノ如キ退職屆ノ條件付寄託ノ事實ヲ肯定シテハ到底理解シ能ハサル事實ニシテ却テ右退職屆ハ何等ノ條件ヲ付スルコトナクシテ郵送セラレタル事實ナルカ爲メ被告ハ隱秘ノ方法ニ依ラス郵便葉書ヲ以テ該屆書到達ノ上受付ケラレ已ニ退職ノ效ヲ生シタルモノトシテ其到達受付ノ日附ヲ問合ハセタルモノト認ムルヲ相當トスヘク第二號證ノ結果並證人前田德三郎ノ證言ニ依レハ被告ハ東京市滯在中大正九年二月二十六日日橋村助役前田德三郎ヲ受信人ト爲シ「一月二十日付村長辭職ノ件未タ發表ナキヤ直ク發表アレ」トノ電報ハ同年二月二十六日午後四時三分衆議院內郵便局ニ於テ受付トナリ同四時五十分ヲ以テ送信セラレ同日午後十時頃ヲ以テ日橋村役場ニ送達ノ上助役前田德三郎ノ手ニ屆ケラレタルハ翌二十七日午前四時頃ナリシコトヲ認メ得ヘク該電報ノ受付並送信ノ時刻ハ衆議院解散ノ以前ナリシコトハ當院ニ顯著ナル事實ナリトス然ルニ乙第四號證ノ日橋村會々議錄並ニ證人前田德三郎ノ證言ヲ綜合スレハ同村助役前田德三郎ハ右ノ電報接受前即チ大正九年二月二十六日開會ノ日橋村々會ニ被告ノ村長退職認定ノ件付議シ相當理由アルモノト議決セラレタルコトヲ認ムヘク前田カ電報接受前ニ在リテ被告ノ退職屆ヲ村會ニ公表シタル態度ヨリ推ストキハ右電報ハ原告主張ノ如キ條件付寄託中ノ退職屆書ニ付日附ヲ溯ラシメテ之ヲ受付クルコトノ指圖ナリト爲スヘカラサルコト時ノ關係上極メテ明白ニシテ原告ノ主張ヲ肯定スヘキ資料タラス却テ右電文ヲ證人前田德三郎古川三郎ノ證言ニ綜合スルトキハ右退職屆ハ無條件ニテ提出セラレタルモノニシテ之ト同時ニ法律上退職ノ效力ヲ生シタルモノナルニ助役前田德三郎ハ信望アル被告ノ在職ヲ以テ學校建築其他事業ノ遂行ニ必要ナリト認メ被告ニ對シ留任ヲ勸告シテ其辭意ヲ飜シ退職屆ヲ撤回セシメテ會テ退職セサリシモノヽ如クセント欲シ被告退

職事實ノ揭示公告監督官廳ニ對スル報告其他一般ニ對スル公表手續ヲ盡サ、リシ爲メ被告ハ日橋村役場書記古川三郎ヨリ其事實ヲ聞知シ後日退職ノ時期ニ關シ疑義ヲ生セシコトヲ慮レタル爲メ被告退職ノ事實ヲ外部ニ對シ發表方打電督促シタルニ過キサルモノト認ムルヲ相當トスヘク第三甲第一號證ノ一乃至四ニ依レハ被告退職ニ伴フ公ノ手續中(一)被告退職ニ付助役前田德三郎ニ於テ代理事務ヲ取扱フ旨ノ揭示公告(二)郡長ニ對スル被告退職ノ報告(三)被告退職ニヨリ村長缺員中助役ニ於テ代理事務取扱フ旨各戶へ示達方谷區長ニ對スル通牒ハ何レモ大正九年二月二十六日付ヲ以テ爲サレタルコトヲ認メ得レトモ之アルカ爲メニ被告ノ退職屆ハ原告主張ノ如キ條件付ニシテ同年二月二十六日ニ至リ始メテ正式ニ受付ケラレタルモノトハ爲シ難ク却テ甲第一號證ノ三ハ右(二)ノ報告ニ付河沼郡書記ニ宛テタル添書ノ原按ト認ムヘキモノニシテ同證中「本村長八田宗吉退職ノ儀疾ク御報告可致筈ニ候處留任勸告ノ爲メ時日ヲ要シ延引致候段甚タ不都合ニ候得共本日報告致候云々」ノ文詞アリテ之ヲ證人前田德三郎ノ證言ニ徵スルトキハ助役前田德三郎ハ無條件ニテ被告退職屆ヲ收受シタルモ被告ニ對スル留任勸告等ノ爲メ右ノ手續ヲ遷延セシカ遂ニ斷念ノ上前敍ノ如ク大正九年二月二十六日ヲ以テ一面被告ノ退職ニ付村會ノ認定ヲ求メ一面右(一)(二)(三)ノ手續ヲ行ヒタルモノト爲スヲ相當トスヘク第四甲第二號證ノ一二及證人前田德三郎ノ證言ニ依レハ大正九年二月二十六日ヲ以テ日橋村通常村會ヲ召集スル旨ノ同月三二十二日付公告並右村會ニ付村會議員ニ對スル招集告知書ハ何レモ村長八田宗吉名義ヲ用ヒタルコトヲ認メ得レトモ乙第十九號證ノ一二三第二十號證ニ依レハ大正九年一月二十三日付(退職屆到達ノ翌々日)並同年二月十九日付稅務署長ニ對スル地租及異動報告書(乙第十九號證ノ一二三)同月二十二日付農商務大臣宛官有地拂下願ニ對スル添申書(乙第二十號證)ニハ何レモ被告名義ヲ用ヒスシテ日橋村長代理助役前田德三郎ナル名義ヲ用ヒ又乙第九號證ノ一乃至十ノ埋葬認許證(大正九年一月二十三日乃至同年二月二十一日付)モ前同様日橋村長代理助役前田德三郎ナル肩書ヲ使用シ又乙第十八號證ノ一乃至八ニ依レハ大正九年二月三日付ノ縣稅督桒屆(乙第十號證ノ一乙第十八號證ノ一)ニ對スル奧書並河沼郡長又ハ河沼郡書記宛ハ同月六日乃至同月二十五日付文書(乙第十號證ノ二乃至八乙第十八號證ノ二一二八)ニ何レモ日橋村長代理助役前田德三郎ナル名義ヲ用ヒ乙又第十號證ノ一二三ニ依レハ大正九年二月二日付ニテ下付ノ秋山猪者八田吉多等戶籍ノ抄本モ亦日橋村長代理助役前田德三郎ノ名義ヲ用ヒテ被告ノ名義ヲ用ヒス然ルニ乙第七號證ノ四ニ依レハ同年一月十日(退職屆書ノ發送到達前)八田吉多ノ戶籍抄本ヲ下付スルニ當リテハ日橋村長八田宗吉代理助役前田德三郎ノ名義ヲ用ヒ代理資格中ニ被告ノ氏名ヲ書キ込ミアリ更ニ之ヲ證人前田德三郎ノ證言ニ綜合スレハ日橋村役場ニ於テハ村長缺員ノ爲メ助役ニ於テ村長ノ事務ヲ代理スル場合ト村長在職中其差支ノ爲メ助役ニ於テ代理スル場合トニ分チ代理資格ノ記載例ヲ異ニシ後者ノ場合ニハ村長其人ノ氏名ヲ肩書ニ書キ加ヘ日橋村長八田宗吉代理助役ト記載シ前者ノ場合ニ於テハ單ニ日橋村長代理助役ト記載シ村長其人ノ氏名ヲ記入セサルヲ例トシ現ニ乙第七號證ノ四ノ如ク退職屆到達ノ以前即チ村長在職中ナル大正九年一月十日付戶籍抄本ニハ被告ノ氏名ヲ記入シテ日橋村長八田宗吉代理助役ト記載セルニ反シ退職屆到達後即チ大正九年二月二日付戶籍抄本ニハ乙第七號證ノ一二三ノ如ク單ニ日橋村長代理助役トノミ記載シ被告ノ氏名ヲ記入セサル事例ヲ認メ得ヘク此事實ニ徵スルトキハ證人前田德三郎ノ證言中前顯村會召集ノ告知書並揭示ニ付雇員カ起案ヲ爲スニ當リ右ノ例ニ倣ヒ單ニ村長代理助役前田德三郎ト載スヘカリシヲ誤リテ村長八田宗吉ヲ用ヒ助役前田德三郎ニ於テモ其誤謬ニ氣付カスシテ捺印ヲ爲シタルモノナル旨ノ證言ハ信ヲ措クニ足ルヲ以テ甲第七號證ノ一二三四ニ依ルモ未タ以テ本件退職屆カ條件付ニテ預ケラレタルモノト爲スヘカラサルハ勿論二月二十六日以前ニ於テハ正式ニ受付ケラレサリシモノト爲スニ足ラス第五甲第五號證ニ依レハ日橋村役場書記古川三郎ノ大正九年二月二十六日付缺勸屆ニハ「日橋村長殿」ナル宛名記載アレトモ村長缺員中ト雖モ右ノ

如キ宛名ヲ使用スル事其例ニ乏シカラサルヲ以テ當時被告カ仍ホ村長ノ職ヲ退カサリシカ爲メ宛名ヲ用セタルモノトハ速斷スルヲ得ス」第六甲第六號證ノ徵稅傳令書中大正九年二月一日付ノ分ニハ發行者トシテ「河沼郡日橋村長八田宗吉代理助役前田德三郎」ト記載シ其記載中「八田宗吉」ノ四字ヲ抹消シアルヲ認ムヘシ原告ニ於テハ右ハ大正九年二月二十六日以後ニ至リ急遽八田宗吉ノ氏名ヲ抹消シテ更ニ「代理助役前田德三郎」ト書キ加ヘタルモノニシテ同號證ノ徵稅傳令書中日付ナキ分ニハ村長八田宗吉ノ名ヲ其儘存シアルニ依リ明カナリト云フニヨリ按スルニ右記載中「助役前田德三郎ノ七字ハ謄寫版刷ノ徵稅傳令書中「日橋村長八田宗吉」ナル文字ノ左側ニ活字ヲ以テ繁色ニ現出シタルモノニシテ其中「第一六三號納人齋藤宗太郎分大正八年度縣稅戶數割第二回追加金八十九錢ノ徵稅傳令書ニハ其用紙ノ左端ニ「助役前田德三郎」ノ文字(活字)ノ右方一半ヲ現出シアルニ過キサル處該文字ハ之ヲ乙第十三號證ノ領收證(齋藤宗太郎分大正八年度縣稅戶數割第二回追加金八十九錢ノ領收證)中ノ右端ニ在ル「助役前田德三郎ノ文字(活字)ノ左方ノ一半ト接續スルニ全ク符合シ右二葉ハ元ト接續用紙ニシテ之ヲ截斷スルニ當リ「助役前田德三郎」ナル文字ノ部分ヲ左右ニ切斷シタルモノナルコトヲ認メ得ヘク之ヲ證人齋藤宗太郎ノ證言ニ綜合スレハ右ノ齋藤宗太郎ニ對スル徵稅傳令書ハ發行當日ヨリ「助役前田德三郎」名義ヲ活字ニテ顯出シ「八田宗吉」ナル文字ハ之ヲ抹消シアリタルモノナルコト毫モ疑ヲ容レス又右徵稅傳令書中納人氏名並金額ヲ墨書シアル分ニハ其發行者トシテ謄寫版刷ニテ「河沼郡日橋村長八田宗吉」ト記載シアリテ「八田宗吉」ノ四字ヲ抹消スコトナク又其左側ニ代理助役前田德三郎」ナル記載アルコトナシト雖モ之ヲ證人貝沼宗太郎ノ證言ニ綜合スレハ徵稅傳令書中納人氏名並金額ヲ墨書シタル分ハ納人ニ於テ徵稅セントスル場合ニ收入役又ハ役場書記ニ於テ謄寫版刷ノ傳令書並領收證ノ接續用紙ニ便宜納人氏名並金額ヲ墨書シ領收證ニハ收入役ノ職印(收入役不在ノ場合ハ書記ノ印)ヲ押捺シテ納人ニ交付シタルモ傳令書ノ方ハ單ニ役場ニ保存スルモノナルカ爲メ正式ニ發行者氏名中「八田宗吉」ノ文字ノ抹消

並「代理助役前田德三郎」ナル記入手續ヲ省略シタルモノナルヿ明白ナルノミナラス乙第六號證大正九年二月十日付大正八年度租稅地租ノ徵稅傳令書ハ「日橋村長代理助役前田德三郎」名義ヲ用ヒ其名下ニ同村助役ノ職印ヲ押捺シアルニ由リテ之ヲ觀レハ甲第六號證ノ傳令書中發行者名ハ後日變更ヲ加ヘラレタルモノニ非サルヿ明ナリ尤モ甲第六號證傳令書中「代理助役前田德三郎」名下ニ「福島縣河沼郡日橋村長之印」ナル印影アルハ奇異ノ感ナキニ非サレトモ證人貝沼宗太郎ノ證言ニ依レハ日橋村役場ニ於テハ豫テ傳令書用紙ヲ村長八田宗吉名義ヲ以テ謄寫版刷ト爲シ置キタルコトヲ認ムヘキニ依リ推考スレハ該用紙中「村長八田宗吉」名下ニ便宜村長ノ職印ヲ押捺シ置キタルモノヲ使用シテ「代理助役前田德三郎名義ヲ以テ徵稅傳令書ヲ發行スルニ當リ印章ヲ改捺セサリシカ又ハ村長ノ職印ヲ誤捺シタルカ二者其一ニ居ルヤモ計ラサルヲ以テ印影カ發行者名義ニ副ハサル一事ニ依リテハ「代理助役前田德三郎」ナル記載カ後日ノ記入ナリト速斷スルヲ得ス」第七甲第七號證ノ一乃至七ノ戶籍ニ關スル書類ニ依レハ大正九年一月二十七日同月二十八日二月九日同月十日一ノ戶籍届書類ノ宛名カ「日橋村長八田宗吉殿」トアルニ拘ハラス之ヲ受理セラレ而モ其中甲第七號證ノ一ノ婚姻届ハ同ク一月二十九日ニ在リテ同村長八田宗吉名義ヲ用ヒテ城島村役場ニ發送セラレタル事實ヲ認メ得レトモ證人古川三郎ノ證言ニ依レハ日橋村ノ戶籍事務ハ書記古川三郎ニ於イテ擔當シ被告ノ自ラ取扱ヒタルモノニ非サルコトヲ認メ得ルト甲第七號證ノ二三ニ依レハ其二通ノ婚姻ハ何レモ同年二月二日ヲ以テ村長代理助役前田德三郎ノ名義ヲ以テ城島村役場ヘ發送セラレタルコトヲ認ムヘク同號證ノ四乃至七ノ戶籍届書類ハ大正九年二月十二日前田德三郎ニ於テ日橋村長代理助役名義ヲ以テ若松區裁判所ニ送付シ翌十三日受理セラレタルコト爭ナキ所ナルト前叙村長缺員中ニ於ケル代理資格ノ記載例トニ徵スルトキハ被告ノ退職届書到達後ニ於テ八田宗吉宛名ノ戶籍届書類ヲ受理シ同人名義ヲ以テ戶籍書類ヲ發送シ又ハ同人ノ認印ヲ用ヒテ戶籍ノ記載ヲ爲シタル事實ハアレハトテ之ヲ以テ當時被告カ仍ホ村長ノ職ニ在リタル

徵證ト爲サンヨリハ寧ロ取扱者ノ錯誤ナリト爲スヲ相當トスヘク又甲第七號證ノ八九十ノ戸籍書類（同年二月九日同月十二日受付）ニ依レハ該書類ノ宛名「日橋村長八田宗吉殿」トアル「八田宗吉」ノ四字ヲ抹消シテ其左側ニ「代理助役前田德三郎殿」ト記載シアリ原告ニ於テハ右ハ議會解散後ニ書替ヘラレタルモノナリト云フモ之ヲ認ムヘキ確證ナク却テ甲第七號證ノ四乃至七ノ各戸籍書類カ前敍ノ如ク議會解散前ナル大正九年二月十二月ニ在リテ村長代理助役名義ヲ以テ若松區裁判所ニ送付セラレタル事實ニ參稽スルトキハ戸籍書類ノ收發ニ付テモ早ク議會解散以前ヨリ前敍ノ如ク村長缺員中ノ記載例ナル「村長代理助役名義ヲ以テ取扱ハレタル事例ヲ認メ得ルニヨリ前顯宛名カ其受理ノ後殊ニ議會解散後ニ至リ擅ニ變更セラレタルモノトハ到底首肯スルヲ得ス第八原告ニ於テハ大正九年二月二十六日以前ニ事務引繼ヲ爲サヽリシ事實同年二月十五日日橋村役場ニ至リ教員俸給豫算ニ關シ注意ヲ爲シタル事實ヲ云爲スレトモ此等ノ事實ハ未タ以テ當時被告カ村長ノ職ニ在リタルコトヲ認メシムルニ足ラス以上說明ノ如クニシテ他ニ確證ナキヲ以テ本件退職届ハ原告主張ノ如ク條件付ノモノナリト爲シ難ク大正九年二月二十六日ニ至リ始メテ正式ニ受付ケラレタルモノト確證スルヲ得ス却テ上來ノ說明乙第三號證ニ依リ認メ得ルカ如ク若松警察署長カ福島警察部長ニ對シ大正九年二月四日付ヲ以テ日橋村長ニシテ衆議院議員タル被告カ客月二十日突然村長ノ辭表ヲ提出シ目下助役前田德三郎ニ於テ村長代理中ノ處同村ニ於テハ過般小學校竝役場共ニ火災ニ罹リ村政最モ多事ノ時ニ當リ右ノ擧ニ出テタル動機ニ付內査スルニ被告ハ第四十二議會ハ解散ヲ免レサルカ如ク豫想シ解散ノ上ハ再ヒ出馬セントノ準備ニ出テタルモノナルヤノ評アル旨報告シタル事實竝證人前田德三郎ノ證言ヲ綜合スルトキハ被告ハ第四十二議會開會中衆議院ノ解散ヲ豫想シ早ク日橋村長ノ職ヲ退キ以テ河沼郡部內ニ於ケル被選擧權ヲ失ハサランコトヲ欲シ前敍ノ如ク大正九年一月二十日付ヲ以テ村長退職届書ヲ日橋村助役前田德三郎ニ宛テ郵送シ該届書ハ其翌二十一日同村役場ニ到達シ其退職届ハ單純無條件ノモノニ

シテ原告主張ノ如キ條件ノ付セラレタルモノニ非サリシヲ以テ該届書カ同村役場ニ到達セルト同時ニ退職ノ效力ヲ生シタルモノトス原告ニ於テハ退職届ハ正式ニ受付ケラレ役場ノ收受簿ニ公然之カ記入ヲ爲サレタルコトヲ必要トスル旨云爲スレトモ退職届ハ當該役場ニ提出ト同時ニ其效力ヲ發生スヘキモノナレハ收受簿ニ登錄ヲ爲シタルト否トハ退職ノ發效ニ何等ノ影響ヲ有スルモノニ非ス原告ニ於テハ本件退職届ハ其到達ノ日タル大正九年一月二十一日ヲ以テ受理セラレタルモノトスルモ之ニ付村會ノ承認ヲ得タルハ同年二月ノ二十六日ナリト主張シ村長ノ退職ハ其一方的意思表示ニ依リテ效力ヲ發生スルモノニ非ス村會ノ承認ヲ俟ツテ始メテ退職ノ效力ヲ生スルモノナレハ被告ハ同年二月二十六日ニ至リ退職シタルモノナリト論辯スレトモ町村制第六十四條第三項ニ於テハ有給町村長ハ三箇月以前ニ申立ツルトキハ任意退職ナ求ムルコトヲ得ル旨規定セルニ拘ハラス名譽職町村吏員ニ付テハ同法第八條第二項ニ於テ同項第一號乃至第六號ノ一ニ該當セサルモノニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其職ヲ辭シ若クハ其職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ同町村公民權ヲ停止シ場合ニ依リテハ町村稅ヲ增課スルコトヲ得ル旨規定シタルノミ他ニ名譽職町村吏員退職ノ手續要件ニ關シ何等ノ規定ヲ設ケサルニ由リテ之ヲ觀レハ町村制ニ於テハ名譽職町村吏員ノ退職ニ付テハ官吏關係ニ於ケル退官退職ノ場合ト異リ其一方的意思表示ノミニ因リテ當然且即時ニ退職ノ效力ヲ生スルモノト爲シ町村會ニ對シテハ名譽職町村吏員ノ退職ニ付唯其退職ノ原因カ町村制第八條第二項列記ノ場合ニ該當スルモノナリヤ否ヤヲ議定シ之ニ該當セサルモノト認メタルトキハ之ニ對スル制裁如何ヲ議決スル權限ノミヲ認メタルニ過キスシテ町村會ノ議決ヲ以テ退職ノ成立要件ト爲シタル法意ニ非サルコト解釋上疑ナク原告ノ見解ハ之ヲ採用セス然レハ則チ被告ノ退職ハ其届書カ大正九年一月二十一日日橋村役場ニ到達シタルト同時ニ其效力ヲ生シタルモノナルヲ以テ其日ヨリ起算ノ本件選擧當日タル大正九年五月十日迄疾クニ三箇月以上ヲ經過シ被告ハ本件選擧當日河沼郡內ニ於テ被選擧權ヲ有シタ

ルモノナルヲ以テ同郡ニ於ケル被告ノ得票ハ固ヨリ有效ナリトス從テ被告ハ最多數ノ有效投票ヲ得タルモノナルニヨリ選擧會ニ於テ被告ヲ當選人ト定メタルハ相當ニシテ被告ノ當選ハ無效ニ非ス原告ノ請求ハ失當ナリトス仍テ衆議院議員選擧法第百八條民事訴訟法第七十二條第一項ニ從ヒ主文ノ如ク判決ス（宮城控訴院大正九年（ウ）第七號日九年十月廿五日民內藤裁判長上野岸各判事判決）

【關係事項】當選無效請求事件○原告田中盛雄右訴訟代理人辯護士岸清一外二名被告八田宗吉右訴訟代理人辯護士野副重一外二名

（一七九）

衆議院議員選擧法一〇七　立會人指定ノ時刻ニ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ投票管理者選擧長ハ臨時ニ選擧人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

一　衆議院議員選擧法第一〇七條ハ立會人ノ發病其他ノ事故ニ因リ爾後引續キ立會ヲ爲スコト能ハス若クハ立會ヲ爲ササルカ如キ場合ヲ謂フモノニシテ生理上缺クヘカラサル排便又ハ飮食ノ爲メ僅少ノ時間內一時其席ヲ退出スル場合ヲ謂フモノニアラス」

二　選擧人ノ投票ハ箇箇特別ノモノニシテ其間ニ不可分ノ關係アルモノニ非サルヲ以テ縱令其投票中二三ノ投票カ特別ノ理由ニ依リテ無效ニ歸スルコトアルモ其他ノ適法ナル投票ハ之カ影響ヲ受ケ無效トナルヘキモノニ非ス」

然レトモ衆議院議員選擧法第一〇七條ニ「立會人云云參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ云云臨時ニ選擧人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ」トアルハ立會人カ發病其他ノ事故ニ因リ爾後引續キ立會ヲ爲スコト能ハス若クハ立會ヲ爲ササルカ如キ場合ヲ云フモノニシテ生理上缺クヘカラサル排便又ハ飮食ノ爲メ僅少ノ時間內一時其席ヲ退去スル場合ヲ云フニ非ス何トナレハ飮食ハ立會人席ヲ退去セスシテ之ヲ取ルノコトヲ得ルノミナラス退去スルモ一般飮食ヲ要スルノ時選擧人ノ來往稀ナルノ頃ヲ利用シ又交互ニ食事ヲ爲シ得ヘク排便モ亦選擧人ノ來去一時中絕シタル時ヲ利用シ僅少ノ時間內交互ニ之ヲ爲シ得ヘキモノナレハ若シ其間ニ於テモ尙ホ臨時立會人ヲ選任セサルヘカラサルモノトセハ選擧期日ノ終ル迄數回其手續ヲ反覆セサルヘカラサルノ煩勞アルノミナラス選任手續ヲ終ルト殆ト同時ニ其必要消滅スルカ如キ奇觀ヲ呈スルコトナキニアラス加フルニ選擧法カ投票立會人ノミニ付キ第一〇七條ノ規定ヲ設ケナカラ投票管理者ニ付キ斯カル規定ヲ設ケサルノ理由ヲ解スルコトヲ得ス從テ如上ノ場合ニ於テ一時短時間ノ退席ヲ爲スハ法律ノ認容スル所ニシテ此時特ニ臨時立會人ヲ選任スルコトヲ要セサルモノトス故ニ原院カ投票立會人ノ生理上缺クヘカラサル排便又ハ飮食ノ爲メ短時間內一時退席シタル場合ニ於テ臨時立會人ヲ選任スルコトヲ要セスト判示シタルハ相當ナリ又選擧人ノ投票ハ個々特別ノモノニシテ其間ニ不可分ノ關係アルモノニアラサルヲ以テ縱令其投票中二三ノ投票カ特別ノ理由ニ依リテ無效ニ歸スルコトアルモ其他ノ適法ナル投票ハ之カ影響ヲ受ケ無效トナルヘキモノニアラス原院ノ認メタル事實ニ依レハ本件ニ於テ衆議院議員選擧法施行令第一六條ニ定メタル投票手續ニ違背シタル爲メ投票ノ無效トナリタルモノノ數僅ニ三票ニ過キスシテ此投票手續ノ違法ハ當選ノ結果ニ異動ヲ及ホササルヲ以テ原院カ投票手續ヲ不可分ナリトセス此三票ノミヲ其手續ニ違背アルモノトシテ無效ト認メ其他ノ投票ハ上告人ノ立證十分ナラサルノ故ヲ以テ無效ニアラスシテ有效ナリト判斷シタルハ相當ナリ（大審院大正九年（オ）第七九四號同年十一月十八日民二部馬場裁判長由上成道三宅水口各判事判決）

【關係事項】上告棄却○原審名古屋控訴院○衆議員議員選擧無效請求事件○上告人木全小三郎外二人訴訟代理人辯護士三木武

吉岡佐藤久三郎被上告人松本伊織參加人山本清三郎

判旨正當ナリ

（一八〇）

所得税法三　所得税ハ左ノ税率ニ依リ之ヲ賦課ス
第一種　法人所得
乙　株式會社株式合資會社其他ノ法人　千分ノ六十二、五

法人カ其使用人ニ給與シタル賞與金カ當該事業年度ノ利益ノ一部ヲ給與シタルモノナリト認ムヘキ場合ニハ其賞與金ハ法人ノ所得計算上損金トナスヘキニアラス」

原告會社ノ職工規定(甲第二號證)第二五條ニハ「職工ニシテ左ノ項目ニ該當スルトキハ審査ノ上其ノ功勞ニ應シ臨時賞與金ヲ給與ス」ト規定シテ四箇項目ヲ列記シ又給與規則(甲第三號證)第二五條ニハ「職工ニシテ左ノ各項ニ該當スルトキハ取締役會ノ決議ニヨリ臨時賞與ヲ行フコトアルヘシ」ト決定シ四箇項目ヲ列記スルモ本件賞與金ハ當該事業年度終了ノ前日即六月二十九日ニ於テ期末賞與金トシテ支出セラレタルモノニシテ(甲第四號證金錢出納簿)前記各規則ノ第二五條ニヨリテ特定セル事項ニ該當シタル賞與トシテ給與セラレタルモノナリトノ記載ハ甲第四號證ニアラサルノミナラス甲第七號證(本件賞與金ニ關スル重役會決議錄)ニモ又前記各規則ノ第二五條ニヨリテ支給シタルモノト認ムルニ足ル記事ナシ而シテ本件賞與金支給ニ關スル前示甲第四號證ノ記載ト職工規則第二七條(甲第二號證追加)ノ「半期決算ノ場合ニ於テ會社ノ營業成績ヲ調査シ取締役會ノ決議ニ依リ賞與金ヲ支給スルコトアルヘシ」トノ規定トヲ綜合シテ考フルトキハ本件賞與金ハ職工ニ對シテハ前記第二七依ニ依リ職員ニ對シテハ此ノ規定ト同一旨趣ニ依リテ支給シタルモノナリト認ムルノ外ナク前示第二五條ノ規定ニヨリテ支給スルモノニアラス又當該事業年度ニ於ケル利益ノ有無ニ拘ラス支給スルモノニアラスシテ當該事業年度ノ決算ノ場合ニ於ケル營業ノ成績ニヨリテ其ノ給與及總金額ヲ決定スルモノニ外ナラサレハ當該事業年度ノ利益ノ一部ヲ支給スルモノナリト認ムルコト相當ニシテ原告ノ所得計算上之ヲ損金ニ計上スヘキモノニアラス原告主張ノ如ク本件賞與金カ損益計算書ノ損金ニ計上セラレ又其ノ支給ノ目的カ職員職工ノ勤務ヲ督勵シ半途ノ廢業ヲ防止スルニ存シ職員職工ノ雇入ニ際シ本件賞與金ノ給與アルコトヲ示シ職員職工ノ各自ニ對スル給與額ハ其ノ勉怠職務ノ成績ヲ標準トシテ差等ヲ附スルモ斯ノ如キハ計算ノ方法支給ノ目的受給者各自ニ對スル支給額決定ノ標準ニ關スル事項ニ過キス之カ爲ニ前示認定ヲ覆スニ足ラス原告援用ノ判例ハ本件ト其ノ事實ヲ等フセサル事業ニ付テノ判決ナルヲ以テ本件ノ例トナスヘキニアラス又被告カ本件係爭ノ事業年度以後ノ事業年度ノ所得計算ニ付テハ原告ノ主張ヲ容レタル事實存ストスルモ之カ爲ニ本件賞與金ノ性質ニ變動ヲ來タスヘキニアラス依リテ主文ノ如ク判決ス(行政裁判所大正八年五九號同年一一月一三日第三部木場裁判長清水關口島田村上各評定官判決)

【關係事項】原告請求棄却○所得金額決定取消請求ノ訴原告田中金七訴訟代理人藤井濱次郎外一名被告楠正篤

（一八一）

地方税規則一　地方税ハ左ノ目ニ從ヒ徴收ス
一　地租三分一以内
一　營業税並雜種税
一　戸數割

宮城縣税賦課規則一〇　戸數割ハ年税トシ現ニ一戸ヲ構フル者ニ賦課ス同居同炊スルモノト雖モ經濟ヲ異ニシ獨立ノ生計ヲ營ム實アル者ハ一戸ヲ構フル者ト看做ス

一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ニ對シテハ戸數割ヲ賦課スヘキモノ

ニアラス」

明治十三年太政官布告第一六號地方税規則ハ戸數割ノ納税者ニ關スル規定ヲ地方廳ノ定ムル所ニ一任シタルモノニ非ス」

原告ノ如ク一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ハ戸ヲ構フル者ト謂フヲ得スシテ之ニ對シテ戸數割ヲ賦課スヘカラサルコトハ當裁判所カ屢次判示セル所ナリ被告ハ明治十三年太政官布告第十六號地方税規則中戸數割ノ納税者竝賦課方法ニ關シ何等ノ明文ヲ設ケサル以上是等ノ點ニ關スル規定ハ地方廳ノ定ムル所ニ一任シタルモノト解セサルヘカラスト主張スルモ明治十二三年中ニ於ケル法制局ノ説明竝明治十三年十二月二十七日內務省甲牒地方税規則備考ニ依ルニ戸數割ハ毎戸ノ現住者卽チ竈ヲ異ニシテ居ヲ占ムル者ニ對シ賦課スヘキ法意ナルコト明ニシテ被告ノ云フカ如ク納税者ニ關スル規定ナリト謂フヲ得サルカ故ニ被告ノ主張ハ認容スルヲ得ス然レハ本件戸數割ノ賦課ハ前示太政官布告ノ旨趣ニ違背シタルモノニシテ適法ト謂フヲ得ス從テ主文ノ如ク判決ス(行政裁判所大正九年第一四九號同一五〇號同年一〇月二二日第二部渡邊裁判長三宅島村牛塚澤內各評定官判決)

【關係事項】 縣税戸數割賦課取消請求事件○原告小林嚴被告森正隆

(一二八)

利息制限法ニ(大正八年四月法律第五九號ヲ以テ改正同年五月十日ヨリ實施ノ分) 契約上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ定メ得ヘキ所ノ利息ニシテ元金百圓未滿ハ一ケ年ニ付キ百分ノ十五(一割五分)百圓以上千圓未滿百分ノ十二(一割二分)千圓以上百分ノ十(一割以下)トス若シ此制限ヲ超過スル分ハ裁判上無效ノモノトシ各制限ニマテ引直サシムヘシ

(同改正前ノ分)契約上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ定メ得ヘキ所ノ利息ニシテ元金百圓以下ハ一ケ年ニ付百分ノ二十(二割)百圓以上千圓以下ハ百分ノ十五(一割五分)千圓以上百分ノ十二(一割二歩)以下トス此制限ヲ超過スル分ハ裁判上無效ノモノトシ各制限ニマテ引直サシムヘシ、

民法九〇 公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル事項ヲ目的トスル法律行爲ハ無效トス

法例一第一項 法律ハ公布ノ日ヨリ起算シテ滿二十日ヲ經テ之ヲ施行ス但法律ヲ以テ之ニ異リタル施行時期ヲ定メタルトキハ此限ニ在ラス

利息制限法ノ改正前年二割ノ利息ニテ百圓ヲ貸付ケタル債權者ハ現行利息制限法(大正八年四月法律五九號改正ノ分)ノ下ニ於テハ同法實施日(同年五月一日)以後ハ年一割五分ノ利息請求權ヲ有スルノミトス」

利息制限法ハ良俗維持ヲ目的トスル法規ニシテ其規定ノ內容ノ道德ノ理性的基礎タル自由殊ニ金錢ノ需用ニ迫リタル消費借主ヲ其貸主ノ厭迫ニ對シテ其人身的又ハ經濟的自由ヲ認ムルニアレハ其法規ハ强行的規定ノ性質ヲ有スルモノトス」

利息制限法ハ債權契約ニ關スル民法ノ一部ニシテ之ニ民法總則ノ適用ヲ生スルモノナルトキハ新法ト反スル舊法ニ依ル約束カ新法實施ノ下ニ於テ其違反部分ノ有效性ニ對シテ民法九〇條ノ適用ヲ生スヘキモノトス但其違反部分ノ無效ハ契約ノ成立ニハ遡及スルコトヲ得ス只其實施ノ日ヨリ將來ニ無效ト爲ルモノトス」

利息制限法ノ改正前年二割ノ利息ニテ百圓ヲ貸付ケタル債權者ハ現行利息制限法(大正八年四月一〇日公布法律五九號明治一〇年六六號布告利息制限法二條中改正同年五月一日ヨリ實施)ノ下ニ於テ同法實施日以後ハ年一割五分ノ利息請求權ヲ有スルノ

ミトス此ノ事件ハ利息制限法ノ性質ニ對スル見方ノ異ナルニ依リテ前示斷定ノ如ク改正現行法實施日ヨリ現行法ニ據リ或ハ大審院(大正八年一二月一五日第二民事部判決)ノ如ク既ニ約定シタルモノハ舊法ノ利率ニ據ルト爲スカ如ク異ナルヘシ同判決ニ依ル改正現行法ニハ其制限ヲ舊法施行當時ニ約定シタル利率ニモ適用スル旨ノ規定ナキコト(二)法律ハ既往ニ遡ラサルヲ原則トスルヲ以テ該改正法律タル新法ハ其施行當時ニ契約シタル利率ニ付キテハ縱令其利息ノ發生カ新法施行以後ニ係リ其歩合カ新法所定ノ制限利率ニ超過シタルトキト雖モ依然トシテ其效力ヲ有スルモノト解釋セサルヘカラスト爲スカ如シ

然レトモ利息制限法ハ良俗維持ヲ目的トスル法規ニシテ其規定ノ内容ハ道德ノ理性的基礎タル自由殊ニ金錢ノ需要ニ迫リタル消費借主ヲ其貸主ノ壓迫ニ對シテ其人身的又ハ經濟的自由ヲ認メタル規則ナリ從ヒテ其法規ハ強行法的規定ノ性質ヲ有ス之ニ依リテ其改正利率ヲ認メタル規定ハ確カニ道德命令(sittliches pebet)即チ道德勵行ニ關スル強制規範ナリ故ニ舊利息制限法ノ利率ハ改正現行法ノ規定ニ依リテ道德ニ反スルモノト成リタリ又良俗(道德)ニ反スル行爲(契約又ハ單獨行爲)ハ無效ナリトノ規定(民法九〇條)アリ改正現行法ノ利息制限法ノ規定中ニハ舊法施行當時約定シタル利率ニ現行法ノ利率規定ヲ適用スル明文ハ同ク存在セス然レトモ利息制限法ハ債權契約ニ關スル民法ノ一部ニシテ之ニ民法總則ノ適用ヲ生スルモノナルトキハ新法ト反スル舊法ニ依ル約束カ新法實施ノ下ニ於テ其違反部分ノ有效性ニ對シテ亦民法九〇條ノ適用ヲ生スヘキハ論理的結論ナリ其違反部分ノ無效ハ契約ノ成立ニハ遡及スルコトヲ得ス舊法ノ有效ナル時期ニ於テ既ニ有效ニ成立シタル利率ニ關スル契約ノ既往ノ效力カ新法實施ニ依リテ前示理由ニ依リ其實施日ヨリ將來ニ無效ト爲スモノナリ之ハ東京控訴院(大正八年一二月八日民事第一部判決)ノ如ク(一)理論上新法ニ對シテ絶對ニ遡及效ヲ認ムヘカラスト謂フ理由ナク(二)新法ノ内容カ善良ノ風俗又ハ社會的經濟的ノ害惡ヲ艾除センコトヲ目的トスル場合ニ於テハ既往ノ權利ト雖モ之ヲ變更スル強

キ效力ヲ有スルモノト考フルコトヲ得トノ理由ヨリ斯カル契約ヲ其成立ノ當初ニ遡リテ變更シ新法ニ違反部分ヲ無效ト爲スモノトハ異ナル法律ハ公布ノ日ヨリ起算シ滿二十日ヲ經テ之ヲ施行ス但法律ヲ以テ之ニ異ナリタル施行時期ヲ定メタルトキハ此限ニ在ラス(法例一條一項)トアルニ依リテ改正利息制限法ノ規定中別ニ異ナリタル施行時期ノ定メナキヲ以テ此法律ニハ其遡及效ヲ認ムヘカラス故ニ東京控訴院ノ(二)ノ判決理由ニモ亦贊同スルコトヲ得ス新法ハ規定ナキトキハ遡及セストノ規則ハ古ヨリ認メラレタルモノニシテ近時社會法學派ノ說明ニ於テモ亦等シク高調セラルル所ナリ例ヘハ社會學的ニ新ニ取入タル規範ノ說明ニ依リテ現行法ノ單ナル「解釋」トシテ其公ナル遡及力ヲ伴フコトナク又之カ豫メ其必要ナク之ヲ具體的訴訟事件ニ對シテ新規範トシテ適用スルモノナリ新法ヲ現行法ニ向ケラレタル或擬制ト認ムルニ依リテ之ヲ承認スル(Gestempelt)コトヲ得ト爲スハ同派カ社會學的法律發見ノ方法ノ實質說明中法典ノ外部的標準ニ關スル例示トシテ社會利益比較ニ關シテ認メタルモノナリ故ニ其說明トシテハ新法ハ擬制ナルカ爲メ其實施前ニハ其法ノ需要ハ存セス從ヒテ亦之ニ對シテ既得ノ權利ヲ其實施前ニ遡及シテ變更スヘキ(違反部分ヲ無效ト爲スヘキ)社會利益ハ認ムルコトヲ得サルモノナリ(ドクトルユリス小島愛三郎氏法學新報第三〇卷第一〇號九八頁「改正前ノ利息制限法ト年二割ノ利息」要領)

【參照學說判例】

本卷諸法一三三頁以下

大正八年法律第五九號ヲ以テ利息利限法第二條(同年五月十日ヨリ實施)ニヨリ從來ノ利息契約ニ如何ナル影響ヲ及ホスヤニツキ三說アリ第一說ハ法律不遡及ノ原則ニヨリ何等影響ヲ受クルコト無ク改正法實施後ニ於テモ從來約定利率ニヨルヘキモノトシ第二說ハ利息制限法ノ性質上當然遡及效ヲ生シ改正法實施前ニ

生シタル部分ニツキテモ新法ノ範圍ニ於テ利息ヲ定ムヘキモノナリトシ第三說ハ改正法實施前ニ生シタル利息ニハ舊法ヲ適用シ改正法實施後ニ生スル利息ニハ新法ヲ適用シテ利息ノ範圍ヲ定ムヘキモノナリト而シテ大審院ハ第一說ヲ採リ東京控訴院ハ第二說ヲ採リトクトルハ第三說ヲ採ル按スルニ利息制限法ハ利息ノ範圍ヲ規定シタルモノナレハ實體法ノ特則ニシテ而モ債權ニ關スル特則タルヲ以テ解釋モ債權契約ニ關スル法理ニ從ハサルヘカラス利息制限法ハ自ラ己ヲ保護シ能ハサル者ヲ保護シ善良ナル風俗ト秩序アル社會狀態ハ維持セントスル目的ヲ以テ規定セラレタルモノナレハ之ニ反スル特約ノ無效ナルハ民法九〇條ニ徵シテ明ナリ而シテ凡ソ債權契約カ民法九〇條ニ反スル爲メ無效トナルヤ否ヤハ該契約ノ締結當時(學者ニヨリテハ債權ノ成立當時ヲ標準トシテ定ムヘキモノニシテ一旦有效ニ成立シタル債權ハ假令履行期又ハ履行ヲ爲ス時ニ於テ社會狀態ノ變遷法律ノ改廢ニヨリ公序良俗ニ反スルニ到リ又ハ履行不能トナルモ該契約ノ效力ニハ影響ヲ及ホスモノニ非ス單ニ履行不能ニ基ク損害賠償危險負擔ノ問題ヲ生スルニ過キス利息ニ關スル契約モ此原則ニ從フハ當然ナルヲ以テ民法九〇條ノ解釋ニツキテハ大審院ノ見解ニ贊成セサルヲ得ス利息制限法カ公序良俗維持ヲ目的トスル點ヨリ觀察シテ當然遡及效アリト爲スヲ得ス勿論法律不遡及ノ原則ハ解釋法ニ關スル原則タルニ止マリ立法者ハ法ニ遡及效ヲ認ムル

ハ任意ナルヲ以テ明文ヲ以テ之ヲ規定シ又ハ遡及效ヲ認ムル趣旨ニテ規定シ得ルハ明ナリ從テ成法ノ解釋ニツイテモ明文ナキヲ以テ遡及效ナシト解スル能ハス宜シク法規ノ性質ヲ探究シテ解釋セサルヘカラサルハ勿論ナリト雖モ遡及効ハ認ムヘキヤ否ヤニツキ不明又ハ疑問アル場合ニハ遡及效ヲ認ムヘカラス依テ利息制限法ヲ按スルニ後述スル如ク遡及效ヲ認ムヘキ根據少キヲ以テ遡及效說ニハ左袒スルヲ得ス然レトモ大審院ノ見解ノ如ク改正法實施後ニ生スル利息ニツキテモ從來ノ約定利率ニヨルヘキモノナリトノ見解ニハ左袒スルヲ得ス蓋シ前述ノ如ク債權ノ履行ハ事實上及ヒ法律上履行可能ナルコトヲ要スルモノニシテ利息モ亦コノ原則ニ從ハサルヘカラス而シテ利息制限法ノ改正ニヨリ一部利息ノ範圍ヲ制限セラルルニ到リタルモノナレハ法律ニ基ク一部履行不能トナリタルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テ改正法實施後ハ新法ニヨリ利息ノ範圍ヲ定メサルヘカラス或ハ之ヲ難シテ曰ク履行ノ不能ナリヤ否ヤハ履行期ヲ標準トシテ定ムヘキモノナレハ利息債權ニ付テハ利息ノ支拂期ヲ以テ定ムヘキ理ニアラスヤ果シテ然ラハ改正前ニ支拂期ノ到來シタル部分ノ利息ハ舊法ニ因ルトスルモ新舊兩法ニ跨ル期間ノ利息ノ履行期ハ其期間ノ利息ノ支拂期トスレハ其時ヲ以テ履行ノ可能ナリヤ否ヤヲ決セサルヘカラス而シテ其時ヲ標準トスレハ其期間ニ於テ生シタル總テノ利息ニハ新法ヲ適用セサルヘカラサルヤラスアニ理

ト然レトモ利息債權ノ特質及ヒ民法八九條第二項ノ規定ヨリ同一ニ論スヘキニアラス民法八九條第二項ニ法定果實ハ之ヲ收取スル權利ノ存續期間ノ日割ヲ以テ之ヲ取得スト規定シタルハ法定果實ハ元本使用ノ對價トシテ時ノ經過ニ從テ發生スルモノニシテ法定果實ハ之ヲ生スヘキ基本的債權（例ヘハ利息ヲ生スヘキ基本的債權）ヨリ獨立シタルモノナレハ基本的債權ノ存續期間ノ割合ヲ以テ取得セシメルモノト謂ハサルヘカラス果シテ然ラハ利息ヲ出スヘキ基本的債權ト時ノ經過ニ從ツテ生スル利息債權トハ異リ二者各別個ノ事由ニヨリ履行不能トナリ得ルモノト謂ハサルヘカラス而シテ基本的債權カ履行不能トナリタルトキハ其時ヨリ利息ハ發生シ能ハサルニ到ルハ從タル性質上當然ナルモ既ニ生シタル利息債權ハ當然ニ消滅スヘキモノニアラス從テ舊法時代ニ成立シタル利息ハ新法ノ實施ニヨリテ理論上其範圍內ニ制限セラルヘモノト解スヘキニアラサルノミナラス若シ反對ノ見解ヲ採レハ舊法時代ニ履行シタルモノハ不履行ノ爲メ新法時代ニ履行スル者ヨリ不利益ヲ蒙ルニ到リ不履行ヲ奬勵スルカ如キ奇觀ヲ生セサルヤ又利息制限法ノ目的ハ其法規施行期間內ニ制限以上ノ利息ノ發生ヲ禁止セントスルモノナレハ其範圍內ニ於テ利息ノ發生不能トナリタルモノト解スルニ妨ケナシト信ス從テ政正法實施前ニ生シタル利息ニハ舊法ヲ適用シ改正法實施後ハ新法ニヨリ利息ノ範圍ヲ定ムヘキモノト信ス從テコノ點ニ於テ學士ノ

高見ニ雙手ヲ擧ケテ贊成スルモノナリト雖モ學士ハ改正法實施ニヨリ契約カ一部無效トナルモノノ如ク解セラルヽモ若シ斯クノ如ク解セラルルトキハ再ヒ舊法復活シタルトキハ如何ニ解スヘキヤ一旦無效トナリタルモノカ再ヒ有效トナリ能ハサルニアラスヤ而シテ其見解果シテ正當ナリヤ然リ而シテ一部不能說ニヨレハ當然復活シ利息ノ範圍カ從前ノ如ク擴張スルニ到ル結論ヲ生スヘシ吾人ハ曾テ東京控訴院ノ見解ニ從ヒタルコトアルモ上叙ノ理由ニヨリ此處ニ之ヲ改メント欲ス

（一八三）

衆議院議員選擧法三二　郡市長ハ各投票區內ニ於ケル選擧人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選擧ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選擧ノ當日投票所ニ參會セシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ得ス

同法一〇七　立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタルトキハ投票管理者選擧長ハ臨時ニ選擧人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

衆議院議員選擧法第三二條ニヨリ郡市長ヨリ投票立會人ニ選任セラレタル者ハ解任辭任又ハ死亡等ノ事由ニヨリ其資格ヲ喪失スルハ格別然ラスシテ單ニ指定ノ時刻ニ遲參シタル一事ニヨリ當然立會人タル資格ヲ失フモノト謂フヘカラス」衆議院議員選擧法第一〇七條ノ規定ハ畢竟投票立會人カ指定ノ時刻ニ參會セサル爲メ適法ニ投票ヲ開始スルコトヲ得サルヨリ機宜ノ處置トシテ投票管理者ニ臨時ニ選擧人中ヨリ之カ立會人ヲ選任スヘキコトヲ命シタルモノニ外ナラサル

モノニ係リ指定ノ時刻ニ參會セサル立會人ハ直ニ其資格ヲ喪失スルカ爲メ叙上ノ如キ規定ヲ設ケタルモノニ非サルヲ以テ同條ハ未タ以テ指定ノ時刻ニ遲參シタル投票立會人ハ當然其資格ヲ失フモノト解釋スルノ根據ト爲スニ足ラス」右ノ如キ場合ニ於テハ投票管理者ハ臨時ニ選擧人中ヨリ之カ立會人ヲ選任スヘキモノニシテ之カ選任ヲ爲シタルトキハ遲參シタル投票立會人ハ其資格ヲ喪失スルモノトス」

原院カ選擧ニ付キ據テ投票立會人ニ選任セラレタル甲カ指定ノ時刻ニ遲レテ參會シタルモ投票管理者ニ於テ其以前投票立會人ニアラサル乙カ立會セルニ心付カサリシ爲メ定數ノ立會人立會セルモノト信シ臨時ニ選擧人中ヨリ之カ立會人ヲ選任セス而シテ乙ハ甲ノ姿ヲ見ルヤ直ニ立會人席ヲ退キ甲カ代リテ其席ニ着キ他ノ三名ノ投票立會人ト共ニ定刻ニ至ル迄立會シタル事實ヲ認メ右甲カ立會人席ニ着キタル以後ノ投票ヲ有效ナリト判斷シタルハ至當ナリトス」

然レトモ衆議院議員選擧法第三二條ニヨリ郡市長ヨリ投票立會人ニ選任セラレタル者ハ解任辭任又ハ死亡等ノ事由ヨリ其資格ヲ喪失スルハ格別然ラスシテ單ニ指定ノ時刻ニ遲參シタル一事ニヨリ當然立會人タル資格ヲ失フモノト謂フヘカラス然リ而シテ同法第一〇七條ノ規定ハ畢竟投票立會人カ指定ノ時刻ニ參會セサル爲メ適法ニ投票ヲ開始スルコトヲ得サルヨリ機宜ノ處置トシテ投票管理者ニ臨時ニ選擧人中ヨリ之カ立會人ヲ選任スヘキコトヲ命シタルモノニ外ナラサルモノニ係リ指定ノ時刻ニ參會セサル立會人ハ直ニ其資格ヲ喪失スルカ爲メ叙上ノ如キ規定ヲ設ケタルモノニアラサルヲ以テ同條ハ未タ以テ指定ノ時刻ニ遲參シタル投票立會人ハ當然其資格ヲ失フモノト解釋スルノ根據ト爲スニ足ラス勿論右ノ如キ場合ニ於テハ投票理管者ハ臨時ニ選擧人中ヨリ之カ立會人ヲ選任スヘキモノニシテ之カ選任ノ爲シタルトキハ遲參シタル投票立會人ハ其資格ヲ喪失スルハ當然ナルニヨリ論旨所掲ノ如キ事例ノ場合ニ定數以上ノ立會人ヲ見ルカ如キ結果ヲ生スルコトナシ然ラハ原院カ本件選擧ニ付キ豫テ投票立會人ニ選任シラレタル佐阪要資カ指定ノ時刻ニ遲レテ參會シタルモ投票管理者タル被上告人ニ於テ其以前投票立會人ニアラサル小宮惣太郎カ立會セルニ心付カサリシ爲メ定數ノ立會人立會セルモノト信シ臨時ニ選擧人中ヨリ之カ立會人ヲ選任セス而シテ惣太郎ハ要資ノ姿ヲ見ルヤ直ニ立會人席ヲ退キ要資カ代リテ其席ニ着キ他ノ三名ノ投票立會人ト共ニ定刻ニ至ル迄立會シタル事實ヲ認メ右要資カ立會人席ニ着キタル以後ノ投票ヲ有效ナリト判斷シタルハ至當ナリトス(大審院大正九年(オ)第七九八號同年十月二十七日民三部横田裁判長大倉磯谷松岡藪關名判事判決)

【關係事項】上告棄却○原審長崎控訴院○衆議院議員選擧效力ニ關スル異議事件○上告人齋藤經二訴訟代理人辯護士八並武治同三苫眞九郎同伴輝吉被上告人福岡縣第七區衆議院議員選擧長大牟田市長

【前審判決】本卷諸法四〇五頁

（一八四）

明治六年布告第二一五號代人規則第五條ハ注意的規定ニシテ委任狀ノ書式ニ不備ノ點アルカ又ハ其授受ナキカ爲メ委任契約ヲ無效トスル趣旨ニアラス」

然レトモ既ニ說明シタル如ク原裁判所ハ證人近藤八衞門ノ證言及ヒ甲第十號證ニ依

リ本件賣買ニ關スル淸水玄四郎ノ代理權存在ノ事實ヲ認定シタルモノナレハ其採用シタル證據ノ内容ニ依リ之ヲ觀ルモ本件賣買ニ關シ委任狀ノ授受アリタルモノト認定シタルモノト解スルヲ相當トス又明治六年布告第二一五號代人規則第五條ハ注意的規定ニシテ委任狀ノ書式ニ不備ノ點アルカ又ハ其授受ナキカ爲メ委任契約ヲ無效トスル法意ニアラサルヲ以テ原裁判所カ「明治六年布告第二一五號代人規則第五條ニ本人ヨリ代理ヲ任シ他人ト契約取引等ヲ爲サント欲スルトキハ必ス實印ヲ押シタル委任狀ヲ與フヘキ旨同第七條ニ其委任狀ノ書式ヲ規定シタルコト控訴人（上告人）主張ノ如シト雖モ同布告中之ニ反スルハ委任狀ヲ無效トスル規定存セサルノミナラス元來委任狀ハ只代理權限存在ノ證明文書タルニ止リ正當ノ代理人タルコトノ證明セラル以上ハ假令其書式ニ不備ノ點アリ又ハ其不存在ノ場合ト雖モ之ヲ以テ直ニ代理權ナシト謂フヲ得サルモノト謂フヘク云々」ト判示シタルハ相當ト謂ハサルヲ得ス（大審院大正九年（オ）第六六一號同年十月二十九日民一部裁判長榊原尾吉鈴木鬼澤各判事判決）

【關係事項】　上告棄却○原審名古屋地方裁判所○不動産所有名義回復承認並物件返還請求事件○上告人江州甚太郎訴訟代理人辯護士谷村唯一被告人谷吾外四人

（一八五）

競賣法三二第二項　競落ヲ許ササル場合ノ新競賣期日競賣ノ履行及ヒ競落人ノ義務不履行ノ場合ニ於テスル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六七一條乃至第六七二條第六七二條乃至第六八三條……ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

民事訴訟法六七二　競落ノ許可ニ付テノ異議ハ左ノ理由ニ基クコトヲ要ス

同六八一　競落ヲ許ササル決定ニ對スル抗告ハ此法律ニ掲クル總テノ不許ノ原因ナキコトヲ理由トスルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

競落ヲ許シタル決定ニ對スル抗告ハ此法律ニ掲クル競落ノ許可ニ對スル異議ノ原因ノ一ヲ理由トスルトキ又ハ競落決定カ競落期日ノ調書ノ旨趣ニ牴觸シタルコトヲ理由トスルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

競賣法第三二條ニ依リ同法ニ準用シタル民事訴訟法第六八一條第六七二條ニ依レハ競落許可決定ニ對スル抗告理由ハ之ヲ其列擧シタル事由ニ制限シ之ニ該當セサルモノハ適法ナル抗告理由タルコトヲ得サルモノトス」競落許可決定ニ對スル抗告理由カ再競賣手續ニ於テ爲シタル競落代金カ最初ノ競賣價格ヨリモ低ク抗告人ニ不利益ナリト謂フニ止マルトキハ民事訴訟法第六七二條ノ列擧事由ニ該當セサルヲ以テ原審カ該抗告ヲ不適法ナリトシテ棄却シタルハ相當トス」

案スルニ競賣法第三二條ニ依リ同法ニ準用シタル民事訴訟法第六八一條第六七二條ニ依レハ競落許可決定ニ對スル抗告理由ハ之ヲ其列擧シタル事由ニ制限シ之ニ該當セサルモノハ適法ナル抗告理由タルコトヲ得サルモノトス而シテ抗告人ノ原審ニ提出シタル抗告理由ハ再競賣手續ニ於テ爲シタル競落代金カ最初ノ競賣價格ヨリモ抗告人ニ不利益ナリト謂フニ止マリ右列擧事由ニ該當セサルヲ以テ原審カ本件抗告ヲ不適法ナリトシテ棄却シタルハ相當ナリ（大審院大正九年（ク）第一五三號同年十月二十八日民二部馬場裁判長田上礒谷成道三宅各判事決定）

【關係事項】　抗告棄却○原審大阪地方裁判所○不動産競賣事件競落許可決定ニ對スル抗告事件○抗告人五木秀調

【競落許可決定ト抗告ノ許否ニ關スル參照學說判例】

一　競落ヲ許ササル決定ニ對スル即時抗告ハ民事訴訟法ニ定ムル總テノ競落不許可ノ原因ナキコトヲ理由トスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス又競落ヲ許ス決定ニ對スル即時抗告ハ民事訴訟法ニ定ムル競落ノ許可ニ對スル異議ノ原因ノ一ヲ理由トスルトキ又ハ此決定カ競賣期日ノ調書ノ趣旨ニ牴觸シタル事ヲ理由トスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノナリ然レトモ即時抗告カ取消ノ訴又ハ原狀回復ノ訴ノ理由タル事情ヲ以テ其理由トスルトキハ前述ノ事由ヲ以テ其理由トセサルトキト雖モ競落ヲ許ササル決定又ハ競落ヲ許ス決定ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ（法學博士仁井田益太郎氏民事訴訟法論一三六二頁）

雉本博士　板倉博士　松岡博士　岩田博士　大審院

二 所謂債權者ノ詐欺手段ニシテ競賣申込人ト通謀シタリト云フ程度ノ事實ニ非スシテハ競賣ノ目的タル建物ヲ格外ノ低價ニ競賣セラレタリト云フニ止マルトキハ競賣不動產ノ所有者カ競落許可ノ決定ニ對シテ抗告ヲ申立ツルコトヲ得サルヤ論ヲ俟タス（法學博士雉本朗造氏判例批評錄第二卷二頁）

三 競落許可決定ニ對スル抗告ニ付テハ法律ハ其理由ヲ制限セリ第六七二條ニ規定セル異議ノ原因競落決定カ競賣期日ノ調書ノ趣旨ニ牴觸スルトキ及最高價競買人カ競落期日ニ第六七八條ニ從ヒ競買申立ヲ取消シタルニ拘ラス之ニ對シ競落許可ノ決定ヲ爲シタルトキ之ナリ（法學博士板倉松太郎氏强制執行法義海七七四頁以下）

四 其要件ノ第二ハ競落ヲ許サヽル決定ニ對スル抗告ハ取消ノ訴若クハ原狀回復ノ訴ノ要件タル理由ヲ不服申立ノ理由ト爲ス外法律上競落ヲ許サヽル理由存セサルコトヲ理由トシテ又競落ヲ許シタル決定ニ對スル抗告ハ法律上競落ヲ許サヽル理由ノ存スルコト競落決定カ競落期日ノ調書ノ旨趣ニ牴觸セルコトヲ理由トスルトキニ限リ之レヲ爲スコトヲ得ルコト是ナリ斯ノ如ク抗告ノ理由ヲ限定シタルハ該抗告カ違法ノ結果除去ヲ目的トシタレハナリ（法學博士松岡義正氏東京法學院大學講義民事訴訟法居五四頁）

五 以上三種ノ關係人ヨリ抗告ヲ許スヲ得ヘキモ其抗告ノ理由トシテハ競落ヲ許サヽル決定ニ對シテハ法律ニ規定セル總テノ不許ノ原因カ存セサルコトヲ主張スルコトヲ要シ競落ヲ許シタル決定ニ對スル抗告ハ第六七二條第一號乃至第八號ニ所揭ノ事項ノ一カ存スルコト或ハ競落決定カ競落期日ノ調書ノ趣意ニ牴觸シタルコトヲ理由トスルコトヲ要シ其他再審ニ於ケル取消ノ訴又ハ原狀回復ノ訴ヲ爲スニ必要ナル條件ヲ理由トスルトキハ前示ノ理由ニ拘ハラス抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ（法學博士岩田一郎氏民事訴訟法原論第十版一二三三頁）

六 競落決定ニ對スル抗告ハ民事訴訟法第六八一條第二項ニ限定シタル理由ヲ以テ其理由トスルトキニ限リ之ヲ許スモノトス（大審院大正四年（ク）第三四八號同年七月十日決定本書第四卷民訴一八二頁）

七 不動產競賣事件ノ競落許可決定ニ對スル抗告ハ民事訴訟第六七二條ニ揭ケタル事由又ハ競落決定カ競落期日ノ調書ノ旨趣ニ牴觸シタルコト又ハ取消ノ訴若クハ原狀回復ノ訴ノ要件ヲ理由トスルトキニ限リ之ヲ爲シ得ヘキモノナレハ單ニ不動產カ詐欺ノ手段ニ罹リ格外ノ低價ニ競賣セラレタリト云フニ過キサル場合ハ抗告理由トナラサルモノトス（大審院大正二年（ク）第四六八號同三年一月十九日決定本書第二卷諸法一八五頁）

判旨ハ正當ナリ蓋シ再競賣手續ニ於テ爲シタル競落代金カ最初ノ競賣價格ヨリモ低ク抗告人ニ不利益ナリト謂フニ止マル場合ニ於テハ適法ナル抗告理由アルモノト謂フコトヲ得サルヤ論ヲ俟タサレハナリ（競賣法第三二條民訴第六七二條第六八一條二項參照）

東京地方裁判所決定

（一八六）

競賣法二四第三項　申立書ニハ競賣ニ付スヘキ不動產ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

民事訴訟法第六四三條第一項第二號乃至第五號第二項及ヒ第三項ノ規定ハ第一項ノ申立ニ之ヲ準用ス

同二七第三項　左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

一 申立人
二 債務者及ヒ所有者
三 登記簿ニ登記シタル不動產上ノ權利者
四 不動產上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者

同三二第二項　競落ノ手續競落ヲ許サヽル場合ノ新競賣期日競買ノ履行及ヒ競落人ノ義務不履行ノ場合ニ於ケル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六七一條乃至六七四條第六七六條乃至第六八三條第六八七條及ヒ第六八八條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

民事訴訟法六八一第二項　競落ヲ許シタル決定ニ對スル抗告ハ此法律ニ揭クル競落ノ許可ニ對スル異議ノ原因ノ一ヲ理由トスルトキ又ハ競落決定カ競落期日ノ調書ノ旨趣ニ牴觸シタルコトヲ理由トスル時ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

抗告人ハ競落許可アリタル建物ハ抗告人之ヲ所有セスト主張スル以上其主張自體ニヨリテ抗告人ハ競落許否ニ付何等ノ損失ヲ蒙ル者ニ非サルコト明ナレハ抗可決定告人ハ利害關係アリト謂フヲ得ス」

不動產競賣手續ニ在リテハ登記簿表示ノ物件ヲ競賣ノ目的ト爲スニ止マリ該表示物件ヲ現實ノ物件ニ付キ具體的ニ確定スルモノニ非ス從テ競賣ノ目的タル登記簿表示ノ物件ト抗告人ノ現實所有ノ建物トカ同一ナリヤ否ヤハ固ヨリ競落許可決定ニヨリ確定スヘキ事項ニ非ス」

鑑定ノ當否ノ如キハ執行方法ニ對スル異議ノ理由ト爲スハ格別競落許可決定ニ

對スル抗告ノ理由ト爲スヲ得サルモノトス』

抗告人ハ東京區裁判所大正九年(ぬ)第一三一號建物競賣申立事件ニ付同年七月一〇日同裁判所ノ言渡シタル競落許可決定ヲ取消シ更ニ相當裁判アリタキ旨申立テ其理由トシテ相手方ハ債務者日比好太郎ニ對シ元金四千五百圓ヲ貸與シ其債權ヲ確保スル爲メ同人所有ノ東京市牛込區神樂町三丁目一番地所在…ノ二棟ノ外一棟計三棟ノ家屋ニ抵當權ヲ設定シタリ而シテ抗告人ハ其後大正八年五月二九日右抵當權設定ノ債右日比好太郎ヨリ買受ケタリ依テ實地ニ就キ調査スルニ右二棟ノ家屋ハ登記簿上ニ其記載アルニ止マリ其前既ニ取毀タレ同所ニ同人所有ノ未登記ノ木造瓦葺二階建建坪十九坪外二階建十七坪五合一棟ノ家屋新築セラレアリタルヲ以テ更ニ之ヲ買受ケタルモノナルニ相手方ハ前示抵當權ノ實行トシテ右登記簿上ノ二棟ノ建物ニ對シ抗告人ヲ其所有者ト爲シ競賣ヲ申立テ前示ノ如ク競落許可決定アリタルモノナリ然レトモ前述ノ如ク登記表示ノ右二棟ノ家屋ハ抗告人買受ノ登記ヲ爲ス以前既ニ取毀タルモノナルハ抗告人ハ現ニ之ヲ所有スルモノニ非ラス然レハ本件競落許可確定スルレアモ之ヲ引渡スコト能ハス目的物現存セサルカ故ニ鑑定人ハ當該目的物ニ付キ鑑定ヲ爲スヲ得ス然ルニ鑑定人吉田光風ハ登記簿上本件二棟ノ家屋ハ本登記ノ右一棟ノ家屋ニ變更シタルモノトシ右一棟ノ家屋ニ基キ其價格ヲ鑑定シタル失當アルノミナラス競賣公告ノ要件タル不動産ノ表示ヲ所有者ニ非ラサル抗告人ノ所有者ト表示シタルハ不適法ナリト申立テ相手方ハ抗告人ノ主張ノ抗告人カ日比好太郎ヨリ買受ケタル未登記建物ハ本件抵當權設定ノ建物ト同一ナリト述ヘ疏明方法トシテ甲第一號證乃至第六號證ヲ提出シタリ

案スルニ抗告人ハ本件競落許可アリタル建物ハ抗告人之ヲ所有セスト主張スルヲ以テ其主張自體ニヨリテ抗告人ハ競落許否ニ付何等ノ損失ヲ蒙ル者ニ非ラサルコト明カナレハ抗告人ハ利害關係アリト云フヲ得サルヘク不動産競賣手續ニ在リテハ登記

簿表示ノ物件ヲ競賣ノ目的ト爲スニ止マリ該表示物件ヲ現實ノ物件ニ付キ具體的ニ確定スルモノニ非ラス從テ本件競賣ノ目的タル登記簿表示ノ物件ト抗告人主張ノ抗告人所有ノ建物トカ同一ナリヤ否ヤハ固ヨリ競落許可決定ニヨリ確定スヘキ事項ニ非ラス次ニ記錄添付ノ登記簿謄本ニヨレハ本件競賣ノ目的タル物件ニ付キ抗告人ハ所有者トシテ登記セラレアルヲ以テ抗告人ヲ以テ目的物件ノ所有者トシテ表示スルモ何等不適法ナル處アルコトナシ而シテ鑑定ノ當否ノ如キハ執行方法ニ對スル異議ノ理由ト爲スハ格別競落許可決定ニ對スル抗告ノ理由ト爲スヲ得ヘキモノニ非ラス從テ本件抗告ハ總テ理由ナシ(東京地方裁判所大正九年(ソ)第六一號同年一〇月一四日民六部近藤裁判長芝崎杉野各判事決定)

【關係事項】 棄却○不動産競落許可決定ニ對スル抗告○抗告人於會錄樓相手方岩本佐助

――(一八七)――

鑛業法四　本法ニ於テ鑛業權ト稱スルハ試掘權及採掘權ヲ謂フ鑛業權者ハ鑛區ニ於テ其許可ヲ受ケタル鑛物ヲ掘採シ及之ヲ取得スル權利ヲ有ス但シ鑛區ノ重復シタル場合ニ於テハ鑛業權者ハ互ニ其權利ヲ制限セラル

同一五　鑛業權ハ物權トシテ不動産ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民法第一七九第一項ノ規定ハ此ノ限リニ在ラス

同五六　鑛業權者ハ左ニ揭クル目的ノ爲必要アルトキハ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

一　錐鑽又ハ坑口ノ開穿

二　鑛物土石爆發藥用材薪炭鑛滓又ハ灰燼ノ置場ノ設置

三　選鑛場又ハ製錬場ノ建設

四　鐵道軌道道路運河溝渠管樋池井索直又ハ電線ノ開設

五　其ノ他鑛業上必要ナル工事又ハ工作物ノ施設

前項ノ規定ニ依リ鑛業權者他人ノ土地ヲ使用セムトスルトキハ〔鑛山監督署長〕ノ許可ヲ受クヘシ

〔鑛山監督署長〕前項ノ許可ヲ與ヘタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

前項ノ通知ノ後鑛業權者ハ其土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及ヒ關係人ニ協議ヲ爲スヘシ

同六二　第五十六條ノ通知ノ後土地ノ形質ヲ變更シ工作物ノ新築改築增築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物權ヲ附加增置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ〔鑛山監督署長〕ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ

小島ドクトル

關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ス
同九四　鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ〔重禁錮〕又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
過失ニ因リ鑛區外ニ侵掘シタルモノハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
民法二〇五　本章ノ規定ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ財産權ノ行使ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
同二〇六　所有者ハ法令ノ制限内ニ於テ自由ニ所有物ノ使用收益及ヒ處分ヲ爲ス權利ヲ有ス

甲鑛業權利者カ採掘權ヲ有スル地域内ニ土地ヲ所有スル乙者カ其所有地ニ水道管ヲ設クル爲メ該地下ニ掘穿工事ヲ爲サントスル場合ニ其工事カ甲ノ鑛業權ヲ侵害スル虞アルコト明ナルトキハ甲ハ其鑛業權ニ依リテ之ヲ差止ムルコトヲ得ルモノトス」

甲鑛業權利者カ採掘權ヲ有スル地域内ニ土地ヲ所有スル乙者カ其所有地ニ水道等ヲ設クル爲メ該地下ニ掘穿工事ヲ爲サントスル場合ニ其工事カ甲ノ鑛業權ヲ侵害スルノ虞アルコト明ナルトキハ甲ハ其鑛業權ニ依リテ之ヲ差止ムルコトヲ得

鑛區カ該土地ニ許可セラルルハ其土地ノ通常ノ生産利得タルハ其鑛業權ノ採掘利益等ヲ優レリト爲スモノニシテ之レ鑛業上(例ヘハ二五條二六條)特ニ「鑛利」ナル用語ノ認メラルル所以ナリ故ニ鑛業權者ハ其權利ノ許可(設定)ニ依リテ其權利ノ範圍内ニ於テ地表所有ヲ制限シ(民法二〇六條)之レニ優ルコトヲ得故ニ制限セラレタル乙ノ所有權ハ其行使ニ當テ優リタル甲ノ鑛業權ヲ侵害スルコトヲ得ス所有權ハ物權トシテ土地ノ上下ニ及ヒ(二〇七條)其他絶對權タル性質ヲ有スト雖モ其地域内ニ鑛業權ノ許可ニ依リテ鑛區カ設定セラレタルトキハ其權利ノ爲メ所有權ノ其特徴ハ之ニ對シテ現ハルルコトヲ得サルモノトス之ニ依リテ乙ノ其工事カ單ニ鑛業權ノ侵害ノ虞アルノミナルトキト雖モ既ニ之ニ對スル妨害ノ危險アルトキハ其工事ニ依リテ損害ヲ生スル虞アルトキハ鑛業權者ハ同法一五條及民法二〇一條ノ明文ニ依リテ該工事ヲ差止ムルコトヲ得其侵害ノ虞アルカ否カハ通常斯カル工事カ行ハルルコトノミニテ足ルヘキ其工事カ小ニシテ鑛業權ト關スルコト大ナラサルトキハ甲ハ之ニ依ル侵害ヲ明ニ證明セサル可ラス玆ニ侵害ハ損害ノ發生ト認メラルルモノトス而シテ所有權ニ對スル侵害カ損害ヲ生セサル場合ト關スル禁止ノ説明ハ之ヲ準用スルコトヲ要セス鑛業法一一條ハ水道類似ノ運河堤塘等ノ在ル地表地下トモ其周圍三〇間以内ノ場所ニ於テハ所轄官廳ノ許可ト所有者及ヒ關係人ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ鑛業ヲ爲スコトヲ得ス但所有者及關係人ハ正當ノ理由ナク其承諾ヲ拒ムコトヲ得スト爲シ乙ノ斯カル工事ノ行ハレタル一定ノ、地域内ハ鑛業ノ行使ニ關シ制限アルモ之ヲ禁示シタルニ非ス單ニ鑛務行政上法律ニ依リテ其種ノ地表ニ對シテ之ヲ緩和シタルモノニシテ其權利ノ設定後乙ノ所有權ノ制限ヲ緩和スル規定ニ非ス故ニ之ヲ援用又ハ類推シ其鑛業權ノ優越委棄的又ハ負擔的制限ヲ覆スコトヲ得ス(ドクトルユリスプロフエソル小島愛三郎氏法學新報第三〇卷第九號九八頁「鑛業權ノ目的地ト所有者ノ掘穿工事」要領)

中口氏

鑛業權ハ或一定ノ土地内(鑛區)ニ存スル鑛物ヲ掘採シ之ヲ取得スルコトヲ内容トスルニ止マル對世權ニシテ他物權ト異リ所有權ヲ制限スル效ナシ從テ土地所有者ハ其土地内ニ鑛區カ設定セラルルトモ自由ニ土地ヲ使用シ得ルヲ原則トス然レトモ鑛業權モ物權ナルヲ以テ鑛業權ノ目的トモ稱スヘキ鑛物其物ノ採掘ニ付キ利益ヲ減殺スルカ又ハ減殺スルノ虞アルトキハ鑛業權ノ侵害トナルヲ以テ鑛業權者ハ其工事ノ差止ヲ爲シ得ルモ然ラサルトキハ後日稼業ノ不利益トナルコトト顯著ナルトキト雖モ鑛業權ノ侵害トナルコトナキヲ以テ其工事ノ差止ヲ爲シ

得サルモノトス」

余ハ鑛業法ノ解釋トシテ鑛業權ハ或一定ノ土地内(鑛區)ニ存スル鑛物ヲ掘採シ之ヲ取得スルコトヲ内容トスルニ止マル對世的權利ナリト解ス即チ鑛業權ハ土地所有權ヨリ分離セラレタル鑛物其物ヲ目的トスルニ止マリ彼ノ地上權永小作權地役權等ノ如キ他物權トハ異リ土地所有權ニ屬スル目的物其モノ(鑛脈以外ノ地殼)ノ支配ヲ制限スル效力アルモノニ非ス換言スレハ民法ニ於ケル他物權ハ啻ニ他人ノ所有物上ニ於テ行ハルルニ止マラス其物ノ所有權ノ内容ヲ制限スルノ效力ヲ有スルニ反シ鑛業權ハ土地所有權ヨリ分離セラレタル鑛物ヲ目的トシ土地所有權ノ内容ヲ制限スルノ效力ナキモノナリ故ニ鑛業權ハ民法ニ所謂他物權又ハ制限物權トハ大ニ其趣ヲ異ニスソレ斯ノ如ク鑛業權ハ其特質トシテ當然ニハ其鑛區タル土地(鑛物存在部分以外ノ地殼)ヲ支配スルノ效力ヲ有セサルモノトス其結果トシテ土地所者者ハ其土地内ニ鑛區カ設定セラルルトモ其目的ニ屬セサル部分ニ對シテハ其地表タルト地中タルトヲ問ハス自由ニ之ヲ使用シ得ルヲ以テ原則ト爲ササルヘカラス我鑛業法ハ亦此原則ヲ採用セルモノナルコトハ鑛業法カ特ニ其第五〇條以下ニ於テ鑛區ノ内外ヲ區別セス鑛業ノ爲メ必要ナル土地ハ之ヲ使用シ得ル旨ノ規定ヲ設ケ殊ニ第五六條末項ニ於テ土地ノ使用ニ關シテハ必ス土地所有者ト協議ヲ遂クルコトヲ要スル旨ヲ規定シタル事ノミニ就テ考フルモ疑ヲ容レサル所ナリ然レトモ其何ノ場合ニ於テモ鑛業權ノ目的トモ稱スヘキ鑛物其ノモノノ採掘ニ因テ得ヘキ利益ヲ減殺スルカ又ハ減殺スルノ虞アルトキハ鑛業權ノ侵害トナル可シ此場合ニ限リ鑛業權者ハ土地所有者ノ施ス水道其他ノ工事ヲ差止メ得ルモノトス鑛業權ノ侵害ハ鑛物ノ採掘其ノモノニ關係アルコトヲ要スルヲ以テ之ニ關係ナキ場合ニ在リテハ假令鑛業權者カ土地所有者ノ爲ス工事ノ爲メニ後日稼業上ノ不利益ヲ被ルコト顯著ナルトキト雖トモ鑛業權ノ侵害トナルコトナシ例ヘハ鑛物ノ採掘ニ妨ケトナラスシテ單ニ採掘シタル鑛物ノ運搬其

他ノ操業ノ妨ケトナルコト明カナル場合ニ於テモ鑛業權ノ侵害トナラサルカ如シ此場合ニ在リテハ鑛業權者ハ土地所有者ノ爲ス水道其他ノ工事ヲ差止ムルコトヲ得サルモノトス要スルニ土地所有者ハ其土地内ニ鑛業權カ設定セラルルモ鑛業權ノ目的物タラサル鑛物ヨリ成ル地以外ノ部分ニ對シテハ依然土地所有者トシテ之ヲ支配シ得ルモノナレハ其地表タルト地中タルトヲ問ハス之レニ水道其他ノ掘鑿工事ヲ施スハ固ヨリ其ノ自由ニ屬ス只土地所有權ヨリ分離セラレ既ニ鑛業權ノ目的トナリタル目的トナリタル鑛物ノ採取ニ因テ得ヘキ鑛業權者ノ利益ヲ侵害スヘキ掘鑿工事ヲ爲スコトヲ得サルニ過キサルモノトス故ニ本問ノ場合ニ於テ若シ該工事カ鑛物ノ採掘ニ影響ヲ與ヘ其ノ採取ニ因テ受クヘキ鑛業權者ノ利益ヲ損シ又ハ損スル虞アルトキハ鑛業權ノ侵害トナルカ故ニ鑛業權者ハ之カ差止メヲ爲スコトヲ得ヘシ之ニ反シテ該工事カ鑛物ノ採掘ニ何等ノ影響ヲ及ホシ又ハ及ホスノ虞ナキモノナラハ鑛物ノ採取ニ因テ得ヘキ利益ヲ損シ又ハ損スルノ虞ナク隨テ鑛業權ノ侵害トナラサルヲ以テ假令該工事ノ鑛業權者カ後日稼業上不利益ヲ被ルコト顯著ナル場合ニ於テモ鑛業權者ハ其工事ノ差止メヲ爲シ得サルモノトス(中口末松氏法律新聞一七六四號五頁一七六五號五頁「土地所有權ト鑛業權トノ關係ニ就テ」要領)

【參照判例】

本卷諸法二八二頁

鑛業權ト所有權トノ干係ニツキ兩氏ノ高見ニ接シタルヲ以テ此處ニ吾人ノ見解ヲ披攊シ諸賢ノ御批判ヲ乞ハント欲ス鑛業權者ハ鑛業權ヲ侵害スル虞アル土地所有者ノ工事ハ之ヲ差止メ得ルコトハ兩氏ノ高見ヲ俟ツ迄モナク明白ナリト信ス唯鑛業權カ土地所有權ニ優越シ負擔的制限力ヲ有スルモノナリヤ換言セハ鑛

業權ハ鑛區タル土地ヲ支配シ所有權ノ内容ヲ制限スル地上權又ハ地役權ト同一性質ヲ有スル制限物權的權利ナリヤ又ハ鑛業權ハ土地所有權ト獨立對等ノ權利ナリヤハ疑問ノ存スル所ナリ若シ鑛業權ハ鑛區ヲ支配シ土地所有權ヲ制限スル效力ヲ有スルモノトスレハ土地所有者ハ鑛業法ニヨリ鑛業權ヲ侵害セサル義務ヲ課セラレタルモノナレハ鑛業權ヲ侵害スル虞アル行爲ハコノ義務ニ違背スルモノナレハ鑛業權者ハ民法一九八條以下ノ規定ヲ適用スル迄モナク之ハ差止メ得ルモノト解セサルヘカラス之ニ反シテ鑛業權ハ所有權ト獨立對等ノ關係ニ立ツモノトスレハ占有ニ基ク訴ニヨリ防害排除ヲ求メ得ヘシ而シテ中口氏ハ後説ヲ探リ小島氏ハ何レノ見解ヲ持セラル丶ヤ稍不明ナルヲ遺憾トス按スルニ鑛業權ハ鑛區ニ於テ其許可ヲ受ケタル鑛物ヲ堀採シ之ヲ取得スル權利(同法四條)ニシテ將ニ採堀セントスル鑛物ヲ其目的トスルモノナレハ未タ目的ハ確定セス從テ普通ニ所謂物權ニアラスト雖モ其物ニツキ他人ヲ排シテ之ヲ取得シ得ル權利ナルヲ以テ鑛業法ハ之ヲ物權トシテ不動産ニ關スル規定ヲ準用セリ(同法一五)然レトモ鑛業權ハ不動産物權中如何ナル物權ニ關スル規定ヲ準用スヘキカ明文ヲ置カサルヲ以テ理論ニヨリ之ヲ決セサルヘカラス或ハ同條第二項ヨリシテ制限物權ト解スルモノアランモ鑛業權ト所有權ト同一人ニ歸シタルトキ鑛業權消滅ストスレハ未タ採堀セサル鑛物ハ國ノ所有ニシテ(同法四條)土地所有者ト雖モ之ヲ

堀採シ得サルヲ以テ規定シタルモノニシテ寧ロ當然ノ規定ナリ或ハ鑛業權者ハ他人ノ土地ヲ使用スルニアラサレハ鑛物ヲ採堀シ能ハサルヲ以テ同法五〇條以下ニ鑛業權者ハ他人ノ土地ヲ使用シ得ル旨ヲ規定スルヲ以テコノ範圍ニ於テ他人ノ土地ヲ支配シ使用權ヲ有スルモノナレハ他物權的性質ヲ有スト解スル者アランモ他人ノ土地ヲ自己ノ便益ニ供シ得ル權利ヲ有スル場合ハ常ニ他物權タル性質ヲ有スト解スヘキニアラス相隣地者間ノ土地使用權ニツキ佛法及ヒ舊民法ハ之ヲ法定地役權ナリト解シタレトモ學者一般ニ之ヲ難スル所ニシテ寧ロ所有權ノ本質(民法二〇六)上當然ノ規定ナリ卽チ所有者カ完全ノ所有權ヲ有シ且ツ隣地所有者ニ對シ不作爲又ハ容認ノ義務ヲ負擔スルノ觀念ニアラスシテ所有者ハ法令ノ範圍内ニ於テ權利ヲ有スル當然ノ結果ナリ而シテ所有權ハ土地ノ上下ニ及フト雖モ鑛物ハ國家ノ所有ニ屬シ土地所有權ノ目的物ニアラサルノミナラス鑛業權者ハ之ヲ目的トシテ二者其目的物ヲ異ニシ獨立對等ノ地位ニ立ツモノト謂ハサルヘカラス鑛業權者カ鑛物採堀ノ必要上他人ノ土地ヲ使用シ得ルハ法令ニ基クモノニシテ所有者ノ權利ヲ制限スルモノニアラス又土地所有者ニ新ニ義務ヲ課シタルモノニモアラス民法二〇六條ノ規定ニ基キ土地所有者ハカヽル制限内ニ於テ土地ヲ支配シ得ルモノト解セサルヘカラス從テ吾人ハ中口氏ノ説ニ左擔セスト欲ス

衆議院選擧法九六　第八十九條乃至第九十五條ノ所爲ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙雜誌引札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス人ヲ敎唆シタル者ハ其ノ各條ニ依リ處斷ス但シ新聞紙雜誌ニ在リテハ仍其ノ署名シタル編輯人ヲ處斷ス

同九七　當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙雜誌引札張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス議員候補者ニ虛僞ノ事項ヲ公ニシタル者ハ六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス新聞紙雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

刑法八　本法ノ總則ハ他ノ法令ニ於テ刑ヲ定メタルモノニ亦之ヲ適用ス但其法令ニ特別ノ規定アルトキハ此限ニ在ラス

衆議院議員選擧法第九七條本文ノ罪ノ成立スルニハ當選妨害ノ目的ヲ有シ且議員候補者ニ對シ公ニシタル事項カ虛僞ナルコトノ認識アルヲ必要トスルモ同條但書ノ場合ニ於テハ本文虛僞事項ノ揭載セラレタル新聞紙雜誌ノ編輯人及ヒ實際編輯擔當者ハ如上目的及認識ノ有無ニ關セス單ニ編輯人トシ署名シ若クハ現實編輯事務ヲ擔當スルヲ以テ足ルモノトス」

同條ニ所謂虛僞ノ事項中ニハ直接議員候補者自身ニ關スル事項ノミナラス間接事項ト雖モ其事項カ候補者ニ關連シ之ヲ公表スルコトカ當選防害トナルヘキ性質ノモノナル以上ハ總テ之ヲ包含スルモノトス」

（一）衆議院議員選擧法第九七條ニハ當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙雜誌云云議員候補者ニ關シ虛僞ノ事項ヲ公ニシタル者ハ云云新聞紙雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ルト規定ス同法第九六條但書ニハ新聞紙雜誌ニ在リテハ仍其ノ編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰スト規定セルヲ以テ第九七條本文ノ罪ノ成立スルニハ當選妨害ノ目的ヲ有シ且議員候補者ニ對シ公ニシタル事項カ虛僞ナルコトノ認識アルヲ必要トスルモ同條但書ノ場合ニ於テハ本文虛僞事項ノ揭載セラレタル新聞紙雜誌ノ編輯人及實際編輯擔當者ハ如上目的認識ノ有無ニ關セス單ニ編輯人トシ署名シ若クハ現實編輯事務ヲ擔當シタルノ故ヲ以テ本人ノ實行正犯者ト同シク處斷セラルヘキモノト解セサル可ラス而シテ原判決判示事實ハ論旨ニ揭クルカ如クニシテ被告豐ハ岩手日報ノ署名編輯人被告諫治ハ同新聞ノ實際編輯擔當者ニシテ右新聞紙上ニ議員候補者菊池長右衞門ニ對スル判示虛僞ノ事項ヲ揭載公表シタルモノナレハ所論特別ノ目的ノ有無ニ關セス如上法條但書ニ依ル刑責ヲ負フ可キハ勿論ナリ故ニ原判決カ此點ニ付判示スル所ナカリシハ正當ナリ

（二）【上告理由】原判決ハ其事實理由中上告人等ハ岩手日報紙上ニ「柏崎倉吉佐々木米藏外三名ハ菊池長右藏門ノ運動員ニ關係スル違反事件ニテ買收ニ關與シタル嫌疑ノ爲メ拘引セラレタル旨ノ虛僞ノ事實ヲ揭載發行シタル旨」判示シ衆議院議員選擧法第九七條ヲ適用處斷シタリ然レトモ同條ノ規定ハ其明文上明ナルカ如ク議員候補者自身ニ關スル虛僞ノ事項ヲ公ニスルコトヲ犯罪構成ノ要件トスルモノナリトス然ルニ右事實理由ニ判示スル所ニヨレハ上告人等ノ公ニシタル事項ハ議員候補者自身ニ關スル事項ニアラスシテ議員候補者菊池長右衞門ト如何ナル關係アルヤ全ク不明ナル柏崎倉吉佐々木米藏外三名ニ關スルモノナリトス左レハ上告人等ノ所爲ハ前示法條ニ該當スル犯罪ヲ構成スル謂ナキモノナルニ轍ク右法條ヲ適用シテ有罪ノ言渡ヲ爲シタルハ違法ナリ

【判決理由】所論法條ニ所謂虛僞ノ事項中ニハ直接議員候補者自身ニ關スル事項ノミナラス間接事項ト雖モ苟モ其事項カ候補者ニ關連シ之ヲ公表スルコトカ候補者ノ議員當選ヲ妨クルニ至ルヘキ性質ノモノナル以上ハ總テ之ヲ包含スルモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ原判決ニ所論ノ如キ違法アルコトナク論旨ハ理由ナシ（大審院大正九年（れ）第二四四〇號同年十二月二十二日刑三部棚橋裁判長堀藤波泉二横村各判事判決）

【關係事項】上告棄却〇原審盛岡地方裁判所〇衆議院議員選擧法違犯被告事件〇被告人野々村豐外一人辯護人中村熊治同志賀和多利

判旨第一點第二點共ニ吾人ノ贊成スル處ナリ新刑法ノ總則ハ特別刑法ニ適用ス

ルヲ原則トスレトモ其法令中刑法總則ノ或規定ヲ適用セサルコトヲ規定スルモノ若クハ解釋シ明ニ例外規定タル性質ヲ有スルモノニハ刑法總則ノ或規定ヲ適用スルコトヲ得サルハ刑法第八條ノ解釋上明ナリ然リ而シテ新聞紙法出版法衆議院選擧法等ニハ不論罪ノ規定ヲ適用セサル旨ヲ明定セサルモ法規ノ性質上發行人又ハ編輯人ノ故意ヲ要セサルコト學說判例殆ント一致スル所ニシテ吾人亦之レニ贊成スルモノナリ又衆議院選擧法第九七條ハ當選防害ノ目的ヲ以テ規定シタルモノナレハ同條ニ所謂虛僞ノ事項ハ當選防害トナル事項タル以上ハ候補者ニ直接關係アル事項タルト間接關係アル事項タルトヲ問ハス包含スルモノト解セサルヘカラス然ラスンハ其目的ヲ一部達スル與ハサルヲ以テナリ從テ判旨ニ贊成セサルヲ得ス

(一八九)

民事訴訟法二一八　裁判所ニ於テ顯著ナル事實ハ之ヲ證スルコトヲ要セス

衆議院議員選擧法五八　左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一　成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

二　一投票中二人以上ノ被選擧人ヲ記載シタルモノ

三　被選擧人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四　被選擧權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五　被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

或事實カ一地方ニ於テ其存在ノ確實ナルコトニ付キ毫モ疑ヲ挾マサル程度ニ一

般人ニ知了セラレ又ハ一般ニ認識セラルル時ハ假令裁判官カ其職務外ニ於テ之ヲ知了シタル場合ト雖モ尚ホ之ヲ以テ裁判所ニ顯著ナル事實トス」

衆議院議員ノ選擧ニ付キ各選擧區ニ於テ何人カ候補者ナルカ其地方ニ於テ一般人ニ知了セラレタルトキハ裁判所ニ顯著ナル事實ナリトス」

衆議院議員選擧法第五八條第五號ニ被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタル投票ヲ無效トシ唯被選擧人ノ何人ナルヤヲ明確ナラシムヘキ官位職業身分住所ノ記載及ヒ被選擧人ヲ尊敬スルノ意ニ出テタル敬稱ノ類ノ記入ヲ以テ他事ノ記載ニ屬セサルモノトシテ之ヲ許容シタル趣旨ハ蓋シ被選擧人ノ氏名及ヒ之ヲ明確ナラシムル文字若クハ敬稱以外ノ他事ノ記載ハ假令選擧人ニ於テ之ニ依リ投票以外ニ何事カヲ表示セントスルノ意思ニ出テサリシモノトスルモ其記入アルコトニヨリ選擧人ノ何人ナルヤヲ探知スルコトヲ得テ我選擧法ノ採用シタル無記名投票ノ精神ヲ破壞スルト共ニ選擧ノ自由公正ヲ害スルニ至ルヘキコトヲ慮リタルニ在ルヲ以テ投票用紙ニ於ケル記載ニシテ苟クモ如上法ノ許容セル事項ニ該當セサルモノハ總テ之ヲ他事ノ記載トシテ其投票ヲ無效トスヘキモノトス」

メナル符號ハ如上法ノ許容セル事項ニ該當セサルモノトス」

投票用紙ニ呈河村重政君ト記載セラレタル呈ノ文字ハ同條ニ所謂他事ノ記載ニ該當スルモノトス」

(一)然レトモ或事實カ裁判所ニ顯著ナルヤ否ヤハ各個ノ具體的ノ場合ニ付テ裁判所之ヲ判斷スヘク一般的ニ定ムルコトヲ得スト雖モ例ヘハ或事實カ一地方ニ於テ其存在ノ確實ナルコトニ付キ毫モ疑ヲ挾マサル程度ニ一般人ニ知了セラレ又ハ一般ニ認識セラルル時ハ假令裁判官カ其職務外ニ於テ之ヲ認識知了シタル場合ト雖モ尚ホ之ヲ以テ裁判所ニ顯著ナル事實ナリト判示スルコトヲ妨クルモノニアラス本件ニ於テ大正九年五月十日施行ノ衆議院議員選擧ニ際シ愛知縣第五區(同縣東春日井郡)ニ於ケル候補者カ本件當事者兩名ナリシコトハ當事者間ニ爭ナキコトハ原審ノ確定スル所ニシテ又論旨ニ於テモ他ノ候補者ノ存シタルコトヲ主張セサルニ鑑ミモ衆議院議員ノ選擧ニ付キ當選擧區ニ於テ何人カ候補者ナルヤハ其地方ニ於テ一般人ニ知了セラレテ何等疑ヲ容ルル餘地ナキ事案ニ屬スルヲ通常トスルヲ以テ同地方ニ在ル原院カ本件ニ於テ當事者兩名カ其候補者ナリシコトヲ以テ原院ニ顯著ナル事實ナリト判示シタルハ即チ原審ノ知了シタル事實ノ判示ニ外ナラサルヲ以ツテ論旨ハ理由ナシ
(二)甲第三號證ノ(三)ノ投票ハ折疊ミタル用紙ノ最末端ノ切込目ニナル符合ヲ記載シアリ仍テ案スルニ衆議院議員選擧法第五八條第五號ニ被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタル投票ヲ無效トシ唯被選擧人ノ何人ナルヤヲ明確ナラシムヘキ官位職業身分住所ノ記載及ヒ被選擧人ヲ尊敬スルノ意ニ出テタル敬稱ノ類ノ記入ヲ以テ他事ノ記載ニ屬セサルモノトシテ之ヲ許容シタル趣旨ハ蓋シ被選擧人ノ氏名及ヒ之ヲ明確ナラシムル文字若クハ敬稱以外ノ他事ノ記載ハ假令選擧人ニ於テ之ニ依リ投票以外ニ何事カヲ表示セントスルノ意思ニ出テサリシモノトスルモ其記入アルコトニ依リ選擧人ノ何人ナルヤヲ探知スルコトヲ得テ我選擧法ノ採用シタル無記名投票ノ精神ヲ破壞スルト共ニ選擧ノ自由公正ヲ害スルニ至ルヘキコトヲ慮リタルニ在リ從テ投票用紙ニ於ケル記載ニシテ苟モ如上法ノ許容セル事項ニ該當セサルモノハ總テ之ヲ他事ノ記載トシテ其投票ヲ無效ト解スルヲ以テ妥當ナリト謂ハサルヘカラス而シテ〆ナル符合ハ假令封緘ノ意味ニ於テ之ヲ記載シタリトスルモ如上法ノ許容セル事項ニ

該當セサルコト明ナルヲ以テ即チ他事ノ記載ニシテ該投票ハ之ヲ無效ナリト謂ハサルヘカラス然ルニ原審ハ之ヲ有效ナリト爲シタルハ失當タルヲ免レス而シテ甲第三號證ノ(七)及ヒ(八)ニ付テハ原院ハ同投票ニ於ケル被選擧人ノ氏名ノ上部ニ存スル墨痕ヲ以テ何レモ選擧人カ被上告人氏名ノ頭字ナル「波」ナル文字ヲ記載セントシテ之ヲ中止シナカラ之カ抹消ヲ怠リタルモノト認ムヘキコトヲ判示シ他事ノ記載ニアラスト判斷シタルハ即チ原審ノ事實認定ノ專權ニ屬シ何等不法アルコトナシ蓋シ被選擧人ノ氏名ナルト又ハ住所敬稱其他法ノ許容スル事項ナルトヲ問ハス之ヲ記載セントシテ爲シタル毀損ハ元ヨリ他事ノ記載ニアラサルヲ以テ之カ訂正ヲ爲シタル場合ト共ニ其投票ヲ無效ナラシムヘキモノニアラス仍テ此點ニ關スル論旨ハ理由ナシ
(三)然レトモ乙第三號證ノ(一)ノ投票用紙ニハ呈河村富政君ト記載シアリ而シテ呈ノ文字ハ上告人ノ氏名又ハ之ヲ明瞭ナラシムヘキ文字ニアラサルハ勿論又敬稱ノ類ニアラサルコト明ナルヲ以テ即チ他事ノ記載ニ該當シ無效ノ投票ナルコト勿論ナリ然ラハ之ト同趣旨ニ出テタル原判決ハ相當ニシテ上告論旨ハ理由ナシ(大審院大正九年(オ)第九四一號同十年一月二十七日民二部馬場裁判長田上磯谷成道三宅各判事判決)

【關係事項】上告棄却〇原審名古屋控訴院〇衆議院議員當選無效事件〇上告人河村富政訴訟代理人辯護士今村力三郎同三隅正
被上告人波多野喜右衞門

【顯著ナル事實ノ意義ニ關スル學說】

顯著ナル事實トハ公知ノ事實若クハ裁判官カ職務上知リタル事實ニシテ裁判所ノ周圍ニ於テ明ナル事實ヲ謂フ其知リ得タル原因カ職務上ニ基タトキ一般公知ノ事實ニアラサルモ顯著ナル事實ナルコトアリ然レトモ職務以外ニ於テ知リタルモノハ全國公知ノ事實ナルカ若クハ少ナクトモ一ノ社會ニ於ケル公知ノ事學ナラサルヘカラス(岩田博士民事訴訟法原論十版五二六頁)

第二一八條ハ裁判所ニ於テ顯著ナル事實ハ之ヲ證スルコトヲ要セサル旨ヲ規定シタルニ止マリ顯著ナル事實ハ當事者カ之ヲ提出セサルモ裁判所自ラ進ンテ之

ヲ裁判ノ資料ニ供シ得ル旨ヲ規定シタルモノニアラサルコトハ大審院ノ認ムル處ニシテ吾人亦之レニ贊成セリ然レトモ當事者カ明ニ顯著ナル事實ヲ主張スルカ又ハ辯論ノ全趣旨ニヨリテカカル事實ヲ主張セルコトカ認メラルル以上而カモ該事實カ公知ノ事實ナルニ於テハ裁判官ノ職務以外ニ於テ知リタルモノト雖モ同條ニ所謂裁判所ニ於テ顯著ナル事實ニ該當スルモノト解セサルヘカラス從テ判旨ハ吾人贊成スルトコロナリ

（一九〇）

衆議院議員選擧法一三第二項　政府ノ請負ヲ爲ス者又ハ主トシテ政府ノ請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選擧權ヲ有セス

「衆議院議員選擧法第一三條第二項ニ所謂政府ニ對シ主トシテ請負ヲ爲ス法人トハ政府ニ對シ現ニ請負ヲ爲スコトヲ以テ其主要ナル業務トナス法人ヲ謂フモノトス」

同條ニ所謂請負トハ啻ニ政府ニ對シ民法上ノ請負ヲ爲ス場合ノミナラス政府ヨリ一定ノ報酬ヲ得テ其需用スル事物ヲ供給スルコトヲ業トスル世ニ所謂御用達ノ如キ行爲ヲ爲ス場合ヲモ包含スルモノトス」

案スルニ衆議院議員選擧法第一三條第二項ニ所謂政府ニ對シ主トシテ請負ヲ爲ス法人トハ政府ニ對シ現ニ請負ヲ爲スコトヲ以テ其主要ナル業務ト爲ス法人ノ義ナリト解スルヲ相當トス而シテ其所謂請負トハ之ヲ廣義ニ解シ啻ニ政府ニ對シ民法上ノ請負ヲ爲ス場合ノミナラス政府ヨリ一定ノ報酬ヲ得テ其需要スル事物ヲ供給スルコト

ヲ業トスル世ニ所謂御用達ノ如キ行爲ヲ爲ス場合ヲモ包含スルモノトス斯ノ如キ請負ノ解釋ニ關シテハ改正前ノ同法該條項ニ付キ本院ノ判例トスル所ニシテ（大正四年（オ）第八七七號同年十二月二十八日判決參照）同法改正後ニ於テモ此點ニ關スル該條項ノ趣旨ハ改正前ト毫モ異ナル所ナキヲ以テ其解釋ヲ變更スヘキ理由アルヲ見ス故ニ法人カ政府ニ對シ爲ス行爲ハ民法上嚴格ナル意義ニ於ケル請負ナルト否トヲ問ハス苟モ叙上御用達ノ如キ行爲ヲ爲スコトヲ業トスルモノハ該條項ニ所謂請負ヲ爲スモノナリト雖モ其行爲カ現ニ法人ノ業務トスル所ノ主要ナル部分ニ屬セサルトキハ該條項ニ所謂政府ニ對シ主トシテ請負ヲ爲ス法人ニ該當セサルモノト謂フ可シ右第一點ノ論旨ニ引用スル前示本院判例ノ判決理由中ニハ政府ニ對スル請負事業ノ大小輕重ヲ問ハサル旨ノ判示アルモ其判例ハ政府ニ對シ法人ニ非サル個人カ請負ヲ爲シタル事件ニ付キ判示シタルモノナレハ法人ニ關スル本件ノ場合ニ適切ナラス若シ夫レ同法ノ該條項ニ所謂「主トシテ」ノ意義ニ對スル解釋如何ニ付キ右各論旨中ニ縷陳セル利弊等ニ至テハ必スシモ所論ノ如ク一概ニ之ヲ論斷スルコトヲ得サル所ニシテ其字義ニ付キ上告人ノ主張スルカ如キ解釋ハ到底首肯シ難シ本件ニ付キ原裁判所ノ確定シタル所ニ依レハ選擧ノ當時被上告人ハ耳川水力電氣株式會社ノ取締役社長ニシテ同會社ハ其目的トスル電燈ノ供給ヲ一般ノ需要者ニ對シテ爲シ其分量ノ大部分ハ一般民衆ニ供給シ極メテ僅少ナル部分ヲ政府ニ供給シ居リタルモノナリ然レハ同會社ハ政府ニ對シ電燈ヲ供給スルコトヲ以テ其主要ナル業務ト爲スモノニ非サルヤ明白ナレハ原裁判所カ之ヲ以テ衆議院議員選擧法第一三條第二項ニ所謂政府ニ對シ主トシテ請負ヲ爲ス法人ニ該當セサルモノト判定シタルハ正當ナリ故ニ論旨ハ何レモ採用スルコトヲ得ス（大審院大正九年（オ）第七〇三號同年十一月二十六日民一部田上柳原尾古鬼澤各判事判決）

【關係事項】上告棄却〇原審名古屋控訴院〇衆議院議員當選無效請求事件〇上告人荻野芳藏訴訟代理人辯護士大森保國同天野武雄同高島晴雄同山本唯次被上告人河崎清訴訟代理人辯護士磯部尙同青木米吉

（一九一）

不動産登記法三五　登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス
二　登記原因ヲ證スル書面

不動産登記法第三五條第二號ニ依リ登記申請ニ付キ提出スヘキ登記原因ヲ證スル書面ハ其作成者ノ名下ニ捺印アルモノヲ以テスルヲ普通トスルモ其捺印アル書面ヲ以テスルニ限ルヘキニ非スシテ其捺印ナシト雖モ一應登記原因ヲ證スルニ至ルト認メラルル書面ナルニ於テハ登記原因ヲ證スル書面タルコトヲ妨ケサルモノトス」

然レトモ不動産登記法第三五條第二號ニ依リ登記申請ニ付キ提出スヘキ登記原因ヲ證スル書面ハ其作成者ノ名下ニ捺印アルモノヲ以テスルヲ普通トスルモ必スシモ其捺印アル書面ヲ以テスルニ限ルヘキモノニ非スシテ其捺印ナシト雖モ一應登記原因ヲ證スルニ足ルト認メラルル書面ナルニ於テハ登記原因ヲ證スル書面タルコトヲ妨ケス同第四〇條ニ依レハ登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ同第三六條ニ依リ登記原因及ヒ其日附等ヲ記載シ並ニ同施行細則第四〇條ニ依リ其旨ヲ記載シタル申請書ノ副本ヲ提出スルヲ以テ足ルニ依リテモ如上ノ法意ヲ推知スルニ難カラス然レハ原審カ右ト同一趣旨ニ基キ福島區裁判所登記官吏ニ於テ本件佐藤庄左衞門ノ登記申請ニ對シ假ニ登記原因ヲ證スル證書（地所書入金員借用證書）ノ作成者ノ名下ニ捺印ナキモノヲ許容シタリトスルモ單ニ之ノミニテハ右申請ノ受理ハ不法ニ非サル旨ヲ判示シ本件抗告ヲ棄却シタルハ相當ニシテ抗告論旨ハ理由ナシ（大審院大正九年（ク）第一七〇號同十年一月二十四日民三部横田裁判長田上大倉松岡遠淵各判事決定）

【關係事項】抗告棄却〇原審福島地方裁判所〇登記官吏ノ爲シタル登記處分ニ對スル公告事件〇抗告人板寅松

判旨正當ナリ

（一九二）

人事訴訟法五　婚姻事件ニ付テハ檢事ハ辯論ニ立會ヒテ意見ヲ述フルコトヲ要ス
檢事ハ受命判事又ハ受託判事ノ審問ニ立會ヒテ意見ヲ述フルコトヲ得
事件及ヒ期日ハ檢事カ立會ヒタル場合ニ於テハ其氏名及ヒ申立ヲ調書ニ記載スヘシ
同二六　第一條第二項第三項第二條第三條及ヒ第五條乃至第十八條ノ規定ハ養子緣組事件ニ之ヲ準用ス

一　人事訴訟法第二六條ニ依リ養子緣組事件ニ準用シタル同法第五條ハ檢事ニ對スル一ノ訓示規定ニ外ナラサレハ裁判所カ事件ヲ檢事ニ通知シ檢事ヲシテ辯論ニ立會フ機會ヲ得セシムル以上其立會ナケレハトテ事件ノ審理判決ヲ違法ナラシムルモノニ非サルモノトス」

二　如上ノ場合ニ於テ檢事ニ對スル通知書ハ之ヲ訴訟記録ニ點綴スヘキ規定存セサルヲ以テ記録ノミニヨリ檢事ニ通知ナキコトヲ肯定スルヲ得サルモノトス」

然レトモ人事訴訟手續法第三九條ニ依リ養子緣組事件ニ準用シタル同法第五條ハ檢事ニ對スル一ノ訓示規定ニ外ナラサレハ裁判所カ事件ヲ檢事ニ通知シ檢事ヲシテ辯論ニ立會フ機會ヲ得セシムル以上其立會ナケレハトテ事件ノ審理判決ヲ違法ナラシムルモノニアラサルコトハ夙ニ當院判例ノ示ス所ナリ（明治四十一年（オ）第一二八號同年四月三十日言渡判決參照）而シテ檢事ニ對スル通知書ハ之ヲ訴訟記録ニ點綴スヘキ規定存セサルヲ以テ之ヲ綴入セサルヲ通常トシ從テ記録ノミニ依リ通知ナキコトヲ肯定スルコトヲ得サルモノトス仍テ論旨ハ理由ナシ（大審院大正九年（オ）第七二五號同年十一月十八日民二部馬場裁判長田上成道三宅水口各判事判決）

【關係事項】上告棄却○原審長崎控訴院○養子緣組無效確認請求事件○上告人井上文次外一人訴訟代理人辯護士鵜澤總明同押山長吉同吉田三市郎同田坂貞雄同阿保淺次郎同佐々木藤市郎同長野國助同川口庄藏同芳野源太郎佐々木重夫被上告人井上百太郎

【判旨一點ニ關スル學說】本卷民訴二〇三頁

至當ノ判決ナリ

（一九三）

實用新案法八 實用新案權ハ登錄ニ依リテ發生ス
實用新案權者ハ其登錄ヲ受ケタル物品ヲ業トシテ製作使用販賣又ハ擴布スルノ權利ヲ專有ス
同一又ハ類似ノ考案ニ關シテハ實用新案權ハ其出願前ノ出願ニ係ル特許權又ハ意匠權ニ依リ制限ヲ受クルモノトス

特許法四七第一項 正當ノ理由ナクシテ特許權發生後三年以上其發明ヲ帝國內ニ於テ適當ニ實施セス又ハ三年以上其ノ實施ヲ中止シタル場合ニ於テハ特許局長ハ利害關係人ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其特許ヲ取消スコトヲ得

民法九〇 公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル事項ヲ目的トスル法律行爲ハ無效トス

實用新案法ニハ特許法第四七條ノ如ク特許權者カ正當ノ理由ナクシテ其發明ヲ實施セサル場合ニ其特許ヲ取消シ得ヘキモノトスル趣旨ノ規定ナキノミナラス實用新案法ニ依ルモ實用新案權ヲ認メタルコト主トシテ公益上ノ理由ニ基クモノニアラサルヲ以テ實用新案權者カ登錄實用新案物件ノ製造販賣ヲ爲サザルコトヲ他人ト契約スルモ之ヲ以テ公益ニ反スルコトヲ目的トスル契約ト謂フヲ得サルモノトス」

當審ニ於テ控訴人カ本訴請求ノ原因トシテ主張スル所ハ大正七年一月十六日當事者間ニ控訴人所有特許第二七九八三號束子ノ特許權並ニ龜の子たわしノ商標權存續中

ハ該特許權ニ基キ製造スル龜の子たわしニ類似セル物件ノ製造販賣ヲ爲サザル旨ノ契約ヲ爲シタリ然ルニ被控訴人カ登錄ヲ受ケタル實用新案第四四五八二號洗濯ブラシハ控訴人ノ特許權アル右龜の子たわしニ類似シ且束子トシテ用フヘキ物件ナレハ畢竟被控訴人ハ前記ノ契約ニ於テ右洗濯「ブラッシ」ノ製造販賣ヲ爲サザルコトヲ爲シタルモノナルヲ以テ控訴人ハ該契約ニ基キ被控訴人ニ對シ右製造販賣ノ禁止ヲ求ムト云フニアリ從テ其趣旨タルヤ結局控訴人ノ第一審ニ於ケル大正七年一月十六日當事者間ニ控訴人所爲ノ右特許權及龜の子たわしノ商標權存續中ハ被控訴人カ其ノ登錄ヲ受ケタル實用新案第四四五八二號洗濯「ブラッシ」ノ製造販賣セサル旨ノ契約ヲ締結シタルニコノ該契約ニ基キ被控設人ニ對シ右洗濯「ブラッシ」ノ製造販賣ノ禁止ヲ求ムル旨ノ主張ト同趣旨ニ歸着シ要スルニ原審ニ於テモ當審ニ於テモ共ニ同一ノ契約ヲ本訴請求ノ原因トシテ主張スルモノナルコト洵ニ明白ニシテ唯タ當審ニ於テハ控訴人カ右契約ノ內容ヲ說明シ其趣旨カ結局實用新案權アル洗濯「ブラッシ」ノ製造販賣ヲ爲サスト云フニ在ルコトヲ闡明シタルニ過キサレハ之ヲ以テ訴ノ原因ヲ變更シタルモノト謂フヲ得サルヤ論ヲ俟タス故ニ被控訴人ノ原因變更ノ抗辯ハ理由ナシ

依テ本案ニ付キ按スルニ成立ニ爭ナキ甲第四號證原審證人米屋十兵衞ノ證言ニ依レハ大正七年一月十六日當事者間ニ控訴人ノ特許登錄第二七九八三號龜の子たわし專賣特許權利ノ存續期間中ハ被控訴人ニ於テ右龜の子たわしト同一若シクハ類似ノ構造ヲ有シ束子トシテ用ヒ得ヘキ物件ノ製造又ハ販賣ニ從事セス或ヒハ一切之ニ關係セサル旨契約シタルコト並ニ該契約ノ右ノ如キ物件ノ製造又ハ販賣カ被控訴人ノ有スル實用新案權ニ基キ權利トシテ爲サレ得ル場合ニ於テ被控訴人ハ猶ホ之ヲ爲サザルコトヲ約シタル趣旨ナリト認メ得ヘク被控訴人援用ノ各證據ニ依ルモ右認定ヲ覆スニ足ラス從テ右契約ハ不法ニ控訴人ノ特許權ヲ侵害スル行爲ノ禁止ヲ目的ト爲シタルモノニアラサレハ法律上有效ナルコト明ナリ然ルニ被控訴人ハ控訴人ノ有スル特許第二七九八三號龜の子たわし其ノ出願前ヨリ公知ニ屬シ殊ニ特許セラル以前

ニ於テ何人モ自由ニ製造販賣スルコトヲ妨ケラレサリシモノナレハ其後ニ至リ特許ヲ得タレハトテ之ヲ他人ノ製造販賣ヲ制止スルコトヲ得サルカ故ニ右特許品ニ類似ノ物ノ製造販賣ヲ禁止スル趣旨ノ本件契約ハ無效ナリト抗辯スレトモ苟モ一旦正當ニ特許ヲ得タル以上ハ其ノ以前ニ於テ他人カ其ノ特許品ヲ自由ニ製造販賣シ得タリトスルモ特許後ニ於テハ其ノ無效審判ナキ限リ特許權ニ基キ他人ノ製造販賣ヲ制止シ得ヘキハ特許ノ性質上當然ナルノミナラス假ニ然ラストスルモ之レカタメ特許ヲ得タル者ト他トノ間ノ特許品類似ノ物ト製造販賣ヲ禁止スル趣旨ノ特許權保護ノ目的ニ出タル契約ヲ無效タラシムル謂ハレナキハ勿論ナルカ故ニ右抗辯ハ理由ナシ又被控訴人ハ實用新案法ニ依リ實用新案權者ニ其實用新案物件ノ製造販賣ノ專用權ヲ附與セラルハ其ノ考案ノ實施ニ依リ産業ノ發達シタル公益上ノ理由ニ基クモノナレハ其ノ實用新案ノ實施ヲ否定セントスルカ如キ契約ハ畢竟公益ニ反スルコトヲ目的トスルモノニシテ無效ナリト抗辯スレトモ實用新案法ニハ特許法第四十七條ノ如ク特許權者カ正當ノ理由ナクシテ其ノ發明ヲ實施セサル場合ニ其特許ヲ取消シ得ヘキモノトスル趣旨ノ規定ナキノミナラス實用新案法ニ依ル實用新案權ヲ認メタルコト主トシテ公益上ノ理由ニ職由スルモノナルコトヲ認定スルニ由ナキヲ以テ假令實用新案權者カ其ノ登錄實用新案物件ノ製造販賣ヲ爲サヽルコトヲ他人ト契約スルモ之レヲ以テ公益ニ反スルコトヲ目的トスル契約ナリト斷定スルコトヲ得ス從テ右抗辯モ亦理由ナシ而シテ被控訴人カ大正六年十二月二十五日實用新案第四四五八二號洗濯「ブラッシ」ノ登錄ヲ受ケタルコトハ同人ノ自認スル處ニシテ成立ニ爭ナキ甲第五號及當審證人君塚庄次郎ノ證言ニ依レハ被控訴人カ右洗濯「ブラッシ」ヲ龜たわしト命名シテ現ニ之カ製造販賣ヲ爲シ居レルコトヲ認ムルニ足リ檢證物件甲第七號證(同證カ控訴人ノ特許權アル龜の子たわしナルコト當事者間爭ナシ)同甲第八號證(同證カ被控訴人ノ製造セル實用新案洗濯「ブラッシ」ナルコト當事者間爭ナシ)及當審鑑定人津澤清ノ鑑定ノ結果ニ依レハ被控訴人製造ノ龜の子たわしト相類似セル物件ナルコトヲ認メ得可ラス被訴人援用ノ各證據ニ依ルモ該認定ヲ覆スニ足ラサルヲ以テ當事者間ノ本件契約ニ基キ被控訴人ハ控訴人ニ對シ被控訴人ノ登錄實用新案第四四五八二號洗濯「ブラッシ」ノ製造販賣ヲ爲サヽル義務アルコト明ナリトス依テ控被人ノ本訴請求ハ正當ニシテ本件控訴ハ理由アリトシ民事訴訟法第七十八條第一項第七十二條第一項ニ則リ主文ノ如ク判決ス(東京控訴院大正八年(ネ)第二四一號同九年十一月廿二日民三部岩本裁判長大中野澤各判事判決)

【關係事項】 原判決廢棄〇洗濯「ブラッシ」製造販賣禁止請求事件〇控訴人西尾正左衞門訴訟代理人辯護士大橋誠一〇被控訴人高木三次郎訴訟代理人辯護士石大次郎同布山彥一

(一九四)

廣島控訴院

衆議院議員選擧法施行令一一 投票記載ノ場所ニ選擧人ヲシテ他人ノ選擧人ノ投票ヲ覗ヒ又ハ投票ノ交換其他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハサラシムル爲メ相當ノ設備ヲ爲スヘシ

衆議院議員選擧法施行令第一一條ハ同選擧法第三六條所定ノ秘密投票主義ノ貫徹ヲ計ランカ爲メニ設ケタルモノニシテ選擧ノ自由公正ヲ維持スルコトヲ目的トシタルモノニ外ナラス故ニ同條所定ノ設備ヲ缺キタル場所ニ於テ投票ノ行ハレタル場合ニハ其選擧ノ無效ナルハ勿論一應設備アリタルモ其不完全ナルカ爲メ殆ント公開ノ場所ト擇フ所ナキトキハ同所ニ於テ行ハレタル投票ハ選擧人ノ自由意思ニ出テサリシモノト推測スヘキモノナルヲ以テ其選擧ハ公正ヲ害シ無效ナリトス」

大正九年五月十日岡山縣第八區(共田勝田英田三郡)ニ於テ行ハレタル衆議院選擧ニ際シ原告ハ英田郡栗井村ノ選擧人被告ハ選擧長ナリシコト候補者ノ得票數ハ妹尾順更

五五二五卓庄京三郎四七三〇配井原太郎四五一票ニシテ被告ハ妹尾順平ヲ以テ最多數ノ投票ヲ得タルモノトシテ之ニ當選ノ告知ヲナシタルコトハ本件當事者間ニ爭ナキ所ナリ依テ先ツ津山町及ヒ粟井村ニ於ケル投票所ノ設備カ原告主張ノ如ク不完全ニシテ其選擧無效ナリヤ否ヤニ付キ審案スルニ投票所ノ設備ニ付テ案スルニ衆議院議員選擧法施行令第十一條ニハ投票記載ノ場所ハ選擧人ヲシテ他ノ選擧人ノ投票ヲ覗ヒ又ハ投票ノ交換其他不正ノ手段ヲ用フルコトヲ能ハサラシムル爲メ相當ノ設備ヲ爲スヘシト規定シアリ該規定ハ同選擧法第三六條所定ノ秘密投票主義ノ貫徹ヲ計ランカ爲ニ設ケタルモノニシテ選擧ノ自由公正ヲ維持スルコトヲ目的トシタルモノニ外ナラスシテ若シ全ク同施行令第十一條所定ノ設備ヲ缺キタル場所ニ於テ投票ノ行ハレタル場合ニハ其選擧ノ無效ナルヘキハ勿論一應ノ設備アルタル場合ト雖モ其不完全ナルカ爲メ殆ント公開ノ場所ト擇フ所ナキトキハ同所ニ於テ行ハレタル投票ハ選擧人ノ自由意思ニ出テサリシモノト推測スヘキモノナルヲ以テ其選擧ハ公正ヲ害シ無效ナリト謂ハサルヘカラス然レトモ設備ノ不完全ナルトキト雖モ選擧人ノ簡單ナル注意ト相俟テ他人ノ窺覗ヲ防キ又ハ投票交換其他ノ不正手段ヲ防クコトヲ得ル程度ニアル場合ニ於テハ反證ナキ限リ當事者ハ相當ノ注意ヲ以テ投票ノ秘密ヲ守リタルモノト推測スヘキモノニシテ此場合ニハ選擧人カ自由意思ヲ防ケラレスシテ投票シタルモノナルヲ以テ其投票ハ有效ナルカ故ニ選擧ノ效力ニ關係ナキモノト謂フヘシ（一）津山町投票所ニ於ケル投票記載所ノ本件當事者間ニ爭ナキ設備ハ檢證調書竝ニ附圖（大正九年十一月二十二日ノ分）ニヨレハ津山町役場階上東側ノ室ノ南側壁ニ接シテ設ケラレ高サ二尺五寸横六尺三分縱約二尺ノ箱型ノ机三脚ヲ並列シテ据エテ机ト机トノ間ニハ普通一間二枚建ノ襖（幅三尺一寸及三尺八分ノモノ）ヲ挾ミ其前端ハ机ノ前端ヨリ各一尺二寸五分突出シアリ尚各机ノ中央ニ高サ一尺六寸五分幅一尺ノ衝立ヲ置キテ界シ以テ六個ノ席ニ區劃シ椅子ニ着シテ記載スル如ク設備シアリ而シテ右方（西方）ヨリ數ヘテ第一第二兩席ノ界ナル衝立ハ机ヨリ前面ニ一寸七分五厘第三第

四兩席ノ界ナル衝立ハ机ヨリ前面ニ一寸八分第五第六兩席ノ界ナル衝立ハ机ヨリ前面ニ二寸突出シアリ檢證ノ結果ニヨレハ（一）衝立ヲ以テ界セル隣席間ニ窺覗ノ行ハル場合ニハ左方（東方）ノ席ニテ爲ス投票記載ハ姿勢正シキトキ少シク机ニ凭リ掛リタルトキ劇シク机ニ凭リ掛リタル時何レノ場合ニ於テモ右隣席ヨリハ着席ノ儘又ハ立上リタルトキ及之ニ出入スル場合ニ於テ何レモ筆ヲ持チ居ル手ノ甲ニ遮ラレテ字體ヲ認メ得サルモ筆ヲ置キ又ハ筆ヲ少シク上ニ持上ケタル際ニハ字體ヲ認メ得右方ノ席ニテ爲ス記載ハ姿勢正シキトキ又ハ少シク机ニ凭リ掛リタルトキハ左隣席ヨリ着席ノ儘字體ヲ認メ得ヘク蔽フ樣ニ劇シク机ニ凭リ掛リテ字ヲ書ク場合ニハ之ヲ認メ得ス然レトモ左隣席ニ立上リ又ハ之ニ出入セントスル場合ニハ右何レノ姿勢ニテ書ク場合ニモ字體ヲ認メ得又左方ノ席ニテ體ヲ左方斜ニ蔽フ樣ニ劇シク凭リ掛ツテ書ク場合及右方ノ席ニテ體ヲ右斜ニ劇シク蔽フ樣ニ凭リ掛リテ書ク場合ニ其反對ノ方向ノ兩席ヨリ見ルニ着席ノ儘ニテハ字體ヲ認メ得サルモ立上リテ見レハ筆者カ筆ヲ置キタル場合ニハ字體ヲ認メ得然レトモ此ノ如ク右又ハ左斜ニ蔽フ樣ニ劇シク机ニ凭リ掛リテ書ク場合ニハ何レモ向ヒタル方向ノ隣席ヨリ總テノ場合ニ字體全部ヲ認メ得（二）襖ヲ以テ界スル第二及第三第四及第五ノ相隣席間ニ於テノ窺覗ノ行ハル場合ニハ記載者ノ左側ノ襖ノ突端ニ立チテ見レハ姿勢正シキトキ及少シク机ニ凭リ掛リテ書ク場合ニハ字體ヲ認メ得蔽フ樣ニ劇シク机ニ凭リ掛リテ書ク場合ニハ最初ハ見ヘサルモ下方ノ文字ヲ書クトキニ上方ノ文字ヲ認メ得記載者ノ右方ノ襖ノ突端ニ立チテ見レハ姿勢ノ正シキ場合ニ限リ僅ニ筆ヲ置キタル際字體ヲ認メ得然レトモ右又ハ左斜ニ蔽フ樣ニ劇シク机ニ凭リ掛リテ書ク場合ニハ毎ニ向ヒタル方面ノ襖ノ突端ニ立ツ者ヨリ字體ヲ認メ得ルコト明白ナリ然レハ右記載所ノ設備ハ甚不完全ニシテ殊ニ第二乃至第五席ニ於テ記載スルモノハ叙上ノ如ク非常ナル注意ヲ以テ投票ノ字體全部ヲ身體其他ヲ以テ隱蔽スルニ非サレハ何レカ一方ノ隣席ニ着席又ハ出入往來スル者ノ爲メニ投票ヲ覗窺セラルル場合アルコトヲ免レス此ノ如キハ殆ント投票秘

密保護ノ設備ナキ場合ニ庶幾ク僅ニ選擧人ノ異常ナル注意ニヨリ秘密ヲ守リ得ヘキニ過キス右設備自體及證人太谷龜市岡眞一ノ各第二回調書ノ供述ヲ綜合スレハ右各席ニ於テ同時ニ投票者アリタル場合ニハ相互ニ窺覗ノ行ハレタルモノト推定シ得ヘク津山町ニ於ケル投票者ノ數(七百廿六票ナルコト當事者間ニ爭ナシ)及右投票記載所ノ數ニヨリテ考察スレハ同時ニ相隣セル記載所ニ投票者ノ輻湊シタルコトヲ推知スルニ足ル而シテ同投票所ニ於テ行ハレタル投票ハ其幾何カ何レノ席ニテ如何ナル場合ニ行ハレタルヤ不明ナルニヨリ其他ノ設備ノ如何ヲ問ハス前段說示ノ規定ノ趣旨ニヨリ全部ヲ無效ナリトスルノ外ナシ(三)栗井村投票所ニ於ケル當事者爭ナキ設備ハ檢證調査書竝ニ附圖ニヨレハ同村役場內北側ノ壁ニ近接シテ三個ノ投票記載所ヲ設ケアリ其机ノ高サ二尺三寸横四尺縱一尺二寸ニシテ三脚ヲ並列シ其間及東西兩場端ニハ検ヲ立テ各机ノ側面ヲ遮蔽シ以テ各記載所ヲ區劃シ机ノ向側ナル壁ト机トノ間ニハ壁ニ接シテ奥行一尺一寸高サ殆ント机ト同一ノ本箱五個ヲ東西ニ並列シアリ該壁ニハ机ト殆ント同一ノ高サニ窓アリテ硝子障子ヲ篏メ右方(東方)ヨリ數ヘテ第一席第二ノ全部及第三席ノ中央ヲ超ヘタル場所ニ互リ該窓ノ高サハ外側ノ地上ヨリ三尺二寸ニシテ窓ノ外側ニハ何人ニテモ自由ニ出入シ得ヘキモノトス被告ハ選擧當日右窓ノ內側ニハ厚キ西洋紙ヲ懸ケ目隱ヲ施シタリト主張スレトモ此點ニ關スル證人神田東一淺尾富太郎弊元量之助ノ供述ハ信ヲ措キ難ク證人石生春吉ノ供述ニヨレハ同人カ右第一席ニ於テ投票ヲ記載セシ際前面ノ窓ニハ目隱ナカリシ爲メ何人カ窓ノ外側ヨリ投票記載ヲ覗見シタルコトヲ知リ得ヘキヲ以テ被告ノ主張ノ如キ目隱ナカリシモノト認ム而シテ前記ノ設備ニヨレハ窓ノ外部ヨリ窓ノ硝子障子ヲ透シテ記載所ヲ窺覗スルトキハ僅ニ眼備窓ニ達スル程度ニ頭部ヲ出シタルノミニシテ記載者ノ前方ヨリ机上ノ字體ヲ認メ得ヘク投票記載者ニ於テ之ヲ避クルコト困難ナルヲ以テ其自由ヲ妨クルコト大ナリト云フヘク且右檢證擔調ニヨレハ投票管理者立會人監視官警官ハ何レモ記載者方ノ後方若ハ斜後方ニ着席セルヲ以テ何レモ前記検及投票記載者ノ身體ニ妨ケラレテ窓外ヨリスル窺覗者ヲ發見シ難ク即チ不正ノ手段ヲ防止スヘキ設備ヲ缺クモノト云フヘシ而シテ右選擧ニ際シ窓外ヨリ投票ノ記載ヲ窺覗シタルモノ少カラサリシコトハ右證人石生養吉ノ供述及設備自體ニヨリテ推測シ得ヘク而モ同村ニ於ケル投票ノ幾何カ果シテ正當ニ投票者ノ自由意思ニ基キ爲サレタルヤヲ知ルヲ得サルヲ以テ前段說示ノ規定ノ趣旨ニヨリ同村ノ投票全部ヲ無效トスルノ外ナシ如上津山町及栗井村ニ於ケル選擧ハ無效ニシテ其投票數ハ津山町七二六栗井村一四三ナルコトハ本件當事者ニ爭ナキ所ナルニヨリ之ヲ合計スレハ八六九票トナリ之ヲ當選者妹尾順平ノ得票數五五二五ト次點者本庄京三郎ノ得票數四七三〇ノ差七九五票ニ對比スレハ六四票ヲ超過ス從テ津山町及栗井村ノ投票ノ全部又ハ大多數カ妹尾順平ノ得票ナリトセハ同人ハ却テ本庄京三郎ヨリモ有效得票數少キ結果トナル場合アルヘク然ルニ右無效投票カ何人ノ得票ナルヤヲ知ヲ得サルヲ以テ妹尾順平ヲ當選者ト確定スルヲ得ス而シテ岡山縣第八區ニ於ル各投票ハ全部混同シテ津山町及栗井村ノ投票ヲ識別スルコトヲ得サルニヨリ同區ニ於ケル衆議院議員選擧ハ全部無效ナルヲ免レス依テ爾餘ノ爭點ニ關スル判斷ヲ省略シ原告ノ請求ヲ相當ト認メ訴訟費用ノ負擔ニ付テハ衆議院議員選擧法第一〇八條民事訴訟法第七二條第一項第七六條第八一條第二項ニ依リ主文ノ如ク判決ス(廣島控訴院大正九年(ノ)第一號同年一二月一四日民事水野裁判長大原文保各判事判決法律新聞第一七九七號一七頁)

【關係事項】被告敗訴〇衆議院議員選擧訴訟事件〇原告濟田彌太郎訴訟代理人辯護士鈴木八郎〇被告村松孝之助從參加人妹尾順平訴訟代理人辯護士保田爲一郎

（一九五）

工場抵當法二　工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地ノ上ニ設定シタル抵當權ハ建物ヲ除クノ外其土地ニ附加シテ之ト一體ヲ爲シタル物及其土地ニ備付ケタル械機器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニ及フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキ及民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此限ニアラス

前項ノ規定ハ工場ノ所有者カ工場ニ屬スル建物ノ上ニ設定シタル抵當權ニ之ヲ準用ス

同法三 工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地又ハ建物ニ付抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其土地又ハ建物ニ備付ケタル機械器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノノ目錄ヲ提出スヘシ

第二十二條第二項第三十五條及第三十八條乃至第四十二條ノ規定ハ前項ノ目錄ニ之ヲ準用ス

同法三五 所有權保存ノ登記アリタルトキハ工場財團目錄ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ而シテ其記載ハ之ヲ登記ト看做ス

（一）工場抵當法第二條第一項カ同條第二項ニ依リ工場ニ屬スル建物ノ上ニ工場所有者ノ設定シタル抵當權ニ準用セラルルカ故ニ抵當權カ工場ノ土地ノ上ニ設定セラレタルト其建物ノ上ニ設定セラレタルトヲ問ハス其土地又ハ建物ニ備付ケタル工場ノ用ニ供スル物ニ抵當權ノ效力ノ及フヘキハ法律上當然ノ事ニ屬シ抵當權設定當事者カ特ニ之ヲ抵當權ノ目的ト爲スノ意思ヲ表示スルヲ要セサルモノトス」

（二）工場抵當法第二條第一項ニ所謂工場ノ用ニ供スル物トハ獨リ抵當權設定前ニ備付ケタル物ノミナラス其設定後ニ備付ケタル物ヲモ包含スルモノトス」

（三）工場抵當法第三條第一項ニ依ル目錄ノ記載ハ同條第二項及ヒ同法第三十五條ニ依リ之ヲ登記ト看做スヘキモノナレハ抵當權者ハ目錄ニ記載セラレサル物ニ對シ有スル抵當權ヲ以テ第三者ニハ對抗スルヲ得サレトモ抵當權設定者ニ對スル關係ニ於テハ目錄ニ記載ナキ物ト雖モ苟モ工場ノ用ニ供スル物ナル以上ハ抵當權ノ效力ハ當然之ニ及フモノトス」

（四）工場抵當權者ハ工場ノ用ニ供スル物ニ付テハ目錄ニ記載セラレスト雖モ第三者ノ權利ヲ害セサル限リハ抵當權實行ノ爲メニ之ヲモ競賣スルコトヲ得ヘク從テ其競落者ハ競落ニ因リ有效ニ其所有權ヲ取得シ之ヲ以テ抵當權設定者ニ對抗スルコトヲ得ルモノトス」

案スルニ工場抵當法第二條第一項ハ工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地ノ上ニ設定シタル抵當權ハ云々其土地ニ備付ケタル機械器具其他工場ノ用ニ供スル物ニ及フ云々ト規定シ此規定カ工場ニ屬スル建物ノ上ニ工場所有者ノ設定シタル抵當權ニ準用セラルヘキハ同條第二項ノ規定スル所ナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ抵當權カ工場ノ土地ノ上ニ設定セラレタルト其建物ノ上ニ設定セラレタルトヲ問ハス其土地又ハ建物ニ備付ケタル工場ノ用ニ供スル物ニ抵當權ノ效力ノ及フヘキハ法律上當然ノ事ニ屬シ抵當權設定當事者カ特ニ之ヲ抵當權ノ目的ト爲スノ意思ヲ表示スルヲ要セサルヤ明ナリ而シテ右第二條第一項ニ所謂工場ノ用ニ供スル物トハ獨リ抵當權設定前ニ備付ケタル物ノミナラス其設定後ニ備付ケタル物ヲモ包含スルコトハ其但書ニ民法第四二四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此限ニ在ラストアルニ徴シテ之ヲ窺知シ得ヘシ何トナレハ抵當權設定後ニ備付ケタル物ニ在テ始メテ此但書ノ適用ヲ見ルコトヲ得ヘケレハナリ同法第三條ハ工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地又ハ建物ニ付キ抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其土地又ハ建物ニ備付ケタル機械器具其他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノノ目錄ヲ提出スヘキコトヲ規定シ其目錄ノ記載ハ同條第二項及ヒ同法第三五條ニ依リ之ヲ登記ト看做スヘキモノナレハ抵當權者ハ目錄ニ記載セラレサル物ニ對シ有スル抵當權ヲ以テ第三者ニハ對抗スルコトヲ得サレトモ抵當權設定者ニ對スル關係ニ於テハ目錄ニ記載ナキ物ト雖モ苟モ工場ノ用ニ供スル物ナル以上ハ抵當

權ノ效力ハ當然之ニ及フモノト爲サザル可カラス若シ然ラスシテ目錄ニ記載シタル物ニ非サレハ絕對ニ抵當權ノ目的トナラストセンカ第二條カ工場ノ用ニ供スル物ニ當然抵當權ノ及フヘキコトヲ規定シタルハ其必要果シテ那邊ニ存スルヤ疑ハサルヲ得サルヘシ是故ニ抵當權者ハ工場ノ用ニ供スル物ニ付テハ目錄ニ記載セラレスト雖モ第三者ノ權利ヲ害セサル限リハ抵當權實行ノ爲メニ之ヲ以テモ競賣スルコトヲ得ヘク隨テ其競落者ハ競落ニ因リ有效ニ其所有權ヲ取得シ之ヲ以テ抵當權設定者ニ對抗スルコトヲ得ルモノト爲サザル可ラス論シテ茲ニ至レハ本件汽罐ハ工場ノ從物ナルコト原判決ノ確定スル所ニシテ所謂工場ノ用ニ供スル物ニ該當スルヲ以テ其主物タル土地又ハ建物ノ上ニ抵當權ノ設定セラレタル後ニ備付ケラレ且工場抵當法第三條ニ係リ提出レタル目錄ニ其記載ナシト雖モ抵當權實行ノ爲メニ共ニ競賣セラレ上告人カ之ヲ競落シタルコトハ爭ナキノ事實ナレハ抵當權設定者タル被上告人先代ハ上告人ニ對シ競落ニ因ル汽罐ノ所有權取得ヲ否認スルコトヲ得サルヤ明々白々亦一點ノ疑ヲ存セス然ルニ原裁判所ノ見ル所茲ニ出テスシテ本件汽罐ヲ工場ノ從物ナリト認メナカラ右ノ目錄ニ其記載ナキコト其備付カ工場(土地又ハ建物)ノ上ニ抵當權ノ設定セラレタル後ナルコト工場ト一體ヲ成サスシテ獨立ノ存在ヲ有スルコト及ヒ抵當權設定當事者カ之ヲ抵當權ノ目的ト爲スノ意思ヲ特ニ表示セサルコトヲ理由トシテ之ヲ抵當權ノ目的タラサルモノト爲シ延ヒテ上告人ヲ以テ競落ニ因リ汽罐ノ所有權ヲ取得スルコトヲ得サルモノト論定シタルハ工場抵當法第二條及ヒ第三條ノ法意ヲ誤解セルニ基ク謬論ニシテ此前提ノ下ニ上告人ノ請求ヲ却ケタルハ不法ノ裁判タルヲ免レス(大審院大正九年(オ)第三三四號同年十二月三日民一部田部裁判長榊原尾古鈴木鬼澤各判事判決)

【關係事項】破毀差戾〇原審神戶地方裁判所〇背任詐欺橫領被告事件ノ公訴ニ附帶スル私訴事件〇上告人渡邊碩之助訴訟代理人辯護士岩崎幸治郎被上告人北井ひろ訴訟代理人辯護士原嘉道同打田傳吉同牧野賤男同丸山良策

不動産登記法二六　登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルヲ要ス

民法五六〇　賣買ハ當事者ノ一方カ或財産權ヲ相手方ニ移轉スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其代金ヲ拂フコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

不動産ノ賣買契約ヲ爲シタル場合ニハ其賣主ハ買主ヲシテ完全ナル所有權ヲ取得セシムル義務ヲ負擔スルモノナルヲ以テ其所有權ノ取得ヲ完全ナラシムルニ要スル登記義務ハ賣買契約ニ伴ヒ當然發生シ特ニ登記義務ニ付キ契約ヲ爲シタル事實ナシトスルモ之カ請求ヲ爲スヲ妨クルモノニアラサルモノトス」

然レトモ不動産ノ賣買契約ヲ爲シタル場合ニハ其賣主ハ買主ヲシテ完全ナル所有權ヲ取得セシムル義務ヲ負擔スルモノナルヲ以テ其所有權ノ取得ヲ完全ナラシムルニ要スル登記義務ハ賣買契約ニ伴ヒ當然發生シ特ニ登記義務ニ付キ契約ヲ爲シタル事實ナシトスルモ之カ請求ヲ爲スヲ妨クルモノニアラス然ラハ本件ニ於テ原審カ所有權移轉登記手續ニ關スル當事者間ノ契約ノ存否ニ付キ判斷スル所ナク被上告人ノ請求ヲ認容シタリトテ何等不法ナケレハ論旨ハ理由ナシ(大審院大正九年(オ)第七四九號同年十一月二十二日民二部馬場裁判長田上成道三宅水口各判事判決)

【關係事項】上告棄却〇原審大阪控訴院〇山林所有權移轉登記請求事件〇上告人中島政太郎訴訟代理人辯護士竹内賀久治同松本靜夫被上告人澤津峯八

【登記義務者ノ意義ニ關スル參照學說】

一　登記義務者ハ何人ナルカニ付キテハ一ノ難問アリ即チ登記ト實際トノ間ニ差別存シ居ルカ爲メニ實質上ノ物權變動ハ甲者ト登記權利者ノ間ニ生シタルモ登記簿上ハ乙者カ權利者トシテ登錄セラルルコトアリ此ニ於テカ登記義務者ハ物權變動ノ當事者ナルカ又ハ登記簿ニ權利者トシテ記載セラレタル者ナルカ卽チ前例ニ於テハ甲者ナルカ將タ乙者ナルカ一方ノ看察ニヨレハ物權變動ハ登記權利者ト甲者ノ間ニ生シタルモノニシテ且ツ物權變動ハ登記請求權ノ原因ノ一部ナル以上ハ甲者タルヘキカノ觀アリ然シナカラ此場合ニ於テハ實質上ハ無效ナルニモセヨ少クトモ形式上有效ナル登記ハ乙ノ名義ニ在リ形式上ハ乙者ハ權利者ナリ故ニ其登記ヲ變動スルニハ形式主義ヲ採リタル我登記法ノ見地ヨリスレハ却テ乙者ノ申請ヲ要スルモノト見サルヘカ

板垣學士

ラス左レハ我登記法ニ於テハ登記ノ申請ニハ「登者義務者ノ權利ニ關スル登記濟證」ヲ提出スルヲ要シ（登三五、三號）相續ノ場合ヲ除クノ外ハ「申請書ニ掲ケタル登記義務者ノ表示カ登記簿ニ符合セサルトキ」ハ登記官吏ハ其申請ヲ却下スヘキモノトナセリ（登四九、六號）即チ登記義務者ノ登記濟證ヲ提出シ得ル者ニシテ登記簿上權利者トシテ登録セラレタル者ナルヲ要ス（法學博士中島玉吉氏民法論文集三八八頁）

二 登記義務者トハ登記ヲ爲スニ因リテ第三者ニ對抗シ得ル利益ヲ失フヘキ者ヲ云フ前例ノ賣買ニ於ケル賣主質權設定ニ於ケル質入主地上權永小作權ノ設定ニ於ケル地主及抵當權ノ抹消ニ付テハ抵當權者ノ如シ（法學士板垣不二男氏不動産登記法正義九八頁）

飯島博士

【判旨第三點登記請求權ノ性質ニ關スル物權的請求權說】

登記又ハ引渡ニ關スル請求ノ性質如何物權ノ變動カ債權契約ニ因リテ生スル場合ニ於テハ物權契約ハ其實行行爲ヲ爲スモノナルカ故ニ登記又ハ引渡ニ關スル請求權ハ債權契約ノ履行ノ爲メ存スルモノニシテ換言スレハ登記又ハ引渡ヲ爲スコトハ債權ノ履行ニ外ナラサルコトハ明カナリトス大審院ノ判決ハ之ヲ是認ス乍併余ノ信スル所ニ依レハ登記及ヒ引渡ニ關スル請求權ハ一方ニ所謂物權的請求權ノ性質ヲ有スルモノナリト解釋スヘシ所有者カ其所有權ヲ主張シテ物ノ引渡（返還）ヲ求メ又ハ妨害ノ排除トシテ登記ノ抹消ヲ請求スル場合ニ於テハ請求ハ債務ノ履行ニ非サルコト論ナク即所有權ノ效力換言スレハ物權的請求權ノ性質ヲ有スルモノト解セサルヘカラス然ラハ即チ物權ノ變動カ債權契約ニ因リテ生スル場合ニ於テモ債務ノ履行タル性質ヲ有スルノ外所有權ノ側ヨリ觀察スルトキハ物權的請求權ノ性質ヲ有スルモノト解シ得サルノ理ナシ特ニ當事者間ニ於テ單ニ意思表示ノミニ因リテ物權ノ變動ヲ生スルモノナル以上ハ債權者ハ即物權取得者ニ外ナラサルカ故ニ債權者ハ當然其效力トシテ物權的請求權ヲ有スルモノナルニ於テチヤ是余カ登記又ハ引渡スコトハ一方ニ於テ債務ノ履行タルト同時ニ之ニ關スル請求權ハ物權的請求權タル性質ヲ有スルモノト解スル所以ナリ（法學博士飯島喬平氏明大物權法講義錄七七頁）

富山地方裁判所

長崎地方裁判所

【同上ニ關スル債權說】

一 物權變動ノ場合ニ於ケル登記請求權ハ物權ヲ原因トシテ發生スルモノナルモ物權其モノヨリ發生スルモノニアラス民法ノ規定ト不動産登記法ノ規定ニヨリ登記權利者ニ與ヘラレタル一種ノ權利ニシテ所謂物上請求權ニアラス該權利ハ特定人カ特定人ニ對シ給付ヲ求ムル權利ナルヲ以テ其性質タルヤ債權ナリ而シテ債權カ時效ニヨリ消滅スヘキコトハ民法ノ規定スルトコロナルヲ以テ登記請求權モ亦消滅時效ニ罹ルモノトス（富山地方大正三年民控第一四號本書第三卷民法六五三頁）

二 移轉登記ノ義務ハ其性質上固ヨリ所有權ノ移轉ヲ前提トシテ發生スル關係ナリト雖既ニ所有權ノ移轉ト同シク賣主ノ意思表示ニ基クモノタル以上ハ其移轉ノ目的タル所有權ノ存在セル限リ之カ消滅ヲ來サヽル義務ナリト解スヘキ理由ナキカ故ニ買主カ賣主ニ對シ移轉登記手續ナル特定行爲ヲ請求スル權利ハ所有權自體ノ效力ニアラスシテ賣買契約ニ原因スル債權ナルニ依リ其性質ニ於テ消滅時效ノ適用アルモノトス（長崎地方民事判決本書第一卷民法一四五頁）

中島博士

【同上ニ關スル物權的請求權類似說】

登記請求權トハ登記所ニ對シ登記ノ申請ヲ爲ス權利ヲ指スモノニ非ス登記申請ニ協力スルコトヲ請求スル權利義務ナリ故ニ國家ニ對シテ存スル公法上ノ權利ニ非スシテ當事者間ニ存スル私法上ノ權利義務ナリ

登記請求權ハ當事者ノ思意ニ基カスシテ登記ト登記能力アル實質上ノ權利關係ト一致セサルノ事實ニヨリ法律上直接ニ生スルモノナリ

登記請求權ニハ物權的性質ヲ認ムルコトカ實際ニ適スト雖モ本來物權ヨリ生スルモノニ非サルカ故ニ之ヲ以テ性質上純粹ナル物權的請求權ト認ムルヲ得ス己ムヲ得スンハ物權的請求權ニ類似シタル效力ヲ有スル一種特別ナル請求權ト解シテ滿足ス可キカ（法學博士中島玉吉氏民法論文集三七〇頁）

判旨正當ナリ蓋シ登記義務ハ實體上ノ權利ヲ有セサル登記名義人カ其者ニ對シ主張シ得ヘキ實體上ノ權利ヲ有スル者ニ對スル義務ニシテコノ義務ハ他人ノ物權取得ヲ前提トスルモノニシテ單ニ物權ノ設定移轉ヲ目的トスル債權契約タル賣買契約ニヨリ當然發生スヘキモノニアラスト雖モ賣買契約成立シタルトキハ直ニ所有權移轉スル場合タルト後日所有權ヲ移轉スヘキ債務ヲ負擔スル場合タルトヲ問ハス賣主ハ買主ニ對シ財産權ヲ完全ニ取得スル義務ヲ負擔スルモノナレハ其義務ノ內容トシテ賣主ハ買主ノ權利ヲ第三者ニ對抗シ得ル樣ニ努力セサルヘカラス而シテ賣主ノ買主ノ權利ヲ第三者ニ對抗セシムヘキ義務ハ財産權移轉ヲ條件トスルモノト解スルヲ妥當ト信ス不動産ノ賣買ニ於テハ買主ノ權利ヲ第三者ニ對抗セシムルニハ登記ヲ必要トスルヲ以テ賣主ハ賣買ニヨリ當然登記ヲ爲スヘキ義務ヲ負擔スルニ到ルモノト解セサルヘカラス即チ賣買ト同時ニ財産權ヲ移轉スル場合ニ於テハ登記義務ハ直ニ發生シ後日財産權ヲ移轉スル債務

ヲ負擔スルニ留マル場合ニ於テハ財産權移轉ヲ條件トシテ登記義務ヲ發生スルモノトス而シテカヽル義務ハ賣買契約ヨリ當然生スル義務ニシテ特約ヲ必要トスルモノニアラス或ハ之ヲ難シテ登記義務ハ他人ノ物權取得ヲ前提トスルモノナレハコノ義務ハ賣買ニヨリ當然發生スルニアラスシテ其履行トシテ爲ス物權契約ニヨリテ生スルモノト解スルヲ妥當トセサルヤト然レトモ登記義務カ他人ノ物權取得ヲ前提トシ登記請求權カ物上請求權タル性質ヲ有スルコトハ吾人モ之ヲ認ムル所(本書八卷民訴四六二頁)ナリト雖モ登記義務ハ物權契約ニ基因スルモノトノ見解ニハ左袒スルヲ得ス蓋シ民法一七六條一七七條ハ物權ノ設定移轉ハ當事者間ニ於テハ其意思表示ノミニヨリテ效力ヲ生シ物權ノ得喪變更ヲ第三者ニ對抗スルニハ登記ヲ必要トスル旨ヲ規定シタルニ止リ更ニ原權利者ニ登記義務ヲ認メタル規定ニアラス從テカヽル第三者ニ對抗セシムヘキ義務ハ物權契約ニヨリテ生スルモノト解スルヲ得サルノミナラス專ロ賣買契約ニ基因スルモノト解スルヲ妥當ト信ス或ハ又登記義務ハ他人ノ權利取得ヲ前提トシ登記請求權カ物上請求權タル性質ヲ有スルモノト認ムル以上此登記義務ハ物權得喪變更自體ヲ基因トスルモノニシテ賣買又ハ物權契約ニヨリテ生スルモノニアラストコノ說不可ニアラス殊ニ當事者ノ意思表示ニ基カスシテ物權ノ取喪變更ヲ生シタル場合ノ登記名義人ノ登記義務ニツキ一貫シタル理論ヲ以テ說明シ得ルヲ以テ吾人コノ說ニ左袒スト雖モ賣主ハ財産權ヲ完全ニ相手方ニ取得セシムル義務アルモノナレハ單ニ財産權ヲ移轉スルモ其權利ヲ以テ第三者ニ對抗シ得ル樣ニ爲サヽル以上完全ニ義務ヲ履行シタルモノト謂フヲ得サルヲ以テ賣主ハ特約アルト否トニ拘ラス常ニ買主ノ權利ヲ第三者ニ對抗セシムル樣ニ爲ス義務アルモノナリ從テ不動産ノ賣主ハ買主ノ權利ヲ第三者ニ對抗セシムル義務ノ內容トシテ登記義務カ間接ニ當然ニ生スルモノト解スルヲ實際ニ適スル解釋ナリト信ス從テ吾人ハ判旨ニ贊成スルモノナリ

(一九七)

建物保護法一第一項　建物ノ所有ヲ目的トスル地上權又ハ土地ノ賃借權ニ因リ地上權者又ハ土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スルトキハ地上權又ハ土地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

大審院判決

(一)建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借權ニ因リ土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スルトキハ右土地ノ賃借權ノ民法施行前ニ成立シタルト否トヲ問ハス其登記ナキモ之ヲ以テ其第三者ニ對抗スルコトヲ得ルモノトス」

(二)建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ建物ヲ有スルモ其登記ナキ間ニ右土地ノ所有權ヲ取得シ其登記ヲナシタル第三者ニ對シテハ右賃借人ハ其權利カ民法施行前ニ成立シタルトキト雖モ之ヲ對抗スルコトヲ得サルモノトス」

然レトモ原判決ノ事實ノ摘示ニハ上告人カ所論ニ係ル乙號證ヲ提出シタル旨ノ記載アルニ依リテ之ヲ觀レハ原判決ノ文詞稍妥當ヲ缺クノ嫌アリト雖モ原裁判所ニ於テ上告人ノ主張事實ヲ證スルニ足ラサルモノトシテ右證據ヲ排斥シタルニ他ナラサルコトヲ判文上推知シ得サルニ非サルヲ以テ原判ハ所論ノ違法ナシト云ハサルヲ得サルノミナラス建物保護ニ關スル法律第一條ノ規定ニ依レハ建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借權ニ因リ土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スルトキハ各土地ノ賃借權ノ民法施行前ニ成立シタルト否トヲ問ハス其登記ナキモ之ヲ以テ其第三者ニ對抗スルコトヲ得ルニ過キサルヲ以テ建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借權ニ因リ土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ建物ヲ有スル其登記ナキ間ニ右土地ノ所有權ヲ取得シ其登記ヲ爲シタル第三者ニ對シテハ右賃借人ハ其權利ハ民法施行前ニ成立シタルトキト雖モ之ヲ對抗スルコトヲ得サルコト言ヲ待タサル所ナリ而シテ原裁判所ノ判示スル所ニ依レハ上告人ノ原審ニ於ケル事實上ノ主張ハ上告人ノ先代與兵衞カ本件ノ建物所有ノ爲メ民法施行前ヨリ被上告人ノ前々主小野寺進ト其所有ニ係ル本件ノ敷地ニ付キ期限ノ定ナキ賃貸借ノ契約ヲ締結シ明治四十一年二月十一日右與兵衞ノ隱居ニ因リ上告人カ右借地權ヲ承繼シタリト云フニ在リテ又原裁判所ノ判示スル所ニ依レハ被上告人ハ大正七年八月二十四日賣買ニ依リ本件係爭建物ノ敷地ノ所有權ヲ取得シ其登記ヲ爲シ上告人ハ大正七年九月三十日本件係爭ノ建物ニ付キ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルノ事實ハ當事者間ニ爭ナキ所ナリ果シテ然ラハ右上告人ノ主張事實自體ト當事者間ニ爭ナキ事實自體トニ因リ上告人カ本件係爭建物ノ敷地ニ付キ有スル賃借權ヲ被上告人ニ對抗スルコトヲ得サルノ筋合ナレハ此一事ニ依リ上告人ノ主張ノ失當ナルコト洵ニ明白ナリ故ニ原判決ニ上告所論ノ違法アリト假定スルモ之カ爲メ原判決ヲ破毀スルコトヲ得ス（大審院大正九年（オ）第五九一號同年十二月八日民三部横田裁判長大倉松岡蒸淵成道各判事判決）

【關係事項】上告棄却〇原審盛岡地方裁判所〇建物登記抹消建物收去並土地明渡請求事件〇上告人岩淵寅之助訴訟代理人辯護士菊地俊輔被上告人菅原幸四郎

（一九八）

鑛業法一五　鑛業權ハ物權トシ不動產ニ關スル規定ヲ準用ス但シ民法第百七十九條第一項ノ規定ハ此限ニ在ラス
同一九　鑛業權及抵當權ノ設定變更移轉消滅竝ニ處分ノ制限ハ鑛業原簿ニ登錄ス共同權利者ノ脫退ニ付テモ亦同シ
但シ鑛業權ノ處分ヲ制限セレタルトキハ廢業ノ登錄ヲ爲スコトヲ得ス
登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

鑛業權ハ其採掘權タルト試掘權タルトヲ問ハス之ヲ鑛業原簿ニ登錄スルニ非サレハ何人ト雖モ之ヲ取得スルコト能ハサルモノナレハ鑛業權ニ付テハ其共有權ト雖モ亦之ヲ鑛業原簿ニ登錄スルニ因リテ始メテ之ヲ取得シ得ヘク若共有權者トシテ之ヲ共有ト爲ス意思表示カ當事者間ニ成立シタリトスルモ之ニ依リテ其鑛業原簿ニ登錄スルコトナカリシ者ノ爲メニ共有權ヲ生スルコトナキモノトス」

案スルニ鑛業權ハ其採掘權タルト試掘權タルトヲ問ハス之ヲ鑛業原簿ニ登錄スルニ非サレハ何人ト雖モ之ヲ取得スルコト能ハサルモノニ屬スルヲ以テ鑛業權ニ付テハ其共有權ト雖モ亦之ヲ鑛業原簿ニ登錄スルニ因リテ初メテ之ヲ取得シ得ヘク若シ共有權者トシテ之カ登錄ナカリシ場合ニハ縱令之ヲ共有ト爲ス意思表示カ當事者間ニ成立シタリトスルモ之ニ依リテ其鑛業原簿ニ登錄スルコトナカリシ者ノ爲メニ共有權ヲ生スルコトナシ（當院大正二年（オ）第五九三號大正三年二月二十八日判決參照）然ルニ原判決ハ「控訴人（上告人）ハ右試掘權ヲ讓渡人楠治郎吉ニ於テ共有權ヲ有セサリシニ付キ契約ノ要素ニ錯誤アリト抗辯スレトモ成立ニ爭ナキ乙第二號證ノ一、二乙第三號證ノ一、二前記證人楠治郎吉ノ證言ヲ參照スルトキハ右試掘權ニ付キ楠治郎吉ニ於テ共有者トシテ十分ノ四ノ持分ヲ有スルモノナルコト明確ナルヲ以テ控訴人主張ノ如

キ錯誤アルヲ認ムルヲ得ス」ト判示シタリト雖モ乙第二號證ノ一ハ楠治郎吉外三名間ニ於ケル重石及水鉛鑛試掘出願ニ關スル契約ニシテ事業ノ權利分配ノ割合ヲ、楠治郎吉カ十分ノ四ヲ有スルコトヲ認メ得ルト同時ニ出願名義ハ訴外天野谷藏金丸貞義ノ兩名ノ名義ヲ以テスルコトヲ約シ同第三號證ノ一、二ニ依リ係爭山梨縣試掘權第三一九號ハ天野谷藏金丸貞義二名ノ名義ニ登錄セラレタルコトヲ認ムルヲ得又原審證人楠治郎吉ノ證言ハ右乙第二號證ノ一ノ契約ノ成立ヲ認メ得ルト雖モ此等證據ニ依リテハ毫モ訴外楠治郎吉カ共有權者トシテ登錄セラレタルモノナルコトヲ認メ得ヘキモノナク單ニ共有者トシテ十分ノ四ヲ有シ得ヘキ契約上ノ權利ヲ有スルコトヲ認メ得ルニ止マルモノナルニ原判決ハ之ヲ以テ訴外楠治郎吉ニ鑛業權トシテ試掘權ニ付キ共有權アルカ如ク判示シタルハ明カニ鑛業權ノ本質ヲ誤リタルモノニシテ失當ノ判決タルヲ免カレス（大審院大正九年(オ)第五九九號同年十二月九日民二部馬場裁判長田上菰淵成道水口各判事判決）

【關係事項】破毀差戻○原審東京控訴院○契約金請求事件○上告人石黑健訴訟代理人辯護士根本淸被上告人古屋專藏訴訟代理人辯護士山本保司莊間熙太郎

（一九九）

德川時代ノ村ナルモノハ現時ノ法制ニ於ケル法人トハ多少其性質及ヒ觀念ヲ異ニシ村ヲ構成スル村民ト全然相離レタル別個獨立ノ人格ヲ有シタルモノニ非スシテ村民全體ヨリ成ル總合的團體ヲ構成シ而シテ村民全體ノ利害ニ關スル事項ニ付キ村トシテ其施設ヲ爲シ之ニ關スル法律行爲又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ付キ村タル資格ヲ以テ之ヲ爲スノ能力ヲ有シタルコトハ現時ノ町村ト毫モ異ナル所ナク又此等ノ行爲ヲ爲スニ付キ庄屋頭百性等村役人カ村ヲ代表スルノ權限ヲ有シタルモノトス」

如上村ハ村民全體ノ利害ニ關スル事項ニ付キ村トシテ其行爲ヲ爲スコトヲ得タルノミナラス從令村民全體ノ利害ニ關セサル事項タリトモ村治上直接關係重大ナル利害ヲ及ホス事項ニ付テハ直接當面ノ利害關係者ハ村民ノ一部ニ過キサル場合ニ於テモ村トシテ之カ施設ヲ爲シ從テ此等ニ關シ他村又ハ他村民ト契約ヲ爲スニ當リ庄屋頭百姓等村民ニ於テ村ヲ代表シテ之ヲ爲スノ權限ヲ有シタルモノトス」

如上村民一部ノ利害ニ關スル事項ニ付キ村トシテ之カ施設ヲ爲ササル場合ニ庄屋頭百姓等ノ村役人カ個人タル村民ヲ代表シテ契約ノ衝ニ當リタルコト必スシモ絶無ニアラサルヘク從テ此等ノ場合ニ村役人カ村ヲ代表シテ爲シタリヤ將タ又村民ヲ代表シテ爲シタリヤハ各場合ニ於ケル契約ノ內容ヲ精査シテ判斷スヘキモノトス」

村治上ニ重大ナル利害ノ關係ヲ及ホス事項ニ付テハ他ニ特別ナル事情ノ存セサル限リハ村トシテ施設ヲ爲シ又村役人ハ村ヲ代表シテ法律行爲ヲ爲シタルモノト推斷スヘク直接其利害ノ影響ヲ受クル者カ村民全體ニ非サルノ故ヲ以テ直ニ其契約ハ個人タル村民間ニ成立シ村役人ハ個人タル村民ヲ代表シタルモノト速斷スヘキニ非サルモノトス」

案スルニ德川幕府時代ノ村ナルモノハ現時ノ法制ニ於ケル法人トハ多少其性質及ヒ觀念ヲ異ニシ村ヲ構成スル村民ト全然相離レタル別個獨立ノ人格ヲ有シタルモノニ非スシテ村民全體ヨリ成ル總合的團體ヲ構成シ而テ村民全體ノ利害ニ關スル事項ニ付キ村トシテ其施設ヲ爲シ之ニ關スル法律行爲又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ付キ村タル資格ヲ以テ之ヲ爲スノ能力ヲ有シタルコトハ現時ノ町村ト毫モ異ナル所ナク而テ又此等ノ行爲ヲ爲スニ付キ庄屋頭百姓等村役人カ村ヲ代表スルノ權限ヲ有シタルコトハ現時殘存セル當時ノ公文書ニ徵シテ歷々之ヲ窺フコトヲ得ヘシ而テ村ハ斯ノ如ク村民全體ノ利害ニ關スル事項ニ付キ村トシテ其行爲ヲ爲スコトヲ得ルノミナラス縱令村民全體ノ利害ニ關セサル事項タリトモ例ヘハ井堰ヲ造リ溜池ヲ設クル等苟モ村治上直接間接重大ナル利害ヲ及ホス事項ニ付テハ直接當面ノ利害關係者ハ村民ノ一部ニ過キサル場合ニ於テモ村トシテ之カ施設ヲ爲シ從テ此等ニ關シ他村又ハ他村民ト契約ヲ爲スニ當リ庄屋頭百姓等村役人ニ於テ村ヲ代表シテ之ヲ爲スノ權限ヲ有シタルモノトス但此等村民一部ノ利害ニ關スル事項ニ付キ村トシテ之カ施設ヲ爲サヽル場合ニ庄屋頭百姓等ノ村役人カ箇人タル村民ヲ代表シテ契約ノ衝ニ當リタルコト必スシモ絕無ニ非サル可ク從テ此等ノ場合ニ村役人カ村ヲ代表シテ爲シタリヤ將タ又村民ヲ代表シテ爲シタリタリヤハ各場合ニ於ケル契約ノ內容ヲ精査シテ判斷スヘキモノナルコトハ從來判例(明治三十六年(オ)第三九二號同年九月二十五日判決)ノ示スカ如クナレトモ叙上村治上ニ重大ナル利害ノ關係ヲ及ホス事項ニ付テハ他ニ特別ナル事情ノ存セサル限リハ村トシテ施設ヲ爲シ又村役人ハ村ヲ代表シテ法律行爲ヲ爲シタルモノト推斷スヘク直接其利害ノ影響ヲ受クル者カ村民全體ニ非サルノ故ヲ以テ直ニ其契約ハ箇人タル村民間ニ成立シ村役人ハ箇人タル村民ヲ代表シタルモノト速斷スヘキモノニ非サルヤ明カナリ本件上告人ノ請求原因トシテ主張スル所ハ文化三年二月被上告部落蔵入村ニ於テ新ニ開墾シタル田地ニ用水ヲ供スル爲メ上告人板井村及ヒ其他各上告人先代所有ノ地所內ニ井手ヲ開鑿シテ菊池川ノ水ヲ取入レ之ヲ

被上告村ノ新田ニ引水スルコトトナシ其井手床敷地ノ使用料トシテ甲第一、二號證ノ如ク本件請求ノ井手料米ヲ被上告村ヨリ上告村ニ支拂フヘキ契約ヲ締結シタリト云フニ在リテ而テ右甲第一號證御請申上覺ニハ右井手床地ノ內譯畝ハ一步ニ六合宛御本地新地ハ八合宛合計五石一斗九升五合二オノ井手料米ヲ蔵入村ヨリ板井村ニ相渡シ尙水門口ハ深川手永(數ケ村ヲ合シタルモノヲ手永ト云フ)ニテ普請シ水害ヲ豫防シ指蓋揚御ノ者ニ支給スヘキ分トシテ蔵入村ヨリ板井村ヘ年々熊本御藏拂切手ニテ三斗五升ヲ支拂フヘキ旨ノ記載アリテ該覺書ニハ毫モ箇人タル村民ノ名義ヲ用ユルコトナクシテ凡ソ板井蔵入兩村ヲ以テ契約ノ當事者ト爲シアルノミナラス其覺書ノ末尾ニハ當事者タル兩村ノ頭百姓及ヒ庄屋署名捺印シアリ此等ノ事迹ニ依ルトキハ本件工事ノ性質ニ鑑ミ他ニ特別ナル事情ノ存セサル限リハ前段說明スルカ如ク右井手開鑿ニ關スル事項ハ村ニ於テ經營シ從テ庄屋頭百姓ハ村ヲ代表シテ之ニ署名捺印シタルモノト認メサル可カラス然ルニ原判決ハ何等特別ノ事情ノ存シタルコトヲ認メタルニ非ス唯右用水路設置ニ付キ直接利害ノ關係ヲ有スル者ハ水路敷地所有者及ヒ新田ノ使用者ニ止マリ村民全體ノ利害ニ關スルモノニアラストノ理由ニ依リ前記井手料米ニ關スル契約ハ水路敷地所有者ト新田使用者トノ間ニ成立シ庄屋頭百姓ハ此等個人タル村民ヲ代表シタルモノト判定シタルハ叙上ノ法則ニ背キテ事實ヲ認定シタル不法アルモノニシテ原判決ハ破毀ヲ免レス(大審院大正九年(オ)第二五二號同年十二月一日民三部橫田裁判長大倉磯谷松岡成道各判事判決)

【關係事項】 破毀差戾○原審熊本地方裁判所○井手料請求事件○上告人板井區外四人訴訟代理人辯護士山隔康同岸執一被上告人蔵入區訴訟代理人辯護士公莊惟和

司法省訓令回答要旨

附錄　司法省訓令回答要旨索引

◎戸籍事務取扱方疑義ニ關スル件……一、二、三、四、五
◎司法代書人法ニ關スル件……一
◎相續人廢除取消ノ訴ノ受繼ニ關スル件……一
◎登記取扱方ニ關スル疑義ノ件……一
◎執達吏規則ニ關スル疑義ノ件……二
◎登記事務取扱方ニ關スル件……三、四
◎登錄稅徵收ニ關スル件……四
◎會社ノ合併ニ關スル件……五
◎產業組合事務所變更ニ關スル件……五
◎國勢調查員ノ戸籍簿等閲覽ニ關スル件……五
◎再審ノ刑ノ執行方ニ關スル件……五
◎漁業法施行規則ニ關スル疑義ノ件……五
◎狩獵法上ノ沒收ニ關スル件……五
◎朝鮮、臺灣、關東州ニ於ケル非訟事件ニ關スル件……六

司法省訓令回答要旨

○戸籍事務取扱方ノ疑義ニ關スル件

一　養家ニ實父ト養父アル場合ニ於テハ養父親權ヲ行フ可ク養父死亡シタルトキハ實父親權ヲ行フモノトス之ニ反シテ家ニ實父ト養母トアル場合ニ於テハ實父親權ヲ行フモノニシテ養母ノ死亡ハ親權ノ行使ニ影響ヲ及ホスモノニアラス（大正八年九月十九日民事第二八六一號民事局長回答）

一　同一戸籍内ニ未成年ノ實父ト配偶者ナキ養父又ハ養母アル場合ニ於テ養父母ノ死亡後ニ入籍シタル實父ハ親權ヲ行フモノトス（同上）

◎同上ニ關スル疑義ノ件

一　養親ノ一方カ死亡シタルトキ其死亡者ト養子トノ親族關係ハ之ニヨリテ消滅セス其消滅スル時期ハ養親死亡ノ時ニ非スシテ養子カ生存セル養親ト離緣ヲ爲シタル時ナリトス（大正八年九月十九日民事第四二五二號民事局長回答）

◎寄留事務取扱方ニ關スル疑義ノ件

一　船舶ニ住所又ハ居所ヲ有スルモノハ寄留者トシテ取扱フコトヲ得サルモノナレトモ大阪市内ニアル料理船ノ如キハ一定ノ場所ニ定繫シ之ニ住所又ハ居所ヲ有スルモノアリ此等ハ寄留者トシテ取扱フ可キモノトス（大正八年九月十九日民事第四二七〇號民事局長回答）

◎司法代書人法ニ關スル件

一　司法代書人ニ非サル代書人カ他人ノ囑託ヲ受ケ裁判所及檢事局ニ提出スヘキ書類ヲ作成シタル場合ト雖モ其書類ヲ裁判所及檢事局ニ於テハ之ヲ受理ヲ拒ムコトヲ得サルモノトス（大正八年十月十四日民事第四五九二號民事局長回答）

◎法定推定家督取續人廢除取消ノ訴ノ受繼ニ干スル件

一　推定家督相續人廢除取消請求ノ訴訟繫屬中原告タル被相續人カ死亡シタル場合テハ民法第九七八條ノ規定ニ依リ親族利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ管理人ヲ選任セラルヘキヲ以テ其者ニ於テ民事訴訟法第一八一條一八〇條ノ規定ニ依リ訴訟手續ヲ受繼セシム可キモノトス（大正八年十二月九日民事第五三〇四號民事局長回答）

◎登記取扱方ニ關スル疑義ノ件

一　登記ヲ申請スルニ當リ登記原因ニ付キ第三者ノ許可同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面ノ提出ヲ要スルコトハ不動産登記法第三十五條ニ規定アレト右其第三者ノ資格ノ書面ヲ提出セシム可キヤニ付テハ登記官吏カ必要アリト認ムルトキハ之ヲ提出セシム可キモノトスルヲ相當トスヘシ（大正八年十二月十日民事第五一五四號民事局長回答）

◎執達吏規則第一九條ニ干スル疑義ノ件

一　法律第四〇號ヲ以テ執達吏規則第一九條中改正セラレ大正八年六月一日ヨリ施行セラレタルモノニ付キ同條ノ一ケ年ノ收入額ノ不足額支給時期ニ關シテハ「大正八年一月一日ヨリ同年十二月三十一日迄ノ内ニ收入セシ手數料ノ總額カ四百五十圓ニ充タサルトキハ國庫ヨリ其不足額ヲ支給スヘキモノト解スル」ヲ相當トス（大正八年十二月十三日民事第五三七八號民事局長回答）

◎朝鮮關東州臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル屆ノ件

朝鮮關東州臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル屆出ニ付テハ左ノ通取扱ハルヘシ（大正九年一月十二日民事第五五四八號市町村役場裁判所宛民事局長通牒）

一　朝鮮臺灣及樺太ニ居住スル内地人ノ戸籍法ニ依ル屆出ヲ該地ノ警察署ニ於テ便宜受理シ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ送付シタルトキハ其屆出ヲ受理スヘシ

一　前號ノ場合ニ於テ屆書カ屆出期間ヲ經過シタル後ニ市町村役場ニ到達シタルトキト雖モ警察官署カ屆出期間内ニ屆出ヲ受ケタルモノナルトキハ戸籍法施行細則第四十二條ノ通知ヲ爲スニ及ハス

◎戸籍事務取扱方ニ關スル疑義ノ件

一　法定代理人ハ意思能力ヲ有セサル戸主ニ代リテ轉籍ノ屆出ヲ爲スコトヲ得ヘク意思能力アル未成年者ハ自ラ轉籍ノ屆出ヲ爲スヘキモノトス（大正八年十月一日民事第三七二六號民事局長回答）

◎同上ニ關スル疑義ノ件

一　戸主カ家族ノ後見人ニ就職シタルモ其屆出ヲ爲サスシテ死亡シ其相續人タル新戸主カ更ニ家族ノ後見人ニ就職シタル場合ハ後任ノ後見人トシテ後見開始及更迭ノ屆出ヲ各別ノ書面ヲ以テ爲サシムヘキモノトス（大正九年一月二十日民事第五六五九號民事局長回答）

一　甲戸主死亡後乙長男相續屆出前死亡シ丙孫カ相續ト屆出ヲ爲シタル場合ニハ市町村長ハ法第六四條第三項ニ依リ監督區裁判所ノ許可ヲ得其職權ヲ以テ乙長男ノ戸籍ヲ編製シタル後更ニ丙孫ノ相續屆ニ基キ其戸籍ヲ編製スヘキモノニシテ此ノ場合ニ於テモ丙孫ヨリ乙丙ノ相續屆ヲ爲サシメ之ニ基キ乙丙ノ各戸籍ヲ編製スヘキモノトス（同上）

◎同上ニ關スル疑義ノ件

一　絶家ニ因リ一家創立シタル者ニ隨テ其家ニ入ルヘキ者（民法第七百六十四條第一項但書及第二項）ノ戸籍事項欄ニハ入籍並ニ除籍ノ記載ヲ要スルモノトス（大正九年二月七日民事第四〇五號民事局長回答）

一　前項ノ場合ノ記載例左ノ如シ

（イ）絶家ノ戸籍ノ記載例

何年何月何日父（夫）某一家創立ニ付キ共ニ除籍印

（ロ）一家創立ノ戸籍ノ記載例

何年何月何日父（夫）某一家創立ニ付キ共ニ入籍印

◎執達吏補助金ニ關スル件

一　乙執達吏甲執達吏ノ後任トシテ就職セシニ甲執達吏ノ在職期間ハ執達吏規則第十九條所定ノ收入ヘ月割ニ達シ居ルモ後任乙執達吏ノ收入ハ前任者ノ收入ト合算シ法定ノ年收ニ達セス此ノ場合ニ於ケル國庫補助金ハ日割計算ヲ以テ就職ノ日ヨリ以後ノ額ヲ乙執達吏所得スルモノトス（大正九年三月五日民第五六七號民事局長回答）

◎戸籍事務取扱方ニ關スル疑義ノ件

一、親權者カ禁治產又ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタル爲メ其子ノ後見人ニ選任セラレタル者ノ任務ハ親權者ニ對スル禁治產ノ宣告又ハ準禁治產ノ宣告カ取消サレタルトキハ後見人ノ任務ハ之ニ因リテ終了ス（大正九年三月二日民事第一七八號民事局長回答）

二、親權者カ禁治產又ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタル爲メ其子ノ後見人ニ選任セラレタル後法定後見人アルニ至ルモ現任後見人ニ於テ民法第九〇七條第三號ノ規定ニ依リ辭任セサル限リ其ノ資格ハ消滅セス（同上）

三、二、場合ニ於テ親權ヲ行フ父又ハ母カ子ノ家ニ入籍シタル場合ハ爾後後見ノ原因消滅シタルモノナレハ當然後見ノ終了ヲ來スヘキモノトスルヲ妥當トス（同上）

◎登記殊ニ產業組合登記ノ附屬書類作成方ニ關スル件

一、登記ノ申請書又ハ囑託書ニ添付スヘキ登記原因ヲ證スル書面及登記原因ニ付キ第三者ノ許可同意又ハ承諾ヲ證スル書面其他登記ニ關シ特ニ作ルヘキモノニ非サル附屬書面ニ付テハ不動產登記法第七七條不動產登記施行細則第三九條及商業登記取扱手續第二五條ノ適用ナキハ勿論ナルニ往々此等ノ書面中文字ノ記載方ノ不備及契印ノ漏洩等ヲ理由トシテ申請又ハ囑託ヲ受理セサルハ妥當ヲ欠ク蓋右附屬書面ハ登記ノ正確ヲ期スル爲メ提出セシムルモノタルハ勿論ナルモ別ニ一定ノ形式ヲ定メラレタルモノ無シ從テ其記載ニシテ全ク信ヲ措クニ足ラサルカ如キ場合ハ格別單ニ形式ヲ不完全ヲ理由トシテ申請又ハ囑託ヲ受理セサルカ如キ妥當ヲ欠ク殊ニ產業組合ノ屆出ニ基キ地方廳ヨリ囑託ヲ爲スヘキモノニ付テハ之カ爲メ登記ノ遲滯ヲ增スコト甚タ多ク其ノ當事者ノ權利ヲ阻害スルコト少ナカラス（大正九年三月一八日第九三一號地方裁判所宛民事局長通牒）

◎登記事務取扱方ニ關スル件

曾テ數十個ノ土地ヲ合併シ抵當權設定登記ヲ爲シタル後其ノ一部ノ土地カ耕地整理施行地區ニ編入セラレ耕地整理法第三〇條第四項ノ告示ヲ經タリ今其地區外ノ土地數個ニ對シ抵當權消滅ノ登記ヲ爲シタル場合地區内ノ土地ニ付キ不動產登記法第一二六條ニ依リ爲スヘキ職權付記ノ登記並ニ右ノ債權ニ對シ同法第一二二條ノ三ニ依リ追加擔保ヲ提供シタルニ付キ同法第一二四條ノ四ニ依リ前ノ登記タル右地區内ノ土地ニ付キ爲スヘキ職權登記ノ場合ハ毫モ其地區内ノ土地ノ處分若クハ權利ノ變更ヲ爲スニ非ラス全然關係ナキ他ノ物件ニ係ルモノナルヲ以テ其都度登記ヲ完了シ置カハ耕地整理登記ヲ爲スニ當リ既ニ消滅ニ係ル共同擔保物件ヲ移記轉寫等ヲ爲スノ煩ヲ避クルヲ得ヘク且申請書又ハ通告書ノ編綴並ニ保存上ニモ便宜尠カラス（大正九年四月一五日民事第一一四三號民事局長回答）

◎戸籍事務取扱上ノ疑義ニ關スル件

一、母ノ法定推定家督相續人タル私生子ハ戸主タル父ノ認知ニ因リテ其家ニ入ルヲ得サルコトノ大正八年一月二一日民六三號法務局長回答ハ爾後變更ナシ（大正九年五月一一日民事第一五一〇號民事局長回答）

二、廢嫡屆ト他家ニ入ルヘキ行爲ノ屆トハ必スシモ同時ニ同一市町村長ニ爲スヲ要セサルコトノ大正四年一〇月一一日民一六七〇號法務局長回答ハ爾後變更ナシ（同上）

◎登記取扱方ニ關スル件

一、遺言書ヲ添付シ之レヲ登記原因トシテ所有權移轉ノ登記申請ハ代理人ニ依リテ之ヲ爲シ得ヘキコトハ不動産登記法第二六條ノ規定スル所ニシテ其代理ニ付キ雙方代理又ハ相手方ノ代理ヲ許スヘキヤ否ヤハ一ニ民法第一八〇條ノ規定ノ精神ニ依リテ解釋スヘキモノトス事案登記申請ハ債務ノ履行ニ準スヘキモノナルヲ以テ遺言執行者ハ同時ニ受遺者トシテ登記ノ申請ヲ爲スコトヲ得（大正九年五月四日民事第一三〇七號民事局長回答）

◎登錄稅徵收ニ關スル件

一、登錄稅法第二條第三條所定ノ不動産若クハ船舶ノ價格ハ登記原因發生當時ノ價格ニアラスシテ登記ヲ受クル日時ノ價額ナリ（大正九年四月二一日民事第一二一一號民事局長回答）

一、建物ノ賣受後其登記前該建物燒失シタル場合ニ於テ買主カ其滅失登記ヲ爲スヘキ順序トシテ先ツ賣買ニ因ル所有權取得登記ヲ爲サントスル場合如何ナル方法ニヨリ其價額ヲ定ムヘキヤト云フニ本件ノ場合ニ於テハ現在ノ登記名義人ヨリ滅失ノ登記ヲ申請スルコトヲ得（同上）

一、從物カ不動産ナル場合ニ於テハ從物カ主物ノ處分ニ從フ場合ニ於テハ其從物ノ價額ハ之ヲ主物ノ價額ニ併算スヘキモノナリ（同上）

◎戸籍事務取扱方ニ關スル件

一、戸籍法ノ規定ニ依ル屆書ヲ作製スルニ炭酸紙又ハ謄寫版ヲ用ヒタル屆書カ文字鮮明ニシテ保存ニ耐フルモノナルコトヲ認メ得ヘキ場合ニ於テハ之ヲ受理シ差支ナシ尙青色赤色ノ炭酸紙ヲ用ヒタル字體ハ短時日ニ於テ痕跡ヲ留メサルニ至リタル例モ有リ之等炭酸紙ニヨリ記載シタル屆書ハ受理セサルヲ相當トス（先例變更）（大正九年五月二七日民事第一六九八號民事局長回答）

◎戸籍事務取扱方ニ關スル件

一、內緣ノ妻懷胎中大正九年一月二八日婚姻屆ヲ爲シ同年五月三日夫死亡シ其後男兒出生シ遺妻ヨリノ嫡出子出生屆ヲ爲スモ受理スルコトヲ得ス（大正九年五月二八日民事第一七九四號民事局長回答）

◎戸籍事務取扱方ニ關スル件

一、失踪者ニ付死亡屆ヲ受理シタル市町村長ハ之ニ基キ死亡ノ記載ヲ爲スヘシ但シ失踪ノ記載ハ市町村長利害關係人ニ對シ戸籍ノ記載ニ錯誤アル旨ヲ通知シ利害關係人ヲシテ失踪宣告取消ノ判決ニ基ク戸籍訂正ノ申請ヲ爲サシメテ之ヲ抹消スヘシ（大正九年五月三一日民事第一五五三號民事局長回答）

一、失踪宣告後五年ノ期間ヲ經過シ其宣告ニ對スル不服ノ訴ヲ提起スルヲ得サルニ至リタルトキハ死亡ノ記載ヲ爲スコトヲ得ス（同上）

一、戸主甲ノ家族カ失踪宣告ヲ受ケ除籍セラレ其後戸主死亡シ其相續人ヨリ相續屆出アリタル後右失踪者ニ對スル死亡屆出アリタルトキハ新戸籍ニ失踪者ニ關スル戸籍ノ記載ヲ移記シタル上死亡ノ記載ヲ爲ス（同上）

一、單身女戸主カ廢家又ハ隱居ノ手續ヲ爲サスシテ婚姻ニヨリ他家ニ入リ屆出ヲ誤テ受理シタル場合ニ其者ニ相續人ナク且ツ相續財産ナキトキハ市町村長ハ監督區裁判所ノ許可ヲ得テ職權ヲ以テ絕家ノ記載ヲ爲スコトヲ得（同上）

◎會社ノ合併ニ關スル件

一、二個以上ノ會社カ合併シ株式會社ヲ新立スル場合ニ於テ合併ニ因リ消滅スル會社ノ株主ニ對シ合併ノ結果ニ依リ新立會社ノ株式ヲ交附スヘキモノノ外新立會社ノ株式ノ一部ヲ新ニ募集シ又ハ合併ニ因リ消滅スル會社ノ本支店所在地以外ノ地ニ支店ヲ設置スルコトヲ合併契約書ニ記載スル場合ニ於テ之等ヲ包括シテ單一ナル會社合併ナル觀念ヲ以テ解釋シ登記ハ非訟事件手續法第一九三條ノ三ニ因ル設立ノ登記ヲ申請スレハ足レリ（大正九年六月九日民事第一九三四號民事局長回答）

◎産業組合事務所ノ番地變更ニ關スル件

一、産業組合ノ事務所ノ番地カ戸籍簿ノ改正等ノ爲メニ變更セラレタル場合産業組合法第十五條ノ土地ノ名稱中ニハ地番ヲ包含セス且ツ戸籍法第四十一條第二項ノ如キ規定ノ存セサルハ囑託ニ因リテ變更登記ヲ爲サシムル趣旨ナルヘキヲ以テ事務所ノ番地ノ變更ニ付テモ登記ノ囑託ヲ爲スコトヲ要スルモノトス（大正九年七月二十八日民事第二五六四號民事局長回答）

◎國勢調査委員ノ戸籍簿等閲覽ニ關スル件

一、國勢調査委員カ其職務上調査ノ必要ヨリ戸籍簿除籍簿等ノ閲覽ヲ求ムル時ハ一一其手數料ヲ要セルモノナリ（大正九年七月廿七日民事第二九五七號民事局長回答）

◎再審ノ刑執行方ニ關スル件

一、從來再審ノ訴ニ依リ原判決ヲ破毀シ更ニ有罪言渡ヲ受ケタル場合ニ於テハ既ニ執行シタル刑ハ再審ニ依リ言渡シタル刑ニ通算スヘキ取扱ナリシモ懲役刑ト勞役場留置トハ其性質ヲ異ニスルヲ以テ通算スルコトヲ得サルモノトス（大正九年十月九日刑乙第八五八一號刑事局長回答）

◎戸籍事務取扱方ニ關スル件

一、婚姻離婚緣組離緣等ニ付キ當事者カ其效力ヲ生セシメントスル意思ヲ以テ屆書ヲ郵送シタル以上ハ其屆書カ市町村長ニ到達スル前ニ當事者ノ一方又ハ雙方カ死シタルトキト雖モ市町村長ノ受理ニ因リテ其效力ヲ生スヘシ（大正九年十一月十日民事第三六三號民事局長回答）

一、從來戸籍ニ戸番號ヲ本籍トシテ記載シアリタル場合戸籍法施行後ニ於テ家督相續分家（同一地番）等ニ因リ新ニ戸籍ヲ編製スルニ際シ相當地番號ヲ本籍トシテ記載スルモ新戸籍ニ何等ノ事由ヲ記載セサルニヨリ原本籍ト新本籍ト同一ナルヤ否ヤ知ルニ由ナキ場合ト雖モ地番號ヲ以テ本籍ヲ表示シタル場合ニハ別ニ其事由ヲ記載スルニハ及ハス（大正九年十一月十日民事第三五五四號民事局長回答）

◎漁業法施行規則解釋ノ件

一、電流ヲ水中ニ通シ因テ魚類ヲ疲憊セシメテ之ヲ採捕シタル者アリ取締上ニ於テハ之ヲ處罰スル必要有ルノミナラス舊刑法ニ於テハ電氣ヲ竊盜セシ者ヲ竊盜罪トシテ處罰セシ實例アルモ現行法ニ於テハ第二百四十五條第二百五十一條ノ如キ特別規定ヲ設ケ且漁業法施行規則ハ明治四十五年ノ規定ニシテ刑法施行後ニ係ルヲ以テ斯ル場合ハ漁業法施行規則第四十六條ノ有毒物中ニ包含セサルモノトス（大正九年十月二十三日刑乙第九〇六五號刑事局長回答）

◎狩獵法第二十一條第二項犯罪用物件ノ沒收ニ關スル件

露光量違いの為重複撮影

一、狩獵法第三條又ハ第十五條ノ規定ニ違反シタル犯罪ノ供用物件ヲ沒收スル第二十一條第二項ノ規定ハ刑法第十九條ノ特別規定ニシテ第三條又ハ第十五條ニ違反スル行爲ヲ特ニ其情重キモノト認メ苟モ之ニ違反スル以上ハ其供用物件カ犯人自身ノ所有ニ屬スル場合又ハ他人ノ所有ニ屬スルモ犯人自身ノ所持スル場合ニ於テハ均シク之レヲ沒收スル法意ナリト思考ス（大正九年十二月四月刑乙第九六三號刑事局長回答）

◎朝鮮臺灣又ハ關東州ニ於ケル內地人ニ關スル非訟事件ニ付其地域ノ裁判所ノ爲シタル裁判ノ效力ニ關スル件

一、朝鮮臺灣又ハ關東洲ニ於ケル內地人ニ關スル非訟事件ニ付其地域ノ裁判所ノ裁判ハ內地ニ於テモ其效力ヲ有スルヲ以テ該裁判ニ基キ內地ニ於テ屆出申請等ヲ爲シ得ルコトトシタルヲ以テ區裁判所出張所及市町村役場ヘモ指示スヘキモノトス（大正九年十二月一日民事第三九一六號地方裁判所宛民事局長通牒）

行政裁判所判決要旨

露光量違いの為重複撮影

一、狩獵法第三條又ハ第十五條ノ規定ニ違反シタル犯罪ノ供用物件ヲ没收スル第二十一條第二項ノ規定ハ刑法第十九條ノ特別規定ニシテ第三條又ハ第十五條ニ違反スル行爲ヲ特ニ其情重キモノト認メ苟モ之ニ違反スル以上ハ其供用物件カ犯人自身ノ所有ニ屬スル場合又ハ他人ノ所有ニ屬スルモ犯人自身ノ所持スル場合ニ於テハ均シク之レヲ没收スル法意ナリト思考ス（大正九年十二月四月刑乙第九六三號刑事局長回答）

◎朝鮮臺灣又ハ關東州ニ於ケル内地人ニ關スル非訟事件ニ付其地域ノ裁判所ノ爲シタル裁判ノ效力ニ關スル件

一、朝鮮臺灣又ハ關東州ニ於ケル内地人ニ關スル非訟事件ニ付其地域ノ裁判所ノ裁判ハ内地ニ於テモ其效力ヲ有スルヲ以テ該裁判ニ基キ内地ニ於テ屆出申請等ヲ爲シ得ルコトトシタルヲ以テ區裁判所出張所及市町村役場ヘモ指示スヘキモノトス（大正九年十二月一日民事第三九一六號地方裁判所宛民事局長通牒）

行政裁判所判決要旨

附錄

行政裁判所判決要旨索引

○支拂ニ關スル件……一
○恩給ニ關スル件……一
○土地河川使用ニ關スル件……一
○株式ノ額面超過金ニ關スル件……一、三、一一
○家錄ニ關スル件……一、四、五、六、一三、一四
○町村制ニ關スル件……一、八、九、一〇、一四
○土地賣買讓渡規則ニ關スル件……一
○行政訴訟ニ關スル件……一、二、三、四、六、七、八、九、一〇、一一、一三、一五
○貸座敷營業ニ關スル件……二
○府縣會ニ關スル件……二
○訴願ニ關スル件……二、五、六、八、一〇
○郡制ニ關スル件……二、三、一三
○選擧ニ關スル件……二、三、四、一〇、一三
○租稅ニ關スル件……二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一三、一四、一五
○市制ニ關スル件……二、一四
○區長ニ關スル件……三、八、一三

◎戸數割ニ關スル件……三、七、八、九、一一、一四、一五
◎戰時利得ニ關スル件……五、六、七、九
◎石炭試掘出願ニ關スル件……六
◎慰勞金幷ニ賞與金ニ關スル件……七、一〇、一五
◎競落ニ關スル件……八
◎營造物ニ關スル件……一〇
◎再審ニ關スル件……一一
◎水利取締規則ニ關スル件……一一、一二
◎縣知事ノ權限ニ關スル件……一二
◎魚市場營業ニ關スル件……一三
◎住所ニ關スル件……一四
◎構戸ニ關スル件……一四
◎獨立ノ生計ニ關スル件……一五

行政裁判所判決要旨

◎現實支拂ノ確證ナキ金額

一　帳簿上支出ノ取扱ヲ爲スモ現實支出ノ確證ナキ以上ハ會社ノ損金ト認ムルヲ得ス（大正八年第一一八號同十二月二十五日第三部宣告）

◎官吏恩給法第十八條ニ所謂負債ノ意義○恩給ノ差押

一官吏恩給法第十八條ニ所謂負債トハ國税ノ納付義務ヲ包含スルモノニアラス（大正八年第二九九號同十二月二十五日第三部宣告）

一　恩給ハ國税滯納ノ場合ニ於テ其徴收ノ爲メ之カ差押ヲ爲スヲ妨ケサルモノトス（同上）

◎縣知事ノ土地河川使用出願許可義務ノ有無○縣知事ノ土地河川使用許可ノ效果

一　縣知事ハ兵器ノ研究及試驗ノ用ニ供センカ爲メニスル土地河川使用ノ出願ヲ許可スヘキ法令上ノ義務ナシ

一　縣知事カ水力電氣ノ爲メニスル土地河川使用ノ出願ヲ第三者ニ許可シタリトテ前項出願者ノ權利ヲ傷害スルモノニアラス（大正八年第五四四號同年十二月二十五日第三部宣告）

◎株式ノ額面超過金ノ性質

一　株式會社カ額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタル場合ニ於ケル額面超過額ハ會社ノ株主タラントスル者ノ出資ナルモ所得税法第四條第一項ノ總益金中ニ包含セラルルモノト解スルヲ相當トス（大正八年第三十五號同八年十二月二十四日第一部宣告）

◎家祿償典祿處分法ニ依ル行政訴訟ノ要件

一　明治三十年法律第五十號家祿賞典祿處分法ニ依ル出願ヲ爲ササル者ハ同法ニ依ル給與請求ノ行政訴訟ヲ提起スル權利ヲ有セス（明治四十二年第五一四號大正九年一月二十八日第二部宣告）

◎町村制第二十五條第一項四號ノ適用

一　如何ナル文字ヲ記載シタルモノナリヤ明瞭ナラサル投票ハ町村制第二十五條第一項第四號ノ被選擧人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノニ該當ス（大正八年第二三號大正九年一月二十九日第三部宣告）

◎土地賣買讓渡規則施行中土地所有權移轉ノ要件

一　明治十三年大政官布告第五十二號土地賣買讓渡規則第一條及ヒ第四條ニ依レハ明治十六年頃土地所有權ノ移轉ヲ爲スニハ戸長役場ノ奥書及ヒ割印ヲ要シ之ヲ以テ權利移轉ノ方式ト爲シ此方式ヲ履行スルニアラサレハ所有權ノ移轉ハ其效力ヲ生セサルモノトス（大正七年第二十二號同九年二月五日第三部宣告）

◎明治二十三年法律第五六等ノ適用範圍○行政訴訟ヲ許ササル事項

一 村有土地ノ處分ニ關スル村會ノ決議ハ明治二十三年法第百六號ニ所謂土地官民有區分ノ査定ニ該當セス

一 村有土地ノ處分ニ關スル村會ノ議決ニ對シ該村民ヨリ之カ取消ヲ求ムル行政訴訟ノ提起ヲ認メタル法令ナシ（大正九年第八號同年二月六日第二部裁決）

◎明治二十三年法律第百六號ノ適用○縣令公布ノ要件

○明治二十六年勅令第百九十九條二條ノ旨趣及適用

一 縣令ヲ發シテ貸座敷營業許可區域ヨリ一ノ地區ヲ除キタルトキハ其地區內ニ於テ營業スル者ハ營業免許ノ取消處分ヲ受ケタルモノニシテ明治二十三年法律第一六六號第一二ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得（大正八年第一四九號同九年二月十二日第三部宣告）

一 府縣令ヲ登載シタル印刷物ヲ配布シテ府縣令ヲ公布スル場合ニ於テハ府縣廳ヨリ其印刷物ヲ外部ニ發送スルニアラサレハ明治二十六年勅令第百九十九號第一條ニ規定スル府縣令ノ公布アリタルモノニアラス（同上）

一 明治二十六年勅令第十九號第二條ハ公布ノ意義即チ公布ノ何ンタルヤヲ府縣令ヲ以テ定メシムル趣旨ニアラスシテ公布ノ方法即チ府縣令ヲ公布スルニハ口頭ヲ以テスルヤ書面ヲ以テスルヤ書面ヲ以テスル場合ニ於テ揭示ヲ以テスルヤ新聞紙ニ揭載セシメ又ハ市縣公報ニ登載シテ公ニスルヤ等ヲ府縣令ヲ以テ定メシムル趣旨ナリトス（同上）

一 行政處分カ縣令ヲ以テ爲サルル場合ニ於テモ其縣令ハ明治二十六年勅令第百九十九號ニ依リ公布セラルルコトヲ要ス（同上）

◎町村長カ町村會ノ議決ヲ經テ爲シタル訴願◎郡制第六條八項ノ解決

一 郡會議員當選效力ニ付テノ郡參事會ノ決定ニ對シ町村長カ訴願ヲ提起スルニ當リ町村會ノ議決ヲ經タリトスルモ爲メニ選擧ヲ管理スル町村長ノ資格ニテ訴願ヲ提起シタルモノニアラストイフヲ得ス（大正八年第六一一號同九年二月十七日第三部宣告）

一 郡制第六條第八項ノ罷メタルトハ選擧當時ニ至ル迄任期ノ存續スル吏員カ辭任轉任ノ如ク人爲的ニ之ヲ罷免レタル場合ト任期滿了ノ如ク自然的ニ終了シタル場合トヲ問ハサルモノトス（同上）

◎行政訴訟ヲ許サヽル事項

一 原動機設置許可申請ニ對スル拒否處分ニ付キ法令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ（大正九年第三十五號同年二月二十日第二部議決）

◎選擧權ナキ者ノ投票所入場ノ效果

一 確定名簿ニ登錄セラレタル者カ選擧權ナキニ拘ハラス投票所ニ入リ投票シタル場合ニ於テハ府縣制第十二條第八項ニ依リ選擧權ナキ者ノ爲セル投票ハ無效ナルモ其投票所ニ於ケル投票全部ノ無效トスヘキモノニアラス（大正八年第六四六號同九年二月二十三日第一部宣告）

◎營業稅徵收猶豫期間內市稅特別營業稅賦課ノ效力

一 營業稅法第二十一條第二項ノ徵收猶豫期間內ノ營業者ニ對シ市稅特別營業稅ヲ賦課スルモ違法ニアラス（大正八年第一五九號同九年二月二十四日第三部宣告）

◎市制第三十六條ノ解釋

一、市制三六條ニ依リ當選ノ效力ニ關シ異議ノ申立訴訟又ハ行政訴訟ヲ提起シ得ル者ハ選擧人ニ付テハ其所屬級ノ選擧人ニ限ル旨趣ト解スヘキモノトス（大正七年第一四一號大正九年二月二五日第二部宣告）

◎戶數割ノ主體

一、明治一三年太政官布告第一六號地方稅規則ノ戶數割ハ戶ヲ基礎トスルモノナレハ一戶ヲ構フル者ニ對スル外之ヲ賦課スルコトヲ得サルモノトス（大正九年第一三號同年二月二五日第二部宣告）

◎禁錮以上ノ受刑者ノ村會議員被選擧權

一、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ町村制第九條ニ依リ當然ニ公民權ヲ停止セラルル結果同法第一二條第一項及ヒ第一五條ニ依リ刑ノ宣告ヲ受ケタル時ヨリ村會議員ノ被選擧權ヲ有セサルモノトス（大正八年六五六號同九年三月三日第二部宣告）

◎無效投票ノ得票者ヲ認定スル方法

一、無效投票カ何人ノ得票中ニ算入セラレタリヤヲ諸般ノ證據ニ據リ認定スルハ敢テ無記名投票制ヲ採レル町村制ノ精神ニ反スルモノト云フヲ得ス（大正七年第一七二號四九年三月五日第二部宣告）

◎郡制第六條第八項ノ解釋◎區長ノ地位

一、郡制第六條第八項ノ「罷メタル」トハ人爲的ニ罷メタル場合ト自然的ニ任期ノ終了シタル場合トヲ問ハサルモノトス（大正八年第六五七號同九年三月五日第二部宣告）

一、區長ハ區內ニ屬スル町村長ノ事務ヲ一般的ニ補助スル者ニシテ郡會議員ノ選擧事務カ町村長ノ事務ナルコト明ナル以上ハ區長ヲ以テ選擧事務ニ關係アル吏員ニアラスト云フヲ得ス（同上）

◎營業稅不徵收期間內縣稅營業稅賦課ノ效力

一、營業稅法第二一條第二項ノ營業稅不徵收期間內ニ於ケル營業ニ對シ縣稅營業稅ヲ賦課スルモ明治四一年法律第三七號第二條及ヒ明治一三年太政官布告第一七號第一條ニ違反スルモノニアラス（大正九年第一號同年三月五日第一部宣告）

◎所得稅法第四條ノ三第三號ノ適用

一、山林ヲ土地ト共ニ讓渡シタル場合ニ於テ讓渡人カ其山林ノ伐採セラルルコトヲ豫期シ得タリト認メ得ヘキトキハ原告ニ所得稅法第四條ノ三第三號ニ所謂山林伐採ノ所得アルモノト解スヘキモノトス（大正八年第九八號同九年三月八日第二部宣告）

◎株式額面超過金ノ性質

一、株式會社額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行シタル場合ニ於ケル額面超過額ハ會社ノ株主タラムトスル者ノ出資ナルモ所得稅法第四條第一項ノ總益金中ニ包含セラルルモノト解スルヲ相當トス（大正八年第六六號同九年三月一二日第一部宣告）

◎得票ノ計算方

一、甲ニ投票シタルモノト認ムヘカラサル投票ヲ甲ノ得票ニ算入セサルハ相當ナリ（大正八年第六〇九號同九年三月一七日第一部宣告）

◎違法處分取消請求ノ訴

一、漁業法第三十四條ニ基キ制定セラレタル兵庫縣漁業取締規則ニ依

ル漁業ノ許可出願許可期間更新ノ申請ヲ拒否スル處分ハ明治二十三年法律第百六號ノ營業免許ノ拒否ニ關スル事件ニ該當ス從テ右拒否處分ニ據リ許可期間更新ノ申請ヲ許可セラルル權利ヲ毀損セラレタリトスルモノハ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ルモノトス（大正七年第百八十六號同九年三月十八日第三部宣告）

◎地方税規則ノ法意

一、地方税規則ノ戸數割ハ戸ヲ構フル者ニ對シ賦課スルノ法意ナリト解スルヲ相當トス（大正九年第三十一號同年三月二十二日第一部宣告）

◎營業税法第二十六條二項ノ適用

一、營業税法第二十六條第二項ノ規定ハ課税標準ノ決定通知ヲ受ケサル者カ調査委員閉會後納税義務アルコトヲ申立テタル場合ノミナラス同條第一項ノ規定ニ依リテ營業税調査委員會ノ調査ニ依リ政府カ課税標準ヲ決定シ納税義務者ニ通告シタル後ニシテ調査委員會閉會後ニ於テ政府ノ決定ニ基ク税金高ヨリモ多キ税金ヲ納ムヘキ義務アルコトヲ納税義務者カ申立テタル場合ニモ亦之ヲ適用スヘキモノトス

一、營業税ニ付キ納税義務アル者カ調査委員會閉會後ニ其納税義務アルコトヲ表示シタル申告書ヲ所轄税務署ニ提出シ税務署之ヲ受理シタルトキハ營業税法第二十六條第二項ニ規定スル申出ノ效力ヲ生スヘク效力發生後ハ納税義務者單獨ニ申出ヲ取消スコトヲ得ヘキモノニアラス（大正七年第二百四十三號同九年三月二十五日第三部宣告）

◎得票者ノ判定

一、村會議員ノ候補者中ニ立花イツ三郎ナル者ナク立花松三郎アリテ他ニ多數ノ投票ヲ得タル場合ニハ立花イツ三郎トアル投票ハ立花松三郎ヲ指シタルモノト認ムルヲ相當トス（大正八年第百十號同九年三月二十九日第一部宣告）

◎出訴期間經過後ノ行政訴訟

一、訴カ法定ノ出訴期間ヲ經過シタルモノナルノミナラス訴訟代理人カ代理權ヲ證スル書面ヲ提出セサルモノハ受理スヘカラス（大正八年第六百一號同年四月九日第一部裁決）

◎行政訴訟ヲ許ササル事項

一、内務大臣カ京都市市區改正ノ設計ニ關シ京都市長ニ與ヘタル訓令ニ對シ其ノ取消ヲ求ムル行政訴訟ノ提起ヲ許シタル法律勅令ノ規定ナシ（大正九年第四十六號同年四月九日第一部裁決）

◎明治三十年法律第五十號ノ法意

一、明治三十年法律第五十號ハ明治六年太政官布告第四百二十五號ニ依リ家祿ヲ奉還シタルモノニシテ奉還規則ニ相當シタル資金ヲ受領シ居ラサル者ニ對シ奉還規則通ニ其不足額ヲ支給スルコトヲ定メタレトモ其受ケタル相當資金額ト明治九年太政官布告第百八號ニ依リ給與スヘキ金額トノ差額ヲ給與スルコトヲ定メタルモノニアラス（大正八年第二百四十三號同九年四月十四日第二部宣告）

◎家祿賞典祿處分法第二條ノ法意

一、家祿賞典祿處分法第二條ハ奉還个者ニシテ奉還規則ニ相當シタル資金ヲ受領セサル者ニ對シ奉還規定通ニ其不足額ヲ支給スル旨ヲ定メタルモノニシテ金祿公債證書發行條例ト對比シ其不足額ヲ支給スヘキ旨ヲ定メタルモノニアラス（大正八年第三五八號同九年四月一五日第二部宣告）

◎戰時利得金額決定取消請求

一、戰時利得金額算定ノ基本ト爲シタル第三種所得金額ノ決定ニ對シ適法ニ不服ノ申立ヲ爲シタルトキハ該所得金額ノ算定ニ異議アルコトヲ理由トシ戰時利得金額ノ決定ニ對シ不服ヲ申立ツルコトヲ得ルモノトス（大正九年第二十九號同年四月十五日第三部宣告）

◎所得金額決定取消請求

一、海運業ニ因ル第三種所得ハ所得税法第四條ノ三及同法施行規則第一號ノ規定ニ從ヒ收入豫算金額ヨリ其收入ヲ得ルニ必要ナル經費ヲ控除シタル豫算年額ニ依リ之ヲ算定スヘキモノトス（大正九年第三十九號同年四月十五日第三部宣告）

一、割引ノ方法ニ依リ發行シタル國庫證券ヲ賣買スルハ單ニ一定ノ價額ヲ以テ券面額ノ債權ヲ其證券ト共ニ移轉スルモノニシテ買主ハ券面額ヲ賣主ニ支拂ヒ賣主ハ更ニ利子ノ前拂トシテ買主ニ未經過日數ニ對スル割引料ヲ拂渡スモノニアラスト認ムルヲ相當トス（大正八年第五十一號同九年四月十九日第一部宣告）

◎復祿請求

一、單ニ知行高ヲ有シタリトノ事實ヲ以テ藩士ナリト斷スルヲ得ス

一、鄉士トシテ受ケタル合力米若ハ知行ハ明治四年九月晦日ノ太政官布告及ヒ同五年十一月二十六日大藏省第百七十二號達ニ依リ特ニ伺出テ認可ヲ受ケタルモノノ外禁示セラルヘキモノナリ（明治四十二年第四九六號大正九年四月二十三日第二部宣告）

◎復祿申請事件不當處分取消

一、名古屋藩ニ於ケル御扶助辻番人ハ御切符金二兩三分ノ家祿ヲ有スル二等卒族ナリトス（明治四十二年第三六〇號大正九年四月二十六日第一部宣告）

◎縣參事會ノ裁決並ニ村長ノ不當處分取消

一、町村税滯納處分ニ對スル訴願ノ提起期間ハ町村制第百四十條第一項ノ規定ニ依ルヘキモノトス（大正六年第九二號大正九年四月二十六日第一部宣告）

◎郡費分賦課税不當處分並ニ裁判取消

一、郡制第九十條ニ所謂各町村ノ直接國税府縣税ノ徵收額トハ各町村ニ於ケル課税物體ニ係ル直接國税府縣税ノ徵收額ヲ指スモノニシテ其町村ニ於テ徵收ノ手續ヲ爲シタルト否トハ之ヲ問ハサル法意ナリト解スヘキモノトス（大正八年第四四九號同九年四月二十七日第三部宣告）

一、直接國税府縣税ノ課税物體カ町村ノ内外ニ渉ル場合ニ於テ町村附加税ノ賦課ニ關シ明治四十四年勅令第二百四十一號ニ係ル關係町村長ノ協議ニ依リ本税額ノ歩合定マレル時ハ該協定歩合額ヲ其町村ノ徵收額ナリト認ムル事ハ郡制第九十條ノ趣旨ニ違背スルモノニ非ス（同上）

◎復祿請求

一、明治四年五月不經伺新新規召抱ノ卒ノ家祿ヲ明治五年ニ廢シタルハ違法ニアラス（大正八年第一一五號同九年四月三十日第一部宣告）

◎家祿金給與申請不當處分取消請求

一、舊名古屋藩ノ新募兵隊ニ屬スル者ハ舊藩本來ノ二等卒族タル兵隊ニ家祿四石二人分ヲ受クヘキモノニアラス（明治四十二年第五〇五號大正九年五月五日第一部宣告）

◎不當裁決取消請求

一、運筆拙劣ナル結果投票記載ノ文字中一字ノ一畫稍離レ居ルモ之レヲ以テ郡制第十六條第五號ニ所謂他事ヲ記入シタルモノト云フヲ得ス（大正九年第六七號四年五月七日第二部宣告）

◎家祿全部給與請求

一、明治十五年ニ至ル迄獨立ノ家ヲ有セサリシ者ハ家ニ屬スヘキ家祿ヲ有シタリト云フコトヲ得ス（大正八年第二九四號同九年五月十二日第一部宣告）

◎利得金額決定取消請求

一、戰時利得稅法第十六條ニ所謂所得稅法ニ依リ政府ノ決定シタル所得金額トハ所得稅法ニ依リ爲シタル稅務署長若クハ稅務監督局長ノ決定又ハ所得金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ニ於ケル判決ニ依リ確定シタル所得金額ノ意義ト解スヘキナリ（大正八年第七八號四九年五月十七日第二部宣告）

一、所得稅法ニ依ル所得金額カ前示決定又ハ判決ニ依リ確定シタル以上ハ其金額カ眞實ニ符合スルト否トヲ問ハス之ヲ基本トシテ利得金額ヲ算定スヘキモノトス（同上）

◎出訴期間經過後ノ行政訴訟

一、出訴期間ヲ經過シタル訴訟ハ受理スヘカラサルモノトス（大正九年第九八號同年五月十七日第二部裁決）

一、法令ノ出訴期間ヲ經過シタル行政訴訟ハ受理スヘカラサルモノトス（大正九年第一一八號同年五月二十一日第一部裁決）

◎戶數割等級不當決定取消請求

一、北海道地方稅賦課規則ニヨリ四月一日ノ現在ニヨリテ戶數割第一期分ヲ賦課スルニ當リ町村ニ於テ納稅者各自ノ總收入其他ノ生活狀態ニ依ル見聞ニヨリ其者ノ年收入額ヲ査定シ之ヲ標準トシテ戶數割等級ヲ定ムヘキ場合ニハ四月一日ニ於テ知リ得ヘキ其年一個年ヲ通スル資料ニ基キテ之ヲ定ムヘキモノトス（大正八年第二一一號同九年五月二十二日第三部宣告）

◎石炭試掘出願地ノ幾部不許可回復ニ關スル件

一、試掘出願地ノ區域カ地形上願書附屬圖ニ依リ明瞭ニシテ出願地所在ノ村內ニ之ト混同ノ虞アル場所ナキトキハ單ニ該圖大小字名ノ記載カ相違セリトノ故ヲ以テ鑛業法施行細則第三十九條第二號ニ依リ出願ヲ却下スヘキモノナリト謂フコトヲ得ス（大正八年第二〇四號同九年五月二十四日第一部宣告）

◎水利妨害排除

一、水利ノ事件ニ關スル郡長ノ裁決ニ對シテハ府縣知事ニ訴願シ其裁決ヲ經タル後ニアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス（大正九年第一一七號同年五月二十四日第二部裁決）

◎戰時利得金額決定處分取消請求

一、戰時利得稅法第三條第一項第二號ニ除外セラレサル所得ニ付テハ之ヲ生スル原因ノ如何ヲ問ハス課稅スヘキモノナリ（大正八年第六九號同九年五月二十六日第二部宣告）

◎所得金額決定取消ノ件

一、所得稅法第四條ノ三第三號ノ「山林伐採ノ所得」トハ山林ヲ伐採スルコト又ハ伐採セシムルコトニ依ル所得ヲ指スモノトス（大正五年第四五號同九年六月一日第三部宣告）

一、同法施行ノ爲ニ發セラレタル命令ナル大正二年勅令第六十五號第一條第二項ニ於テ「山林ヲ讓渡シタル場合ニ於テ其立竹木ノ所得ハ之ヲ山林伐採ノ所得トス」トアルカ爲ニ同法第四條ノ三第三號ハ普ク山林讓渡ノ場合ニ其適用アルモノト解スヘキニアラス（同上）

一、右勅令ノ規定ハ山林讓渡ノ場合中山林ヲ伐採セシムルコトニ由リ所得アリト爲スヘキ特種ノ場合ニ於ケル山林伐採ノ所得ノ方法ヲ定メタルモノトス（同上）

◎會社ノ使用人ニ給與スル慰勞金ノ性質

一、商法ノ規定ニ依ル株主總會ノ損益決議前每決算期ニ於テ使用人ニ俸給以外金圓ヲ給與スルヲ常例トスル會社カ此常例ニ從ヒ會社經營上ノ必要損金トシテ支出シタリト認ムヘキ慰勞金ハ當該年度ノ損金トシテ所得ヲ算出スヘキモノニシテ其給與ニ付キ使用人トノ間ニ契約ナク又其給與カ事業年度將ニ終了セントスルノ時ニ於テ行ハレタリトスルモ前示支出ヲ損金ニアラスト爲スヘキニアラス（大正八年第七二號同九年六月一日第三部宣告）

◎戰時利得金額決定ニ對シ不服ヲ申立ツル場合

一、戰時利得金額算定ノ基本トナシタル第三種所得金額ノ決定ニ對シ適法ニ不服ノ申立ヲ爲シタルトキハ該所得金額ノ算定ニ異議アルコトヲ理由トシ戰時利得金額ノ決定ニ對シ不服ヲ申立ツルコトヲ得（大正八年第七五號同九年六月一日第三部宣告）

◎戰時利得稅法第十六條ノ所得金額ノ意義

一、戰時利得稅法第十六條ニ所謂所得稅法ニ依リ政府ノ決定シタル所得金額トハ同法ニ依リ爲シタル稅務署長若ハ判決ニ依リ確定シタル所得金額ノ意義ト解スヘキモノトス（大正九年第八〇號同年六月二日第二部宣告）

◎行政訴訟ヲ許ササル事項

一、町長カ臺灣覆審法院檢察局ノ命ニ依リ臺灣覆審法院檢察局ニ於テ處罰セラレタル旨ヲ身分ニ付記載シタルニ對シ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル法律勅令ノ規定ナシ（大正九年第一二四號同年六月七日第一部裁決）

一、府縣知事カ巡査ヲ免職シタル處分ニ對シ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル法令ノ規定ナシ（大正九年第一二五號同年六月七日第二部裁決）

◎戶數割ノ主體

一、一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ他人ノ家ニ止宿シ食事ノ供給ヲ受ケ居ルモノニ對シテ戶數割ヲ賦課スルハ違法ナリ（大正九年第三號同年六月十九日第二部宣告）

◎第一種所得金額決定ニ對スル不服

一、前會社ノ動產不動產其他特許實施權ヲ除ク一切ノ權利義務ヲ讓受ケ直ニ前會社ノ工場ニ於テ前會社ト同シク亞鉛ノ製錬業ニ從事シタル會社ハ其事業實行ニ必要ナル特許實施權ヲ前會社ヨリ繼承セサルモ大正二年勅令第六十九號第二條ニ所謂製造業ヲ繼續シタルモノナリ（大正八年第三十三號同九年六月二十一日第二部宣告）

◎所得金額ノ算定方

一、戰時利得稅法第三條第一項第二號ニ依リ課稅スヘキ個人ノ利得金額ハ所得稅法ニ依リ政府ノ決定シタル所得金額ヲ基本トシ算定スヘキ

コトハ戰時利得稅法第六條第十六條ニ依リ明瞭ナリ（大正八年第九九號同九年六月二十一日第二部宣告）

◎競賣法第二條一項ノ競落ノ意義○家屋稅納稅義務ノ存否

一、競賣法第二條第一項ニ所謂競落トハ競落許可決定ヲ指稱スルモノトス（大正八年第一九六號同九年六月二十八日第二部宣告）

一、競賣法ニ依リ建物ニ付キ競落許可決定ヲ受ケタル者ハ建物臺帳ノ登錄所有權移轉ノ登記及競落代金ノ納入ヲ竢タス大阪府市部府稅賦課規則第十九條及第二條ニ依リ競落許可決定ノ時ヨリ家屋稅ノ納稅義務アルモノトス（同上）

◎戶數割ノ主體

一、賄料ヲ支拂ヒ他人方ニ止宿スル者ハ戶ヲ構フルモノト云フヲ得ス（大正九年第一三一號同年六月二十八日第二部宣告）

◎行政裁判法第十七條一項ノ特別ノ規定ノ意義

一、道路法第五十七條第二項ハ主務大臣ニ訴願スルコトヲ得サル旨ノ規定ニ過キスシテ行政裁判法第十七條第一項ニ所謂特別ノ規定ト謂フヲ得ス（大正九年第一三四號同年六月二十八日第二部裁決）

◎戶數割ノ主體○出訴期間經過後ノ行政訴訟○違法ナル異議ノ申立

一、獨立ノ生計ヲ營ム者ナルモ他家ニ同居シ一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ食事ノ供給ヲ受クル者ハ其一室ヲ獨占的ニ占有セルト否トニ拘ハラス戶ヲ構フル者ト云フヲ得ス如此者ニ對シテ爲シタル縣稅戶數割ノ賦課ハ違法ナリトス（大正九年第八四號同年六月三十日第二部宣告）

一、縣稅戶數割賦課ニ對スル異議ノ申立ニシテ其期限ヲ經過シタルモノハ之ヲ却下スヘキモノトス（同上）

一、町村稅ノ賦課ニ對スル異議申立ハ當該町村長ニ爲スヘキモノナルニ府縣知事ニ爲シタルハ違法ナリトス（同上）

◎行政訴訟ヲ許サヽル事項

一、國有林野ノ拂下處分ノ取消及漫用繼續ノ請求ニ付テハ法令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ（大正九年第一三二號同年七月一日第三部裁決）

◎區長及區長代理者設置ニ關スル規定成立ノ效果○町村ノ區長代理者ノ地位ノ名稱及區域變更ノ區長代理者ニ及ホス影響

一、町村ノ區長及代理設置ニ關スル特別ノ規定ナカリシ時ニ於テ適法ニ選任セラレタル區長代理者ハ其後區長及區長代理者設置ニ關スル特別ノ規定設ケラルルモ之ニ因リ當然失職スルモノニアラス（大正九年第二五號同年七月二日第一部宣告）

一、町村ノ區長代理者ハ郡制第六條第八項ノ選擧事務ニ關係アル吏員ニ該當ス（同上）

一、區ノ地域タル大字ノ名稱及其區域カ變更スルモ該變更ニシテ區長及區長代理者ノ處務區劃タル區ノ名稱及區域ニ何等關係ナキ場合ニ於テハ區長代理者ハ之ニ因リ失職スルモノニ非ス（同上）

◎無效ノ選擧○訴願裁決廳ノ權限○町村制第三十三條二項ノ律意

一、總選擧ニヨリテ選擧セラレタル町村會議員ノ任期中次ノ總擧ヲ執行スルハ町村制ノ認メサル所ニシテ其選擧ハ無效トス（大正九年第一〇九號同年七月三日第三部宣告）

一、訴願裁決ヲ爲スニ當リ訴願人ノ申立テタル異議ノ理由ニ拘束セラルヘキモノニアラス（同上）

一、町村制第三十三條第二項ハ郡長ノ權限ニ關スル規定ニシテ縣參事會ノ訴願裁決ニ關スル權限ヲ制限スルモノニ非ス（同上）

一、縣參事會カ村會ノ決定理由ヲ相當ト認メタル場合ニ於テ他ノ違法ナル事實ヲ認メ之ニ依リテ村會ノ決定ト反對ノ裁決ヲ爲スモ違法ニアラス（同上）

◎所得稅法第四條ノ總益金ノ範圍

一、法人所有ノ土地建物ノ增價額ハ所得稅法第四條ノ總益金中ニ包含セラルルモノトス（大正九年第五五號同年七月五日第一部宣告）

◎戰時利得稅法ノ適用

一、戰時利得稅法施行ノ際淸算中ニアリタル會社ト雖モ同法附則第一項ニ依リ大正七年一月一日ヲ含ム事業年度ヨリ戰時利得稅法ノ適用ヲ受クヘキモノトス（大正九年第五六號同年七月五日第一部宣告）

◎行政訴訟ヲ許サヽル事項

一、鑛業ノ操業ニ關スル鑛務署長ノ命令ノ取消ヲ求ムル件ハ鑛業法及其他ノ法令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ（大正九年第一三五號同年七月六日第三部裁決）

◎戶數割ノ主體

一、賄料ヲ支拂ヒ他家ニ止宿スル者ハ戶ヲ構フルモノニアラス（大正九年第一〇四號同年七月九日第一部宣告）

◎町村制第九條二項ニ所謂刑ノ宣告ヲ受ケタルトキノ意義

一、町村制第九條第二項「刑ノ宣告ヲ受ケタルトキ」トハ其確定シタルトキノ謂ニ非ス單ニ刑ノ宣告アリタルトキノ謂ナリ（大正九年第一一六號同年七月九日第一部宣告）

◎行政執行法第五條一號ノ費用ノ性質○行政訴訟ヲ許サヽル事項

一、行政執行法第五條第一號ノ費用ハ明治二十三年法律第百六號ノ手數料ニアラス（大正九年第一三九號同年七月十四日第三部裁決）

一、行政執行法第五條第一號ノ費用ノ徵收ニ關シ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ（同上）

◎出訴期間經過後ノ行政訴訟○代理人住居地ト出訴期間トノ關係

一、出訴期間經過後ノ提起ニ係ル行政訴訟ハ受理スヘカラサルモノトス（大正八年第一八五號同九年七月十四日第一部宣告）

一、試掘出願ニ關スル代理人ノ住居地ハ其出願ニ對スル處分ニ基ク本人行政訴訟提起ノ出訴期間ニ關係ナキモノトス（同上）

◎行政裁判法第十七條一項ノ手續違背○河湖治水組合ニ對スル組合村住民ノ權利町村制第百十條ノ適用○

町村住民ノ營造物使用ノ範圍○町村制第一一〇條二項ニ該當セサル場合

一、明治二十三年法律第百六條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルニ當リ河口湖治水組合長ニ異議ヲ申立テ山梨縣參事會ニ訴願シタルハ行政裁判所法第十七條第一項所定ノ手續ヲ履マサルモノトス（大正八年第二六一號同九年七月十五日第三部宣告）

一、町村制ニ依リテ組織セラレタル河口湖治水組合ヲ營造物ニ對シテハ組合村住民ハ其營造物使用ノ權利ヲ有ス（町村制第六條參照）（同上）

一、組合村住民ハ前項營造物ニ對シテハ町村制第百十條ニ依リ異議申立訴願行政訴訟ヲ爲スコトヲ得（同上）

一、町村制第百十條ハ同法第九十條及第九十三條ニ掲クル財産又ハ營造物ニ付キ特定ノ使用權利ヲ有スルモノニ適用アルニアラス（同上）

一、町村住民ノ有スル營造物使用權ハ營造物ノ如何ニ設備セシメ又ハ現在ノ營造物ヲ如何ニ修理改善セシムルヤニ關スル權能ヲモ含ムモノニアラスシテ現ニ設備セラレアル營造物ヲ其設備ノ現狀ニ於テ使用シ得ルニ止マル（同上）

一、故ニ其使用ニ付キ特ニ權利侵害ナキ限リ第百十條第二項ニ使用ノ權利ニ關シ異議アルトキトアルニ該當セス（同上）

◎行政訴訟ヲ許サヽル事項

一、郡會議員當選效力ニ關スル府縣參事會ノ裁決ニ對シ郡參事會ニ行政訴訟ノ提起ヲ許シタル法令ノ規定ナシ（大正九年第一四二號同年七月十五日第三部宣告）

◎再審ノ許否

一、行政裁判所ノ裁判ニ對シテハ再審ヲ求ムルコトヲ得ス（大正九年第一四〇號同年七月十六日第一部裁決）

◎賞與金ノ性質

一、利益ノ有無ニ拘ハラス使用人ニ支拂フ賞與金ハ營業上必要ノ費用ニシテ所得税法ニ依ル所得金額ノ決定上之ヲ損金トシテ計算スヘキモノトス（大正九年第三四號同年七月十九日第一部宣告）

◎被選擧權ノ有無ニ付國庫出納金端數計算法ノ不適用

一、大正五年法律第二號國庫出納金端數計算法ノ不適用ハ出納手續ノ便宜ニ出テタルモノニシテ選擧權又ハ被選擧權ノ要件タル納税額ノ算定上適用スヘキモノニアラス（大正九年第三十九號同年七月十九日第一部宣告）

一、郡制第六條第二項ニ所謂直接國税年額五圓以上ヲ納ムルモノナリヤ否ヤハ地租ニ在リテハ地租條例第一條所定ノ税率ニ依リ算定シタル額ニ依リ之ヲ決スヘク國庫出納金端數計算法ニ依リ一錢未滿ノ端數ヲ切捨テタル地租額ニ依リ之ヲ決スヘキモノニアラス（同上）

◎營業税法ニ所謂物品貸付業者ノ範圍○船舶貸付業者ノ營業場ノ有無

一、營業税法第三條ノ物品貸付業者中ニハ船舶ヲ貸付スル者モ包含スヘキモノトス（大正六年第一八五號同九年七月二十日第三部宣告）

一、船舶ノ貸付ノ如キ業態ノ性質上特別營業上ノ設備ヲ要セサルモノニ付キテハ一定ノ場所ニ於テ賃貸契約及賃料ノ收入計理ヲ爲ストキハ法律上營業場ナシト云フヲ得ス（同上）

◎所得税法第四條ノ總益金ノ範圍

一、第一種所得金額ノ算定ニ關スル所得税法第四條ノ總益金中ニハ債權ノ價格モ亦之ヲ算入スヘキモノトス（大正九年第七四號同年七月三十日第三部宣告）

◎戶數割ノ主體

一、他人方ニ居住シ一定ノ賄料ヲ支拂シテ食事ノ供給ヲ受クルニ過キサル者ハ獨立ノ生計ヲ營ムモ構戶者ト云フヲ得ス之ニ對シ戶數割ヲ賦課スルハ違法ナリ（大正九年第一一四號同年七月二十日第三部宣告）

一、他人方ニ居住シ一定ノ賄料ヲ支拂シテ食事ノ供給ヲ受クルニ過キサルモノハ獨立ノ生計ヲ營ムモ構戶者ト云フヲ得ス從テ之ニ對シ戶數割ヲ賦課スルハ違法ナリ（大正九年第一一五號同年七月二十日第三部宣告）

◎訴願提出ノ時

一、郡會議員ノ選擧又ハ當選ノ效力ニ關シ異議ヲ申立テタル者カ其ノ異議ニ付郡參事會ノ爲シタル決定ニ對シ縣參事會ニ提起スル訴願ハ郡制第百九條第二項所定ノ期間內ニ之ヲ提起スヘキモノトス（大正九年第百二十號同年七月二十日第三部宣告）

◎再審ノ許否

一、行政裁判所ノ裁判ニ對シテハ再審ヲ求ムルコトヲ得ス（大正九年第百四十三號同九年七月二十三日第一部宣告）

◎不當處分取消ノ訴

一、試掘願書ニ圖面ヲ添附シテ提出シタル以上縱令一葉ニ止マリ且願書ト圖面トノ間ニ契印ヲ爲ササリシトスルモ鑛業法施行細則第三十八條第三號ニ所謂「圖面ヲ添附セサルトキ」ニ該當スルモノト謂フコトヲ得ス（大正九年第十三號同九年七月二十六日第一部宣告）

◎適法ナル行政訴訟

一、戰時利得金額ノ決定ニ對スル行政訴訟ニ於テ所得税法ニ依ル所得金額ノ當否ヲ爭フハ戰時利得税法ノ適用ニ付爭フモノニシテ不當ニ非ス（大正九年第十六號同九年七月二十六日第一部宣告）

◎株式ノ額面超過金ノ性質

一、會社設立ノ際發行シタル株式ノ額面超過金ハ所得税法ニ依ル所得金額ノ算定ニ付テハ會社成立ノ當該營業年度ノ利益金中ニ算入スヘキモノナリ（大正九年第十七號同年七月二十六日第一部宣告）

◎水利取締規則ノ適用範圍○水利取締規則ノ解釋○不法處分取消ノ訴

一、安積疏水普通水利組合ハ十六橋水門ノ流量湖面水位ノ調節等ニ付總テ明治十六年十一月中農商務省安積疏水掛ニ於テ設定シタル水利取締規則ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス（大正五年第九十三號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、水利取締規則ハ十六橋水門上流量水標零上六尺二寸ヲ以テ湖面ノ定水位ト定メ四時可成之ヲ維持スルノ旨趣ナリト解スルヲ相當トス（同上）

一、安積疏水普通水利組合ハ十六橋水門ノ流量湖面水位ノ調節等ニ付總テ明治十六年十一月中農商務省安積疏水掛ニ於テ設定シタル水利取締規則ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス（大正五年第九十四號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、水利取締規則ハ十六橋水門上流量水標零上六尺二寸ヲ以テ湖面ノ

定水位ト定メ四時可成之ヲ維持スルノ旨趣ナリト解スルヲ相當トス（同上）

一、安積疏水普通水利組合ハ十六橋水門ノ流量湖面水位ノ調節等ニ付總テ明治十六年十一月中農商務省安積湖水掛ニ於テ設定シタル水利取締規則ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス（大正五年第九十六號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、水利取締規則ハ十六橋水門上流量水標零上六尺二寸ヲ以テ湖面ノ定水位ト定メ四時可成之ヲ維持スルノ旨趣ナリト解スルヲ相當トス（同上）

一、安積疏水普通水利組合ハ十六橋水門ノ流量湖面水位ノ調節等ニ付總テ治治十六正十一月中農商務省安積疎水掛ニ於テ設定シタル水利取締規則ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス（大正五年第九十七號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、水利取締規則ハ十六橋水門上流量水標零上六尺二寸ヲ以テ湖面ノ定水位ト定メ四時可成之ヲ維持スルノ趣旨ナリト解スルヲ相當トス（同上）

一、安積疏水普通水利組合ハ十六橋水門ノ流量潮面水位ノ調節等ニ付總テ明治十六月十一月中農商務省安積疏水掛ニ於テ設定シタル水判取締規則ノ規定ヲ遵守スヘキモノトス（大正五年第九十八號同九年二十八日第一部宣告）

一、水利取締規則ハ十六橋水門上流量水標零上六尺二寸ヲ以テ湖七月面ノ定水位ト定メ四時可成之ヲ維持スルノ趣旨ナリト解スルヲ相當トス（同上）

一、猪苗代湖ノ水位ハ水利取締規則ニ依ルヘキモノナルヲ以テ同湖ニ注入スル長瀬川ノ上流檜原湖小野川湖秋元湖ノ吐口ニ於ケル築堤ヲ許可スルモ湖岸民ノ權利ヲ害スルモノト謂フヲ得ス（大正五年第百九十七號同九年七月二十八日第一部宣告）

一安積疏水普通水利組合ハ十六橋水門ノ流量猪苗代湖ノ湖面ノ水位調節等ニ付水利取締規則ヲ遵守スヘキモノナルヲ以テ十六橋水門ノ改築ノ許可ニ依リ湖岸人民ノ權利ヲ害スルモノト謂フヲ得ス（同上）

◎水利取締規則ノ解釋○適法ナル水利取締規則ノ改正

一、水利取締規則ハ十六橋水門上流量水標零上六尺二寸ヲ以テ湖面ノ定水位ト定メ四時可成之ヲ維持スルノ趣旨ナリト解スルヲ相當トス（大正五年第九十五號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、安積疏水普通水利組合ニ於テ水利取締規則中改正ノ必要アリト認メタル場合ニ組合會ノ議決ヲ經福島縣知事ノ許可ヲ出願シ福島縣知事カ之ニ對シ許可處分ヲ爲シタルハ違法ナリト謂フコトヲ得ス（同上）

◎縣知事ノ權限

一、縣會カ歳入歳出豫算ノ議決ニ際シ他ノ歳入決議ノ結果ニ依リ縣税ノ課率ヲ適當ニ修正スルコトヲ議長ニ一任スル旨ノ決議ヲ爲シ縣會自ラ修正保率ヲ議決セルハ府縣制第四十一條ニ違反スルモノニシテ當該縣知事カ內務大臣ノ指揮ニ依リ該議決ヲ取消シタルハ違法ニ非ス（大正七年第二百十號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、右課率ハ本來縣會ニ於テ議決セサルモノナルヲ以テ府縣制第八十五條第二項ニ該當スルモノニシテ當該縣知事カ內務大臣ノ指揮ニ依リ之ヲ處理シタルハ違法ニ非ス（同上）

◎家祿ノ意

一、百姓町人共ニ與ヘタル扶持米ハ家祿ニ非ス（大正八第年二百二十號同九年七月二十八日第一部宣告）

◎魚市場營業ノ不許可

一、永年間同一町內ニ於テ營業ヲ爲シタルノ故ヲ以テ當魚市場營業ヲ爲シ得ルモノト謂フコトヲ得ス（大正八年第五百十四號同九年七月二十八日第一部宣告）

◎營業稅法上營業全部ノ繼續○他人ノ營業ヲ繼續シタル場合ノ課稅標準

一、保險會社ノ保有スル保險契約ノ全部及之ニ屬スル責任準備金ニ屬スル財產ノ包括移轉ヲ受ケタルモノハ營業稅法上營業全部ヲ繼續シタルモノト認ムヘキモノトス（大正九年第四號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、他人ノ營業ヲ繼續シタル場合ニ於テ其ノ翌年分ノ課稅標準タル資本金額ハ被繼續營業ノ前年ニ於ケル實績ニ依ルノ法意ナリ（同上）

一、營業上ノ財產的利益ノ一部ヲ讓受營業ノ全部ヲ繼續シテ營ム場合ニ於テハ其ノ讓受ケタル財產的利益ノ價額ト被繼續營業全部ノ財產的利益ノ價額トノ比率ニ依ル課稅標準ヲ通算スヘキモノトス（同上）

一、甲乙間ノ營業讓渡契約ニ基キ乙ハ營業ヲ廢止シ甲ハ乙ノ營業所ニ於テ引續キ乙ノ營業ト同種ノ營業ヲ營ムトキハ營業稅法ノ所謂營業繼續ニ該當スト解スルヲ相當トス（大正九年第三十七號同九年七月二十八日第一部宣告）

一、營業稅法ノ營業繼續タルニハ必シモ營業財產從業員及積極消極ノ財產全部ヲ包括的ニ承繼スルコトヲ要スルモノニ非ス（同上）

一、營業繼續ノ翌年ニ於ケル繼續營業者ニ對スル課稅標準ハ繼續シタル營業上ノ財產的利益ニ應シテ前營業者ノ課稅標準ヲ通算スルノ法意ナリ（同上）

◎町村會議員ノ當選效力ニ異議申立等ヲ爲シ得ル者○町村區長ノ身分

一、町村制第三十三條ニ依リ町村會議員ノ當選ノ效力ニ關シ異議申立訴願又ハ行政訴訟ヲ提起シ得ル選擧人ハ當該選擧ト同一ノ級別ニ屬スル者ナラサルヘカラス（大正九年第十號同年七月二十八日第一部宣告）

◎行政訴訟ヲ許サヽル事項

一、巡查免職處分ニ關シテハ法律勅令中行政訴訟ノ提起ヲ許シタル規定ナシ（大正九年第百七十三條同年九月二十日第二部裁決）

◎適法ナル廢祿處分

一、藩制施行後ト雖立藩中ハ藩知事ニ於テ其ノ藩士族卒ノ家祿ヲ減廢スルノ權限ヲ有シタルモノニシテ從テ明治三年十一月藩廳カ廢祿處分ヲ爲シタルハ適法ナリ（大正八年第五百九十八號同九年九月二十八日第三部宣告）

◎郡制第六條八項ノ選擧事務ニ關係アル吏員ノ意義

一、區長ハ現實ニ郡會議員ノ選擧事務ニ干與セルト否トヲ問ハス郡制第六條第八項ノ選擧事務ニ關係アル吏員ニ該當スルモノトス（大正九

年第九十號同年九月二十八日第三部宣告）

◎明治十三年太政官布告第十六號地方稅規則ノ旨趣

一、明治十三年太政官布告第十六號地方稅規則ノ戶數割ハ一戶ヲ構ヘタル者ニ之ヲ賦課スヘキモノニシテ一定ノ賃料ヲ支拂ヒ他ニ止宿スル者ハ獨立ノ生計ヲ營ムト否トニ拘ラス之ヲ賦課スヘキモノニアラス（大正九年第百四十四號同年九月二十八日第三部宣告）

一、明治十三年太政官布告第十六號地方稅規則ニ依ル縣稅戶數割ハ一戶ヲ構フル者ニノミ之ヲ賦課スヘク毎月賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ハ戶ヲ構フルモノニアラサルカ故ニ之ニ對シ賦課スヘキモノニアラス（大正九年第百五十一號第百五十二號同年九月二十八日第三部宣告）

一、明治十三年太政官布告第十六號地方稅規則ニ依ル縣稅戶數割ハ一戶ヲ構フル者ニノミ之ヲ賦課スヘク毎月賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スルハ戶ヲ構フルモノニアラサルカ故ニ之ニ對シ賦課スヘキモノニアラス（大正九年第百五十三號同年九月二十八日第三部宣告）

◎判決要旨

一、明治十三年太政官布　　十六號地方稅規則ニ依ル縣稅戶數割ハ一戶ヲ構フル者ニノミ之ヲ賦課スヘク毎月賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ハ戶ヲ構フルモノニアサルカ故ニ之ニ對シ賦課スヘキモノニアラス（大正九年第百五十四號同年九月二十八日第三部宣告）

◎町村制第六條ノ住所ノ意義

一、町村制第六條ノ住所トハ民法第二十一條ニ定ムル住所ノ謂ニシテ各人ノ事實上ニ於ケル生活ノ本據ナルヲ以テ寄留ニ關スル屆出ノ如キ形式上ノ手續ト相關スルモノニ非ス（大正八年第六百十二號同九年十月一第一部宣告）

◎構戶者ノ意義

一、賄料ヲ支拂ヒ他家ニ止宿スル者ハ戶ヲ構フル者ニ非ス（大正九年第百五十五號同九年十月一日第一部宣告）

一、賄料ヲ支拂ヒ他家ニ止宿スル者ハ戶ヲ構フル者ニ非ス（大正九年第百五十六號同年十月一日第一部宣告）

◎市會ノ議決ノ違法ナル取消

一、市會ノ議決シ得ル事項ト議決シ得サル全然別箇ノ事項トヲ同時ニ議題トシ採決シタルトキ其ノ議決ノ全體ヲ取消シタル場合ニ於テ前段權限內ノ事項ニ關スル議決ヲ取消シタルハ違法ナリ（大正九年第三十三號同年十月七日第三部宣告）

◎所得稅法施行規則第二條ノ決定當時ノ現況ノ意義

一、所得稅法施行規則第二條ニ「決定當時ノ現況ニ依リ」トアルハ稅務監督局長カ第三種所得金額ヲ審査決定スルトキト雖稅務署長ノ決定當時ノ現況ニ依ルノ法意ナリトス（大正九年第八十八號同年十月十八日第一部宣告）

◎不當ナル家祿給與不足額ノ請求

一、新發田藩ニ於テハ明治三年中祿制ノ改正ヲ行ヒ士卒ノ祿高ヲ祿高ヲ取調帳記載「改正現米高」ノ如ク削減シタルモノト認ムルヲ相當トス（明治四十二年第六百七十一號大正九年十月二十日第一部宣告）

◎戶數割ノ主體

一、一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ他人ノ家宅ニ止宿スル者ニ對シ縣稅戶數割ヲ賦課スルハ違法ナリ（大正九年第百七十七號同年十月二十一日第二部宣告）

◎戶數割ノ主體○明治十三年太政官布告第十六號地方稅規則ノ旨趣

一、一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ニ對シテハ戶數割ヲ賦課スヘカラス（大正九年第百四十九號同第百五十號同年十月二十二日第二部宣告）

一、明治十三年太政官布告第十六號地方稅規則ハ戶數割ノ納稅者ニ關スル規定ヲ地方廳ノ定ムル所ニ一任シタルモノニ非ス（同上）

◎沖繩縣區制第六條ノ直接國稅ヲ納ムル者ノ意義

一、自己ノ名ヲ以テ直接國稅ヲ納ムル者ニ非サレハ沖繩縣區制第六條ニ所謂直接國稅ヲ納ムル者ニ該當セス（大正八年第十九號同年十月二十五日第一部宣告）

◎行政訴訟ヲ許サヽル事項

一、市町村立小學校正教員タリシ者ノ退隱料ノ請求ヲ却下シタル行政處分ニ對シテハ該處分後一月ヲ經過シタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス（大正八年第二百五號同九年十月二十八日第三部宣告）

一、市町村立小學校教員タリシ者カ退職ノ事由ヲ疾病ノ爲ナリト主張シテ退職給與金ノ請求ヲ爲シ縣知事カ右主張事由ヲ否定シテ請求ヲ却下シタル場合ナルトキハ該却下處分ニ對スル行政訴訟ニ於テハ退職ノ事由カ疾病ニ罹リ職務ニ堪エサリシカ故ナルコトヲ以テ不服ノ理由ト爲スコトヲ得サルモノトス（同上）

◎獨立ノ生計ヲ營ム者ト推定シ得ル場合

一、獨立ノ生計ヲ營ムニ足ル資力ヲ有スル者ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ト推定スルヲ相當トス（大正八年第六百十四號同九年十一月六日第三部宣告）

◎使用人ノ賞與金カ法人ノ所得ト認メ得ル場合

一、法人カ其ノ使用人ニ給與シタル賞與金ノ當該事業年度ノ利益ノ一部ヲ給與シタルモノナリト認ムヘキ場合ニ於テハ其ノ賞與金ハ法人ノ所得計算上損金トナスヘキニアラス（大正八年第五十九號同九年十一月十三日第三部宣告）

イロハ索引

イロハ索引ノ索引

イ	一—四	委 一　異 一　移 二　意 二　慰 二　違 二　遣 二　響 三　入 三　一 三　印 四　因 四　姻 四　隱 四
ロ	五	露 五
ハ	五—一〇	破 五　配 五　廢 五　賣 七　蠅 八　發 八　白 八　反 八　犯 九　判 九　販 一〇　番 一〇　挽 一〇
ニ	一〇—一一	二 一〇　荷 一一　入 一一　認 一一
ホ	一一—一六	ホ 一一　保 一一　補 一三　母 一四　發 一四　北 一四　沒 一四　方 一四　包 一四　法 一四　報 一六　防 一六　妨 一六　本 一六
ヘ	一六—一八	併 一六　別 一七　返 一七　偏 一七　變 一七　辨 一七　辯 一八
ト	一九—二六	土 一九　戸 一九　取 二〇　投 二一　登 二二　當 二三　動 二五　道 二五　獨 二六　瀆 二六

賭 一九　屆 二〇
東 二二　盜 二二
騰 二四　同 二四
特 二五　匿 二六
毒 二六　問 二六

チ　二七―三〇
地 二七　致 二八　遲 二八
嫡 二八　中 二九　仲 二九
注 二九　町 三〇　調 三〇
朝 三〇　直 三〇　貯 三〇
賃 三〇

リ　三二―三七
利 三二　理 三四
履 三四　離 三五
立 三五　陸 三六
略 三六　留 三六
流 三六　領 三七

ル　三七
類 三七

オ　三七―三八
小 三七　御 三七
織 三七　夫 三七
往 三七　大 三七
横 三七　公 三八
恩 三八

ワ　三八
和 三八
賄 三八

カ　三九―五二
火 三九　加 三九　果 三九　家 三九　華 四一　貨 四一
瑕 四三　過 四三　介 四四　回 四四　改 四四　海 四四
開 四五　會 四五　解 四六　懷 四六　外 四六　勝 四六
合 四七　隔 四七　確 四七　額 四八　株 四八　鑑 五一
貸 五一　官 五一　姦 五一　神 五一　間 五一　管 五一
監 五二　簡 五三

假 四一
買 四四
爲 四七
書 五一
慣 五二

ヨ　五三―五四
預 五三　餘 五三
豫 五三　幼 五三
要 五四　容 五四
養 五四

タ　五五―六〇
他 五五　墮 五五　大 五五　胎 五五
臺 五六　退 五六　對 五六　代 五六
第 五八　擡 五九　疊 五九　立 五九
脫 五九　賴 五九　建 五九　炭 六〇
單 六〇　擔 六〇　男 六〇　談 六〇

レ　六一
列 六一
連 六一
聯 六一

ソ　六一―六七
租 六一　訴 六一　疏 六三
鼠 六三　相 六三　倉 六四
創 六四　想 六四　搜 六四
雙 六四　總 六五　贈 六五
卽 六五　村 六六　損 六七

ツ　七〇
圖 七〇
通 七〇
妻 七〇
罪 七〇
追 七〇
積 七〇

ナ　七一
內 七一
仲 七一

ム　七一―七三
無 七一
村 七三
婿 七三

ウ　七三―七五
賣 七三
裏 七四
受 七五
請 七五
運 七五

ノ　七六
能 七六

ク 七七
區 七七　桑 七七　組 七七　訓 七七　軍 七七

ヤ 七七
約 七七

マ 七八
待 七八　抹 七八

ケ 七八 八四
刑 七八　形 七九　契 七九　敬 八一
境 八一　競 八一　繼 八一　藝 八一
決 八一　闕 八一　劇 八二　建 八二
憲 八二　檢 八二　縣 八二　權 八二
顯 八三　原 八四　限 八四　現 八四

フ 八四 九二
不 八四　附 八九　府 九〇
負 九〇　普 九〇　誣 九〇
部 九〇　振 九〇　物 九〇
佛 九一　夫 九一　副 九一
復 九一　踏 九一　文 九一
分 九二

コ 九二 一〇一
小 九二　戶 九三　故 九三　古 九三　雇 九三
誤 九三　工 九三　口 九三　公 九三　行 九五
交 九五　更 九五　抗 九六　皇 九六　高 九六
航 九六　後 九七　控 九七　講 九七　鑛 九八
合 九九　告 九九　國 一〇〇　婚 一〇〇　混 一〇一

エ 一〇一 一〇二
永 一〇一　營 一〇一　延 一〇二　煙 一〇二　緣 一〇二

テ 一〇二 一〇七
手 一〇二　抵 一〇五　鐵 一〇六　適 一〇六　轉 一〇六
定 一〇四　停 一〇六　撤 一〇六　天 一〇六　電 一〇七

ア 一〇八
阿 一〇八　相 一〇八　預 一〇八　新 一〇八　惡 一〇八　安 ・ 一〇八

サ 一〇八 一一六
詐 一〇八　再 一〇八　採 一一一　裁 一一一
債 一一二　催 一一四　在 一一四　財 一一五
罪 一一五　殺 一一五　錯 一一五　先 一一五
指 一一五　差 一一六　三 一一六　產 一一六
參 一一六　蠶 一一六

キ 一一七 一二八
危 一一七　忌 一一七　汽 一一七　軌 一一七　記 一一七　起 一一八　既 一一八　寄 一一八
期 一一九　欺 一一九　義 一一九　僞 一一九　擬 一二〇　犧 一二〇　切 一二〇　客 一二〇
脚 一二〇　虐 一二〇　居 一二〇　拒 一二〇　許 一二〇　虛 一二一　舉 一二一　馭 一二一
漁 一二一　共 一二一　供 一二三　恐 一二三　協 一二三　脅 一二三　敎 一二三　强 一二四
境 一二四　競 一二四　行 一二六　業 一二六　求 一二七　急 一二七　給 一二七　舊 一二七
金 一二七　禁 一二七　緊 一二七　銀 一二八

ユ 一二八 一二九
有 一二八　宥 一二八　郵 一二八　猶 一二九　誘 一二九　優 一二九

メ 一二九
名 一二九　迷 一二九　明 一二九　命 一二九　免 一二九

ミ 一三〇
見 一三〇　未 一三〇

シ 一三一 一五六

支 一三一　辭 一三六　賞 一四〇　社 一四八　宗 一五〇　直 一五三
氏 一三一　所 一三六　償 一四〇　車 一四九　修 一五〇　森 一五三
司 一三二　書 一三八　證 一四一　借 一四九　終 一五一　新 一五三
市 一三三　庶 一三八　上 一四四　酌 一四九　衆 一五一　審 一五三
死 一三三　處 一三八　條 一四四　釋 一四九　住 一五一　親 一五四
使 一三三　女 一三八　常 一四五　數 一四九　重 一五一　人 一五五
私 一三三　除 一三八　職 一四五　主 一四九　從 一五一　神 一五五
始 一三三　庄 一三八　下 一四五　取 一四九　銃 一五二　訊 一五六
指 一三四　承 一三八　失 一四五　狩 一四九　巡 一五二
資 一三四　消 一三八　質 一四六　受 一四九　準 一五二
自 一三四　商 一三九　執 一四六　出 一五〇　心 一五二
時 一三五　賍 一四〇　實 一四七　收 一五〇　申 一五二
事 一三六　傷 一四〇　白 一四八　周 一五〇　信 一五二

ヒ 一五六 一五七

否 一五六　被 一五六　費 一五六　必 一五六　引 一五七
非 一五六　砒 一五六　避 一五六　評 一五七　挽 一五七

モ 二五七 二五八

戾 二五七　森 二五七　持 二五七　物 二五七　目 一五七　申 一五八

セ 二五八 一六五

正 二五八　政 二五九　製 二六〇　專 二六三　設 一六五
生 一五八　清 一五九　占 一六〇　戰 一六三　絕 一六五
成 一五九　精 一五九　宣 一六一　選 一六三　責 一六五
制 一五九　請 一五九　船 一六一　竊 一六四

ス 一六五

推 一六五

イロハ索引

イ（ヰ）

○「イフ」ノ音ハ凡テ「ユ」ニ較ム

委任

○丙カ乙ニ對スル債權ヲ取立委任ノ目的ヲ以テ信託的ニ甲ニ讓渡シタル後ニ於テ丙カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ノ取立委任ノ效力……民法一一七頁
◎辯護士ニ對スル相當報酬ノ實例……民法二九二頁
○委任事務カ受任者タル辯護士甲ノ關與ヲ俟タス委任者タル乙ト其相手方トノ任意和解ニヨリ終了シタル場合ト報酬義務……民法二九二頁
○民法第六五一條第一項ノ適用ノ範圍……民法八三一頁
◎訴訟代理人ノ選任ヲ委任シタル當事者ト受任者トノ委任關係ハ其性質訴訟委任ニ非ス故ニ必スシモ書面委任ヲ以テ證スルノ要ナシ……民訴二三七頁

委任事務

○受任者カ委任事務ヲ處理スルコトヲ欲セサルニ至リタル場合ニ其處理ヲ强制スルハ適當ニ非ス……民法一〇三五頁

委任者

○受任者カ委任事務ヲ處理スルコトヲ欲セサルニ至リタル場合ニ其處理ヲ强制スルハ適當ニ非ス……民訴一〇三五頁

委任者ノ死亡

◎訴訟代理人ニ依リテ訴訟ヲ爲ス場合ニ於テ當事者タル本人死亡スルモ之ヲ相手方ニ通知スルニ非サレハ代理權消滅ノ效果ヲ生セス……民訴四七一頁

委付

◎船舶ノ讓渡若クハ委付ハ船舶ノ利用ニ關スル行爲ト謂フコトヲ得ス……商法二九七頁
◎商法第五四四條規定ノ趣旨……商法三一八頁

異議

○異議ノ申立ニハ理由ヲ具スルコトヲ要セス……民訴六一七頁

異議取下

○支拂命令ニ對スル債務者ノ異議取下ノ效力……民訴三八頁

異議ノ申立

○支拂命令ニ對シ債務者ヨリ異議ノ申立ニアリタル場合債權者ハ證書訴訟爲替訴訟等ノ手續ニ依ルコトヲ得サルヤ……民法二四三頁
○債務者カ配當期日ニ異議申立ヲ爲シタルトキノ効力……民訴二六三頁
◎競落許可決定ハ其確定後ハ取消ノ訴若クハ原狀回復ノ訴ノ要件ヲ理由トシテ抗告ヲ爲スニアラサレハ之ヲ取消スコトヲ得ス……民訴三九九頁
◎債權差押及轉付命令ニ對スル不服方法……民訴四二八頁
○町村稅賦課ニ對スル異議申立方法……諸法二九〇頁

異議申立方法

◎營造物使用ノ權利ニ關スル異議申立方法……諸法三五九頁

イ　異議申立訴願　異議申立期間　移送判決　移轉登記　移民取扱人　移民會社　意思無能力者　慰藉料　慰藉金　違反行爲　違法　違法阻却　遺留分　遺贈　遺産相續

異議申立訴願
◎町村會議員ノ當選ノ效力ニ關シ異議申立訴願又ハ行政訴訟提起權者…………諸法四二一頁

異議申立期間
◎債權者カ第三九一條第二項ノ規定ニ從ヒ訴訟ヲ提起スル期間……民訴五八七頁

移送判決
◎上告審ヨリ事件ヲ移送セラレタル裁判所ノ管轄權…………刑訴九六頁

移轉登記
◎乙カ甲ヨリ買戻シタル土地ヲ丙ニ賣渡シタル場合ニ當事者合意ノ上甲ヨリ直接ニ丙ニ對シテ爲シタル移轉登記ノ效力…………民法六六五頁
◎登記ノ欠缺ヲ主張スルニ付キ正當ナル利益ヲ有スル第三者ノ例：民法六六八頁

移民取扱人
◎移民取扱ヲ目的トスル會社ノ社員變更ニ付外務大臣ノ許可ヲ必要トスル理由：…………商法七一〇頁

移民會社
◎移民取扱ヲ目的トスル會社ノ社員變更ニ付外務大臣ノ許可ヲ必要トスル理由：…………商法七一〇頁

意思無能力者
◎民法施行以前ニ於テハ意思無能力者ト雖モ場合ニ依リ分家ヲ爲スヲ得タルモノトス…………諸法四八七頁

慰藉料
◎權利侵害ニ對スル慰藉料ノ數額ヲ定ムヘキ事情…………民法九一〇頁
◎慰藉料算定額ノ實例：民法一〇五三頁
◎被害者ノ父カ被害者ノ死亡ニヨリテ受ケタル精神上ノ苦痛ニ對スル慰藉料額算定ノ實例…………民法一〇五七頁

慰藉金
◎慰藉料ノ實例…………民法一一九頁
◎實子ノ死亡ニヨリ其父母ノ受ケタル精神上ノ苦痛ニ對スル慰藉金算定方法…………民法一一九頁
◎ホフマン式年金算出法：民法一一九頁
◎長男ヲ喪ヒタルニ因リ被リタル精神上ノ損害金額…………民法一六三頁
◎小兒間ニ於ケル惡戯ノ結果生シタル場合ノ慰藉金額ノ實例…………民法三二四頁
◎婚姻豫約不履行ニ基ク損害賠償義務ノ實例及慰藉金額…………民法五三七頁

違反行爲
◎法規禁止ニ違反スル法律行爲ノ效力：…………民法一一、一四頁
◎法規ノ禁止ニ違反スル法律行爲カ民法第九〇條ニヨリ無效ナル場合…………民法一一、一四頁

違法
◎違法阻却ノ要件…………刑訴一頁
◎違法問題ヲ生スヘキ場合…………刑訴一頁

違法阻却
◎條件…………刑訴一頁

遺留分
◎遺留分ヲ害スル遺贈ノ效力…………民法九三七頁

遺贈
◎遺留分ヲ害スル遺贈ノ效力…………民法九三七頁

遺産相續
◎他ニ何遺産相續人アルコトヲ知リツツ一人ニテ遺産ヲ受領シタル場合ト不當利得返還義務…………民法一九一頁
◎遺産相續ニヨリ取得シタル共有權持分ノ拋棄方法…………民法六一五頁
◎金錢債權ヲ遺産相續シタル場合ハ當然

イ　遺産相續人　遺産相續ニヨリ取得シタル權利ノ拋棄　遺産相續ノ拋棄　遺失物　遺失物横領　遺言狀　醫師　入會權　一般承繼　一方豫約　一部辨濟　一部ノ終局判決

分割セラルルモノナリヤ：商法五六五頁

遺産相續人
◎民法施行前ニ他家ニ入リタルニ因リ推定遺産相續人タル資格ヲ喪失シタル直系卑屬ハ民法施行後ニ於テ其資格ヲ回復スルヤ…………民法五七〇頁

遺産相續ニヨリ取得シタル權利ノ拋棄
◎遺産相續ノ拋棄ト遺産相續ニヨリ取得シタル權利ノ拋棄トノ差異…………民法一〇一六頁

遺産相續ノ拋棄
◎遺産相續ノ拋棄ト遺産相續ニヨリ取得シタル權利ノ拋棄トノ差異…………民法一〇一六頁

遺失物
◎意義…………民法六八八頁
◎盜品遺失物ヲ善意無過失ニテ占有シタル者カ確定的ニ所有權ヲ取得スル時期：…………民法六九三頁

遺失物横領
◎他人カ停車場構内待合室ニ差置キタル物品ヲ遺失物ナリト誤信シ密ニ之ヲ同驛小荷物取扱所内ニ持込ミテ藏置シ之ヲ横領シタル場合ノ罪責…………刑訴二二頁

遺言狀
◎遺言狀ニ記載シタル遺言者ノ住所ト登記簿ノ所有者ノ住所ト符合セサル場合又ハ遺言狀ニ記載シタル土地ノ表示ト登記簿上ノ土地ノ表示ト符合セサル場合ノ效力…………諸法四四七頁

醫師
◎藥品營業並藥品取扱規則中附則第四三條第一項ノ適用範圍…………諸法二一四頁

入會權
◎入會權ノ意義及性質…………民法四五二頁
◎入會權者カ地盤ヲ共有スルヤ否ヤノ判定標準…………民法四五三頁
◎共有ノ性質ヲ有スル入會權ト地役ノ性質ヲ有スル入會權トノ區別…………民法四五三頁
◎入會權ハ登記ヲ要スルヤ…………民法四四三頁
◎部落カ入會權ヲ處分シタル事等ニ依リ部落民ノ入會權行使ノ權能ヲ侵害シタル場合ノ救濟方法…………民法四五八頁
◎市町村カ入會權ノ主體タル場合舊慣ノ變更廢止ト市町村會ノ議決…………
◎共有ノ性質ヲ有スル入會權ト然ラサルモノトノ區別ノ標準…………民法四五八頁

一般承繼
◎相續ヲ原因トスル權利ノ一般承繼條件…………民法八三四頁

一方豫約
◎賣買完結ノ意思表示ノ性質…………民法一四二三頁
◎賣買一方ノ豫約ニ基ク賣買契約ノ成立時期…………民法一七頁

一部辨濟
◎債務ノ一部辨濟ハ債務ノ承認ヲ表白スルモノナリヤ…………民法一七頁
◎債務者ト或債權者トノ間ニ於テ詐害的ニ抵當權設定行爲ヲ爲シ其債權者カ抵當權ヲ拋棄スルニ對シテ債務者カ一部辨濟ヲ爲シ以テ所謂總債權者ノ共同擔保ヲ危ウシタル場合ノ效力…………民法二九頁

一部ノ終局判決
◎副位的ノ請求數額ニ對スル辯論ヲ分離シタルニ外ナラサル場合ニ本訴請求ニ付キ一部ノ終局判決ヲ與ヘタルトキノ效力…………民法一四〇三、一四〇四頁

ロ
一定ノ目的　一定ノ申立　一事不再理ノ原則　印紙ノ貼用　印章僞造罪　因果關係　姻族關係ノ消滅原因　隱匿
隱居　隱居者　隱秘　露西亞

……民訴九九頁

一定ノ目的
○確認訴訟……民訴六九頁

一定ノ申立
○當事者ノ爲ス一定申立ノ性質……民訴五三八頁
◎訴訟費用ハ原告ノ負擔トストノ一定ノ申立ヲ爲シタルニ過キスシテ之ヲ說明スヘキ事實上又ハ法律上ノ陳述ヲ爲サヽルトキハ本案ノ辯論ヲ爲シタルモノニ非ス……民訴五三八頁

一事不再理ノ原則
○刑事訴訟法第一七五條ノ適用範圍……刑訴四九頁

印紙ノ貼用
○檢證ノ現場ニ在リタル證人ノ訊問ヲ求ムル場合ト印紙ノ貼用……民訴三九三頁
○法定ノ印紙ヲ貼用セサル故障申立ノ效力……諸法一三九頁
○民事訴訟用印紙法第一一條但書ノ趣旨……諸法一四〇頁

印章僞造罪
◎行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章又ハ署名ヲ僞造スルトノ意義……刑法二一〇頁

因果關係
◎不法行爲ト損害トノ間ニ因果關係存スルヤ否ヤノ實例……民法四三三頁
○不法行爲ニ因リ生シタル損害ノ範圍……民法一二三八頁
◎不當利得ニ於ケル利得ト損失トノ間ニハ因果關係ハ直接ノモノタルヲ要スルヤ……九一一頁
◎意思行爲介入ノ有無ト因果關係ノ實例……刑訴二四五頁

姻族關係ノ消滅原因
○第二項ニ所謂生存配偶者カ其家ヲ去ルトノ意義……民法三七二頁

隱匿
◎隱匿ハ横領ナルヤ……刑訴一四八頁

隱居
◎甲カ隱居後特定不動產ヲ自己ノ名義トシテ存セシメ其相續人ノ名義ヲ變更セス引續十年以上其不動產ノ占有ヲ繼續シ來リタル場合ノ效力……民法五四四頁
◎隱居者カ留保ノ手續ヲ爲サヽルニ拘ラス自己ニ不動產ノ所有權アルカ如ク誤信シ所有ノ意思ヲ以テ平穩且公然ニ右不動產ヲ占有シタル場合ト取得時效……民法六一五頁
○戸主カ隱居ヲ爲スモ其ノ結果法定ノ家督相續人ト爲リタル場合ニハ養子緣組ニ因リ他家ニ入ルコトヲ得ス……民法八五四頁
◎當事者カ隱居スルモ訴訟手續ハ中斷セス……民訴二三二頁
◎民法施行前ニ於ケル隱居ニ因ル家督相續人ノ財產相續ノ範圍……諸法一六九頁
◎廢家隱居等許可ノ決定書ニハ別ニ申請及ヒ許可ノ理由ヲ揭ケルヲ要ス……諸法二九三頁

隱居者
◎隱居者ノ財產方法……民法八二五頁

隱秘
◎隱秘ノ意義及ヒ決定標準……民法六八四頁

ロ

露西亞
○露西亞國ハ帝政廢滅ニヨリ滅亡シタルモノニ非ス……諸法二四三頁

ハ　破壞　破產　破產會社　破產管財人　破產手續　破產申立　破毀　配當表　廢嫡

ハ

破壞
○物ノ用方ニ從ヒタル破壞ハ物ノ處分ト看做スヘク領得ノ意思發現ト解スヘキモノトス……刑法一四八頁

破產
○別除權行使ト相手方……商法二二五頁
◎別除權行使ノ方法……商法二三五頁
○設立無效ノ會社ト破產宣告……商法四九九頁
◎株式會社カ破產シタル場合ト未拂込株金ノ拂込方法……商法四九九頁
○破產後ノ會社ノ性質及取締役監查役ノ存否……商法五〇一、五〇三頁
◎無限責任社員ノ動產ニ封印ヲ爲シタルトキハ第三者ハ其社員ニ對シ强制執行ヲ爲スコトヲ得ス……商法七四四頁
○英國法ニ所謂差止權ノ意義……諸法四八二頁
◎英國法ニ所謂支拂不能ノ意義……諸法四八二頁

破產會社
○破產後ノ會社ノ性質及取締役監查役ノ存否……商法五〇一、五〇三頁

破產管財人
◎會社ノ設立無效卽チ其法人格ノ存否ヲ爭フ訴訟ト會社代表者……商法五〇二、五〇三頁
◎破產管財人ノ訴訟權能……民訴三二六頁
○破產管財人ノ訴訟ヲ爲ス權能……民訴五一二頁
◎債權者カ間接訴權ニ基キテ訴ヲ提起シタル場合ニ於テ債務者ノ破產管財人ハ原告タル債權者竝ニ被告タル第三債務者（占有者）ノ同意ヲ得テ繫屬セル訴訟ヲ引受ケ原告ニ代リテ之ヲ續行スルコトヲ得……民訴五一四頁

破產手續
◎强制競賣ノ性質……商法二三五頁
○別除權行使ト相手方……商法二三五頁
○別除權行使方法……商法二三五頁

破產申立
○破產申立ノ性質……諸法一三八頁
○破產申立ト債權存在ノ疏明方法……商法一三九頁

破毀
○假執行ノ宣告アリタル本案判決破毀サレタルトキ該宣告ニヨリ支拂ヒタルモノノ返還ヲ求ムル申立方法……民訴四四四頁
◎上告審ニ於テ控訴ノ判決ヲ破毀シ事件ヲ控訴審ニ差戾シ又ハ移送シタル場合ノ效力……民訴五〇〇頁

配當表
◎債務者カ配當期日ニ異議申立ヲ爲シタルトキノ效力……民訴二六三頁

廢嫡
○廢嫡セラレタル者ノ效力……民法一四八頁
◎被廢嫡者ト其後ノ戸主トノ間ニ養親子ノ身分關係ヲ生シタル場合ノ效力……民法一四八頁
◎嫡孫承祖者廢除ノ實例……民法一八三頁
◎民法施行前行政官廳ノ許可ニ因ル廢嫡ト嫡孫承祖ノ慣習法……民法一八三頁

◎家督相續人廢除ノ正當事由……民法一八六頁
◎法定ノ推定家督相續人ヲ廢除スベキ正當事由ノ實例……民法二五八頁
廢嫡ヲ爲ス正當事由ノ實例……民法二八七頁
◎效力……民法三六四頁
◎廢嫡者ハ被相續人ノ變更ニヨリ當然相續權ヲ回復スルヤ……民法三六四頁
◎廢嫡者ヲ家督相續人トシテ指定シ又ハ選定シタル場合ノ效力……民法三六四頁
◎民法實施前ニ於テハ家督相續人ノ廢嫡ハ必スシモ被相續人ノ生存中ニ之ヲ爲スコトヲ絕對的ニ必要トスルモノニ非ス……民法三六四頁
◎廢嫡者ハ他ノ被相續人ノ推定家督相續人又ハ指定選定相續人トナリ得ルヤ……民法四一五頁
◎推定家督相續人廢除ノ效力……民法四一五頁
◎法定ノ推定家督相續人廢除取消ノ效力……民法四一五頁
◎廢嫡ヲ爲スヘキ正當事由ノ實例……民法四六六頁

廢嫡ノ取消
◎法定ノ推定家督相人カ其父ニ隨ヒテ分家ニ入リタリトスルモ廢嫡セラレタル事實ナキ以上ハ分家入籍手續ハ無效ナリ……民法五八二頁
◎法定ノ推定家督相續人廢除取消ノ效力……民法四一五頁
◎廢嫡者ハ他ノ被相續人ノ推定家督相續人又ハ指定選定相續人トナリ得ルヤ……民法四一五頁

廢嫡ノ原因
◎刑ニ處セラレタルトノ意義……民法四九四頁

廢家
◎廢家隱居等許可ノ決定書ニハ別ニ申請及ヒ許可ノ理由ヲ掲クルヲ要セス……諸法二九三頁

廢除
◎推定家督相續人ヲ廢除スル正當事由ノ實例……民法三三八頁

廢除ニ因ル推定家督相續人
◎意義……諸法四八頁

廢除取消ノ訴
◎廢除ニ因リテ推定家督相續人ト爲リタル者ノ意義……諸法四八頁

廢除ノ正當事由
◎法定ノ推定家督相續人ヲ廢除スヘキ正當事由ノ實例……民法二五八頁

廢寺處分
◎行政上廢寺處分テ爲スコトヲ要セス事實上廢寺ニ歸シタルモノト認ムヘキ場合ノ實例……民民五九四頁

廢罷訴權
◎詐害行爲ノ取消權者……民法三四七頁
◎詐害行爲ノ取消ノ本質……民法一四七頁
◎詐害行爲取消ノ訴ノ相手方タリ得ル者……民法三四七頁
◎行使ノ效果……民法三八七頁
◎詐害行爲ノ實例……民法三八七頁
◎給付行爲ニ非ラル法律行爲ト雖モ取消ヲ請求スルコトヲ得……民法六〇八頁
◎詐害行爲ノ取消ハ惡意ノ受益者又ハ轉得者ニ對シテ行フヘク債務者ニ對シテ行フヘキモノニ非ス……民法六〇八頁
◎債權者甲カ其債務者乙ノ他ニ多額ノ債務ヲ負擔シ居リテ其經濟狀態逼迫セルコトヲ閱知シ自己ノ債權ノ辨濟ニ付キ不安ヲ感シ居リタル結果乙ニ對シテ根抵當權ヲ設定シタル場合ハ詐害行爲トナルヤ……民法六一一頁
◎取消權ヲ行使セムトスル債權者ノ債權……民法九三九頁

賣買
◎賣買一方ノ豫約ニ基ク賣買契約ノ成立時期……民法一七頁
◎賣買完結ノ意思表示ノ性質……民法一七頁
◎賣買ノ一方ノ豫約ノ意義……民法一七頁
◎賣買契約ノ要素ニ錯誤アル場合ノ實例……民法五四〇頁
◎登記完了後直チニ代金ノ支拂ヲ受クルコトヲ信シタルニ之ヲ受ケサル場合ハ法律行爲ノ要素ニ錯誤アリト謂ヒ得サルヤ……民法六一八頁
◎土地ヲ目的トスル甲乙間ノ賣買カ虛僞ノ意思表示ニヨリテ無效ナル場合乙ノ遺產相續人タル丙ヨリ該土地ヲ讓受ケタル場合ノ效力……民法九七〇頁
◎假裝賣買ニヨル不動產取得者ノ相續人カ爲シタル登記ノ效力……民法一〇二七頁
◎再賣買豫約ノ賣買完結ノ要件……民法一〇四二頁
◎物品ノ賣買當事者間ニ於テ期間前ニ爲シタル代金提供ノ效力……民法一三五〇頁
◎再賣買豫約ノ賣買完結ノ意思表示ト代位……民法一〇四二頁
◎物ノ賣買ニ於テ契約成立前目的物ノ引渡ヲ完了スルカ如キハ寧ロ一般事例ニ反ス……民訴二八六頁
◎明治一三年第五二號布告施行前ニ在リテハ土地ノ賣買ハ必ス地券名義書換ノ手續ヲ爲サヽレハ所有權移轉ノ效力ヲ生セサルモノナリヤ……諸法二五頁
◎不動產ノ賣買契約ヲ爲シタル場合ノ賣主ノ義務……諸法五五九頁

賣買一方ノ豫約
◎意義……民法一七頁

賣買履行期
◎市價ノ變動激シキ株式ノ賣買履行期……民法八〇七頁

賣買豫約
◎賣買完結ノ意思表示ヲ爲シタリト認ムヘキ場合ノ實例……民訴六一一頁
◎賣買完結後ニ於テハ豫約ニ因ル權利移轉ノ請求權ヲ保全センカ爲メニスル假登記ハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス……

賣買契約ノ履行
◎株式等有價證券ノ隔地間ノ賣買契約ノ履行ニ關スル商慣習……民法四二二頁

賣買仕切書
◎印紙稅法ニ所謂仕切書ノ意義及實例……諸法三八二頁

賣藥
賣藥稅法第一二條第二項前段ノ趣旨……諸法二三八頁
◎法ニ背キタル定價ヲ附記スルコトナク種々ナル價ヲ以テ無印紙ノ儘賣藥ヲ販賣シタル場合ノ責任……諸法二三八頁

賣藥印紙稅
◎賣藥印紙法第一二條第二項前後ノ趣旨……諸法二三八頁
◎法ニ背キテ定價ヲ附記スルコトナク種々ナル價ヲ以テ無印紙ノ儘賣藥ヲ販賣シタル場合ノ責任……諸法二三八頁

賣藥營業
◎賣藥稅法第一二條第二項前段ノ趣旨……諸法二三八頁
◎法ニ背キテ定價ヲ附記スルコトナク種

々ナル價ヲ以テ無印紙ノ儘賣藥ヲ販賣シタル場合ノ責任……諸法二三八頁

賣藥稅

◎賣藥稅法第一條第二項前段ノ趣旨……諸法二三八頁
◎法ニ背キテ定價ヲ附記スルコトナク種々ナル價ヲ以テ無印紙ノ儘賣藥ヲ販賣シタル場合ノ責任……諸法二三八頁

蠅取紙

◎砒素ヲ含有スル蠅取紙ハ毒劇藥ノ一種ナリ……諸法四〇頁

發航

◎商法第六八五條第二項ニ所謂發航ノ意義……商法四二四頁

發信主義

◎商法第一五三條第二項ニ規定スル讓渡人ニ對スル拂込ノ催告ハ二週間ヲ下ラサル期間ニ拂込ヲ爲スヘキ旨ノ通知ヲ發スルヲ以テ足ル……商法四二七頁

發明

◎本質……諸法一〇七、一〇九頁
◎發明ノ新規ト發明ノ獨創トハ全ク別個ノ觀念ナリ……諸法一〇八頁
◎發明ノ永續ヲ認ムルコトヲ得ルヤ……諸法一〇八頁
◎記憶ハ發明ニ非ス……諸法一〇八頁
◎發明能力者ノ意義……諸法一〇九頁
◎發明能力ノ意義……諸法一〇九頁
◎發明者ノ意義……諸法一一〇頁
◎改良ノ意義……諸法一一一頁
◎方法ノ發明ノ意義……諸法一一一頁
◎變更ノ意義……諸法一一一頁
◎發明ノ種類……諸法一一一頁
◎工業的發明ノ意義……諸法一一二頁
◎發明ノ特許能力ノ意義……諸法一一二頁
◎發明同一ノ意義……諸法一一五頁
◎發明ノ類似ノ意義……諸法一一五頁
◎特許能力……諸法一二五頁

發明ノ特許能力

◎發明ノ特許能力ノ意義……諸法一一二頁

發明能力

◎意義……諸法一〇九頁

發明能力者

意義……諸法一〇九頁

發明ノ觀念

◎意義……諸法一一九頁

發明ノ要部ノ變更

◎意義……諸法四七頁

發明者

◎意義……諸法一一〇、一二二頁

發明ノ種類

……諸法一二三頁

白紙委任狀附株券讓渡

◎記名株式ハ假令其株券ニ白紙委任狀ヲ添付スル場合ト雖モ民法第一九二條商法第二八二條第四四一條ノ適用ナシ……商法六九六頁
◎吾國株式市場ニ行ハルル白紙委任狀付株券讓渡ニ關スル慣習ノ內容……商法六九六頁

白紙委任狀附株式讓渡

◎白紙委任狀附株式讓渡ト名義書換義務……商法八三六頁

反訴

◎判決ニ基キ被告ノ支拂又ハ給付シタルモノノ辨濟ヲ判決ヲ以テ原告ニ言渡サレンコトノ被告申立ノ性質……民訴四四三頁

反訴ノ取下

◎故障ニ付キ定メタル口頭辯論ノ新期日ニ當事者雙方出頭セス訴訟手續休止トナリタル場合ニ於テ爾後一ケ年ヲ經過シタ

ルトキノ效力……民訴一七二頁

犯意

◎清涼飮料水取締規則違反行爲ニハ犯意ノ存スルコトヲ要スルヤ……刑法九四頁

犯罪地

◎恐喝ノ手段カ書面ヲ郵便ニ付スル行爲ニ因リテ爲サレタル場合ト其ノ犯罪地……刑訴九四頁
◎犯罪場所ノ明示方法……刑訴九四頁

犯罪ノ實行

◎他人カ食用ノ結果中毒死ニ至ルヘキヲ豫見シナカラ毒藥混入ノ砂糖ヲ郵送シタル場合ノ罪責……刑訴七八頁
◎毒殺行爲着手ノ實例……刑法七八頁

犯罪者

◎爆發物取締罰則第五條ニ所謂犯罪者ノ意義……刑法三九一頁

判決

◎判決ノ既判力又ハ確定力ノ範圍……民法八七四頁
◎本案判決ノ意義……民訴八頁
◎請求却下ノ判決ノ既判力ノ範圍……民訴八頁
◎訴訟費用ニ關スル一定ノ申立モ判決ノ事實摘示ニ記載スルヲ要スルヤ……民訴七四頁
◎事實摘示記載事項……民訴七四頁
◎判決ノ既判力……民訴一一二頁
◎第一審判決ヲ廢棄シタル記載ナシト雖モ廢棄シタリト見得ラルル場合ノ實例……民訴一二四頁
◎第一審判決及ヒ第二審缺席判決ニ河田合資會社トアルハ河田合名會社ノ誤記ナリト判斷シ缺席判決後ノ新辯論ニ於テ其判決ヲ維持スル判決ヲ爲シタル場合ノ效力……民訴四三四頁
◎證據調ノ結果中或ルモノヲ信用スルコトヲ得ストスル場合ニハ實驗法則並ニ論理ノ法則ニモ照シテ其結果ヲ信用スルコトヲ得サル理由ハ裁判ノ理由トシテ一々記載スルヲ要ス……民訴四七七頁
◎判決ニ因リ確定シタル請求ノ全部カ消滅シタルコトヲ主張スル異議ノ訴ニ於テ裁判所カ其一部消滅シタルコトヲ認メタル場合ニ於ケル判決……民訴四八一頁
◎理由不備ノ違法アル場合ノ實例……刑訴三三頁
◎未決拘留日數ノ本刑算入ハ刑ノ言渡ソノモノニアラサルヲ以テ法律ノ正條ヲ明示スルノ必要ナシ……刑訴一二五頁

判決ノ廢棄

◎既判力……諸法一六九頁
◎第一審判決ヲ廢棄シタル記載ナシト雖モ廢棄シタリト見得ラルル場合ノ實例……民訴一二四頁

判決ノ取消

◎控訴ヲ理由アリトシテ第一審判決ヲ取消ス場合ノ實例……刑訴二二頁

判決ノ確定力

◎判決ノ既判力又ハ確定力ノ範圍……民訴八七五頁
◎共有者ノ一人カ共有物所有權確認ノ訴訟ニ於テ敗訴シタル場合ト他ノ共有者確認訴訟提起權者……民訴八七五頁
◎外國判決ノ確定力ハ特定承繼人ニ對シ效力ヲ生スルヤ……民訴四四〇頁

判決ノ脫漏

◎訴訟費用ノ點ニ關シ其全體ニ付爲サレタル判決ト原判決カ遺脫シ權利拘束消滅

シタル請求部分ニ關スル審査權……諸法三三頁

判決ノ既判力

○範圍……民訴一一二頁

判決ノ記載事項

○提出シタル申立ノ意義……民訴八六頁

判決ノ執行

○闕席判決ニ依ル沒收ノ執行時期……刑訴六四頁

○官ノ占有ニアル物ニ對シ沒收判決確定シタル場合ノ效力……刑訴六四頁

判決ノ送達

○當事者ノ一方ニ於テ判決正本ノ送達ヲ受ケタルコトヲ確認シ得ルニ於テハ一應相手方ニ對シテモ送達アリタルモノト推認シ得ルヤ……民訴五一頁

判決事實

○理由不備ノ違法アル場合ノ實例……刑訴三三頁

判決請求權

○權利保護ノ請求權ノ意義及性質……民訴三一七頁

判定資料

○本人訊問ノ結果ト裁判所ノ判斷權……刑訴五七三頁

判定事實

○判文上明示スヘキ判定事實ト刑法施行法第二〇條……刑訴二一頁

◎未決拘留日數ノ本刑算入ハ刑ノ言渡シ其モノニアラサルヲ以テ法律ノ正條ヲ明示スルノ必要ナシ……刑訴一二五頁

判事

○當事者一方ノ申出テタル唯一ノ證據方法ヲ却下シタル場合ト忌避ノ原因……民訴五九六頁

判事ノ轉官

○判事轉官ノ效力時期……民訴五九一頁

判事ノ職務

◎判事 轉官ノ效力時期……民訴五九一頁

販賣

○意義……諸法四六頁

番人

○鐵道番人ノ注意義務……諸法二三九頁

挽船契約

◎意義……商法三三〇頁

◎挽船ト被挽船トノ內部關係……商法三三一頁

◎挽船ト被挽船トノ外部關係……商法三三四頁

◎挽船及ヒ被挽船ノ他船ニ對スル責任……商法三四七頁

○各船船主ノ被挽船ノ積荷ノ利害關係人ニ對スル責任……商法三五二頁

ニ

○「入會權」ハ「イ」ノ部ヲ見ヨ

二重賣買

◎甲カ其所有ニ係ル特定物ニ付キ乙ト賣買契約ヲ締結シタル後ニ至リ更ニ之ヲ丙ニ賣却シ未タ乙丙ノ何レニモ其引渡ヲ爲ササルニ先チ其物カ當事者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失シタル場合ノ危險負擔者……民法八四五頁

◎二重賣買ニ關スル危險負擔……民法八四六頁

荷爲替

○性質……商法一八六頁

○荷爲替手形所持人ノ權利……商法四一五、四一六、四一八頁

◎物品賣買ノ當事者カ荷爲替ニ依リ代金ノ支拂ハルヘキコトヲ約シタル場合ト雖モ實際荷爲替ニ依ラスシテ代金ノ支拂ハルヘキトキハ荷爲替ノ關係存セサルヲ以テ買主ハ賣主ニ對シ同時履行ノ抗辯ヲ提出スルコトヲ得ルモノトス……商法八九三頁

荷爲替手形

○荷爲替手形ノ受取人カ貨物引換證ヲ受取リタル場合ノ效力……商法四一四、四一六、四一八頁

入夫婚姻

○壻養子緣組ハ入夫婚姻ト養子緣組トノ結合ナリ……民法一三七五頁

入社

○社員死亡シタルトキハ其相續人承繼入社スル旨ヲ定メタル定款ノ效力……商法六二二頁

認知

◎私生子カ母ノ家ニ入リテ其推定家督相續人ト爲リタル後其父カ認知シタル場合ノ效力……民法二八二頁

◎婚姻成立ノ日ヨリ二百日以內ニ生レタル子ハ父カ認知ヲ爲スニ非サレハ嫡出子タル身分ヲ取得セサルヤ……民法三九七頁

◎私生子甲ノ事實上ノ父ニ非サル丙ノ爲シタル認知ノ效力ト其認知者ト爲シタル緣組承諾ノ效力……民法九三三頁

◎私生子カ認知セラルル以前既ニ一家ノ家督ヲ相續シテ戶主ニ爲リタル場合ニ於ケル私生子認知ノ效力……民法一二四三頁

ホ

ホフマン式算定法

……民法一一九頁

保存行爲

◎民法第二五二條ノ場合ノ意義……民法八七五頁

◎保存行爲ナリヤ否ヤノ決定標準……民法八七五頁

保險委付

○航海不能ノ意義……商法一五三頁

○航海不能ト修繕不能トハ明ニ區別スルモ全然獨立セル觀念ニ非ス……商法一五三頁

◎航海能力喪失ノ程度……商法一五三頁

◎保險委付ノ意義及之ヲ爲シ得ル場合……商法六五八頁

保險會社

◎保險會社ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項ノ實例……商法一九五頁

◎保險會社ノ代理人ハ民事訴訟法第一六條ニ所謂營業ニ付キ直接ニ取引ヲ爲ス店舗ナリト謂フヲ得サルヤ……民訴二七六頁

保險契約

◎重要ナル事實ノ實例……商法三八頁

◎癲癇並ニ脚氣ニ罹リタルコトアル事實ハ人ノ生命ノ危險ヲ測定スルニ付キ重要ナリヤ……商法三八頁

◎契約失效後繼續保險料拂込ノ效力……商法四五頁

◎保險契約ヲ回復スルニハ被保險者ノ身體檢査又ハ健康證明書ノ提出ヲ要スル旨ノ普通保險約款ノ解釋……商法四五頁
◎被保險者ノ生命ノ危險ヲ測定スルニ重要ナル事實ノ例……商法一八九頁

保險契約解除原因

◎保險契約者ニ告知義務違背アルニ拘ハラス保險者ニ解除權無シトスル場合ト立證責任……商法二七二頁

保險契約ノ回復

◎保險約款所定ノ保險契約ノ回復承認ニ要スル手續……商法三七六頁
◎保險契約回復承認ノ實例……商法二七七頁

保險約款

◎保險契約申込書ニ表示セラレタル普通保險約款ノ性質……商法三七六頁
◎普通保險約款第一二條第二項ニ所謂身體ニ異常ヲ生シトアル場合ニ該當スル場合ノ實例……商法七三九頁

保險金

◎保險者カ危險發生ノ後解除ヲ爲シタル場合ニ於テ被保險者ノ死亡カ告ケサリシ既往症ニ基カサルコトヲ證明シタル場合ト保險者ノ保險金支拂義務……商法三六七頁

保險金受取人

◎保險金受取人カ死亡シ保險契約者カ未タ新受取人ヲ指定セサル間ハ前ノ受取人ノ權利ハ何人カ承繼スルヤ……商法七六六頁

保險金支拂方法

◎福井市ニ於ケル一般保險會社ノ保險金支拂方法ト慣習……民法四一六頁

保險金支拂請求ノ訴

◎福井市ニ於ケル一般保險會社ノ保險金支拂方法ト慣習……民訴四一六頁

保險證券

◎保險契約申込書ニ表示セラレタル普通保險約款ノ性質……商法三七六頁

保證

◎一定ノ期間存續スヘキ當座預金貸越契約ニ基キテ生スル債務ニ付キ對人擔保アル場合ニ於テ該契約ノ存續中當事者カ期間ヲ仲長シ以テ爾後取引ヲ繼續シタル場合ノ效力……民法一八〇頁
◎保證ト併存的債務引受……民法一一七一頁
◎銀行ノ支拂カ手形上ニ爲サルル支拂保證ニアラサル普通保證ヲ爲シタル場合ノ效力……商法九三頁
◎銀行ノ支配人カ自己ノ利益ノ爲メニ其支配人ノ名義ヲ濫用シテ爲シタル保證行爲ト民法第一一〇條……商法九四頁
◎交互計算契約期間內ニ交互計算上當事者ノ一方ノ負擔ニ歸スヘキ殘額債務ニ付キ一定限度ニ於テ保證ノ責任ヲ負フヘキ旨ヲ約シタル場合ノ保證ノ效力……商法八六九頁
◎交互計算契約存續期間滿了シタルトキ保證人ノ責任……商法八六九頁

保證人

◎民法第四六〇條第二號ノ趣旨……民民二七九頁
◎保證人間ノ負擔部分ニ付キ特約ナキ場合ノ責任……民法三七七頁
◎連帶保證人間ノ責任……民法三七七頁
◎保證人相互間ノ連帶共同保證……民法九四六頁
◎保證人及ヒ主タル債務者間ノ連帶共同保證……民法九四六頁
◎頼母子講會主カ會員ニ對シ負擔スル金ノ掛戻及ヒ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ擔保シタル保證人間ノ責任……民法一〇二四頁
◎主タル債務者ニ對スル履行ノ請求其他時效ノ中斷ハ直ニ連帶保證人ニ對シテ其效力ヲ生スルヤ……民法一一二〇頁
◎保證契約ノ成立時期……民法一三一九頁
◎民法第四五二條ハ保證カ補充的債務タルノ結果債權者ノ請求ニ對シ保證人ヲ保護スル趣旨ニ出テタル規定ナリ……民法一三八九頁
◎債權者ハ主タル債務者ニ對シ請求スルト同時ニ保證人ニ對シ請求スル場合ト保證人ノ抗辯權……民法一三八九頁

保證人間ノ負擔部分

◎保證人間ノ負擔部分ニ付キ特約ナキ場合ノ責任……民法三七七頁

保證人ノ責任

◎交互計算契約存續期間ノ滿了シタルトキト保證人ノ責任……商法八六九頁
◎交互計算契約期間內ニ交互計算上當事者一方ノ負擔ニ歸スヘキ殘額債務ニ付キ一定限度ニ於テ保證ノ責任ヲ負擔スヘキ旨ヲ約シタル場合ノ保證ノ效力……商法八　九頁

保證契約

◎保證契約ノ成立時期……民法一三一九頁

保證債務

◎債權者カ主タル債務者ニ對シ請求スルト同時ニ保證人ニ對シ請求スル場合ト保證人ノ抗辯權……民法一三八九頁
◎保證人ノ責任……民法三八九頁
◎契約書ニ賃貸借期間ヲ一年ト指定セル場合ノ效力……民法三八九頁
◎保證債權ノ讓渡ヲ保證人ニ對抗スルニハ民法第四六七條ノ通知ヲ保證人ニ爲スコトヲ要セス……民法八二一頁
◎民法第五四二條ハ保證カ補充的債務タルノ結果債權者ノ請求ニ對シ保證人ヲ保護スル趣旨ニ出テタル規定ナリ……民法一三八九頁

保證責任

◎頼母子講會主カ會員ニ對シ負擔スル金ノ掛戻及ヒ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ擔保シタル保證人間ノ責任……民法一〇二四頁

補充判決

◎職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ場合ナルニ拘ラス裁判所カ假執行ノ宣言ヲ爲サス又ハ裁判所カ假執行ノ宣言ヲ求ムル債權者ノ申立ヲ看過シテ何等ノ裁判ヲ爲サヽリシ場合ト債權者ノ救濟方法……民訴四八五頁
◎判決ノ補充ヲ求ムルコトヲ得ルヤ否ヤノ實例……民訴四八五頁
◎訴訟費用ノ點ニ關シ其全體ニ付爲サレタル判決ニ對スル控訴ト原判決カ遺脫シタル權利拘束消滅シタル請求部分ニ關スル審査權……諸法三三頁

補充權行使時期

◎爲替手形ニ滿期日ヲ記載シ受取人ノ氏名ヲ記入セサル儘振出シタル場合ノ受取人又ハ所持人ノ補充權行使時期……商法二一二頁

補充手形

◎支拂ノ委託文言トシテ（空白）殿又ハ其指圖人ヘ云々支拂相成度候也ト記載シテ振出シタル手形ノ性質……商法二二一頁

補充的意思表示

◎商法第一七六條ニ規定スル監査役ノ承認ニ付キ事後ノ追認ヲ認ムルヤ……商法一一六頁
◎特約ニ基ク補償債務ノ履行地……民法四九〇頁

補償金額

◎收用審査會ノ裁決ニ對シ通常裁判所ニ出訴シ得ル範圍……諸法三一四頁

母蛾ノ檢査

◎蠶種製造業者カ詐欺ノ行爲ヲ以テ蠶絲業法第一一條ニ依ル母蛾ノ檢査ヲ受ケタル場合ノ罪責及其母蛾ノ產出セル蠶兒ノ作リタル繭ト沒收ノ有無……諸法五八頁

發起人

◎株式會社發起人間ノ關係……商法三四頁
◎住所記載ノ方法……商法三五頁
◎署名ヲ以テ發起人ノ氏名ノ記載ニ代フルコトヲ得ス……商法六七五頁
◎形式的發起人ノ範圍……商法八八一頁
◎商法第一二〇條本文冒頭ニ所謂發起人ノ意義……商法八八一頁
◎實質的發起人ト形式的發起人トノ區別……商法八八三頁
◎實質的發起人タル要件……商法八八三頁
◎定款ニ發起人トシテ住所氏名ヲ記載セラレタル者ノ中一人ニテモ定款ニ署名セサル者アル場合ノ效力……商法八八三頁

發起人ノ署名

◎發起人ノ署名ハ定款書ニ記載スヘキ事項ノ一ニシテ定款書ノ一部ヲ爲セトモ意思表示タル定款ノ內容ヲ爲スモノニ非ス……商法八八二頁
◎吾商法カ定款ノ作成ヲ確保スルカ爲メ方式トシテ發起人ノ署名ヲ要求シタル理由……商法八八二頁

發起人組合

◎會社設立行爲トノ差異……商法三五頁

北海道國有未開地處分

◎北海道國有未開地處分法ニ依ル北海道廳長官ノ賣拂許可處分ノ效力……諸法三四〇頁
◎北海道國有未開地處分法ニ依ル土地立木ノ賣拂出願ニ依リ將來賣拂ノ處分ヲ受ケ得ル希望ハ權利ニ非ス從テ相續ノ目的トナラス……諸法三四〇頁

沒收

◎僞造文書ハ之ヲ沒收シ得ルヤ……刑法二〇〇頁
◎闕席判決ニ依ル沒收ノ執行時期……刑訴六四頁
◎官ノ占有ニアル物ニ對シ沒收判決確定シタル場合ノ效力……刑訴六四頁

◎蠶種製造業者カ詐欺ノ行爲ヲ以テ蠶絲業法第一一條ニ依ル母蛾ノ檢査ヲ受ケタル場合ノ罪責及其一母蛾ノ產出セル蠶兒ノ作リタル繭ノ沒收ノ有無……諸法五八頁

方法ノ發明

◎意義……諸法一一、一二三頁

包括復代理人

◎特定行爲ノ代理人及ヒ定款ニ基礎ヲ置キテ選任シタル包括復代理人ノ性質……民法五〇五頁

法律

◎裁判所ハ行政權ノ行爲タル命令カ憲法又ハ法律ニ違反スルコトナキヤ否ヤヲ審査シ其違法命令ナルトキハ當然之ヲ無效ナリトシテ其適用ヲ拒否シ得ルヤ……諸法二二七頁
◎法律カ內容ニ於テ憲法ニ違反スルモ裁判所ハ有效ノ法律トシテ之ヲ適用セサルヘカラサルヤ……諸法二二〇頁

法律違背

◎理由不備ニ非サル場合ノ實例……民訴一七八頁

法律不遡及ノ原則

◎理由不備ノ實例……民訴一八〇頁

◎利息制限法改正規定施行前ニ成立シタル利息ノ債權ト適用法規……諸法一三三頁

法律行爲

◎鐵道布設許可ノ趣旨ニ反スル法律行爲ノ效力……民法三三七頁
◎假裝行爲ノ要件……民法一二九七頁
◎假裝ノ法律行爲ノ意義……民法一三〇四頁
◎虛僞ノ意思表示……民法一三〇七頁

法律行爲ノ要素

◎法律行爲ノ要素ナリヤ否ヤノ判定方法……民法二六頁
◎意思表示ノ錯誤……民法一三三六頁

法律行爲ノ緣由

◎法律行爲ノ要素ナリヤ否ヤノ判定方法……民法二六頁

法令

◎公證人法第二六條ノ場合ノ意義……諸法九三七頁
◎命令的規定ノ意義及效力……諸法三五〇頁
◎能力的規定ノ意義及效力……諸法三五〇頁
◎法令規定ノ種類……諸法三五〇頁

法令ニ因ル行爲

◎法令ニ因ル行爲ト正當業務ニ因ル行爲トノ差異……刑法八七頁

法令ノ效力

◎露西亞國ハ帝政廢滅ニヨリ滅亡シタルモノニ非ス……諸法二四三頁

法例

◎不在者ノ財產管理……諸法四五八頁

法定地上權

◎法定地上權者ノ敷地外ノ土地ニ對スル權限……民法一三二八頁

法定代理人

◎法定代理人ノ私生子認知請求權ノ性質……民法四〇六頁

法定管轄

◎仲裁判斷取消ノ訴……民訴三四〇頁

法定期間

◎意義……民法三一三頁
◎時效ノ性質ヲ有セサル法定期間ノ意義……諸法二六一頁

法定推定家督相續人

◎嫡孫承祖者廢除ノ實例……民法一八三頁
◎民法施行前行政官廳ノ許可ニ因ル廢嫡ト嫡孫承祖ノ慣習法……民法一八三頁

◎法定ノ推定家督相續人ハ本家相續ノ外婚姻又ハ養子緣組ニ因リテ他家ニ入ルコトヲ得ス……民法一〇一二頁

法規禁止違反行爲

◎法規禁止ニ違反スル法律行爲ノ效力……民法一一、一四頁
◎法規ノ禁止ニ違反スル法律行爲カ民法第五〇條ニヨリ無效ナル場合……民法一一、一四頁

法人

◎東京京內ノ區ノ性質……民法一一三五頁
◎法人ト名譽毀損罪ノ客體……刑法六〇頁
◎單身戶主死亡シテ相續人ナキ場合ニ於テモ其家ハ六ケ月間ハ一種ノ法人トシテ存在スルヤ……諸法一五三頁
◎佛堂ニ該當スル獨立ノ法人タル實例……諸法三三四頁

法人ノ能力

◎會社ハ其目的ヲ達スルニ必要ナル事項ハ勿論其目的ニ背馳セサル事項ナルニ於テハ縱令定款ニ揭ケサルモノト雖モ之ヲ爲スノ能力アリ……商法五九八頁

法人所得

◎賞與金カ當該事業年度ノ利益ノ一部ヲ

給與シタルモノナル場合ト所謂計算法……諸法五一三頁

報酬

◎辯護士ニ對スル相當報酬ノ實例……民法二九一頁

◎委任事務ヲ受任者タル辯護士甲ノ關與ヲ俟タス委任者タル乙ト其相手方トノ任意和解ニ依リ終了シタル場合ト報酬義務……民法二九二頁

報酬義務

◎辯議士ニ事件委任ト報酬義務……民法二九一頁

報酬請求權

◎問屋カ双方ノ委託者ヨリ委託ヲ引受ケ之ヲ履行シタル場合ト報酬請求權……商法七〇一頁

防衛行爲

◎防衛行爲ト避難行爲トノ差異……刑法九七頁

防禦方法

◎二個ノ獨立ナル防禦方法ヲ提出シタルトキ裁判所カ其一ニ付キ理由アリトスル場合……民訴四一九頁

妨訴抗辯

◎仲裁契約成立ノ抗辯ハ無訴權抗辯即チ妨訴抗辯ニ關セス……民訴三一八頁

◎妨訴ノ抗辯ヲ棄却スル判決ノ性質……民訴三七四頁

◎權判拘束ノ抗辯ヲ提出スルコトヲ得ル條件……民訴三七四頁

妨訴抗辯棄却ノ判決

◎性質……民訴三七四頁

本人

◎家督相續人選定ノ爲メニ開クヘキ親族會……民法七二六頁

本人訊問

◎木人訊問ニ於ケル供述ノ證據力……民訴五三六頁

◎本人訊問ノ結果裁判所ノ判斷權……民訴五七三頁

本權

◎物ノ一般支配權ノ侵害ト妨害除去請求ノ訴……民法八七三頁

本權ノ訴

◎民法第二〇二條第一項ノ趣旨……民法八七四頁

◎占有ノ訴ト本權ノ訴トノ關係……民法八七五頁

本夫

◎刑法第一八三條第二項ニ所謂本夫ノ意義……刑法七三頁

本案判決

◎意義……民訴八頁

本案ノ辯論

◎意義……民訴五三八頁

ヘ

併存的債務引受

◎免責的債務引受ト併存的債務引受……民法一一六五頁

◎免責的債務引受ト併存的債務引受トノ關係……民法一一七〇頁

◎併存的債務引受ノ成立……民法一一七六頁

◎債權者引受人間ノ契約ニ依ル併存的債務……民法一一八一頁

◎原債務者引受人間ノ契約ニ依ル併存的債務引受……民法一一八三頁

◎原債務者引受人間ノ契約ニ依ル併存的債務引受ト所謂履行ノ引受トノ差異……民法一一八三頁

◎原債務者又ハ引受人ノ何レカ一方ニ付テ生シタル事項ノ效力……民法一一九三頁

◎要領……民法一一九七頁

併合刑

◎刑法五四條ニ依リ刑ノ輕重ヲ定ムヘキ方法……刑法二二九頁

別除權

◎行使方法……商法二三五頁

返還申立

◎假執行宣言アリタル本案判決破毀サレタルトキ該宣言ニヨリ支拂ヒタルモノノ返還ヲ求ムル申立方法……民訴四四四頁

偏頗ノ恐

◎裁判所カ職權ヲ以テ辯論ヲ終結シタル措置カ誤リタル心證ニ基キタル場合ト偏頗ノ忌避……民訴二八七頁

偏頗ノ忌避

◎當事者ノ一方ノ申出テタル唯一ノ證據方法ヲ却下シタル場合ト忌避ノ原因……民訴五九六頁

變造手形

◎手形上ノ權利ヲ主張スル者ニ於テ變造後ノ署名ニ係ルコトヲ立證スルニアラサレハ署名者ニ對シテ變造後ノ文言ニ從ヒ權利ヲ主張スルコトヲ得ス……商法六六六頁

變更

◎意義……諸法一一一頁

變更登記

◎更正登記申請ヲ却下スヘキ實例……商法五一三頁

◎非訟事件手續法第一八八條第一項ニ所謂取締役ノ意義……諸法一五二頁

變死者

◎刑法一九二條ノ場合ノ意義……刑法二五五頁

辨濟

◎本質……民法一七一頁

◎辨濟トシテノ給付行爲ニハ所謂辨濟意思ヲ要セサルヤ……民法一七二頁

◎給付行爲ハ辨濟其モノニ非ス……民法一七二頁

◎債權證書カ債權者ノ手續ニ存スルコトハ債權ノ存在スル事實ヲ推定スヘキ一資料タルヲ得ルモノトス……民訴六〇頁

◎預リ證書ノ性質……民訴二六一頁

◎辨濟引受契約ト債務引受契約トノ區別……民法二九七頁

◎辨濟引受契約ノ性質……民法九七頁

◎辨濟引受ノ意義……民法二九七頁

◎辨濟ノ成立ニハ辨濟意思ノ表示ヲ要セサルヤ……民法三五二頁

◎辨濟ノ提供ヲ爲ササルモ債權者ヲ遲滯ニ附シ得ル場合アリヤ……民法三五六頁

◎民法第五〇〇條制定ノ趣旨……民法五二〇頁

◎債務ノ辨濟ハ債務者ニ於テ其履行ニ因リテ債務ヲ消滅セシムルノ意思ヲ特ニ表示スルコトヲ必要トセス……民法五二一頁

◎供託ハ辯濟ニ非スト雖モ辨濟ト同一ノ效力ヲ有シ受領證書交付ノ有無ニ依リテ供託其モノノ效力ヲ左右スルモノニ非ス……民法五二一頁

◎辨濟其他ノ原因ニ因リテ債權ノ全部又ハ一部カ消滅シタル場合ト對抗方法……民法八〇四頁

◎債務ノ辨濟トシテ他人ノ物ヲ引渡シタル場合債權者カ第一九二條ノ規定ニ從ヒ又ハ取得時效ニヨリ辨濟トシテ給付ヲ受

ケタル物ノ所有權ヲ取得スルニ至リタルトキノ辨濟ノ效力……民法一四二六頁
◎賣買手付金ノ支拂ニ代ヘ小切手ヲ授受シタルトキ當事者ノ特別ノ意思表示ニ依リ代物辨濟ト爲シタル場合ノ效力……商法三〇七頁
◎金錢債務ノ支拂トシテ小切手ヲ授受スルハ直ニ其債務辨濟トハ爲ラサルヤ……商法三〇七頁
◎金錢債務ヲ辨濟スル爲メニ小切手ヲ提供シタル場合債務ノ本旨ニ從フ履行ノ提供トナルヤ……商法六二一頁
◎第三債務者カ債權假差押命令ニ違反シテ其債權者ニ對シ差押ニ係ル債務ノ辨濟ノ效力……民訴二三九頁
◎抵當權者其他ノ利害關係人ハ各自固有ノ權利ニ基キ競落代金ノ中ヨリ直ニ其辨濟ヲ受クルコトヲ得……民法二四六頁

辨濟場所

債權者ノ現時ノ住所……民法二五三頁

辨濟ノ確保

◎當事者ノ一方カ他方ニ對シテ負擔セル債務ノ爲メ約束手形ヲ振出シタル場合ノ效力……商法八五頁

◎意義及實例……商法一八七頁
◎債權者ニ郵便小爲替ヲ送付シテ其債務ヲ免ルルヲ得サルヤ……民法一二七頁
◎小切手ハ金錢債務ヲ辨濟スヘキ物タルニ適セサルヤ……民法一二七頁
◎振替貯金振出證書ノ送付ヲ以テ現金ノ交付ニ代フルコトヲ得ルヤ……
◎買主ハ賣主ニ對シ其債務履行ヲ催告スルニ付キ自己ノ債務ノ辨濟ヲ提供スルヲ要セサル場合ノ實例……民法一二八頁
◎金錢債務ヲ辨濟スル爲メニ小切手ヲ提供シタル場合ハ債務ノ本旨ニ從フ履行ノ提供トナルヤ……民法四二九頁
◎双務契約ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ辨濟ノ提供ヲ爲スモ相手方ニ於テ其債務ヲ履行セサル意思明確ナル場合ニハ辨濟ノ提供ヲ要セサルカ……商法六二一頁

辨濟期

◎石炭ノ積込ヲ終リ代金立替金等ヲ精算シテ電報ニテ通知シタル後金錢ヲ支拂フヘキ定メアル場合ノ買主ノ解除權……民法一三九一頁
……民法五七六頁
◎債權者ノ請求次第辨濟スヘシトノ約アル債權ノ消滅時效……民法一〇一三頁

辨濟引受契約

◎辨濟引受ノ意義……民法二九七頁
◎辨濟引受契約ノ性質……民法二九七頁
◎辨濟引受契約ト債務引受契約トノ區別……民法二九七頁

辯論ノ中止

◎爲替訴訟ト他ノ繫屬スル訴訟ニ於テ定マルヘキ權利關係ノ成立又ハ不成立ニ繫ルカ爲メ其訴訟ノ完結ニ至ルマテ其辯論ヲ中止シ得ルヤ……民訴四五九頁

辯論ノ分離

◎副位的請求ノ數額ニ對スル辯論ヲ分離シタルニ外ナラサル場合本訴請求ニ付キ一部ノ終局判決ヲ與ヘタルトキノ效力……民訴九九頁

辯論ノ再開

◎閉チタル辯論ノ再開ヲ命スルト否トハ一ニ裁判所ノ職權事項ニ屬ス……民訴五三四頁

辯論終結

◎裁判所カ職權ヲ以テ辯論ヲ終結シタル措罪カ誤アル心證ニ基キタル場合ト偏頗ノ忌避……民訴二八七頁

辯護權

◎第二回ノ公判ニ於テ甲ノ爲メ最終ノ辯論ヲ爲シタル甲ノ辯護人カ第三回公判ニ闕席シ其儘審理ヲ遂行シタル場合ノ訴訟手續ノ效力……刑訴一二一頁

辯護士

◎辯護士ニ事件委任ト報酬義務……民法二九一頁
◎辯護士ニ對スル相當報酬ノ實例……民民二九二頁
◎委任事務ノ受任者タル辯護士甲ノ關與ヲ俟タス委任者タル乙ト其相手方トノ任意和解ニ依リ終了シタル場合ト報酬義務……民法二九二頁

ト

土地

◎地盤ト立木ト同一人ノ所有ニ屬スル場合ノ地盤ト立木トノ關係……民法一三八頁
◎地盤ノ所有權ト立木ノ所有權トカ各別ニ存在スル場合ノ地盤ト立木トノ關係……民法一三八頁
◎定著物ノ觀念ト物ノ構成部分ノ觀念トハ必スシモ同一ニ非ス……民法八一九頁

土地賣買

◎明治一三年第五五號布告施行以前ニ在リテハ土地ノ賣買ハ必ス地劵名義書換ノ手續ヲ爲ササレハ所有權移轉ノ效力ヲ生セサルモノナリヤ……諸法二五頁

土地臺帳ノ變更

◎土地臺帳所管廳ノ臺帳面ノ所有名義變更權……諸法一頁

土地ノ賃貸借

◎建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借權ニ因リ土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スル場合ノ效力……諸法五六三頁
◎建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ建物ヲ有スルモ其登記ナキ間ニ右土地ノ所有權ヲ取得シ其登記ヲナシタル第三者ニ對スル效力……諸法五六三頁

土地收用

◎收用審査會ノ裁決ニ對シ通常裁判所ニ出訴シ得ル範圍……諸法三一四頁

土地收用審査決定

◎司法裁判所カ土地被收用者ノ不服申立ニ對シ裁判ヲ爲シ得ヘキ範圍……諸法三一五頁

土地使用權

◎「地上權ニ關スル件」ノ發布セラルル前ニ有シタル土地使用權ノ性質……民法三八二頁

土地所有權

◎民法施行前爲シタル契約カ第二二〇條ノ規定ニ該當スルニ至リタル場合ノ效力……民法二八四頁
◎假裝賣買ニヨル不動產取得者ノ相續人カ爲シタル登記ノ效力……民法一〇二七頁

土地ノ表示

◎遺言狀ニ記載シタル遺言者ノ住所ト登記簿ノ所有者ノ住所ト符合セサル場合又ハ遺言狀ニ記載シタル土地ノ表示ト登記簿上ノ土地ノ表示ト符合セサル場合ノ效力……諸法四四七頁

戸障子

◎疊建具戸障子ニ對シ民法第一九二條適用ノ有無……民法六八二頁

賭博

○意義……刑法二一二頁
◎賭者ノ誘引ハ賭場開張幇助罪ニ該當シ賭博幇助罪ヲ構成セサルモノトス……刑法二二一頁
◎賭場開張罪ハ性質上賭博幇助ノ觀念ヲ包擁ス……刑法二二一頁
◎勝馬投票者トシテノ行爲ト賭博罪成立ノ有無……刑法二一二頁

賭場開張幇助罪

◎賭場開張罪ハ性質上賭博幇助ノ觀念ヲ包擁ス……刑法二二一頁
○賭者ノ誘引ハ賭場開張幇助罪ニ該當シ賭博幇助罪ヲ構成セサルモノトス……刑法二二一頁

届出無效ノ訴

○戸籍訂正ノ結果權利關係ニ重大ナル變更ヲ及ホス場合ノ如キハ訴ヲ以テ届出ノ無效ヲ主張スヘク戸籍訂正ノ手續ニ依ルヲ得サルモノトス……諸法二四八頁

取立委任

◎取立ノ目的ニ出テタル債權ノ信託的讓渡ノ效力……民法三九二頁
◎丙カ乙ニ對スル債權ヲ取立委任ノ目的ヲ以テ信託的ニ甲ニ讓渡シタル後ニ於テ丙カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ノ取立委任ノ效力……商法一一七頁

取立委任裏書

◎單純裏書ヲ變シテ取立委任ノ爲メニスル裏書トナス合意ノ效力……商法九七頁
◎取立委任ノ裏書ノ存否ハ裏書ノ連續ニ付キ何等影響ナシ……商法二五七頁

取消

◎禁治産者ノ行爲ハ絕對ニ取消シ得ルヤ……民法一三二頁
◎明示ノ自白タリトモ自白者ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得……民訴二二〇頁
◎船員カ船長ヲ強迫シテ賞與金契約ヲ締結セシメタルトキト船主ノ取消權……商法一九七頁
◎自白ノ取消方法……民訴二二〇頁
◎裁判上ノ和解ノ私法上效力及之ニ對スル無效取消及解除トノ關係……民訴二九九頁

取消權

◎無權代理人ノ相手方ノ有スル取消權ハ撤回權ナリ……民法八五頁

取締役

◎取締役全部ノ辭任ノ方法及辭任登記義務者……商法一一六頁
◎豫選ノ效力……商法一一六頁
◎取締役及監査役ノ調査及報告ノ意義……商法六三頁
◎株式會社對取締役間ノ債務履行ノ效力……商法一〇二頁
○商法第一七六條違背行爲ノ效力……商法一一五頁
◎取締役カ就任後法定ノ期間內ニ定款變更登記ヲ爲サザル場合ノ責任……商法二一七頁
◎取締役カ監査役ノ承認ヲ得スシテ會社ヲシテ自己ニ約束手形ヲ振出サシメタル場合ノ效力……商法二一八頁
◎取締役カ監査役ノ承認ヲ得スシテ自己ノ爲メニ會社ト取引シタル場合ノ效力……民法九四頁
◎取締役辭任ノ意思表示ヲ受クル者……諸法三七三頁
◎第一七六條ニ所謂取引ノ意義……商法四一一頁
◎取締役 義務タル登記申請ニ關スル責任ヲ免ルルコトヲ得サル場合ノ實例……商法四九三頁
◎破産後ノ會社ノ性質及取締役監査役ノ

存否……商法五〇一、五〇三頁
○會社ノ設立無效卽チ其法人格ノ存否ヲ爭フ訴訟ト會社代表者……商法五〇二、五〇三頁
◎會社ヲ代表シテ振出署名ヲ爲シ自己個人ヲ受取人ト爲シタル場合ノ效力……商法八五〇頁
◎取締役ハ自ラ會社ヲ代表セサル訴訟ニ於テハ證人タル資格ヲ有ス……民訴八八頁
◎北米合衆國デラウエア州ノ會社法ノ取締役監査役ノ選任方法……民訴四一一頁
○取締役カ會社ノ機關トシテ虛僞ノ文書ヲ作成スル行爲ヲ處罰スル要件……刑訴一八頁
○貯蓄銀行取締役ノ貯蓄預金者ニ對スル責任……諸法一〇一頁
◎貯蓄銀行ノ預金債權ノ讓受人カ該讓受ノ事實ヲ同銀行ノ取締役ニ對抗スル要件……商法一〇二頁
○取締役タル資格ノ發生時期……諸法三七三頁
○取締役辭任ノ意思表示ノ方法……諸法三七三頁

取締役會

○會社カ取締役會ヲ招集スルニ當リ取締役會ニ對シ該會議ノ目的タル事項ヲ通知セサル場合ノ效力……商法八一四頁

取締役豫選ノ效力

○取締役豫選ノ效力……商法一一六頁

取締役ノ選任

◎北米合衆國『デラウエア』州ノ會社法ニ於ケル取締役監査役ノ選任方法……民法訴四一一頁

取引所

○公債證書返還請求權ハ金錢ノ債權ニアラサルヲ以テ該債權ニ對スル强制執行トシテハ同法第六一七條ニヨリ支拂ニ換ヘ轉付スル命令ヲ爲スコトヲ得ス……民訴二〇五頁

取引所ノ取引

◎競賣買ノ實例……諸法一一五頁
◎注文者ノ委託ニ依ル買建ナ一括シテ定マリタル値段ニテ提出シ競賣買行ハレサル一部ニ付テ相手方ナキ爲メ自ラ相手方トナリ競賣ニテ賣建又ハ買建ヲ成立サシム取引方法ハ有效ナリヤ……諸法一一五頁

投票

◎投票用紙ノ指定欄內ニ被選擧人ノ氏名ヲ記載セス其表面ニ之ヲ記載シ用紙ヲ同省令所定ノ如ク五切シ其一端ヲ切目ニ差込ミテ外面ヨリ被選擧人ノ氏名ヲ窺知スルコトヲ得ヘキ投票ノ效力……民訴六三二頁
○同一選擧人ノ氏名ヲ重複シテ二列ニ記載シタル場合ノ投票ノ效力……民訴六三三頁
◎被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタル投票ヲ無效ト爲シタル理由……民訴六三三頁
◎汚損シタル投票用紙ヲ用ヒテ投票ヲ爲シタル場合ノ投票ノ效力……民訴六三三頁
○選擧長ニ於テ保管スル投票ノ證據保全申請ト其許否……諸法一八九頁
◎被選擧人記載ノ實例……諸法一九一頁
◎無效投票カ何人ノ得票中ニ算入セラレタリヤノ認定方法……諸法一九二頁
◎投票ニ記載アル被選擧人ノ何人ナルヤヲ定ムル標準……諸法三九二頁
◎「様」ノ略字トシテ「ふ」ヲ使用スル慣習存スル地ニ於テ被選擧人名下ニぶヲ記載シタル場合ノ投票ノ效力……商法四二七頁
◎「上」ナル文字ヲ記載シタル投票ノ效力

ト　投票函　投票管理者　投票用紙　投票立會人　東京市　盜品　登記　登記簿上ノ效力　登記官吏　登記ノ效力

……………………諸法四二七頁
◎選擧人カ投票用紙ニ被選擧人ノ氏名ヲ表示スルニハ必スシモ本邦固有ノ文字ニ制限セサルヘカラサルモノト解スルコトヲ得ス……………諸法四七一頁
◎書損シタルヲ訂正スルハ衆議院議員選擧法第九八條第一項第五號ニ所謂他事ノ記載トナルヤ……………諸法四七一頁
◎投票中二三ノ投票ヲ特別ノ理由ニ依リテ無效ニ歸スルコトアルモ其他ノ適法ナル投票ハ之カ影響ヲ受ケ無效トナルヘキモノニアラス……………諸法五一二頁
◎選擧カ公正ヲ害シ無效ナル場合ノ實例……………諸法五五一頁

投票函
◎投票函管理者及ヒ投票立會人カ投票函保管期間……………諸法三十八頁

投票管理者
◎投票管理者及ヒ投票立會人カ投票函保管期間……………諸法三七八頁
◎衆議院議員選擧法施行令第一四條ノ法意……………諸法三九九員

投票用紙
◎汚損シタル投票用紙ヲ用ヒテ投票ヲ爲シタル場合ノ投票ノ效力：民訴六三三頁
◎對照及交付ノ手續ヲ爲シタルモノト謂ヒ得ル場合ノ實例……………諸法二七〇頁
◎投票用紙ニ呈河村重政君ト記載セラレタル場合ノ效力……………諸法五四一頁

投票立會人
◎投票管理及ヒ投票立會人カ投票函保管期間……………諸法三七八頁
◎衆議院議員選擧法施行令第一四條ノ法意……………諸法三九九頁
◎投票立會人カ指定ノ時刻ニ參會セサル場合ノ效果……………諸法四〇五頁
◎郡長ノ選任シタル五名ノ投票立會人ノ一人カ選擧ノ當日指定ノ時刻ニ參會セサルニ拘ラス缺員ノ儘選擧ヲ施行シタル場合ノ效力……………諸法四九八頁
◎指定ノ時刻ニ遲參シタル投票立會人ハ當然其資格ヲ失フモノニ非ス……………諸法五二四頁

東京市
◎東京市内ノ性質……………民法一一三五頁

盜品
◎意義……………民法六八八頁
◎盜品遺失物ヲ善意無過失ニテ占有シタル者カ確定的ニ所有權ヲ取得スル時期……………民法六九三頁

登記
◎登記ヲ爲スコトヲ怠リタル場合ノ實例……………民法五三一頁
◎二週間ノ期間ニハ民事訴訟法第一六七條ニ定メタル猶豫期間ナシ……………民法五三二頁
◎資本增加ニ關スル登記ト其懈怠ナキ場合ノ實例……………民法五三三頁
◎遺言狀ニ記載シタル遺言者ノ住所ト登記簿ノ所有者ノ住所ト符合セサル場合ト遺言狀ニ記載シタル土地ノ表示ト登記簿上ノ土地ノ表示ト符合セサル場合ノ效力……………諸法四四七頁

登記簿上ノ效力
◎遺言狀ト登記簿ノ表示ト符合セサル場合ノ取扱方ニ關スル件……………諸法四四七頁

登記官吏
◎登記官吏カ登記ノ申請ヲ受理シテ登記ヲ完了シタル後職權ヲ以テ之ヲ抹消シ得ヘキ場合……………諸法三〇三頁

登記ノ效力
◎贈與ニヨリ所有權ヲ取得シタル者カ賣買ヲ原因トシテ登記シタル場合ノ效力……………民法一〇一九頁
◎假裝賣買ニヨル不動産取得者ノ相續人カ爲シタル登記ノ效力：民法一〇二七頁

登記上ノ抗告
◎登記官吏ノ決定又ハ處分ニ對スル抗告權者……………諸法一七四頁

登記ノ更正
◎甲カ乙ノ單獨所有者トシテ登記アル係爭地ニ付キ登記簿上自己ノ共有權ヲ確認セシムル方法……………諸法一一頁

登記抹消
◎登記義務者カ抹消ノ手續ヲ爲スニ至ラスシテ死亡シタル場合ト其相續人ノ登記抹消方法……………諸法二一八頁
◎登記官吏カ登記ノ申請ヲ受理シテ登記ヲ完了シタル後職權ヲ以テ抹消シ得ヘキ場合……………諸法三〇二頁

登記原因ヲ證スル書面
◎意義及實例……………諸法五四六頁

登記懈怠
◎當該官廳カ認可ヲ必要トセサルモノトシテ認可申請書ヲ返却シタルトキハ遲滯ナク登記スルニ因リテ懈怠ナキコトヲ得ルモノトス……………商法三五六頁

登記期間
◎變更登記期間ニハ期間ノ初日ヲ算入セサルヤ……………商法六三三頁

登記義務
◎取締役カ就任後法定ノ期間内ニ定款變更登記ヲ爲サヽル場合ノ責任……………商法二一七頁
◎取締役ノ義務タル登記申請ニ關スル責任ヲ免ルヽコトヲ得サル場合ノ實例……………商法四九三頁
◎不動産ノ賣買契約ヲ爲シタル場合ノ賣主ノ義務……………諸法五五九頁

登記義務者
◎登記義務ハ賣買契約ニ伴ヒ當然發生スルヤ……………諸法五五九頁

登記義務者ノ相續人
◎登記義務者カ抹消手續ヲ爲スニ至ラスシテ死亡シタル場合ト其相續人ノ登記抹消方法……………諸法二一八頁

登記事項
◎當該官廳カ認可ヲ必要トセサルモノトシテ認可申請書ヲ返却シタルトキハ遲滯ナク登記スルニ因リテ懈怠ナキコトヲ得ルモノトス……………商法三五六頁

登記請求權
◎登記請求權ト消滅時效……………民法一〇一七頁
◎登記請求權ハ準占有ノ客體タルヲ得ルヤ……………民法一〇一八頁

當座預金貸越契約
◎一定ノ期間存續スヘキ當座預金貸越契約ニ基キテ生スル債務ニ付キ對人擔保アル場合ニ於テ該契約ノ存續中當事者カ期間ヲ伸長シ以テ爾後取引ヲ繼續シタル場合ノ效力……………民法一八〇頁

當事者
◎仲裁契約ノ當事者……………民訴三二三頁
◎仲裁契約ノ當事者以外ノ第三者……………民訴三二四頁
◎仲裁判斷手續ノ中斷ト承繼……………民訴三二四頁

當事者能力
◎宗教團体……………民訴七五頁

當事者ノ氏名ノ誤記
◎係一審判決及ヒ第二審缺席判決ニ河田合資會社トアルハ河田合名會社ノ誤記ナリト判斷シ缺席判決ノ新辯論ニ於テ其判

ト　登記上ノ抗告　登記ノ更正　登記抹消　登記原因ヲ證スル書面　登記懈怠　登記期間　登記義務　登記義務者　登記義務者ノ相續人　登記事項　登記請求權　當座預金貸越契約　當事者　當事者能力　當事者ノ氏名ノ誤記

決ヲ維持スル判決ヲ爲シタル場合ノ效力……民訴四三四頁

謄本

◎證書訴訟ニ添フル謄本ノ意義……民訴二九二頁

同意

◎婚姻ノ豫約ニ付キテハ婚姻ノ場合ト同シク同意者ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルヤ……民法一一四二頁

同一期日

◎同一期日トハ滿期日又ハ其後二日ヲ指スモノト解ス……商法七一六頁

同居ニ堪ヘサル虐待

◎離婚原因ト爲ル同居ニ堪ヘサル虐待ノ實例……民訴一三四頁

同居者

◎單ニ同一主人ニ雇ハレタルカ爲メ偶職工タル甲乙カ共ニ主人方ニ起臥スル關係ニ在ルトキハ民事訴訟法第二九七條第三號及ヒ同法第三〇三條ニ所謂同居者ニ該當セサルヤ……民訴三一〇頁

同盟解雇

◎第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ煽動スルトノ意義……諸法三七頁

同盟罷業

◎第二號ノ目的ヲ以テ他人ヲ煽動スルトノ意義……諸法三七頁

同時履行

◎同時履行ノ抗辯權ハ獨リ双方ノ給付カ單一ナル場合ノミニ限ルヤ……民法一五二頁

◎荷爲替ノ場合荷受人ノ義務履行……民法一五六頁

同時履行ノ抗辯

◎同時ニ履行スヘキ双務契約ニ於テ當事者双方カ履行期ニ各辨濟ノ提供ヲ爲サスシテ期日ヲ經過シタル場合ト履行遲滯時期……民法一一三頁

◎同時履行ノ抗辯ト留置權トノ競合スル場合ノ效果……民法一〇六二頁

◎双務契約ノ相手方數人ニシテ其ノ債務ハ可分ナルモ當方ノ債務ハ不可分トナルトキト同時履行ノ抗辯　民法一〇六二頁

◎同時履行ノ抗辯ヲ以テ相手方ニ對抗シタルトキハ當方ノ債務ノ履行期カ延期セラルルモノナリヤ……民法一〇六三頁

◎同時履行ノ抗辯ト裁判所ノ判決……民法一〇六三頁

◎反對給付ノ履行ヲ拒絕スルコトカ信義ノ原則ニ反スル場合ノ實例……民法一〇八二頁

◎未タ引渡ヲ了セサル請負工事ニ瑕疵アルトキハ注文者カ瑕疵ニ付キ修補ヲ請求シ又ハ損害賠償ヲ請求セサルモ民法第五三三條及ヒ第六三三條ニ依リ報酬ノ支拂ヲ拒絕シ得ルモノトス……民法一〇八二頁

◎公正證書第二條ニ殘代金ハ大正十年三月一三日マテニ實測ヲ了シ登記完了ノ上精算シ授受スルモノトノ記載ノ解釋……民法一一五〇頁

◎同時履行抗辯權ノ附帶ヘル債務ニ付テハ同抗辯ヲ喪失シタル相手方ニ對スル場合ニアラサレハ常ニ相殺適狀ニ在ラサルモノトス……商法六〇一頁

◎物品賣買ノ當事者カ荷爲替ニ依リ代金ノ支拂ハルヘキコトヲ約シタル場合ト雖モ實際荷爲替ニ依ラスシテ代金ノ支拂ヘルヘキトキハ荷爲替ノ關係存セサルヲ以テ買主ハ賣主ニ對シ同時履行ノ抗辨ヲ提出スルコトヲ得ルモノトス……商法八九三頁

同時履行ノ抗辯權

◎同時履行ノ抗辯權ハ獨リ双方ノ給付カ單一ナル場合ノミニ限ルヤ……民法一五二頁

◎双務契約當事者間同時履行ノ抗辯權ヲ有スルトキ一方ノ義務ノ履行ニ支障アリテ其履行ヲ爲サザルトキハ他方ノ當事者モ亦義務ノ履行ヲ爲スヲ要セス……民法一三五三、一三五六頁

動物占有者

◎動物ノ所爲ニ對スル責任者……民法一三二三頁

◎動物ノ占有者ノ責任ノ性質……民法一三一三頁

動物占有者ノ責任

◎動物占有者ノ責任ノ性質……民法一三二三頁

動産質

◎荷爲替ノ本質……商法一八六頁

道場

◎佛堂ニ該當スル獨立ノ法人タル實例……諸法三三四頁

特別代理人

◎特前代理人選任ノ爲メ招集セラレタル親族會ハ其選任ノ決議ヲ爲スニ因リテ解散ス……民法一三三〇頁

◎第三者ノ爲メニスル契約ノ履行ヲ求ムル訴ノ提起ノ代理權ヲ授與ラレタル特別代理人ハ其前提タル利益享受ノ意思表示ヲ爲ス代理權ヲ有セサルヤ……民訴二一五頁

◎第三者ノ爲メニスル契約ノ履行ヲ求ムル訴ノ提起ノ代理權ヲ授與セラレタル特別代理人ハ其前提タル利益享受ノ意思表示ヲ爲ス代權權ヲ有セサルヤ……民訴二一五頁

特別ノ法律

◎意義……諸法一六三頁

特約

◎船舶所有者カ自己ノ過失船員其ノ他ノ使用人ノ惡意若クハ重大ナル過失又ハ船舶カ航海ニ堪エサルニ因リテ生シタル損害賠償ニ關シ有シタル特約ノ效力……商法七五二頁

特定物ノ賣買

◎特定物ノ賣買契約ト所有權移轉時期……民法八四頁

◎特定物ノ賣買ニ於テ其物ニ瑕疵アル爲メ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ト買主ノ受領遲滯……民法一四一八頁

特許

◎工業的發明ノ意義……諸法四七頁

◎發明ノ要部ノ變更意義……諸法四七頁

◎特許法第五條第一號規定ノ趣旨……諸法一一四頁

◎發明ノ同一ノ意義……諸法一一五頁

◎明明ノ類似ノ意義……諸法一一五頁

特許法

◎審判官ハ自由裁量ヲ以テ自白ノ價値ヲ判斷シ之ニ依リテ自白セラレタル事實ヲ眞ナリト認ムル場合ニ於テハ何等ノ證據ヲ要セサルヲ以テ當事者カ證據ヲ提出スルモ之ヲ取調フルノ要ナシ……諸法四二三頁

特許ノ效力

◎特許ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル審決又ハ判決ノ登錄アリヤ否ヤノ問題ハ審決當時ノ事實ヲ標準トシテ之ヲ決ス……諸法一四八頁

特許權

◎利害關係人ノ意義……諸法五九頁

◎實用新案權ト特許權トノ差異……

……諸法八一頁

特許權範圍確認請求
◎抗告審判ノ不法ナル場合ノ實例……諸法八九頁

特許權共有者
◎特許權ノ共有關係ニ付テハ民法ノ共有規定ヲ準用スヘキモノナリ……諸法四四〇頁
◎各特許權共有者ノ持分カ平等ナル場合ノ特許權者ノ權利……諸法四四〇頁

特許局
◎特許局ニ於ケル審理ハ職權主義ニシテ當事者處分權主義ヲ採用セス……諸法二九七頁

特許審判
◎特許法第八二條ヲ以テ抗告審判ニ準用セラルル同法第七一條第一項規定ノ趣旨……諸法八八頁
◎審判權ノ性質……諸法四二三頁
◎審判官ハ自由裁量ヲ以テ自白ノ價値ヲ判斷シ之ニ依テ自白セラレタル事實ヲ眞實ナリト認ムル場合ニ於テハ他ニ何等ノ證據ヲ要セサルヲ以テ當事者カ證據ヲ提出スルモ之ヲ取調フルノ要ナシ……

◎同一證據ノ意義……諸法四二三頁

特許實施權
◎製造業ヲ承繼シタル場合ノ實例……諸法三〇六頁

特許請求權
◎特許請求權ノ承繼……諸法一〇八頁

匿名組合
◎匿名組合ト營業者……商法五二一頁

獨立ノ生計
◎獨立ノ生計ヲ營ムトノ意義・諸法三六〇頁

瀆職罪
◎鐵道運送ニ關シテ運賃割引ノ特約ヲ爲スコトヲ許可スル職權ヲ有スル官吏ノ下級吏員カ其職務ノ範圍內交渉案件ニ關シ饗應ヲ受ケ又ハ金錢ヲ收受シタル場合ノ罪責……刑法一二頁

毒藥
◎砒素ヲ含有スル蠅取紙ハ毒劇藥ノ一種ナリ……諸法四〇頁

毒殺
◎毒殺行爲ノ着手ノ實例……刑法七八頁
◎他人カ食用ノ結果中毒死ニ至ルヘキヲ豫見シナカラ毒藥混入ノ砂糖ヲ郵送シタル場合ノ罪責……刑法七八頁

問屋
◎市場經營者トシテ漁業者ノ委託ヲ受ケテ自己ノ名ヲ以テ魚類ヲ競賣スル村ノ性質……商法二〇七頁
◎問屋ハ民法第一七三條ニ所謂生產又ハ卸賣商人ニ非ス……商法二〇八頁
◎問屋業者カ委託者ニ對シ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任セサルヘカラサル場合ノ實例……商法六三二頁
◎問屋カ二人ノ委託者ヨリ委託契約ヲ引受ケ其カ何レカ一方ノ不利益ト爲ル場合ト通知義務……商法七〇〇頁
◎介入權行使ノ性質……商法七〇一頁
◎双方ノ委託者ヨリ委託ヲ引受タルコトヲ得ストノ理由ヲ以テ民法第一〇八條ノ双方代理ニ基クモノト爲スハ誤解ナリ……商法七〇一頁
◎問屋カ双方ノ委託者ヨリ委託ヲ引受ケ之ヲ履行シタル場合ト報酬請求權……商法七〇一頁
◎問屋カ賣買ノ實行行爲ノ委託アリヤ否ヤ疑シキ場合ハ買入又ハ販賣ノ實行ノ委任ヲ有スト解ス……商法八五二頁

◎問屋カ委託買入ノ實行トシテ所有權及ヒ占有ヲ取得スル場合ト所有權ノ歸屬……商法八五三頁
◎問屋ハ引渡又ハ占有改定等ノ方法ニヨリ委託者ニ占有ヲ移ス義務アリ……商法八五四頁
◎問屋カ委託者ノ代理人トシテ本人ノ爲メニスルコトヲ示シテ目的物ヲ取得シタル場合ノ效力……商法八五四頁

チ

地盤
◎地盤ト立木ト同一人ノ所有ニ屬スル場合ノ地盤ト立木トノ關係……民法一三八頁
◎地盤ノ所有權ト立木ノ所有權トカ各別ニ存在スル場合ノ地盤ト立木トノ關係……民法　三八頁

地方慣習
◎地方慣習．證明責任……民訴一八七頁
◎地方慣習ノ存在ト裁判所ノ調査義務……民訴一八七頁

地方稅
◎一定ノ賄料ヲ支拂ヒテ他人方ニ止宿スル者ニ對シテハ戶數割ヲ賦課スヘキニアラス……諸法五一五頁

地方稅規則
◎明治十三年太政官布告第一六號地方稅規則ノ趣旨……諸法五一六頁

地代
◎東京市接續町村ニ於ケル地代增減ノ慣習……民法三二六頁
◎所謂「三年間引續キ」トノ意義……民法五四七頁
◎地上權者永小作人カ其權利ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ地代永小料ヲ支拂フノ義務ハ地上權ト共ニ讓受人ニ移轉スルヤ……民法五四七頁

地代値上
◎地代ノ增額ノ義務ハ地主ヨリ借地人ニ對シ地代增加ノ意思表示ヲ爲シタル時ヨリ生ス……民法八五六頁
◎地代値上ニ關スル東京市內ノ慣習……民法八五六頁
◎地代値上ニ關スル慣習民法一〇三四頁

地役ノ性質ヲ有スル入會權
◎共有ノ性質ヲ有スル入會權ト地役ノ性質ヲ有スル入會權トノ區別……民法四五三頁

地券面
◎明治一三年第五二號布告施行以前ニ在リテハ土地ノ賣買ハ必ラス地券名義書換ノ手續ヲ爲サヽレハ所有權移轉ノ效力ヲ生セサルモノナリヤ……諸法二五頁

地上權
◎地上權ノ意義……民法八五六頁
◎地上權ヲ讓渡シタル場合ニ於テ其讓渡ヲ以テ第三者ニ對抗スルニハ地上權移轉登記ヲ爲スコトヲ要スルヤ……民法五一六頁
◎地上權者永小作人カ其權利ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ地代永小作料ヲ支拂フノ義務ハ地上權ト共モ讓受人ニ移轉スルヤ……民法五四七頁
◎地代永小作料ノ怠納カ讓渡人ノ權利者タリシ時代ニ其端ヲ發シ引續キ讓受人カ權利ヲ取得シタル後ニ繼續シタルトキハ地主ハ地上權永小作權ノ消滅ヲ請求シ得ルヤ……民法五四七頁

◎地上權永小位權消滅請求ノ效力發生時期……民法五四七頁
◎地上權永小作權消滅請求ノ第三者ニ對スル效力……民法五四八頁
◎地上權者永小作人カ其權利ノ範圍外ノ行爲ヲ爲シタル場合ト地主ノ所有權侵害ニ基ク損害賠償請求權……民法五四八頁
◎民法第三八八條ニ依リ建物所有者カ取得スル地上權ノ範圍……民法八九七頁
◎法定地上權者ノ敷地外ノ土地ニ對スル權限……民法一三二頁
◎處分行爲ノ實例……諸法一九八頁

地上權ノ設定

◎神社財産ニ對シ地上權ヲ設定スルニハ地方長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要スルヤ……諸法一〇〇頁

致死傷

◎汽車ノ信號方轉轍等ノ過失ニ因リ汽車ヲ顚覆セシメ因テ人ヲ死傷ニ致シタル場合ノ罪責……刑法八五頁

遲滯

◎遲滯ノ意義……民法一五二頁
◎隔地者間ニ於ケル有價證券ノ賣買契約ニ於テ買主ノ目的物引渡催告ト賣主ノ責任……民法四二三頁
◎契約履行ノ催告ハ當事者ノ一方カ既ニ其債務ヲ履行セサル場合卽チ其一方カ既ニ遲滯ニ在ル場合ニ限ルモノナリ……民法八三三頁
◎双務契約ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ辨濟ノ提供ヲ爲スモ相手方ニ於テ其債務ヲ履行セサルノ意思明確ナル場合ニハ辨濟ノ提供ヲ要セサルカ……民法一三九一頁

遲滯損害金

◎利息制限法所定ノ利率ヲ超過シタル利息ニ代ヘ約束手形ヲ振出シタル場合ノ效力……諸法一七六頁
◎商事ニ關スル遲滯金ト利息制限法トノ關係……諸法一七六頁

遲滯責任

◎買主カ賣主ニ對シ五月二十九日代金支拂ヲ準備シタル旨ヲ通知シ同月中ニ履行ノ場所ヲ指定シテ目的物ヲ引渡シ且ツ代金ヲ受領スヘキ旨催告シタルニ拘ハラス賣主ニ於テ之ニ應セサル場合ノ賣主ノ責任……民法四二九頁

嫡孫承祖

◎嫡孫承祖者ノ廢除ノ實例……民法一八三頁
◎民法施行前行政官廳ノ許可ニ因ル廢嫡ト嫡孫承祖ノ慣習法……民法一八三頁
◎意義……民法九七九頁
◎民法八二〇條ノ趣旨……民法三九七頁
◎婚姻成立ノ日ヨリ二百日以內ニ生レタル子ハ父カ認知ヲ爲スニ非サレハ嫡出子タル身分ヲ取得セサルヤ……民法三九七頁
◎民法九七二條ノ所謂嫡出子又ハ庶子ハ被相續人トノ關係ニ於テ其直系卑屬タルヲ以テ一親等ノ關係アルコトヲ要セス……民法四一三頁
◎民法施行前ニ屆出ヲ爲ササル婚姻ノ效力及其者ノ間ニ出來タル子ノ性質……民法五六四頁
◎民法第八二〇條ノ規定ハ嫡出子ニ必要ナル要件ヲ定メタルモノニ非ス……民法七八九頁
◎嫡出子ニ非サルモノノ實例……民法九八〇頁
◎要件……民法一一九八頁

嫡出子否認權

◎民法第八二〇條ノ規定ハ嫡出子ニ必要ナル要件ヲ定メタルモノニ非ス……民法七八九頁

中斷

◎仲裁判斷手續ノ中斷ト承繼……民訴三二四頁
◎訴訟代理人ニ依リテ訴訟ヲ爲ス場合ニ於テ當事者タル本人死亡スルモ之ヲ相手方ニ通知スルニ非サレハ代理權消滅ノ效果ヲ生セス……民訴四七一頁
◎非訟事件ニハ民事訴訟法中斷規定ノ準用アリヤ……諸法一八〇頁

中元進物

◎契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ノ實例……商法八〇九頁
◎中元ノ進物タル團扇ヲ注文シタルニ其約定期日ニ其履行ヲ爲ササル場合ノ效力……商法八〇九頁

中元進物ノ注文

◎中元ノ進物タル團扇ヲ注文シタルニ其約定期日ニ其履行ヲ爲ササル場合ノ效力……商法八〇九頁

中止犯

◎構成要件……刑法一一二頁
◎自己ノ意思ニ依ルトノ意義……刑法一一二頁
◎中止犯ノ他ノ未遂ト異ナル點……刑法一一二頁
◎終了未遂ノ場合ニ於ケル中止ノ要件……刑法一一三頁
◎中止規定ノ適用範圍……刑法一一四頁
◎中止犯ニ於テハ一人中止スルモ共同正犯及教唆從犯者ノ罪責ニハ影響ナシ……刑法一一四頁
◎犯罪ノ實行行爲ハ既ニ終了シタルモ未タ犯人ノ目的トスル結果ヲ生セサル場合ニ犯人ノ行爲ニ因リ中止犯ト爲ルニハ犯人ノ行爲ニ因ル結果ノ除去カ現實的ナルコトヲ必要トス……刑法七五頁

仲裁判斷

◎管轄裁判所……民訴三一九頁
◎「最初ニ關係セシメタル」トノ意義……民訴三二三頁

仲裁判斷取消ノ訴

◎性質……民訴三一六、三二九頁
◎目的……民訴三一六頁
◎仲裁判斷取消ノ訴ニ於ケル權利保護ノ要件……民訴三一四頁
◎訴訟當事者……民訴三四四頁
◎管轄裁判所……民訴三三七頁

仲裁人ノ選定

◎裁判所ニ對シ仲裁人選定ノ訴訟ヲ提起シ得ヘキ場合ノ實例……民訴四六〇頁
◎仲裁契約ニヨリテ仲裁人選定ノ權利ヲ喪失スル場合ノ例……民訴四六〇頁

仲裁人選定訴訟

◎裁判所ニ對シ仲裁人選定ノ訴訟ヲ提起シ得ヘキ場合ノ實例……民訴四六〇頁

仲裁契約

◎仲裁契約中ニ裁判所ノ指定ナキ場合ノ管轄裁判所……民訴三二一頁
◎當事者……民訴三二三頁
◎仲裁契約ノ當事者以外ノ第三者……民訴三二四頁
◎仲裁判斷手續ノ中斷ト承繼……民訴三二四頁

仲裁契約成立ノ抗辯

◎仲裁契約成立ノ抗辯ハ無訴權抗辯卽チ妨訴抗辯ニ屬セス……民訴三一八頁

仲裁手續

◎仲裁手續ニ於テハ第三者ハ法律上從參加ノ權利ナシ……民訴三二三頁

注意義務

◎業務上必要ナル注意ヲ怠リタル場合ノ

實例……民法八七頁
◎運送ニ關スル注意……商法一四〇頁
◎亞硫酸瓦斯及硫酸瓦斯ヲ凝縮シテ硫酸ヲ製造シ銅ノ製錬ヲ爲ス會社ノ營業行使ニ關スル注意義務……民訴一四五頁

町村會
◎性質……諸法二六三頁
◎町村會議長及署名議員ハ共ニ會議錄作成者タル職務ヲ有スルヤ……刑法一六九頁

町村會會議錄
◎町村會議長及署名議員ハ共ニ會議錄作成ノ職務ヲ有スルヤ……諸法一六九頁
○町村會會議錄作成ノ職務ヲ有スル者……諸法三六九頁

町村會議員
○町村會議員ノ任期中央ノ總選擧ヲ執行シタル場合ノ效力……諸法三六六頁
◎町村會議員ノ當選ノ效力ニ關シ異議申立訴願又ハ行政訴訟提起權者……諸法四二一頁

町村會議長
○町村會議長及署名議員ハ共ニ會議錄作成者タル職務ヲ有スルヤ……刑法一六九頁

町村內ノ大字
○代理規定ノ適用範圍……民訴五七一頁

調書
◎證人訊問調書ニ裁判所書記ノ捺印ナキ場合ノ調書ノ效力……民訴二九七頁

調査報告義務
○取締役及監査役ノ調査報告ノ意義……商法六三頁

朝憲紊亂
◎朝憲ヲ紊亂セントスル事項ノ實例……諸法二一六頁

朝憲ヲ紊亂セントスル事項
○意義……諸法八頁

直接抗辯
◎手形上ノ權利義務ノ發生原因ト直接抗辯……商法二五一頁
◎利息制限ニ違背スル利息ニ對シ約束手形ヲ振出シタル場合ト直接抗辯……商法二五五頁
◎手形債務者ヨリ其金額ノ一部ノ辨濟アルトキハ手形ニ記載ナシト雖モ之ヲ其直接當事者タル手形ノ所持人ニ對抗スルコトヲ得……商法七〇八頁

直接抗告
◎振出人タル甲ヨリ直接ニ所持人ニ對抗シ得ヘキ事由ト爲ラサル場合ノ實例……商法七一三頁

直接對抗事由
◎振出人タル甲ヨリ直接ニ所持人ニ對抗シ得ヘキ事由ト爲ラサル場合ノ實例……商法七一三頁

貯蓄預金
◎貯蓄銀行取締役ノ貯蓄預金者ニ對スル責任……諸法一〇一頁
◎貯蓄銀行ノ預金債權ノ讓受人カ該讓受ノ事實ヲ同銀行ノ取締役ニ對抗スル要件……諸法一〇二頁

貯蓄銀行
○貯蓄銀行取締役ノ貯蓄預金者ニ對スル責任……諸法一〇一頁

貯金通帳
◎郵便貯金法第一三條ニ所謂成規ノ手續ヲ經タル拂戾ハ正當ニ拂渡サレタルモノト看做ストノ意義……民法五八七頁

賃貸人
◎家屋賃貸人ノ修繕義務不履行ノ爲メ賃借人ノ蒙リタル損害ノ賠償義務……民法九二二頁

賃貸借

◎意義……民法八五六頁
◎性質……民法一三六四頁
◎賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借物ヲ他人ニ轉貸シタル場合ノ效力……民法一、二頁
◎東京市接續町村ニ於ケル地代增減ノ慣習……民法三二六頁
◎民法カ第二七三條ヲ以テ賃貸借ニ關スル規定ヲ永小作人ノ義務ニ準用シタル理由……民法五四八頁
◎契約ノ解除ヲ爲ササルモ履行ニ代ヘテ損害ノ賠償ヲ求メ得ヘキ場合ノ實例……民法七八七頁
○耕作ノ爲メニ賃借セル畑地ニ繁茂セル雜草ヲ除去シテ畑地ノ面目ヲ改ムルニ至リシ場合ト有益費……民法七九四頁
◎賃貸人ニ對シ有スル契約不履行ニ因ル損害賠償請求權ト係爭地上ノ留置權……民法七九四頁
◎賃貸借權ノ存在ヲ知リツツ家屋ヲ買受ケタル者ノ家屋明渡請求權ト不法行爲責任ノ有無……民法八三七頁
○建物ノ賃貸借契約カ解除セラレタル以後ノ有益費ト留置權……民法八三八頁
○賃貸人カ賃借物ヲ他人ニ讓渡シタル場合ト賃借人ニ對スル責任……民法九二三頁
◎甲カ乙ニ賃貸セル家屋ヲ丙ニ於テ買受ケタル場合ノ乙ノ家屋明渡義務……民法九二四頁
◎土地賃貸借ノ當事者カ地上建物ノ朽廢ニ至ルマテ賃貸借關係ヲ存續セシヘキコトヲ契約シタル場合ニ於テ其建物カ二十年以上朽廢セサル場合ノ效力……民法九七二頁
◎家屋買受人ヨリノ明渡請求權ト借家人ノ留置權……民法一二九頁
◎賃貸借承繼ノ實例……民法一二三七頁
○不動產ノ賃借權ノ性質……民法一二五一頁
◎當事者カ建物ノ朽廢ニ至ルマテ賃貸借ヲ存續セシムヘキコトヲ約シ其存續期間カ二十年ヲ超過スル場合ト裁判所ノ認定權……民法一三四一頁
○當事者カ建物ノ朽廢ニ至ルマテ賃貸借ヲ存續セシムヘキコトヲ約シ其存續期間カ二十年ヲ超過スル場合ト裁判所ノ認定權……民法一三四一頁
◎甲カ占有中ノ動產物件ヲ乙ニ賣渡シ同時ニ乙ヨリ之ヲ賃借シタル場合ノ效力……民訴五三頁
◎地上ニ所有權ノ登記アル建物ヲ所有スル土地ヲ買受ケタル場合ト明治四二年法律第四〇號建物保護法……諸法八五頁

賃借人
◎家屋賃貸人ノ修繕義務不履行ノ爲メ賃借人ノ蒙リタル損害ノ賠償義務……諸法九二二頁

賃借權
○性質……民法七五三、七五八、七六二、七六四、七六八、七七二、七七四、一一二七頁
◎賃借人ハ賃借地ヲ占有スル者ニ對シ明渡ノ請求ヲ爲シ得ルヤ……民法五七七頁
○賃貸借アルコトヲ知リテ不動產ヲ讓受ケタル者ト賃借人トノ權利關係……民法七五四、七五八、七六二、七六四、七六八、七七二、七七四頁
◎賃借權ハ物權ナリヤ……民法七五三、七五八、七六二、七六四、七六八、七七二、七七四頁
⊙債權者代位權ニヨリ保全セラルヘキ權利ノ範圍……民法八〇九頁
○不動產ノ賃借權ノ性質……

……民法一二五一頁

賃借權ノ承繼
◎地上ニ所有權ノ登記アル建物ヲ所有スル土地ヲ買受ケタル場合ト明治四二年法律第四〇號建物保護法……諸法八五頁
◎土地ノ賣買後ニ於テ土地ノ讓受人タル丙ノ要求ニ基キ同地上ノ建物ヲ取毀チテ丙ニ土地ヲ明渡シタリシトキト前賃貸人ノ義務不履行ノ責任……諸法八五頁

り

利得者
◯不當利得ニ於テ所謂利得者ノ意義……民法一三四三頁

利得償還請求權
◎既存債務ノ支拂ニ代ヘテ小切手ヲ振出シタル場合ノ所持人ノ利得償還請求權……商法一頁
◎振出人カ債務支拂ノ爲メニ小切手ヲ振出シタル場合ノ效力……商法一頁
◎既ニ成立セル消費貸借ニ因ル債務ノ消滅ヲ手形ノ支拂ニ係ラシメタル場合ニ該手形所持人カ手續ノ欠缺ニ因リ手形上ノ權利ヲ喪失シ其支拂ヲ受クル能ハサルニ至リタルトキト從前ノ消費貸借關係……商法一九一頁
◎利得償還請求權アリト爲スニハ手形債務ノ消滅以外ニ手形債務ヲ負擔スルニ付キ利益ヲ得タル事實アルコトヲ必要トス……商法四二三頁
◎手形債務カ時效ニ因リ消滅シタル場合ニ於ケル利得償還請求權ト消滅時效發生期間……商法五四五頁

利率
◎利息制限法所定ノ利率ヲ超過シタル利息ニ代ヘ約束手形ヲ振出シタル場合ノ效力……諸法一七六頁
◯商事ニ關スル遲滯損害金ト利息制限法トノ關係……諸法一七六頁

利害關係人
◯利害關係人ニ非サルノ實例……民法五八一頁
◯商法第八八條ノ場合ノ意義……商法二六九頁
◯不動産競賣手續ノ利害關係人ニ該當セサル場合ノ實例……民訴一九〇頁
◎特許法第六九條第二項ニ所謂利害關係人ノ意義……諸法五九頁

利用行爲
◎船舶ノ讓渡若クハ委付ハ船舶ノ利用ニ關スル行爲ト謂フコトヲ得ス……商法二九七頁

利息
◎成規ノ利息ノ意義……民法三三二頁
◎既ニ辨濟期ニ達シタル利息債權ト元本債權トノ關係……民法七八三頁
◎抵當權者ノ抵當權實行ト辨濟ヲ受クヘキ範圍……民法九〇七頁
◎支拂義務無キ手形債權ヲ更ニ準消費貸借ニ改メタル場合ノ效力……商法二五五頁
◎利息制限法ニ違背スル利息ニ對シ約束手形ヲ振出シタル場合ト直接抗辯……商法二五五頁
◎大正八年法律第五九號ヲ以テ改正セラレタル利息制限法第二條ノ適用範圍……民訴六〇七頁
◎商業資金トシテ壹千圓ヲ借受ケ毎月元金ニ三十圓宛ト別ニ借用金ニ對スル報酬

シテ利益ノ有無ニ拘ラス毎月五十圓宛ヲ元金完濟迄支拂フヘシトノ特約ノ效力……諸法三一頁
◎履行ヲ終リタル制限超過ノ利息ト不法行爲……諸法三二頁
◎利息制限法改正規定施行前ニ成立シタル利息ノ債權ト適用法規……諸法一三三頁
◎法律不遡及ノ原則……諸法一三三頁
◎利息制限法改正規定第二條ハ其實施以前ニ爲サレタル利息ノ約定ニ付テモ適用セラルルヤ……諸法一三四頁
◎利息制限法所定ノ利率ヲ超過シタル利息ニ代ヘ約束手形ヲ振出シタル場合ノ效力……諸法一七六頁
◎商事ニ關スル遲滯損害金ト利息制限法トノ關係……諸法一七六頁
◎利息制限法ノ解釋……諸法二七五頁
◎利息制限法第二條ハ金錢ノ貸借ニ關シテノミ適用アルモノニシテ米穀ノ貸借ニ付キ適用スヘキモノニアラス……諸法三六七頁
◎利息制限法ノ性質……諸法五一七頁
◎利息制限法ノ改正前年二割ノ利息ニテ百圓ヲ貸付ケタル債權者ハ現行利息制限法施行後何程ノ利息請求權ヲ有スルヤ……諸法一五七頁

利息債權
◎元本債權カ時效ニ因リテ消滅シタル場合ト履行遲滯ニ基ク損害金請求權ノ存否……民法五三六頁

利息制限法
◎性質……諸法五一七頁
◎利息制限法ノ改正規定施行前ニ成立シタル利息ノ債權ト適用法規……諸法一三三頁
◎法律不遡及ノ原則……諸法一三三頁
◎利息制限法改正規定第二條ハ其實施以前ニ爲サレタル利息ノ約定ニ付テモ適用セラルルヤ……諸法一三四頁
◎利息制限法ノ解釋……諸法二七五頁
◎利息制限法ノ改正前年二割ノ利息ニテ百圓ヲ貸付ケタル債權者ハ現行利息制限法施行後何程ノ利息請求權ヲ有スルヤ……諸法五一七頁
◎當事者カ其無利息ノ貸金ニ對シ後日貸付當日ニ遡及シテ利息ヲ附スル旨ヲ契約スルト同時ニ其既往ノ利息ニ相當スル金額ヲ元本ニ組入ルル契約ヲ爲シタル場合ノ效力……民法一二三四頁

利息制限法違反特約ノ效力
◎商業資金トシテ壹千圓ヲ借受ケ毎月元金三十圓宛ト別ニ借用金ニ對スル報酬トシテ利益ノ有無ニ拘ラス毎月五十圓宛ヲ元金完濟マテ支拂フヘシトノ特約ノ效力……諸法三一頁

利息請求權
◎利息制限法ノ改正前年二割ノ利息ニテ百圓ヲ貸付ケタル債權者ハ現行利息制限法施行後何程ノ利息請求權ヲ有スルヤ……諸法五一七頁

利益
◎利益ノ本質並ニ其量定及ヒ評價……民法一二六五頁
◎電信法第三三條第一項ニ所謂利益及損害ノ意義……諸法二一二頁

利益配當金支拂請求權
◎讓渡……商法一一二頁

利益配當請求權
◎讓渡性……商法一一二頁

利益ノ提供
◎女色ノ提供モ利益提供トナルヤ……刑法二一五頁

利益相反スル行爲
◎實例……民法二五四頁

理由不備
◎理由不備ニ非サル場合ノ實例……民訴一七八頁
◎理由不備ノ實例……民訴一八〇頁

理由不備ノ違法
◎實例……刑訴三三頁

理事
◎理事ノ性質及職權……民法五〇五頁
◎假理事ノ任期……民法一三二九頁
◎產業組合理事ノ代表權……諸法二七頁
◎信用購買販賣組合ヲ代表スル理事カ組合ノ爲メニ爲ス金員借入ノ權限……諸法四七五頁
◎產業組合ノ理事ノ權限……諸法四七六頁
◎產業組合ノ代表機關タル理事カ組合ト契約ヲ爲シ又ハ訴訟ヲ爲ス場合ノ理事ノ代表權……諸法四九四頁

理事ノ辭任
◎組合契約ニ據リ理事タル者カ辭任スル場合ニハ組合全員ノ合意ヲ要ス……民法五八四頁

履行場所
◎賣主カ一定ノ範圍內ニ於テ代金引替ニ目的物ヲ引渡スヘキ時期及場所ヲ決定シテ之ヲ買主ニ通知スル場合ノ通知方法……民法八四〇頁

履行地
◎不作爲義務ノ裁判籍……民訴一八四頁
◎特約ニ基ク補償債務履行地……民法四九〇頁

履行遅滯
◎履行遅滯ニ因ル解除權ノ發生及行使ノ要件……民法一〇二頁
◎元本債權カ時效ニ因リ消滅シタル場合ト履行遅滯ニ基ク損害金請求權ノ存否……民法五三六頁
◎數個ノ株券引渡債務中ノ一ノ履行ヲ求メ相手方ヲ遅滯ニ付セントスル場合ノ要件……民法一〇六〇頁
◎相手方ヲシテ遅滯ノ責ニ任セシムル場合ノ要件……民法一一五二頁
◎相手方ニ債務履行ノ意思ナキコト確實ナル場合ニ於テ相手方ヲ遅滯ニ付シ得ヘキ方法……民法一二八八頁

履行遅滯ニ因ル解除權
◎解除權發生ノ要件民法……一〇七頁
◎債務者ニ故意又ハ過失ニ因ル不履行アルコトヲ要スルヤ……民法一〇七頁

履行遅滯ニ因ル契約解除
◎同時ニ履行スヘキ雙務契約ニ於テ當事者雙方カ履行期ニ各辨濟ノ提供ヲ爲サスシテ期日ヲ經過シタル場合ト履行遅滯時期……民法一一三頁

履行遅滯ニ基ク損害金
◎元本債權カ時效ニ因リ消滅シタル場合ト履行遅滯ニ基ク損害金請求權ノ存否……民法五三六頁

履行不能
◎契約解除ヲ爲サス履行ニ代ヘ損害賠償ヲ求メ得ヘキ場合ノ實例……民法七八七頁

履行催告
◎契約履行ノ催告ハ當事者ノ一方カ既ニ其債務ヲ履行セサル場合卽チ其一方カ既ニ遅滯ニ在ル場合ニ限ルモノナリ……民法八三三頁
◎履行催告ノ意義……民法一二八四頁

履行期
◎同時履行ノ抗辯ヲ以テ相手方ニ對抗シタルトキハ當方債務ノ履行期カ延期セラルルモノナリヤ……民法一〇六三頁

履行時期
◎賣主カ一定ノ範圍內ニ於テ代金引替ニ目的物ヲ引渡スヘキ時期及場所ヲ決定シテ之ヲ買主ニ通知スル場合ノ通知方法……民法八四〇頁

離婚
◎協議上ノ離婚ノ效力發生時期……民法一一二二頁
◎夫カ妻ヲ欺罔シテ借用證文ナリト誤信セシメテ離婚屆出書ニ署名捺印セシメタル場合ノ效力……民法五六七頁
◎夫婦カ民法第七三七條第七三八條ニ依リ入籍ヲ爲シタル場合ニ於ケル妻ノ復籍スヘキ場所……民法一四一五頁

離婚訴訟
◎離婚訴訟ノ當事者死亡シタル場合ト中斷……民訴四一七頁

離婚ノ訴
◎配偶者ニ對スル重大ナル侮辱ノ實例……民法九三二頁
◎離婚原因ト爲ル同居ニ堪ヘサル虐待ノ實例……民訴一三四頁

離婚原因
◎配偶者ニ對スル重大ナル侮辱ノ實例……民法九三二頁
◎裁判上ノ離婚原因ト爲サムル程獨ク重且大ナル侮辱若クハ虐待ト目スヘカラサル場合ノ實例……民法一三九五頁

離緣
◎虐待ノ實例……民法二三二頁
◎離緣ノ訴提起期間……民法七九九頁
◎虐待又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタル場合ニ該當スル實例……民法七九九頁
◎重大ナル侮辱ノ實例……民法九三四頁
◎宥恕ノ意義……民法九三五頁
◎離緣ノ訴訟中戸主タル養父死亡シ養子カ家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル場合ノ效力……民法一四一六頁

離緣ノ訴
◎離緣ノ原因タル虐待並ニ重大ナル侮辱ノ實例……民法三二二頁
◎養親ノ家名ヲ瀆スモノニシテ離緣ノ原因ト爲ルヘキ實例……民法二七九頁
◎提起期間……民法七九九頁
◎重大ナル侮辱ノ實例……民法九三四頁
◎宥恕ノ意義……民法九三五頁
◎虐待ノ實例……民法一一〇一頁
◎離緣ノ訴訟中戸主タル養父死亡シ養子カ家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル場合ノ效力……民法一四一六頁

離緣ノ原因
◎虐待ノ實例……民法三三二頁
◎離緣ノ原因タル虐待並ニ重大ナル侮辱ノ實例……民法三二二頁
◎離緣ノ原因タル虐待並ニ重大ナル侮辱ノ實例……民法三二三頁
◎養親ノ家名ヲ瀆スモノニシテ離緣ノ原因ト爲ルヘキ實例……民法五七九頁
◎重大ナル侮辱ノ實例……民法九三四頁
◎虐待ノ實例……民法一一〇一頁

離籍
◎戸主ノ家族離籍權……民法一二八三頁

立證責任
◎不法行爲ニ因ル損害賠償請求權者カ故意又ハ過失ヲ推斷シ得ヘキ事實ヲ證明シタル時ハ其立證責任ヲ盡シタルモノト謂ヒ得ヘキヤ……民法二九五頁
◎約束手形ヲ裏書讓渡スルニ當リ所持人ニ對シ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除シタル場合ト呈示事實ノ立證義務……商法一二七頁
◎保險契約者ニ告知義務違背アルニ拘ヘ

ラス保險者ニ解除權無シトスル場合ト立證責任……商法二七三頁
◎意思能力ナキ未成年者名義ヲ以テ爲シタル法律行爲ハ反證ナキ限リ其未成年者自身ノ爲シタルモノニ非スシテ適法ノ代表者ニ於テ之ヲ爲シタルモノト推定スヘキヤ……商法三〇一頁
◎會社ノ事業ヲ遂行スルニ必要ナラサル事實ナリヤ否ト立證責任……商法五七八頁
◎民法上債務不履行ノ場合ト商法上債務不履行ノ場合ニ於ケル損害賠償請求權者ノ舉證責任……商法六一九頁
◎地方慣習ノ證明責任……民訴一八七頁
◎損害賠償ヲ請求スル者カ其損害ヲ立證セサル場合ト裁判長ノ審究權……民訴二五八頁
◎既存債務ノ目的タル金錢ヲ更ニ消費貸借ノ目的ト爲スコトヲ契約シタル事實ノ立證責任……民訴二六〇頁

陸軍軍人服役令施行規則附則

◎十四日以上本籍地ヨリ樺太ニ赴キ同地ニ滯在セントスル者ニシテ陸軍軍人服役令施行規則第二條第一項ニ依リ屆出サル爲サザル場合ノ罪責……諸法六一頁

略式命令

◎正式裁判申立權拋棄ノ效力……諸法四一五頁

略式命令原本

◎略式命令ニ對シ正式裁判ノ申立アリ其ノ裁判ニ對シ上訴アリタル場合其送附スヘキ記錄ニハ略式命令原本ノ添附ヲ要スルヤ……刑訴四頁

略取誘拐罪

◎營利ノ目的ノ意義……刑法五〇頁

留保判決

◎通常訴訟手續ニ於ケル權利ノ行使ヲ留保シテ假執行宣言付判決言渡アル事件カ通常訴訟手續ニ於テ繫屬シタル場合ト執行停止……民訴一五四頁

留保財產

◎甲カ隱居後特定不動產ヲ自己ノ名義トシテ存セシメ其相續人ノ名義ヲ變更セス引續キ十年以上其不動產ノ占有ヲ繼續シ來リタル場合ノ效力……民法五四四頁
◎隱居者ノ財產方法……民法八二五頁

留置權

◎擔保物權ノ移轉性……民法二六七頁
◎民法第五一八條ハ留置權先取特權ノ移轉性ヲ否定スル論據トナラス……民法二六八頁
◎留置權ノ移轉性ヲ認ムヘキ場合……民法二六九頁
◎留置權ハ原則トシテ移轉性ヲ有セサルモノトス……民法二六九頁
◎賃貸人ニ對シ有スル契約不履行ニ因ル損害賠償請求權ト係爭地上ノ留置權……民法七九四頁
◎建物ノ賃貸借カ解除セラレタル以後ノ有益費ト留置權……民法八三八頁
◎其物ニ關シテ生シタル債權ニ非サルモノノ實例……民法一一一九頁
◎家屋買受人ヨリノ明渡請求權ト借家人ノ留置權……民法一一一九頁
◎留置權者カ留置物ノ使用若クハ賃貸ヲ爲スニ當リ債務者カ承諾ヲ爲シタルトキハ債務ノ承認ヲモ爲シタルモノト認メ得ルヤ……民法一三八八頁

流通證券

◎意義……商法五八二頁
◎有價證券ナル觀念ト流通證券ノ觀念トハ異ナル……商法五八二頁

流質契約禁止規定

◎動產及債權ノ賣渡擔保ノ效力……民法四九頁

領得

◎意義……刑法一四六頁

領得意思

◎領得ノ意思ハ利益ヲ欲スル意思又ハ所有者ニ不利益ヲ蒙ラシムル意思ヲ必要トセス……刑法一四九頁

ル

類似商號

◎二個ノ商號カ果シテ相類似セルヤ否ヤノ判定標準……商法三〇二頁
◎實例……商法三〇三頁
◎類似商號ナリヤ否ヤノ判定標準……商法五二四頁

ヲ（オ）

小樽區

◎少樽區ニ於テハ同地ニ店舖出張所ヲ設ケ主任者ト稱スル使用人ヲ置キタル商人カ同區雜穀商同業組合ニ加入シタル場合ニハ同地ノ商人ハ右主任者ヲ以テ支配人ト同樣主人ニ代理スル總括權限ヲ有スル者ト看做シ來リタル取引上ノ慣習ニ存ス……商法五九九頁

卸賣商人

◎問屋ハ民法第一七三條ニ所謂生產者又ハ卸賣商人ニ非ス……商法二〇八頁

織物消費税

◎定メラレタル場所ニ移入セサルトキトアルニ該當セサル實例……諸法五三頁
◎消費税ヲ納付セスシテ織物ヲ引取ル場合ノ實例……諸法五三頁
◎織物消費税第一〇條ノ法意……諸法四八四頁

織物税

◎消費税ヲ納付セスシテ織物ヲ引取ル場合ノ實例……諸法五三頁

織物製造者

◎織物消費税法第一〇條ノ法意……諸法四八四頁

夫

◎家女ノ入夫ハ家女ノ財產ヲ使用スル權利ヲ有スルカ故ニ戶主トナリタル女戶主ノ夫ト同シク民法八〇七條ニ所謂夫ニ該當ス……民法一三七五頁

夫ノ同居請求權

◎妻カ夫ノ同居請求ヲ拒否スルニ付正當ノ理由アル場合ノ實例……民法四一七頁

夫ノ許可

◎妻ノ行爲ニ對シ夫ノ爲ス許可ノ方法……民法一〇一四頁

往來危險罪

◎成立要件……刑法一七頁

大阪株式取引所

◎客カ定期取引ノ證據金代用トシテ差入レタル公債株券等ハ仲買人ニ於テ隨意ニ處分シ得ルヤ否ヤ及ヒ大阪株式取引所仲買人ト客間ノ慣習……商法三七〇、三七四頁

橫領罪

◎構成要件……刑法一四〇頁

○本罪ノ物體……刑法一四〇頁
○占有者ニ非サル者カ他人ノ物ノ占有者ト共謀シテ横領罪ヲ犯シタルトキノ罪責……刑法一四〇頁
○本罪ニ關連スル諸問題…刑法一四〇頁
○所持ノ實例……刑法一四一頁
○占有ノ觀念……刑一四一頁
○傳達機關タル使者ノ占有セルモノハ他人ノ物ナリト雖モ使者カ單ニ占有機關タルニ止マリ獨立ノ占有ヲ認ムルコトヲ得サル場合ニハ横領罪成立セス……刑法一四三頁
○非債辨濟ト横領罪トノ關係……刑法一四三頁
○不法原因ノ給付ト横領罪トノ關係……刑法一四四頁
○所謂信託行爲ノ場合ニ於テ受信者カ其物ヲ第三者ニ讓渡其他ノ處分ヲ爲スモ横領罪ヲ構成セス……刑法一四四頁
○横領罪ハ不作爲ニヨリテモ成立ス……刑法一四六頁
○隱匿ハ横領ナルヤ……刑法一四八頁
○物ノ用法ニ從ヒタル破壞ハ物ノ處分ト看做スヘク領得ノ意思ノ發現ト解スヘキモノトス……刑法一四八頁
○占有物ヲ領得スルニ當リ所有者ヲ欺罔シタル場合ノ罪責……刑法一八四頁
○甲ヨリ乙ニ交付スヘキ保證金ヲ預リ其交付方ノ委託ヲ受ケタル者カ一時保護方法トシテ自己ノ名義ヲ以テ銀行ニ當座預金トシテ預入レタル場合之カ拂戻ヲ受ケテ費消シタルトキノ罪責…刑法五六頁

公ノ市場
○公ノ市場ノ意義……民法六九一頁

恩給
○恩給ヲ受クヘキ事由ノ意義……諸法四一〇頁

恩給證書
○恩給金受領ノ委任ヲ誤解シタルニ因リ委任事務處理ノ爲メニ交付シタル恩給證書ノ返還ヲ請求スヘキ訴ノ性質ト被告カ恩給證書ヲ所持セサル場合ノ判決……民訴四九八頁

恩給證書返還請求訴訟
○恩給金受領ノ委任ヲ解除シタルニ因リ委任事務處理ノ爲メニ交付シタル恩給證書ノ返還ヲ請求スヘキ訴ノ性質ト被告カ恩給證書ヲ所持セサル場合ノ判決……民訴四九九頁

ワ

和解
○裁判上ノ和解ノ性質…民訴二九九頁
○裁判上ノ和解ノ私法上ノ效力及之ニ對スル無效取消及解除トノ關係……民訴二九九頁

和解契約ノ效力
○和解ノ目的ノ錯誤ト和解契約ノ效力…民法三九四頁
○和解契約成立後相手方ニ權利ナカリシコトヲ發見シタル場合ノ效力……民法三九四頁

賄賂
○女色ノ提供モ利益ノ提供トナルヤ……刑法二一五頁
○要素ニ錯誤アル無效行爲ノ實例……刑訴五〇頁
○公務員又ハ仲裁人カ其職務ニ關シ收受シタル利益ハ總テ賄賂トナルヤ……刑訴六一頁
○巡査刑事巡査巡査部長警部補等ハ其職務上貸座敷營業者又ハ藝娼妓等ノ營業又ハ稼業ニ關シテ刑事上又ハ行政上取締若クハ警察權ノ行使ヲ爲スヘキ一般的權限ヲ有スルヤ……刑訴一二〇頁

賄賂交付罪
○賄賂ノ交付提供約束ノ罪ト之カ收受要求約束ノ罪……刑法二三九頁

賄賂罪
○女色ノ提供モ利益ノ提供トナルヤ……刑法二一五頁

賄賂收受罪
○賄賂ノ交付提供約束ノ罪ト之カ收受要求約束ノ罪……刑法二三九頁

カ（クワ）
○「カウ」「カフ」ノ音ハ凡テ「コウ」トシテ「コ」ニ收ム
○「客」ハ「キ」ヲ見ヨ
○「合同」「合名」等ハ「コ」ニ收ム

火災
○失火ノ意義……刑法八八頁

火災保險
○保險者ハ爆發ニ因リテ生スル損害ヲ塡補スル責任アリヤ……商法二四頁

加工
○新タナル物ト見ラルヘキ物ヲ生シタルコトヲ加工ニ因ル所有權取得ノ要件ト爲スヤ……民法一三九八頁

果實
○土地ノ買戻契約ニ在リテハ立木ハ果實ニ外ナラス……民法六五六頁

家督相續
○一家傳來ノ墳墓並禮拜ノ用ニ供スヘキ位牌ノ如キハ家督相續ノ特權ニ屬ス……民法一九八頁
○胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生レタルモノト看做ストノ意義……民法五九一、五九六頁
○妻カ懐胎中男子ヲ養子トシタル場合ノ相續順位……民法九五一、五九六頁
○家督相續開始後母カ他家ニ入籍シタル爲メ出生當時被相續人ノ家族タラサリシ場合ノ胎兒ノ相續權……民法五九二、五九六頁
○胎兒ハ之ヲ家督相續人ニ指定スルコトヲ得ス……民法一四一四頁
○胎兒ハ之ヲ家督相續人ニ選定スルコトヲ得ス……民法一四一四頁
○民法實施前ノ法規ニ於テハ養嗣子ニ非サル養子カ養親ノ家督相續ヲ爲スヘキヤ否ヤハ養親ノ意思如何ニ因リテ定マルヘキ事實上ノ問題ナリ……諸法四八八頁

家督相續人
○家督相續人廢除ノ正當事由……民法一八六頁
○民法第九八二條第四號ニ該當スル配偶者ノ相續權ノ性質……民法二一八頁
○家督相續人ニ選定セラルヘキ期待權ノ拋棄ト民法九〇條……民法二一八頁
○推定家督相續人ヲ廢除スル正當事由ノ實例……民法三三八頁
○戸主カ隱居ヲ爲スモ其ノ結果法定ノ家督相續人ト爲リタル場合ニハ養子緣組ニ因リ他家ニ入ルコトヲ得ス……

……………………民法八五四頁
◎民法第九八五條第一項ノ趣旨……民法九七五頁
◎明治十九年頃ニ於テ戸主ニ養母ト長女トアル場合ノ家督相續人……諸法五七頁

家督相續人ノ廢除
◎家督相續人ト廢除ノ正當事由……民法四三頁
◎家督相續人ノ廢除ノ正當事由……民法一八六頁
◎刑ニ處セラレタルトノ意義……民法四九四頁

家督相續人ノ廢除事由
◎長子相續ノ制ニ反スル家憲ハ相續人廢除ノ正當事由トハナラス……民法一〇三三頁

家督相續人ノ選定
◎民法第九八五條第一項ノ趣旨……民法九七五頁

家督相續屆
◎本籍地ニアラサル所在地市町村長ニ提出シタル家督相續屆ノ效力……諸法一四頁

家督相續屆出
◎家督相續ノ屆出ノ如キモ當然親權行使ノ範圍ニ屬ス……民法九九一頁

家督相續登記
◎登記上ノ直接利害ヲ有スルモノノ實例……諸法四八六頁

家督相續回復請求權
◎家督相續回復請求權者……民法八七〇頁
◎民法施行前ニ開始シタル家督相續ノ回復請求權ト時效期算點……諸法五七頁
◎家督相續回復請求規定ハ民法施行前ノ行爲ニモ適用アリヤ……諸法二七二頁

家督相續ノ特權
◎被相續人ノ死亡後ニ於テ相續人以外ノ者カ作成シタル位牌ハ家督相續人ノ特權ニ屬スルヤ……民法一九八頁

家督相續ノ效力
◎民法施行前ニ於ケル隱居ニ因ル家督相續人ノ財產相續ノ範圍……諸法一六九頁

家畜
◎家畜ト家畜外ノ動物トノ區別……民法六九四頁
◎民法第一九五條ノ適用範圍……民法六九四頁

家畜外ノ動物
◎家畜外ノ動物ノ占有ニ付テハ民法第一九五條ヲ適用スヘキモノナリ……民法六八七頁
◎逃走シタル家畜外ノ動物ノ所有權取得ニ第一九二條乃至第一九四條ノ適用アリヤ……民法六九四頁
◎家畜ト家畜外ノ動物トノ區別……民法六九四頁

家屋
◎建物建築ノ請負人カ自己ノ材料ヲ以テ注文者ノ所有地ニ建物ヲ建築シタル場合ノ所有權歸屬者……民法六七五頁
◎家屋賃貸人ノ修繕義務不履行ノ爲メ賃借人ノ蒙リタル鼠害ノ賠償義務……民法九二二頁

家屋ノ不法占據
◎家屋ノ所有權者カ暴力ヲ以テ借家人ヲ追出シタル場合ノ責任……刑法二二七頁
◎強制的ニ營業中ノ商家ノ表ヲ全線ニ亘リテ板圍シタル場合ノ責任……刑法二二七頁

家屋ノ賣買
家屋ノ買主カ賣買代金支拂ノ準備ヲ爲シテ賣主ニ對シ登記ノ手續ノ履行ヲ請求シタル場合ト賣主ノ解除權……民法四四一頁
◎無效ノ登記ヲ信シテ無權利者ヨリ家屋ヲ買受ケタル場合ノ效力……民訴二六三頁

家屋明渡
◎家屋ノ所有者カ暴力ヲ以テ借家人ヲ追ヒ出シタル場合ノ責任……刑法二二七頁
◎强制的ニ營業中ノ商家ノ表ヲ全線ニ亘リテ板圍シタル場合ノ責任……刑法二二七頁

家屋明渡義務
◎甲カ乙ニ賃借セル家屋ヲ丙ニ於テ買受ケタル場合ノ乙ノ家屋明渡ノ義務……民法九二四頁

家屋明渡請求權
◎債權者代位權ニヨリ保全セラルヘキ權利ノ範圍……民法八〇九頁
◎賃貸借權ノ存在ヲ知リツツ家屋ヲ買受ケタル者ノ家屋明渡請求權ト不法行爲責任ノ有無……民法八三七頁

家屋稅
◎家屋稅納入者……民法一二五三頁

家憲
◎長子相續ノ制ニ反スル家憲ハ相續人廢除ノ正當事由トナラス……民法一〇三二頁

家女ナラサル配偶者ノ相續權
◎民法第九八二條第四號ニ該當スル配偶者ノ相續權ノ性質……民法二一八頁
◎家督相續人ニ選定セラルヘキ期待權ノ拋棄ト民法九〇條……民法二一八頁

華族
◎推、家督相續人ヲ廢除スル正當事由ノ實例……民法三三八頁

貨物引換證
◎貨物引換證ノ所持人及運送人ニ對スル效力……商法八三頁
◎委任者ノ運送取扱人ニ對スル損害賠償ノ請求ニ付テハ貨物引換證ヲ所持セサルモ之カ請求ヲ爲シ得ルヤ……商法一四〇頁
◎貨物引換證ヲ作成シタル場合ノ效力……商法四一二頁
◎貨物引換證ノ效力……商法四一二頁
◎荷爲替手形ノ受取人カ貨物引換證ヲ受取リタル場合ノ效力……商法四一四、四一六、四一八頁
◎運送人カ貨物引換證ヲ發行シタルトキハ運送貨物ニ對シ貨物引換證ノ所持人ノ爲メニ代理占有ヲ爲スト同時ニ自己ノ爲メニスル自主占有權ヲ有ス……商法七〇九頁

假裝賣買
◎假裝賣買ニヨル不動產取得者ノ相續人カ爲シタル登記ノ效力……民法一〇二七頁
◎假裝賣買ニ因リ登記簿上所有名義人トナリタル買主カ更ニ假裝賣買ニ因リ所有權移轉ノ登記ヲ爲シタル場合第二ノ所有權移轉登記ノ抹消登記義務者……民訴五八五頁

假裝行爲
◎假裝ノ行爲ノ要件……民法一二九七頁
◎假裝ノ法律行爲ノ意義……民法一三〇四頁

假登記
◎效力……民法八九八民法一〇七三諸法三五四頁
◎性質及效力……諸法七二頁
◎賣買完結後ニ於テハ豫約ニ因ル權利移轉ノ請求權ヲ保全センカ爲メニスル假登記ハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス……諸法八〇頁

假理事
◎假理事ノ任期……民法一三二九頁

假下
◎性質及效力……刑訴七九頁

假差押

◎虚構ノ債權ニ付キ本案訴訟ニ先チ假差押ヲ爲シタル場合ト詐欺罪ノ實行着手……商法一三二頁

◎執達吏カ債權者ノ委任ニ因リ有體動產ニ對スル假差押ヲ執行スル場合ノ權限……民訴一一九頁

◎執達吏カ假差押ヲ爲スコトヲ得サル動產ノ假差押ヲ爲シタル場合ト債權者ノ責任……民訴一二〇頁

◎第三債務者カ債權ノ假差押命令ニ違反シテ其債權者ニ對シ差押ニ係ル債務ノ辨濟ヲ爲シタル場合其辨濟ノ效力……民訴二三九頁

◎假處分ノ場合債務者ヲシテ保證ヲ立テシメテ或ハ命令其モノ或ハ執行自體ノ取消ヲ許スコトハ假差押ノ場合ノ如ク一般ニ爲シ得ヘキモノニアラス唯其請求權ノ性質上金錢的賠償ヲ得ルモ亦其終局ノ目的ヲ達スルニ於テ必スシモ遺憾ナキ場合ニ於テノミ許スヘキモノトス……民訴六四〇頁

假差押ノ取消

◎保證ヲ條件トシテ假差押ノ取消ヲ許ス旨ノ規定ハ假差押命令其モノノ取消ヲ云フモノニ非ス……民訴六四一頁

假差押命令

◎假處分手續ニ於ケル債務者ノ救濟……民訴六一六頁

◎假差押命令假處分命令ノ執行ニ付キ強制執行ニ關スル規定ヲ準用スル注意事項……民訴六一九頁

假處分

◎債權者カ第三者ノ申請ニ因ル假處分ニ基キ取立其他一切ノ處分行爲ヲ禁止セラルル場合ト消滅時效ノ進行停止ノ有無……民法二二六頁

◎假ノ地位ヲ定ムル假處分ト假執行ノ宣言ヲ附シタル判決トノ差異……民訴一五四頁

◎假處分命令ノ執行ニ依ル係爭物ノ占有者ハ實質上占有權ヲ有スルヤ……民訴二〇一頁

◎本案ノ訴ノ提起ニ依リ假處分ノ取消ヲ排除シ之ヲ持續セシメ得ル期間……民訴二〇四頁

◎假處分申請ヲ失當トシテ却下スル場合ノ實例……民訴三八二頁

◎係爭物ニ關スル假處分ノ要件……民訴四二三頁

◎爭アル權利關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムル件假處分ノ要……民訴四二三頁

◎假處分ノ場合債務者ヲシテ保證ヲ立テシメテ或ハ命令其モノ或ハ執行自體ノ取消ヲ許スコトハ假差押ノ場合ノ如ク一般ニ爲シ得ヘキモノニアラス唯其請求權ノ性質上金錢的賠償ヲ得ルモ亦其終局ノ目的ヲ達スルニ於テ必スシモ遺憾ナキ場合ニ於テノミ許スヘキモノトス……民訴六四〇頁

假處分ノ取消

◎本案ノ提起ニ依リ假處分ノ取消ヲ排除シ之ヲ持續セシメ得ル期間……民訴二〇四頁

◎假處分ノ場合債務者ヲシテ保證ヲ立テシメテ或ハ命令其モノ或ハ執行自體ノ取消ヲ許スコトハ假差押ノ場合ノ如ク一般ニ爲シ得ヘキモノニアラス唯其請求權ノ性質上金錢的賠償ヲ得ルモ亦其終局ノ目的ヲ達スルニ於テ必スシモ遺憾ナキ場合ニ於テノミ許スヘキモノトス……民訴六四〇頁

◎假處分ノ取消ヲ許スヘキ特別事情ノ實例……民訴一八一頁

假處分ノ目的

◎假處分ヲ取消スヘキ特別事情ノ實例……民訴一八一頁

假處分命令

◎起訴命令ニ定メタル期間經過後ノ假處分ノ效力……民訴四八頁

◎假處分裁判所カ定メタル訴提起期間經過後ト雖モ裁判所カ未タ假處分取消ノ判決ヲ爲ササル限リ債權者ハ訴ノ提起ニヨリ假處分ヲ維持シ得ルヤ……民訴四九頁

◎假處分命令ニ於テハ裁判所ハ其意見ヲ以テ申立ノ目的ヲ達スルニ必要ナル處分ヲ定ムルコトヲ得ヘク必スシモ當事者ノ申立ニ拘束セラルルモノニアラス……民訴四〇九頁

◎種類……民訴六一六頁

◎假處分手續ニ於ケル債務者ノ救濟……民訴六一六頁

◎假處分命令ニ對シテ抗告若クハ異議ヲ爲スヲ得ス……民訴六一七頁

◎常ニ特別ノ事情ノ存スル場合ノ實例……民訴六一九頁

◎假差押命令假處分命令ノ執行ニ付キ強制執行ニ關スル規定ヲ準用スル注意事項……民訴六一九頁

◎假處分命令ヲ發スル際裁判所カ請求權者ノ主張ニ係ル請求權ノ性質上第七五九條ノ適用アリト認定シタル場合ノ處置方法……民訴六四一頁

假處分命令ニ對スル異議

◎異議ノ申立ニハ理由ヲ具スルコトヲ要セス……民訴六一七頁

◎假處分命令ニ對スル異議ニ付キテハ債務者ハ依然トシテ防禦者ノ地位ニ立ツモノナリ……民訴六一七頁

假執行ノ宣言

◎假ノ地位ヲ定ムル假處分ト假執行ノ宣言ヲ附シタル判決トノ差異……民訴一五四頁

◎假執行ノ宣言アル闕席判決ノ執行ノ爲メ債權者カ債務者ノ債權ヲ差押ヘ轉付命令ニ因リテ債權ヲ轉付セラレタル場合ニ其闕席判決カ後ニ對席判決ヲ以テ廢棄セラレタル場合ノ效力……民訴六〇〇頁

假執行宣言ノ變更

◎假執行宣言ヲ不當ニ廢棄變更シタル場合ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得ルヤ……民訴一七五頁

假執行宣言ノ申立

◎假執行ノ宣言ヲ求ムル申立ハ書面ニ基キテ之ヲ爲スコトヲ必要トセス……民訴一七五頁

瑕疵

◎未タ引渡ヲ了セサル請負工事ニ瑕疵アル時ハ注文者カ瑕疵ニ付キ修補ヲ請求シ又ハ損害賠償ヲ請求セサルモ民法第五三三條及ヒ第六三三條ニ依リ報酬ノ支拂ヲ拒絶シ得ルモノトス……民法一〇八二頁

瑕疵擔保

◎特定物ノ賣買ニ於テ買主カ其物ニ瑕疵アル爲メ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサル場合ト買主ノ受領遲滯……民法一四一八頁

過失

◎電車運轉手カ踏切通過前ニ警笛ヲ鳴ラササリシトスルモ之ヲ以テ運轉手ノ過失ト斷定スルヲ得サル場合ノ實例……民法二六三頁

◎不法行爲ニ因ル損害賠償ノ請求權者カ故意又ハ過失ヲ推斷シ得ヘキ事實ヲ證明シタル時ハ其立證責任ヲ盡シタルモノト

請ヒ得ヘキヤ……民法二九五頁
◎民法第一六二條ニ所謂過失ノ實例……民法五一七頁
◎自動車ト電車ト衝突シタル場合ノ過失認定ノ實例……民法六七一頁
◎電車ト自動車ノ衝突ニヨル過失者ノ認定事件……民法七四七頁
◎電車運轉手ノ注意義務及ヒ過失ノ實例……民法一〇五一頁
◎業務上必要ナル注意ヲ怠リタル場合ノ實例……刑法八七頁
◎鐵道呑人ノ注意義務……諸法二三九頁

過失相殺
◎債權ノ過失有無ノ實例……民法二二四頁
◎民法第七二二條第二項ニ謂所被害者ノ意義……民法八二八頁
◎責任能力ナキ者ノ協力ノ爲メニ損害ノ生シタル場合ニハ損害賠償ノ額ヲ定ムルニ付キ之カ斟酌ヲ爲スヘキモノニ非ス……民法一一三六頁

過失相續
◎第二項ハ損害賠償ノ額ヲ定ムルニ付キ被害者ノ過失ヲ斟酌スルト否トノ自由ヲ裁判所ニ許與シタルモノニ過キス……民法一四二九頁

過失罪
◎汽車ノ信號方轉轍者ノ過失ニ因リ汽車ヲ顚覆セシメ因テ人ヲ死傷ニ致シタル場合ノ罪責……刑法八五頁

介入權
◎介入權行使ノ性質……商法七〇一頁

回復請求權
◎民法第一九三條ニ於ケル回復請求權者及請求方法……民法六八九頁

改良
◎意義……諸法一一一頁

海員
◎自己ノ雇入レタル海員ノ不法行爲ニ對スル船長ノ責任……商法六二一頁

買主ノ檢査義務
◎商人間ノ賣買ニ於テ買主カ商法第二八八條ノ規定ニ依リ賣買ノ目的物ヲ受取リタルトキ遲滯ナク之ヲ檢査スル義務及其實例……商法六二六頁
◎買主ノ檢査義務遲滯ノ實例……商法六二六頁

買戻
◎民法施行前十年以上ノ期間ヲ定メテ爲シタル買戻ノ效力……民法二二八頁
◎買戻ト土地ニ付キ再賣買ノ豫約ヲ締結シタル場合ニ於ケル賣買完結ノ意思表示トノ效力上ノ差異……民法二二八頁
◎再賣買ノ豫約ト買戻及特約トノ關係……民法九六八頁
◎當事者一方ノ再賣買ノ豫約ナリト解スヘキ場合ノ實例……民法一一〇五頁
◎賣主ノ現ニ提供シタル代金及契約ノ費用ノ金額カ極メテ些少ノ不足アルニ過キサル場合ノ買戻ノ效力……民法一四二〇頁
◎民法施行以前ニ於テ賣買契約ノ當事者カ數十年ノ期間ヲ定メテ買戻ノ特約ヲ爲シ其殘期カ民法施行以後ニ於テモ十年ヲ超ユル場合ノ買戻權ノ效力……民法三一四頁

買戻ノ效力
◎賣主ノ現ニ提供シタル代金及契約ノ費用金額カ極メテ些少ノ不足ナルニ過キサル場合ノ買戻ノ效力……民法一四二〇頁

買戻權
◎民法施行以前ニ於テ賣買契約ノ當事者カ數十年ノ期間ヲ定メテ買戻ノ特約ヲ爲シ其殘期カ民法施行以後ニ於テモ十年ヲ

超ユル場合ノ買戻權ノ效力……民法三一四頁
◎土地ノ買戻契約ニ在リテハ立木ハ果實ニ外ナラス……民法六〇六頁
◎民法施行以前ニ於ケル買戻權ノ內容……民法六五六頁
◎買戻權ノ行使ト第四九三條ノ適用……民訴四九五頁

買戻期間
◎買戻ト土地ニ付キ再賣買ノ豫約ヲ締結シタル場合ニ於ケル賣買完結ノ意思表示トノ效力上ノ差異……民法二二八頁
◎民法施行前十年以上ノ期間ヲ定メテ約シタル買戻ノ效力……民法二二八頁
◎民法施行前二十年以上ノ買戻期間ヲ約シタル場合ト民法施行後ノ效力……諸法二六二頁

開陳義務
◎保險者カ重要ナル事實ヲ過失ニ因リ知ラサリシコトノ立證責任……商法六五五頁
◎保險者カ重要ナル事實ヲ過失ニ因リ知ラサリシヤ否ヤノ實例……商法六五五頁

會社
◎會社ノ消滅時期……商法二三〇頁
◎會社ハ清算結了登記ノ時ヲ以テ消滅ス……商法二三〇頁
◎解散後ノ會社ノ存在シ得ル範圍……商法二三〇頁
◎會社ハ其目的ヲ達スルニ必要ナル事項ハ勿論其目的ニ背馳セサル事項ナルニ於テハ縱令定款ニ掲ケサルモノト雖モ之ヲ爲スノ能力アリ……商法第五九八頁
◎會社ノ設立カ無效ナルトキト雖モ無效訴訟ニ依リ無效ト判決セラルルマテハ法律上ノ人格ヲ有ス……商法六二四頁
◎會社ノ設立ハ設立スルノ意思表示ヲ前提トシテ定款ヲ作成スルコトヲ必要要件トス……商法六七七頁
◎五百圓未滿ノ資本金ヲ有スル會社ハ小商人ニ非ス……商法七四六頁
◎會社ヲ代表シテ振出署名ヲ爲シ自己個人ヲ受取人ト爲シタル場合ノ效力……商法八五〇頁

會社移轉登記
◎非訟事件手續法第一八八條第一項ニ所謂取締役ノ意義……諸法一五二頁

會社合併
◎株式會社ノ合併方法……商法四〇二頁
◎取締役ノ爲シタル會社ノ合併豫約ノ效力……商法四〇二頁
◎株式會社ノ合併方法……商法八六二頁

會社代表
◎會社ヲ代表シテ手形ノ振出引受等ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ル者ノ實例……商法八一九頁

會社代表者
◎會社ノ設立無效即チ其法人格ノ存否ヲ爭フ訴訟ト會社代表者……商法五〇二、五〇三頁

會社ノ消滅
◎清算結了ノ登記ト會社消滅トノ關係……商法二一一頁

會社ノ目的
◎保險會社ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項ノ實例……商法一九五頁
◎會社ノ目的ノ範圍內ニ屬セサル場合ノ實例……商法五一五頁
◎商事會社ノ目的ノ遂行上必要ナル行爲ニ屬スルヤ否ヤノ實例……商法五三八頁
◎會社ノ事業ヲ遂行スルニ必要ナラサル事實ナリヤ否ヤノ立證責任……

カ　會社ノ設立　會社ノ消滅時期　會社事業ノ執行　會社成立時期　會社設立登記前ノ株式賣買　會社設立行爲　懷胎　外國判決
解約　解約申入　解散登記　解散後ノ會社　解除　解除ノ意思表示　解除權　解除權ノ行使
外國會社　外國人　勝馬投票

……商法五七八頁
◎會社ハ其目的ヲ達スルニ必要ナル事項ハ勿論其目的ニ背馳セサル事項ナルニ於テハ縱令定款ニ揭ケサルモノト雖モ之ヲ爲スノ能力アリ……商法五九八頁

會社ノ設立
◎會社設立ノ無效ナル場合ノ實例……商法三八三頁

會社ノ消滅時期
◎設立無效ノ判決ヲ受ケ其判決ヲ登記シタル後ノ會社性質……商法二〇三頁

會社事業ノ執行
◎株券係カ株券ノ眞僞及ヒ名義書替委任狀ニ於ケル印章異同ノ調査ト會社ノ事業ノ執行……商法四〇七頁

會社成立時期
◎會社ノ形式的成立時期……商法二〇二頁

會社設立登記前ノ株式賣買
◎會社設立登記以前ノ株式賣買ハ不法原因ニ依ル給付ナリヤ……商法一七七頁

會社設立行爲
◎發起人組合トノ差異……商法三五頁

解約
◎賣買當事者一方ノ履行ノ拒絕ノミニ依リ解約ノ效果ハ生スヘキモノニアラス……民法一一五一頁

解約申入
◎解約申入ヲ暗默ニ承諾シタリト認ムルニ足ラサル場合ノ實例……民法九四三頁

解散登記
◎會社ノ解散並ニ淸算人選任登記ト對抗要件……商諸七一〇頁

解散後ノ會社
◎解散後ノ會社ノ存在シ得ル範圍……商法二三〇頁
◎會社ノ消滅時期……商法二三〇頁
◎會社ハ淸算結了登記ノ時ヲ以テ消滅ス……商法二三〇頁

解除
◎裁判上ノ和解ノ私法上ノ效力及之ニ對スル無效取消及解除トノ關係……民訴二九九頁

解除ノ意思表示
◎契約ヲ解除スル旨ノ豫告的解除ノ意思表示ノ效力……民法四二三頁

解除權
◎履行遲滯ニ因ル解除權ノ發生及行使ノ要件……民法一〇二頁
◎解除權拋棄ノ實例……民法一〇三頁
◎家屋ノ買主カ賣買代金支拂ノ準備ヲ爲シテ賣主ニ對シ登記手續ノ履行ヲ請求シタル場合ト賣主ノ解除權……民法四四一頁

解除權ノ行使
◎解除權ノ行使ニアラサル合意解除ノ場合ニハ民法第五四五條ノ適用ナキヤ……民法九四四頁

懷胎
◎意義……民法一一九八頁

外國判決
◎外國判決ノ確定力ハ特定承繼人ニ對シ效力ヲ生スルヤ……民訴四四〇頁

外國會社
◎外國會社カ支店所在國ニ於テ其代表者ヲ定メタル場合ト其代表者ノ代理權ノ範圍……民訴四四〇頁

外國人
◎外國人カ我國ニ於テ土地ヲ買收シ之ヲ賣却シテ利益ヲ得ンコトヲ企圖シ此目的ノ下ニ日本人ト共ニ組合契約ヲ締結タル場合ノ效力……諸法二三五頁

勝馬投票
◎勝馬投票者トシテノ行爲ト賭博罪成立

カ　爲替訴訟　爲替券　爲替手形　合併ニ因ル變更　合併會社　合併契約　隔離的觀察　確認判決　確認訴訟

ノ有無……刑法二一二頁

爲替訴訟
◎支拂命令ニ對シ債務者ヨリ異議ノ申立アリタル場合債權者ハ證書訴訟爲替訴訟等ノ手續ニ依ルコトヲ得サルヤ……民法二四三頁
◎爲替訴訟カ他ノ繫屬スル訴訟ニ於テ定マルヘキ權利關係ノ成立又ハ不成立ニ繫ルカ爲メ其訴訟ノ完結ニ至ルマテ其辯論ヲ中止シ得ルヤ……民法四五九頁
◎爲替訴訟ニ於ケル辯論ニ於テ爲シタル自白ハ其爾後手續タル通常訴訟ニ於ケル辯論ニ於テ之ヲ撤回シ得ルヤ……商法五七八頁
◎爲替訴訟ニ於テ相手方ノ自白シタル事實ハ爭ヒナキ證據トシテ認メ書證ヲ必要トセサルヤ……商法八二一頁
◎請求ヲ起ス理由タル事實ノ例……民訴一〇二頁
◎通常訴訟手續ニ於ケル權利ノ行使ヲ留保シテ假執行宣言付判決言渡アル事件カ通常訴訟手續ニ於テ繫屬シタル場合ト執行停止……民訴一五四頁
◎手形ニ「本件ニ關スル裁判管轄ハ總テ本券債權者ノ住所地ヲ管轄スル裁判所タルコトヲ合意スル旨」ノ記載ノ效力……民訴一九二頁
◎爲替訴訟提起ノ要件……民訴二九四頁

爲替券
◎郵便物在中ノ爲替券ヲ竊取スルカ爲メニ不法ニ郵便物ヲ開拔スル所爲ト罪責……刑法一二四頁

爲替手形
◎爲替手形ニ滿期日ヲ記載シ受取人ノ氏名ヲ記入セサル儘振出シタル場合ノ受取人又ハ所持人ノ補充權行使時期……商法二一二頁
◎右金額（空白）殿又ハ同人指圖人ニ御支拂可被成候也ト記載シテ振出シタル手形ノ效力……商法二九〇、二九二、二九三頁
◎爲替手形ニ支拂地東京府トアレトモ其肩書地ニ最小獨立ノ行政區劃タル東京市ノ記載アル場合ノ效力……商法四六八頁
◎爲替手形ニ「右金額（空白）殿又ハ同人指圖人ヘ此手形引換ニ御支拂可被成候也」トノ記載ノ效力……商法四八一頁
◎白地手形補充ノ效力……商法八〇七頁
◎白地引受ノ效力……商法八一七頁
◎爲替手形ノ振出前其用紙ニ引受人トシテ記名捺印シテ他人ニ交付シタル場合ノ效力……商法八一七頁

合併ニ因ル變更
◎株式會社合併ノ場合ニ於テ合併後存續スル會社ニ付テ其本店及支店ノ所在地ニ於テ變更登記ヲ爲スコトヲ要スル二週間ノ起算時期……商法一〇四頁

合併會社
◎株式會社ノ合併方法……商法八六二頁

合併契約
◎取締役ノ爲シタル會社合併豫約ノ效力……商法四〇二頁
◎株式社ノ合併方法……商法四〇二頁
◎取締役カ相互間ニ於テ會社合併ノ契約ヲ爲シタル場合ノ效力……商法八六三頁

隔離的觀察
◎意義……諸法四九一頁

確認判決
◎確認判決ニ對シテハ强制執行ノ爲メ執行文ヲ附與スヘキモノニ非ス……民訴四九一頁

確認訴訟
◎確認訴訟ノ目的ノ範圍……民訴六九頁

○當事者ノ一方ト第三者間ノ法律關係モ確認訴訟ノ目的トナルヤ……民訴六九頁
○權利關係成立確認訴訟ノ要件……民訴三六七頁
◎法律上ノ利益ヲ有セサル場合ノ實例……民訴三六七頁
○戸籍訂正ノ結果權利關係ニ重大ナル變更ヲ及ホス場合ノ如キハ訴ヲ以テ屆出ノ無效ヲ主張スヘク戸籍訂正ノ手續ニ依ルヲ得サルモノトス……諸法二四八頁

確定判決

○確定判決ノ既判力ノ範圍……民訴一頁
○同一ノ請求權ニ對スル新舊二個ノ確定判決アリタル場合ニ於テ其内容カ相衝突スルトキノ效力及其救濟方法……民訴一六七頁
◎共犯者ノ一人ニ對シテ判決確定シ他ノ共犯者カ上告審ニ繫屬中告訴ノ拋棄アリタル場合ノ效力……刑訴一一五頁
○共犯者ノ一人ニ對シテハ第一審判決確定シ他ノ一人ハ控訴審ニ繫屬中告訴ノ拋棄アリタル場合ノ效力……刑訴一一五頁
◎本案訴訟ノ結果親族會ノ後見人及後見監督人選定決議カ取消サレタル場合ノ效力……民訴二一二頁

額面超過額

◎額面超過額ト營業上ヨリ生スル利益トノ差異……諸法二〇九頁

株主

◎株主名簿ニハ株主ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要シ其法定代理人ノ氏名ヲ記載スヘキモノニ非ス……商法三〇〇頁
○會社ノ株主ニ對スル通知又ハ催告ノ方法……商法三〇〇頁
◎株主カ未成年又ハ法人ナル場合ト通知方法……五二七頁

株主名簿

◎株主名簿ニハ株主ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要シ其法定代理人ノ氏名ヲ記載スヘキモノニ非ス……商法三〇〇頁

株券

◎性質……商法七四〇頁
◎株主全員カ株券不發行ニ同意シタル場合ノ效力……商法一一頁
◎定款ニ於テ株券ノ發行ヲ爲サヽルコトヲ定メタル場合ノ效力……商法一一頁
○株式會社カ株券ヲ發行スヘキ時期……商法一一頁
◎記名株券ハ有價證券ナリ……商法三九四頁

株券發行時期

◎株式會社カ株券ヲ發行スヘキ時期……商法一一頁

株券發行請求權

◎株主全員カ株券不發行ニ同意シタル場合ノ效力……商法一一頁
◎定款ニ於テ株券ノ發行ヲ爲サヽルコトヲ定メタル場合ノ效力……商法一一頁

株券係

○株券係カ株券ノ眞僞及ヒ名義書替ノ委任狀ニ於ケル印章ノ異同ノ調査ト會社ノ事業ノ執行……商法四〇七頁

株券ノ名義書換

◎白紙委狀附株式讓渡ト名義書換義務……商法八三六頁
○株式ノ賣買ニ於ケル賣主ノ名義書換義務……商法八三六頁

株券引渡債務

◎數個ノ株券引渡債務ノ中ノ一ノ履行ヲ求メ相手方ヲ遲滯ニ付セントスル場合ノ

要件……民法一〇六〇頁

株金拂込

◎株金拂込及失權ノ通知ヲ發シタル後株金拂込ニ關スル最終日ヲ訂正シタル場合ノ效力……商法一六三頁
◎失權株式ノ通知ハ到着主義ヲ採リタルモノナリヤ……商法二五九頁
○商法第一五三條第二項ニ規定スル讓渡人ニ對スル拂込ノ催告ハ二週間ヲ下ラサル期間内ニ拂込ヲ爲スヘキ旨ノ通知ヲ發スルヲ以テ足ル……商法四二七頁
○二週間ノ期間ヲ存セシメスシテ爲シタル株金ノ拂込催告ノ效力……商法四三五頁
◎株金拂込ノ爲メニ小切手ヲ振出シタル場合ト株金拂込完了時期……商法二七三頁
◎現物出資ノ履行方法……商法六四六頁
○決議ノ方法……商法八一三頁
◎株金ノ拂込ハ取締役會ニ於テ決定ストノ會社定款規定ノ解釋……商法八一三頁

株金拂込方法

◎株式會社カ破產シタル場合ト未拂込株金ノ拂込方法……商法四九九頁
◎設立無效ノ會社ト破產宣告……商法四九九頁

株金拂込領收證

○新株券發行以前ノ第一回株金拂込領收證ニ宛名人名義ノ白紙委任狀ヲ添付シタルモノノ流通ト慣習……商法三六九、三七四頁

株金拂込期間

◎株金拂込及失權ノ通知ヲ發シタル後株金拂込ニ關スル最終日ヲ訂正シタル場合ノ效力……商法一六三頁

株金拂込義務

◎會社カ株金拂込ヲ催告シタル後拂込期日前其催告ヲ受ケタル株主カ拂込ヲ爲サヽル以前株式ヲ他人ニ讓渡シ會社ニ申出テ株式名簿ニ其旨ノ記載アリタル場合ト拂込義務者……商法八七二頁

株金拂込義務者

◎會社設立無效ノ判決確定シタル場合ニ於テ淸算ノ爲メ株金ノ拂込ヲ爲スヘキ義務負擔者……商法一九二頁
◎株式讓渡ト株金拂込義務者……商法八七一頁

株式

◎株主全員カ株券不發行ニ同意シタル場合ノ效力……商法一一頁
○定款ニ於テ株券ノ發行ヲ爲サヽルコトヲ定メタル場合ノ效力……商法一一頁
◎株式ノ讓渡ト株金拂込義務者……商法八七一頁
◎株券ノ眞否如何ヲ其株式會社ニ就キ確ムル場合其株式係ノ爲ス調査應答ノ性質……商法二二一頁
○株式ノ競賣手續ニ關シテ異議抗告等ヲ爲サスシテ既ニ競賣手續ノ完結シタルトキハ其競賣ノ無效ヲ主張スルコトヲ得ス……商法三七〇、三七四頁
◎株券係カ株券ノ眞僞及名義書替ノ委任狀ニ於ケル印章ノ異同ノ調査ト會社ノ事業ノ執行……商法四〇七頁
◎商法施行前ニ設立セラレタル株式會社ノ商法施行後ニ於テ爲ス株券發行……商法四〇八頁
◎株式ノ意義……商法八七一頁

株式會社

◎本店ノ所在地ニ於テ發行スル一種又ハ數種ノ新聞ト爲ス定款記載ノ效力……商法七頁
◎創立總會終了スルモ會社設立セサル場合アリヤ……商法三五頁

◎株式會社取締役間ノ債務履行ノ效力…………商法一〇二頁
◎會社ノ形式的成立時期…商法二〇二頁
◎會社ノ消滅時期…………商法二〇三頁
◎設立無效判決ノ效力……商法二〇三頁
◎株式會社ノ成立及消滅時期…………商法二〇五頁
◎株券ノ眞否如何ヲ其株式會社ニ就キテ確ムル場合其株式係ノ爲ス調査應答ノ性質…………商法二二一頁
◎會社設立ノ無效ナル場合ノ實例…………商法三八三頁
◎株式會社ノ資本出資ノ種類…………商法六四三頁

株式會社ノ合併
◎株式會社合併ノ場合ニ於テ合併後存續スル會社ニ付テ其本店及支店ノ所在地ニ於テ變更登記ヲ爲スコトヲ要スル二週間ノ起算時期…………商法一〇四頁

株式係
◎株券ノ眞否如何ヲ其株式會社ニ就キ確ムル場合其株式係ノ爲ス應答ノ性質…………商法二二一頁

株式ノ賣買
◎公債株式等ノ現物賣買ヲ業トスル者ト地方ノ客トノ取引方法ニ關スル慣習…………民法八〇六頁
◎白紙委任狀附株式讓渡ト名義書換義務…………商法八三六頁
◎株式ノ賣買ニ於ケル賣主ノ名義書換義務…………商法八三六頁

株式讓渡
◎未成年者ニ發セラレタル株式讓渡人ニ對スル滯納株金拂込ノ催告ノ效力…………商法七〇頁
◎會社ニ於テ株式讓渡人等ニ對シ適法ナル催告ヲ爲サザリシ場合ノ失權手續ノ效力…………商法七〇頁
◎記名株券ヲ讓渡スルニ當リテ株券ノ交付ヲ受ケス單ニ讓渡證書及白紙委任狀ノミノ交付ヲ受ケタル場合ノ效力…………商法一〇〇頁
◎會社設立登記前ノ株式賣買ハ不法原因ニ依ル給付ナリヤ…………商法一七七頁
◎定款ヲ以テ株式ノ讓渡ハ當會社ノ承諾ヲ要スト規定シタル場合ニ於テ該株式讓渡制限ノ定款ニ違背シテ爲シタル行爲ノ效力…………商法六六八頁

◎株式ノ讓渡ヲ目的トスル一般ノ債權契約ハ固ヨリ當事者ノ合意ノミニヨリテ完成セラレ株券交付ヲ必要トセス…………商法八二八頁
◎株式ノ讓渡ハ當事者間ノ意思表示ヲ以テ完成シ株券ノ交付ヲ必要トセサルヤ…………商法八二八頁
◎株式讓渡ト株金拂込義務者…………商法八二八頁
◎會社カ株金拂込ヲ催告シタル後拂込期日前其催告ヲ受ケタル株主カ拂込ヲ爲サザル以前株式ヲ他人ニ讓渡シ會社ニ申出テ株主名簿ニ其旨ノ記載アリタル場合ト拂込義務者…………商法八七一頁
◎株式讓渡アリタルトキ之ヲ株主名簿及ヒ株券ニ記載シタル場合ノ效力…………商法八七二頁

株式讓渡人ノ債務免脫
◎催告ニ依リ單純ニ特定ノ金額支拂ノ債務者トナリ居リタル株式讓渡人ノ債務免脫ノ要件…………商法八七二頁

株式讓渡ノ效力
◎株主カ株式ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ株主タル權利義務ハ讓渡契約ノ效力トシテ包括的ニ讓渡人ヨリ讓受人ニ移轉ス…………商法八七四頁

◎催告ニ依リ單純ニ特定ノ金額支拂ノ債務者トナリ居リタル株式讓渡人ノ債務免脫ノ要件…………商法八七四頁

株式讓渡禁止ノ效力 ●
◎定款ヲ以テ株式讓渡ハ當會社ノ承諾ヲ要スト規定シタル場合ニ於テ該株式讓渡制限ノ定款ニ違背シテ爲シタル行爲ノ効力…………商法六六八頁

鑑定人訊問
◎數名ノ鑑定人ヲ訊問スル場合ニ於テハ必スシモ各別ニ之ヲ爲スコトヲ要セス…………民訴三八〇頁

株式名義書換
◎株式名義ノ書換ト賣主ノ責任…………商法二六七頁
◎第二回以後ノ株金拂込期日後ニ至リ尚拂込ヲ爲サザル株式ヲ買受ケタル者カ同株拂込ヲ爲サスシテ株式ノ名義書換ヲ請求シタル場合ト會社ノ書換義務…………商法四六四頁

株式名義書換委任狀
◎債務ノ履行ヲ擔保スル爲メ記名株券ノ占有ヲ移轉スル場合ト名義書替ノ委任狀添付義務…………商法四九六頁

株式申込證
◎株式申込證ニ優先權付與ノ條件ナカリシ場合ノ效力…………商法一三三頁

書換
◎書換シタルヲ訂正スルハ衆議院議員選擧法第五八條第一項第五號ニ所謂他事ノ記載ト投票ノ效力…………諸法四七一頁

貸座敷營業 ●
◎性質…………商法二二七頁
◎貸座敷營業ハ客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引ナリヤ…………商法二二七頁

官報ノ登載
◎判事轉官ノ效力時期…………民訴五九一頁

官吏恩給法
◎恩給ヲ受クヘキ事由ノ意義…………諸法四一〇頁

姦通罪
◎刑法第一八三條第二項ニ所謂本法ノ意義…………刑法七三頁

神田區
◎東京市内ノ區ノ性質…民法一一三五頁

間接訴權
◎間接訴權ノ性質…………民訴五一二頁
◎間接訴權ニ基ク訴訟ノ開始後債務者ニ對シテ破產ノ宣告セラルルモ訴訟ノ中斷ヲ生スルコトナシ…………民訴五一二頁
◎債權者カ間接訴權ニ基ク行使ヲ開始シタル後ニ於テハ債務者ト雖モ其權利ヲ行使スルコトヲ得…………民訴五一三頁
◎債權者カ間接訴權ニ基キテ訴ヲ提起シタル場合ニ於テ債務者ノ破產管財人ハ原告タル債權者並ニ被告タル第三債務者(占有者)ノ同意ヲ得テ繫屬セル訴訟ヲ引受ケ原告ニ代リテ之ヲ續行スルコトヲ得…………民訴五一四頁

間接訴權ノ主體
◎債務者ニ代リテ其權利ヲ行使シ得ル者…………民訴一三二七頁

管理人
◎對照及交付ノ手續ヲ爲シタルモノト謂ヒ得ル場合ノ實例…………諸法二七〇頁

管轄
◎上告審ヨリ事件ヲ移送セラレタル裁判所ノ管轄權…………刑訴九六頁

管轄違
管轄違又ハ公訴不受理ノ場合ニ於ケル訴

訟手續ノ效力……刑訴一四頁

管轄違判決

◎管轄違ノ判決ニ對シ之ヲ不當ナリトシテ其破毀ヲ求ムル被告ノ上告ノ效力……刑訴九七頁

管轄裁判所

◎相續開始地以外ノ區裁判所カ家督相續人選定ノ爲メニ開クヘキ親族會招集決定ノ效力……民法八五九、八六〇頁
◎民法第五四五條第三項ヲ根據トスル訴ノ管轄裁判所……民法一一四八頁
◎仲裁裁判ノ場合……民訴三一九頁
◎仲裁契約中ニ裁判所ノ指定ナキ場合ノ管轄裁判所……民訴三二一頁
◎相續限定承認ノ無效確認ヲ求ムル訴ト管轄裁判所……民訴三六六頁
◎不在者ノ財產管理ノ管轄裁判所……諸法四五八頁
◎失踪宣告ノ管轄權……諸法四六一頁

慣習

◎地代値上ニ關スル慣習……民法一〇三四頁
◎東京市內ニ於ケル土地家屋賣買ノ周旋ヲ爲シタル場合ト報酬金額……民法一二四九頁
◎小樽區ニ於テハ同地ニ店舖出張所ヲ設ケ主任者ト稱スル使用人ヲ置キタル商人カ同區雜穀商同業組合ニ加入シタル場合ニハ同區ノ商人ハ右主任者ヲ以テ支配人ト同樣主人ニ代理スル總括權限ヲ有スル者ト看做シ來リタル取引上ノ慣習存ス……商法五九九頁
◎裁判所ニ於テ顯著ナル事實ノ例……商法六〇〇頁
◎小樽區ニ於ケル雜穀澱粉類ノ賣買ノ履行ニ付キ行ハル、慣習……商法六〇〇頁
◎裏書人カ裏書欄ニ印章ヲ押捺シ支拂拒絕證書ノ作成ヲ免除スル旨ノ文言ノ記入ヲ爾後手形ヲ取得シタル者ニ委託スル場合ト東京市近隣ニ於ケル慣習……商法六七二頁
◎福井市ニ於ケル一般保險會社ノ保險金支拂方法ト慣習……民訴四一六頁
◎「上」ナル文字ヲ記載シタル投票ノ效力……諸法四二七頁
◎「樣」ノ略字トシテ「ふ」ヲ使用スルノ慣習存スル地ニ於テ被選擧人ノ名下ニ之ヲ記載シタル場合ノ投票ノ效力……諸法四二七頁

慣習法

◎地方慣習ノ證明責任……民訴一八七頁

監護教育權

◎親權者カ未成年ノ子ニ對スル監護教育權ノ效力トシテ第三者ニ對シ其子ノ引渡ヲ請求スル場合ノ要件……民法三四頁

監查役

◎取締役及監查役ノ調查報告ノ意義……商法六三頁
◎取締役カ監查役ノ承認ヲ得スシテ會社ヲシテ自己ニ約束手形ヲ振出サシメタル場合ノ效力……商法二一八頁
○破產後ノ會社ノ性質及取締役監查役ノ存否……商法五〇一、五〇三頁
◎北米合衆國『デラウエア』州ノ會社法ニ於ケル取締役監查役ノ選任方法……民訴四一一頁

監查役豫選ノ效力

……◎商法一一六頁

監查役ノ承認

◎商法第一七六條違背行爲ノ效力……商法一一五頁
○商法第一七六條ニ規定スル監查役ノ承

認ニ付キ事後ノ追認ヲ認ムルヤ……商法一一六頁
○會社モ亦之ヲ追認スルコトヲ得ルヤ……商法一一六頁
○監查役ノ承認ノ效力……商法一一六頁
◎監查役ノ承認ヲ得ルヲ要スルモノハ會社ト其取締役トノ間ニ於テ爲サルル取引ニ限ル……商法一九五頁
○取締役カ監查役ノ承認ヲ得スシテ自己ノ爲メニ會社ト取引シタル場合ノ效力……商法二九四頁
○第一七六條ニ所謂取引ノ意義……商法四一一頁
○監查役ノ承認ヲ得スシテ自己ノ爲メニ會社ト取引ヲ爲シタル取締役ノ行爲ノ效力……商法四八九頁
○商法一七六條ニ規定セル監查役ノ承認時期……商法四八九頁

監查役ノ選任

○北米合衆國『デラウエア』州ノ會社法ニ於ケル取締役監查役ノ選任方法……民訴四一一頁

簡易引渡

○引渡ノ實例……民訴四一一頁
○簡易ノ引渡又ハ指圖ニ依ル引渡ニヨリ質權成立スルヤ……民訴四一一頁
○鑑定人ノ鑑定資料ノ採取ト當事者ノ立會……民訴一四四頁
◎鑑定人カ鑑定ヲ爲スニ際シ事物ノ到來スル原因ヲ研究スル方法……民訴一四四頁
◎數名ノ鑑定人ヲ訊問スル場合ニ於テハ必スシモ各別ニ之ヲ爲スコトヲ要セス……民訴三八〇頁
○受訴裁判所ハ鑑定人ノ任命及員數指定ヲ受託判事ニ委任スルコトヲ得……民訴五九五頁
◎鑑定人トシテ宣誓シタル者ヲ證人トシテ調ヘタル場合ノ效力……刑訴九頁

ヨ

預金債權

◎貯蓄銀行ノ預金債權ノ讓受ノ事實ヲ同銀行ノ取締役ニ對抗スル要件……諸法一〇二頁

餘水排泄權

○民法施行前爲シタル契約カ第二二〇條ノ規定ニ該當スルニ至リタル場合ノ效力……民法二八四頁

豫約

◎配偶者アル者ト將來婚姻解消セハ婚姻ヲ爲サントノ豫約又其豫約間扶養料ノ給與ヲ爲シタル場合ノ效力……民法四八六頁

豫定賠償請求權

◎一旦發生シタル豫定賠償請求權ハ契約ノ解除ニヨリ消滅セサルヤ……民法二〇〇頁

豫審判事

◎豫審判事カ被告ニ對シ他人トノ接見ヲ禁止シタル後檢事カ被告ヲ訊問シ聽取書ヲ作成シタル違法ニ非ス……刑訴一一〇頁
◎檢證ノ便宜上其現物ノ必要ナル狀態ヲ任意ニ指示陳述セシメ得ルヤ……刑訴一一四頁

幼稚

◎意義……諸一六五頁

幼兒
◎幼兒ト名譽毀損罪ノ客體……刑法六〇頁
幼兒引渡請求權
◎親權者ノ幼兒引渡請求權ハ權利ノ濫用……民法一三四頁
幼者
◎意義……諸法一六五頁
◎明治八年五月二日及ヒ同年五年一五日ノ大政官指令ニ所謂幼者及ハ幼稚ノ意義……諸法四八七頁
要素ノ錯誤
◎法律行爲ノ要素ナリヤ否ヤノ判定方法……民法二六頁
◎古書畫賣買ノ效力……民法四七頁
◎賣買契約ノ要素ニ錯誤アル場合ノ實例……民法五四〇頁
◎登記完了後直チニ現實ニ代金支拂ヲ受クルコトヲ信シタルニ之ヲ受ケサル場合法律行爲ノ要素ニ錯誤アリト謂ヒ得サルヤ……民法六一八頁
◎意思表示ノ錯誤……民法一三三六頁
◎振出行爲ノ無效ナル手形ニ裏書シタル者ノ責任……商法六六頁
◎裏書人ニ手形上ノ責任アルニ拘ラス之ナシト信シテ裏書シタル場合ト法律行爲ノ要素ノ錯誤……商法六六頁
◎要素ニ錯誤アル無效行爲ノ實例……刑訴五〇頁
容假占有
◎權限ノ性質上所有ノ意思ナキ占有者カ之ヲ自主占有ニ變更スル方法……民法一〇二九頁
養老保險
◎意義……商法七二五頁
養子
◎民法施行以前ニ於テハ法定ノ推定家督相續人タル男子アル場合ト雖モ男子ヲ養嗣子ト爲スコトヲ得ルヤ……民法二一四頁
◎民法施行前ニ於テ十五年未滿ノ者カ養子トナル場合ノ父母ノ代理權……民法二一四頁
◎民法第八三九條ニ所謂男子ノ意義……民法四八二頁
◎養親ノ家名ヲ潰スモノニシテ離緣原因ト爲ルヘキ實例……民法五七九頁
◎妻カ懷胎中男子ヲ養子トシタル場合ノ相續順位……民法五九一、五九六頁
◎繼子ハ之ヲ養子ト爲スコトヲ得……民法八二六頁
◎離緣ノ訴訟中戸主タル養父死亡シ養子カ家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル場合ノ效力……民法一四一六頁
◎民法施行前ニ於ケル養嗣子ト然ラサル者ノ區別及ヒ分家ヲ爲ス方法……諸法一六六頁
養子緣組
◎藝妓ヲ爲スノ便宜上爲シタル養子緣組ノ效力……民法一八七頁
◎藝妓ノ鞍替ヲ爲ス方法トシテ再緣組ヲ爲ス場合養子ヲ代表シテ爲ス再緣組承諾者……民法一八四頁
◎民法施行前ニ於ケル養子緣組ノ成立要件……民法二三七頁
◎民法施行前ニ於ケル養子緣組ノ方式……民法六五七頁
◎戸主カ隱居ヲ爲スモ其ノ結果法定ノ家督相續人ト爲リタル場合ニハ養子緣組ニ因リテ他家ニ入ルコトヲ得ス……民法八五四頁
◎私生子ノ事實上ノ父ニ非サル丙ノ爲シタル認知ノ效力ト其認知者ノ爲シタル緣

組承諾ノ效力……民法九三三頁
◎法定ノ推定家督相續人ハ本家相續ノ外婚姻又ハ養子緣組ニ因リテ他家ニ入ルコトヲ得ス……民法一〇一二頁
◎長女ノ婿養子カ長女ト離婚シタルトキハ假令其父トノ養子緣組干係ハ解消セサルモ相續上長女ニ優先スルコトヲ得ス……民法一〇七八頁
◎婿養子緣組ハ入夫婚姻ト養子緣組トノ結合ナリ……民法一三七五頁
養子緣組無效ノ訴
養子緣組無效ノ從參加人ハ民事訴訟法第五四條第二項但書ニ該當スル共同訴訟人的從參加人ナリ……民訴一二五頁
◎從參加人ノ控訴カ主タル當事者ノ行爲ト牴觸スル場合ノ實例……民訴五八〇頁
養子緣組事件
◎養子緣組事件ニ準用シタル人事訴訟手續法第五條ハ檢事ニ對スル一ノ訓示規定ナリ……諸法五四七頁
養嗣子
◎民法施行前ニ於ケル養嗣子ト然ラサル者トノ區別及分家ヲ爲ス方法……諸法一六六頁

タ

他人ノ物ノ賣買
◎他人ノ物ノ賣買ニ關スル危險負擔……民法八四八頁
他人ノ爲メ登記ヲ申請スル義務アル者
◎實例……諸法二〇〇頁
他人ノ財物
◎恩給年金證書帶有者カ他人ニ委託シタル同證書ヲ無斷ニ持歸リタル場合ノ罪責……刑法一一八頁
他主占有
◎代理占有者ハ更ニ他人ヲシテ代理占有ヲナサシムルコトヲ得ルヤ……民法一〇一〇頁
墮胎
◎一面懷胎ノ婦女ヲ敎唆シテ墮胎ノ決意ヲ爲サシメ他面醫師ヲ敎唆シテ同婦女ニ對スル墮胎手術ヲ行フヘキ決意ヲ爲サシメ因テ一個ノ墮胎行爲ヲ遂行セシメタル場合ノ罪責……刑法一一七頁
大正八年法律第六〇號附則
◎明治三三年法律第七三號衆議院議員選擧法第一一條及大正八年法律第六〇號ノ同法改正規定附則ニ本法ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ストノ趣旨……諸法一八五頁
大正五年法律第二號國庫出納金端數計算法
◎規定ノ趣旨及適用範圍……諸法三二七頁
大豆粕ノ取引
◎東京市ニ於ケル大豆粕ノ取引ノ場合賣主ノ物品檢査ト契約解除ニ關スル商慣習……民法三三四頁
胎兒
◎胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生レタルモノト看做ストノ意義……民法五九一、五九六頁
◎妻カ懷胎中男子ヲ養子トシタル場合ノ相續順位……民法五九一、五九六頁
◎家督相續開始後母カ他家ニ入籍シタル爲メ出生當時被相續人ノ家族タラサリシ場合ノ胎兒ノ相續權……民法五九二、五九六頁

タ
臺灣刑事令　退社　退社員　對抗方法　對抗要件　對抗事由　對人擔保　代位　代位辨濟　代位登記　代位訴權
代位權　代人規定　代理

○胎兒ハ之ヲ家督相續人ニ指定スルコトヲ得ス……民法一四一四頁
○胎兒ハ之ヲ家督相續人ニ選定スルコトヲ得ス……民法一四一四頁

臺灣刑事令
○臺灣刑事令ニ依リ處罰セラレタル被告ノ前科ハ刑法第二五條ニ依リ刑ノ執行猶豫ヲ與フルノ妨ケトナルヤ……刑法一一六頁

退社
○社員死亡シタルトキハ其相續人承繼入社スル旨ヲ定メタル定款ノ效力……商法六二二頁

退社員
○合資會社ノ退社員カ拂戻ヲ請求シ得ヘキ持分ノ算定標準……商法一九七頁

對抗方法
◎辨濟其他ノ原因ニ因リテ債權ノ全部又ハ一部カ消滅シタル場合ト對抗方法……民法八〇四頁

對抗要件
○立木ノミヲ讓受ケタル者ノ第三者ニ對スル對抗方法……民法二一一六頁
○立木買受ノ公示方法……民法二一一六頁
○民法第一七七條ノ適用範圍……民法五三三頁
◎民法第一七七條ハ其原因カ當事者ノ意示表示ニ在ルト將タ相續ニ在ルト又相續カ被相續人ノ隱居ニ因ル場合ナリト將タ其死亡ニ因ル場合ナルトヲ區別セスシテ適用スヘキモノト解ス……民法五三三頁
○不法占有者ト雖モ不動產物權ノ得喪變更ノ登記ニ付キ其ノ欠缺ヲ主張シ得ヘキ場合アリヤ……民法一〇〇八頁
◎賣渡抵當ナル信託行爲ノ當事者間ニ存スル特約ノ第三者ニ對スル效力……民法一〇二三頁
◎甲カ占有者ノ動產物件ヲ乙ニ賣渡シ同時ニ乙ヨリ之ヲ賃借シタル場合ノ效力……民訴五三頁

對抗事由
◎抗辯事由ノ存スルコトヲ知リテ手形ヲ取得シタル者ニ對シテハ其前者ニ對スル抗辯ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ル理由……商法八三二、八三四頁

對人擔保
◎一定ノ期間存續スヘキ當座預金貸越契約ニ基キテ生スル債務ニ付キ對人擔保アル場合ニ於テ該契約ノ存續中當事者カ期間ヲ伸長シ以テ爾後取引ヲ繼續シタル場合ノ效力……民法一八〇頁

代位
○再賣買完結ノ意思表示ト代位……民法一〇四二頁

代位辨濟
○代位辨濟ノ場合ニ於テハ其債權ハ辨濟者ニ移轉セス……民法一〇〇一頁

代位登記
○登記上ノ直接利害ヲ有スルモノ實例……諸法四八六頁

代位訴權
◎債權者ノ代位權ノ性質……民法七二七頁
◎債權者代位權ニヨリ保全セラルヘキ權利ノ範圍……民法八〇九頁
◎民法第四二三條ニヨリ債權者ノ保全セントスル債權……民法一三四二頁
◎民法第四二三條ノ適用ヲ受クヘキ債權……民法一三六三頁

代位權
◎性質……民法七二七頁

代人規定
◎第五條ノ趣旨……諸法五二五頁

代理

タ
代理人　代理權　代理權アリト信スヘキ正當理由　代理權ノ授與　代理店

◎債務者カ債權者ヲ代理人トシテ債務ノ一部辨濟ヲ爲シタル場合ト授權行爲……民法二九頁
○權限アリト信スヘキ正當ノ理由……民法一三二〇頁
◎相手方代理又ハ双方代理トシテ爲シタル行爲ノ效力……民法三五一頁
◎代理規定ノ適用範圍……民法五七一頁
○代理ノ法則ハ意思表示ヲ要素トスル法律行爲ニ關シテノミ適用シ得ヘク意思表示ヲ要素ト爲サザル不法行爲ニ適用シ得ヘキモノニ非ス……民法一二二八頁
○民法第四四條第一項規定ノ趣旨……民法一二二九頁
◎使者ノ爲シタル權限外ノ行爲ノ效力……民法一三二〇頁
○代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ知リ又ハ知リ得ヘカリシモノトシテ本人ニ對シ效力ヲ主張スル場合ト立證責任……民法一三四九頁
○銀行ノ支配人カ自己ノ利益ノ爲メニ其支配人名義ヲ濫用シテ爲シタル保證行爲ト民法第一一〇條……商法九四頁

代理人
◎債務者カ債權者ヲ代理人トシテ債務ノ一部辨濟ヲ爲シタル場合ト授權行爲……民法二九頁
◎特定行爲ノ代理人及ヒ定款ニ基礎ヲ置キテ選任シタル包括代理人ノ性質……民法五〇五頁
◎復代理人ハ更ニ復代理人ヲ選任スルコトヲ得サルヤ……民法九六七頁
◎代理人カ本人ノ名ヲ署シ又ハ記名捺印ヲ爲シテ振出シタル手形ノ效力……商法二八一頁
○代理人カ自己ノ名ヲ以テ手形ニ署名セス本人ノ記名捺印ヲ以テセル場合ノ效力……商法八四二、八四四頁
◎直接ニ本人ニ對シテ效力ヲ生ストノ規定ノ適用範圍……商法八五三頁

代理權
◎親權者カ未成年ノ子ノ財產ヲ處分シタルニ本人カ其代理權行使ノ適法ナルコトヲ爭フ場合ノ親權者ノ立證責任……民法一二八五頁
◎營業ニ付キ包括代理權ヲ與ヘタル場合ト見ラルヘキ場合ノ實例……民法一二八七頁
○支配人カ主人ノ爲メニスル手形振出權限……商法二八二頁
○代理權アリト信セシムヘキ正當事由ト爲スニ足ラサル場合ノ實例……民訴一三二頁
◎第三者ノ爲メニ契約ノ履行ヲ求ムル訴提起ノ代理權ヲ授與セラレタル特別代理人ハ其前提タル利益享受ノ意思表示ヲ爲ス代理權ヲ有セサルヤ……民訴二一五頁
○外國會社カ支店所在國ニ於テ其代表者ヲ定メタル場合ト其代表者ノ代理權ノ範圍……民法四四〇頁
○信用購買販賣組合ヲ代表スル理事カ組合ノ爲メニ爲ス金員借入ノ權限……諸法四七五頁
○產業組合ノ理事ノ權限……諸法四七六頁

代理權アリト信スヘキ正當理由
◎實例……民法一四二頁

代理權ノ授與
◎債務者カ債權者ヲ代理人トシテ債務ノ一部辨濟ヲ爲シタル場合ト授權行爲……民法二九頁

代理店
◎保險會社ノ代理店ハ民事訴訟法第一六

條ニ所謂營業ニ付キ直接ニ取引ヲ爲ス店舖ナリト謂フヲ得サルヤ……民訴二七六頁

代理名義冒用

○手形僞造タル代理名義冒用ハ文書僞造罪トナルヤ……刑法一〇六頁

◎代理名義冒用ト罪責……刑法一〇六頁

代理占有

○運送人カ貨物引換證ヲ發行シタルトキハ運送貨物ニ對シ貨物引換證ノ所持人ノ爲メニ代理占有ヲ爲スト同時ニ自己ノ爲メニスル自主占有權ヲ有ス……商法七〇九頁

◎代理占有者ハ更ニ他人ヲシテ代理占有ヲ爲サシムルコトヲ得ルヤ……民法一〇一〇頁

代理占有者

◎代理占有者ハ更ニ他人ヲシテ代理占有ヲナサシムルコトヲ得ルヤ……民法一〇一〇頁

代物辨濟

○手附金ノ支拂ニ代ヘ小切手ヲ振出シタル場合其小切手ノ不渡ト代物辨濟ノ效力……民法八四頁

◎代物辨濟ニ因ル給付義務ハ法律上無因債務ナルヲ以テ辨濟者ハ既存債務ノ不存在ヲ理由トシテ該代物辨濟契約ノ無效ヲ主張スルヲ得ス……民法三九四頁

◎既存債務ノ支拂ニ代ヘテ小切手ヲ振出シタル場合ノ所持人ノ利得償還請求權……商法一頁

○振出人カ債務支拂ノ爲メニ小切手ヲ振出シタル場合ノ效力……商法一頁

○當事者ノ一方カ他方ニ對シ負擔セル債務ノ爲メ約束手形ヲ振出シタル場合ノ效力……商法八五頁

○賣買手付金ノ支拂ニ代ヘ小切手ヲ授受シタルトキ當事者ノ特別ノ意思表示ニ依リ代物辨濟ト爲リタル場合ノ效力……商法三〇七頁

代金ノ提供

◎物品ノ賣買當事者間ニ於テ期間前ニ爲シタル代金提供ノ效力……民法一三五（一）頁

◎買戾權行使ト第四九三條ノ適用……民訴四九五頁

代襲相續

○實例……民法一二九一頁

代表機關

◎民法第四四條第一項規定ノ趣旨……民法一二二九頁

○產業組合ノ代表機關タル理事カ組合ト契約ヲ爲シ又ハ訴訟ヲ爲ス場合ノ理事ノ代表權……諸法四九四頁

代表者

◎外國會社カ支店所在國ニ於テ其代表者ヲ定メタル場合ト其代表者ノ代理權ノ範圍……民法四四〇頁

第一回株金拂込領收證

◎新株ノ引受人カ新株券ノ發行セラルル以前ニ於テ第一回株金拂込領收證ニ白紙委任狀ヲ添付シタル場合ト商慣習……商法三七五頁

第三者

◎民法第一七七條ノ場合ノ意義……民法三六七頁

○民法第一七七條ニ所謂第三者ノ實例……民法三八一頁

◎抵當權者カ所謂第三者ニ該當スル場合……民訴四一九頁

◎登記ノ欠缺ヲ主張スルニ付キ正當ノ利益ヲ有スル第三者ノ實例……民法六六五頁

◎民法九四條第二項ノ場合ノ意義……

……民法一〇一九頁

○第三者ナリト主張スルヲ得サル場合ノ實例……民法一〇八八頁

○虛僞ノ意思表示ノ無效ナルコトノ對抗ヲ受ケサル所謂第三者ノ意義……民法一二一三頁

第三者カ其權限アリト信スヘキ正當理由

○實例……民法一四二頁

第三者ノ異議

○訴訟ノ目的……民訴一五頁

○第三者カ其異議ヲ正當トセサル債務者ヲ共同被告ト爲ス訴訟ハ必要的共同訴訟ナリヤ……民訴一六頁

第三者ノ爲メニスル契約

◎第三者ヨリ反對給付ヲ得テ給付ヲ爲スヘキ場合モ亦第三者ノ爲メニスル契約ト謂ヒ得ルヤ……民法九九六頁

○第三者ノ爲メニスル契約ノ履行ヲ求ムル訴提起ノ代理權ヲ授與セラレタル特別代理人ハ其前提タル利益享受ノ意思表示ヲ爲ス代理權ヲ有セサルヤ……

煙草專賣

……民訴二一五頁

○販賣ノ意義……諸法四六頁

疊建具

◎疊建具戶障子ニ對シ民法第一九二條適用ノ有無……民法六八二頁

○抵當權ハ其設定後疊建具ヲ取替ヘタルトキハ後ノ疊建具ニ對シテモ其效力ヲ及ホス……民法一三三五頁

◎朽廢其他ノ事由ニ依リ他ノ新タナル疊建具ト取替フルモ前ノ疊建具ト同一物ト看做ス……民法一三三五頁

○抵當建物ノ從タル疊建具ハ之ノミヲ單獨ニ差押フルコトヲ得ス……民訴二七〇頁

會人

○對照反交付ノ手續ヲ爲シタルモノト謂ヒ得ル場合ノ實例……諸法二七〇頁

立木

◎地盤ノ所有權ト立木ノ所有權トカ各別ニ存在スル場合ノ地盤ト立木ノ關係……民法一三八頁

○地盤ト立木ト同一人ノ所有ニ屬スル場合ノ地盤ト立木トノ關係……民法一三八頁

◎立木買受ノ公示方法……民法二一六頁

○立木ノミヲ讓受ケタル者ノ第三者ニ對スル對抗方法……民法二一六頁

○土地ノ買戾契約ニ在リテハ立木ハ果實ニ外ナラス……民法六五六頁

立木ノ賣買

立木買受ノ公示方法……民法二一六頁

○立木ノミヲ讓受ケタル者ノ第三者ニ對スル對抗方法……民法二一六頁

脫法行爲

◎仲買人ニ非サル者カ仲買人ノ名義ノ下ニ自ラ委託契約ノ當事者ト爲リタル場合ノ效力……諸法二五四頁

脫稅

◎法ニ背キテ定價ヲ附記スルコトナク種々ナル價ヲ以テ無印紙ノ賣藥ヲ販賣シタル場合ノ責任……諸法二三八頁

賴母子講

◎賴母子講會主カ會員ニ對シ負擔スル金ノ拂戾及ヒ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ擔保シタル保證人間ノ責任……民法一〇二四頁

建米ノ處分

○委託者カ相當ノ期間內ニ證據金ヲ差入レサル場合ニ仲買人ハ建米ヲ處分シ手仕舞ヲ爲シ得ル慣習アリヤ……諸法二六八頁

建物

○建物建築ノ請負人カ自己ノ材料ヲ以テ

タ　建物保護法　建物ノ明渡　炭坑稼人　單ニ權利ヲ得又ハ義務ヲ免ルヘキ行爲　擔保　擔保契約　擔保物權　擔保供與義務　男子　談合行爲

注文者ノ所有地ニ建物ヲ建築シタル場合ノ所有權歸屬者……民法六七五頁
○賃貸借權ノ存在權ヲ知リツツ家屋ヲ買受ケタル者ノ家屋明渡請求權ト不法行爲責任ノ有無……民法八三七頁
○建物ノ賃貸借契約カ解除セラレタル以後ノ有益費ト留置權……民法八三八頁
○民法第三八八條ニ依リ建物所有者カ取得スル地上權ノ範圍……民法八九六頁
○一棟ノ建物ヲ構成スル一室若クハ其他ノ一部分ノミノ占有ヲ解キ之ヲ他人ニ移轉シ其ノ部分ノ明渡ヲ爲スカ如キハ法律上有效ニ爲シ得ヘキニ非サルヤ……民訴二六五頁
○抵當建物ノ從物タル疊建具ハ之ノミ單獨ニ差押フルコトヲ得ス…民訴二七〇頁
○建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ建物ヲ有スルモ其登記ヲ缺キ間ニ右土地ノ所有權ヲ取得シ其登記ヲナシタル第三者ニ對スル效力……諸法五六三頁
○建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃借權ニ因リ土地ノ賃借人カ其土地ノ上ニ登記シタル建物ヲ有スル場合ノ效力……

建物保護法
……諸法五六三頁
○土地ノ賣買後ニ於テ土地ノ讓渡人タル丙ノ要求ニ基キ同地上ノ建物ヲ取毀チテ丙ニ土地ヲ明渡シタルトキト前賃貸人ノ義務不履行ノ責任……諸法八五頁

建物ノ明渡
○一棟ノ建物ノ全部ノ明渡處分ノ終了前ニ其執行ノ停止命令ヲ提出シタル以上ハ明渡處分ノ準備行爲タルニ過キサル一室内ノ現存物件除去ノ行爲ハ當然何等ノ效力ナキニ至ルモノナリヤ……民訴二六六頁

炭坑稼人
○意義……諸法一六四頁

單ニ權利ヲ得又ハ義務ヲ免ルヘキ行爲
○實例……民法八三頁

擔保
○債務ノ履行ヲ擔保スル爲メ記名株券ノ占有ヲ移轉スル場合ト名義書替ノ委任狀添付義務……商法四九六頁

擔保契約
○仲買人ニ非サル第三者カ客ニ對シ其委託契約ヨリ生スル損害ノ結果ニ付キ自ラ責ニ任スヘキ旨ノ擔保契約ノ效力……諸法二五五頁

擔保物權
○一部カ辨濟其他ノ事由ニヨリ消滅ジタル場合ノ抵當權ニ及ホス效力……民法二一九頁
○擔保物權ノ消滅原因……民法二一九頁
○擔保物權カ主タル債權ト共ニ新債權者ニ移轉スル根據……民法二六七頁
○移轉性……民法二六七頁
○留置權ノ移轉ヲ認ムヘキ場合……民法二六九頁

擔保供與義務
○擔保供與ノ義務ニ付キ遲滯ニ附セラレ期限ノ利益ヲ失フ場合ノ實例……民法七九一頁

男子
○民法第八三九條ニ所謂男子ノ義意……民法四八二頁

談合行爲
○談合行爲ハ罪トナルヤ…刑法一七四頁

レ　列車機關手　連印　連帶保證　連帶債務　連帶債務者　連帶債務者ノ求償權　連帶責任　連續犯　連續的一罪

ソ　聯合商標　租稅

レ

列車機關手
○機關手ニ過失アリタルモノト謂フコトヲ得サル場合ノ實例…民法一二四五頁

連印
○乙丙カ連印ヲ以テ金圓ヲ借入レタル場合ト連帶關係ノ有無……民法三二五頁

連帶保證
○保證人及ヒ主タル債務者間ノ連帶共同保證……民法九四六頁
○保證人相互間ノ連帶共同保證……民法九四六頁
○主タル債務者ニ對スル履行ノ請求其他時效ノ中斷ハ連帶保證人ニ對シテ其效力ヲ生スルヤ……民法一一二〇頁
○保證人及ヒ主タル債務者間ノ連帶共同保證……民法九四六頁
○保證人相互間ノ連帶共同保證……民法九四六頁

連帶債務
○避クルコトヲ得サリシ費用ノ實例……民法三七七頁
○連帶債務者ノ求償權……民法六二九頁
○連帶債務者相互間ノ內部關係……民法六二九頁
○避クルコトヲ得サリシ費用及ヒ損害ノ意義……民法六三〇頁
○民法第四四三條第一項前段ニ所謂對抗事由ノ意義……民法六三一頁
○第二項ノ適用範圍……民法六三三頁
○求償權ノ範圍……民法六三六頁
○求償權ノ喪失……民法六三七頁
○辨濟其他ノ出損ニ因ル共同免責ノ場合……民法六四三頁
○連帶債務者數人ニ對スル債權ニ付テノ轉付ヲ受ケタル場合ノ轉付ノ效力……民訴五一〇頁

連帶債務者
○連帶債務者相互間ノ內部關係……民法六二九頁
○通知義務者ハ偶然ノ延着ニ對シテモ責任ヲ負擔セサルヤ……民法六三四頁

連帶債務者ノ求償權
○通知義務者ハ偶然ノ延着ニ對シテモ責任ヲ負擔セサルヤ……民法六三四頁

連帶責任
○民法第四三七條ノ趣旨……民法一三四五頁
○乙丙カ連印ヲ以テ金圓ヲ借入レタル場合ト連帶關係ノ有無……民法三二五頁

連續犯
連續犯ノ關係ニアル公訴事實中證憑不十分ナルモノアル場合ノ處置方法……刑法二〇〇頁

連續的一罪
○親告罪ニ該當スル數個ノ行爲カ單ニ連續的一罪ヲ構成スヘキ事實ニ係ルトキ被害者數名ノ內一二名カ第一審判決言渡後告訴ヲ取下ケタル場合ト判決ノ內容……刑訴八頁

ソ

聯合商標
○意義……諸法二一五頁

租稅

○町村稅賦課ニ對スル異議申立方法……諸法二九〇頁
○他家ニ同居シ居ル者ハ縣稅戶籍割ヲ賦課セラルルモノニ非ス……諸法二九〇頁

訴權
○權利保護ノ請求權ノ意義及性質……民訴三一七頁
○吾國法上私權ヲ享有セル者ハ當然訴權ヲモ併有スルモノトス……諸法二四四頁

訴訟委任
◎第三者ノ爲メニスル契約ノ履行ヲ求ムル訴提起ノ代理權ヲ授與セラレタル特別代理人ハ其前提タル利益享受ノ意思表示ヲ爲ス代權權ヲ有セサルヤ……民訴二一五頁
○訴訟委任ノ法律上ノ範圍……民訴二一五頁
○訴訟代理人ノ選任ヲ委任シタル當事者ト受任者トノ委任關係ハ其性質訴訟委任ニ非ス故ニ必スシモ書面委任ヲ以テ證スルノ要ナシ……民訴二三七頁

訴訟當事者
◎仲裁判斷……民訴三四四頁
○佛堂ニ該當スル獨立ノ法人タル實例……諸法三三四頁

訴訟中斷
◎訴訟承繼ノ實例……民訴二〇三頁

訴訟代理人
○組合ノ業務執行者ハ訴訟代理人タリ得ルヤ……民法二一〇頁
◎訴訟代理人ノ選任ヲ委任シタル當事者ト受任者トノ委任關係ハ其性質訴訟委任ニ非ス故ニ必スシモ書面委任ヲ以テ證スルノ要ナシ……民訴二三七頁

訴訟代理人選任ノ委任
○訴訟代理人ノ選任ヲ委任シタル當事者ト受任者トノ委任關係ハ其性質訴訟委任ニ非ス故ニ必スシモ書面委任ヲ以テ證スルノ要ナシ……民訴二三九頁

訴訟能力
○組合ノ業務執行者ハ訴訟代理人タリ得ルヤ……民法二一〇頁
○組合契約ニ於テ業務執行者ヲ定ムルニ際シ第三者ニ對スル關係ニ於テハ其業務執行者カ組合員ヲ代理セス自己ノ名ヲ以テ法律行爲ヲ爲スヘキコトヲ定メタル場合ノ效力……民法二一〇頁
○禁治產者……民法一二三頁

訴訟物ノ價額算定
○商人カ不渡處分ニ因リテ蒙ルヘキ場合ノ商業上ノ名譽信用等ノ損害ト訴訟物ノ價額算定額……民訴五四三頁

訴訟告知
○訴訟告知ト從參加ノ競合……民訴五六八頁

訴訟手續
◎訴訟承繼ノ實例……民訴二〇三頁
◎當事者カ隱居スルモ訴訟手續ハ中斷セス……民訴二三二頁
○第二回ノ公判ニ於テ甲ノ爲メ最終ノ辯論ヲ爲シタル甲ノ辯護人カ第三回公判ニ闕席シ其儘審理ヲ遂行シタル場合ノ訴訟手續ノ效力……刑訴一三頁
◎管轄違公訴不受理ノ場合ニ於ケル訴訟手續ノ效力……刑訴一四頁
○非訟事件ニハ民事訴訟法中斷規定、準備アリヤ……諸法一八〇頁

訴訟手續ノ中斷
○當事者カ隱居スルモ訴訟手續ハ中斷セス……民訴二三二頁
◎離婚訴訟ノ當事者死亡シタル場合ト中斷……民訴四一七頁

○間接訴權ニ基ク訴訟ノ開始後債務者ニ對シテ破產カ宣告セラルルモ訴訟ノ中斷ヲ生スルコトナシ……民訴五一二頁

訴訟承繼
◎實例……民訴二〇三頁

訴訟費用
◎訴訟費用ニ關スル一定ノ申立モ判決ノ事實摘示ニ記載スルヲ要スルヤ……民訴七四頁
◎費用計算書ヲ提出期間內ニ提出セサリシ場合ノ效果……民訴四六四頁
◎訴訟費用ノ點ニ關シ其全體ニ付キ爲サレタル判決ニ對スル控訴ト原判決カ遺脫シ權利拘束消滅シタル請求部分ニ關スル審查權……諸法三三頁
◎在廷證人トシテ訊問セラレタル者ニ給與シタル日當ハ公訴ニ關スル訴訟費用ノ範圍ニ屬セサルヤ……諸法二六四頁

疏明方法
◎新タニ證據調期日ヲ定メテ證人ヲ取調フヘキ申立ハ疏明方法トナラサルヤ……民訴二三頁

鼠害
◎家屋賃貸人ノ修繕義務不履行ノ爲メ賃借人ノ蒙リタル鼠害ノ賠償義務……民訴九二二頁

相當ノ報酬
◎甲カ乙ニ對シ事業資產出資者ノ周旋ヲ依賴シ且適當ナル出資者ヲ得ルニ於テハ相當ノ報酬ヲ與フヘキ旨ヲ約シタル場合ノ支拂相當額……民訴二〇八頁

相當期間
◎契約解除ヲ爲スヘキ場合ノ催告ニ要スル相當期間……民法二三八頁
○解除ノ前提タル催告ト相當期間ノ實例……民法六六一頁
◎石炭營業者間ニ於テ橫濱本船船側渡ノ約ニテ福岡塊炭ヲ賣買シタル場合ニ引渡ヲ怠リタル爲メ買主ヨリ契約解除ノ前提トシテ爲ス催告ノ相當期間……民法六二三頁

相隣者ノ關係
◎民法施行前爲シタル契約カ第二二〇條ノ規定ニ該當スルニ至リタル場合ノ效力……民法二八四頁

相續
◎相續ヲ原因トスル權利ノ一般承繼條件……民法一四二三頁

相續人
◎所有權移轉登記ヲ抹消スル義務アル者カ未タ其義務ヲ履行セスシテ死亡シタル場合ト其抹消登記義務履行者……諸法三三六頁

相續人ノ廢除
◎民法施行前行政官廳ノ許可ニ因ル廢嫡ト嫡孫承祖ノ慣習法……民法一八三頁
○法定ノ推定家督相續人ヲ廢除スヘキ正當事由ノ實例……民法二五八頁

相續人ノ曠缺
○單身戶主死亡シ、相續人ナキ場合ニ於テモ其家ハ六ケ月間ハ一種ノ法人トシテ存在スルヤ……諸法一五三頁

相續權
◎長女ノ婿養子カ長女ト離婚シタルトキハ假令其父トノ養子緣組關係ハ解消セサルモ相續上長女ニ優先ヘルコトヲ得ス……民法一〇七八頁

相續權ノ拋棄
◎家督相續人ニ選定セラルヘキ期待權ノ拋棄ト民法第九〇條……民法二一八頁
◎民法第九八二條第四號ニ該當スル配偶者ノ相續權ノ性質……民法二一八頁

相續財産

○被相續人ノ死亡後ニ於テ相續人以外ノ者カ作成シタル位牌ハ家督相續ノ特權ニ屬スルヤ……………民法一九八頁

○一家傳來ノ墳墓並ニ禮拜ノ用ニ供スヘキ位牌ノ如キハ家督相續ノ特權ニ屬ス…………………民法一九八頁

○甲カ隱居後特定不動産ヲ自己ノ名義トシテ存セシメ其相續人ノ名義ヲ變更セス引續キ十年以上其不動産ノ占有ヲ繼續シ來リタル場合ノ效力……民法五四四頁

相續順位

○妻カ懷胎中男子ヲ養子トシタル場合ノ相續順位……民法五九一、五九六頁

相殺

○相殺ニ供シタル代金請求權ノ發生原因タル賣買カ解除セラレタル場合ノ相殺ノ效力……………民法四八七頁

相殺適狀

○同時履行ノ抗辯權ノ附着スル債務ニ付テハ同抗辯ヲ喪失シタル相手方ニ對スル場合ニアラサレハ常ニ相殺適狀ニ在ラサルモノトス…………商法六〇一頁

倉庫

○東京市ニ於ケル大豆粕ノ取引ノ場合買主ノ物品檢査ト契約解除ニ關スル商慣習…………………民法三三四頁

倉庫營業者

◎委託者ニ對シ運送品ヲ保管スルノ義務ヲ負ヒタル運送取扱人カ之ヲ倉庫ニ寄託シタル場合倉庫業者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ返還不能トナリタルトキノ運送取扱人ノ權利義務……………………

○運送取扱人カ委託者ニ對シ運送品ノ保管義務ヲ負ハス全ク委託者ノ危險ニ於テ自己ノ名ヲ以テ之ヲ倉庫ニ寄託セル場合倉庫業者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ返還不能トナリタルトキ運送取扱人ノ損害請求權……………商法七三頁 商法七四頁

創設的判決

○經界確定ノ訴ニ對スル判決ハ創設的判決ニ非スシテ宣言的判決ニ過キス……………民訴二八四頁

想像上ノ數罪

◎汽車信號方轉轍者ノ過失ニ因リ汽車ヲ顚覆セシメ因テ人ヲ死傷シタル場合ノ罪責……………刑法八八五頁

捜査處分

○司法警察官カ被告ヨリ墮胎ノ手術ヲ受ケタリト稱スル婦人ノ陳述及ヒ同手術ヲ爲シタル現場ヲ實見シタル結果ニ依リ被告ヲ審訊追窮シ被告ヲシテ自白ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至ラシメタル場合ト非現行犯事件ノ捜査處分…………刑訴九八頁

雙方代理

◎意義…………………商法七六〇頁

○民法第一〇八條ニ違反シテ爲シタル行爲ノ效力……………民法二八頁

◎民法第一〇八條ノ法意……民法二八頁

◎相手方ノ代理又ハ雙方代理トシテ爲シタル行爲ノ效力…………民法三五一頁

◎民法第一〇八條制定ノ趣旨……………………民法一〇四九頁

◎株式會社對取締役間ノ債務履行ノ效力…………………商法一〇二頁

◎商法第一七六條違背行爲ノ效力……………………商法一一五頁

◎監査役ノ承認ヲ得ルヲ要スルモノハ會社ト其取締役トノ間ニ於テ爲サルル取引ニ限ル……………商法一九五頁

◎第一七六條ニ所謂取引ノ意義……………………

…………………商法四一一頁

○合名會社ノ代表社員カ個人タル自己ニ宛テタル約束手形ノ效力…商法五六二頁

○雙方ノ委託者ヨリ委託ヲ引受クルコトヲ得ストノ理由ヲ以テ民法第一〇八條ノ雙方代理ニ基クモノト爲スハ誤解ナリ……………商法七〇一頁

雙務契約

○同時ニ履行スヘキ双務契約ニ於テ當事者雙方カ履行期ニ各辨濟ノ提供ヲ爲サスシテ期日ヲ經過シタル場合ト履行遲滯時期……………民法一一三頁

○遲滯ノ關係…………民法一五二頁

○同時履行ノ抗辯權行使時期……………民法一五二頁

○履行ヲ爲サザルニ付キ法律上ノ正常理由ノ實例………民法一五二頁

◎雙務契約ニ於ケル二個ノ債務ト連繫關係……………民法一〇六一頁

◎雙務契約ノ相手方數人ニシテ其ノ債務ハ可分ナルモ當方債務ハ不可分ナルトキト同時履行ノ抗辯……民法一〇六二頁

◎未タ引渡ヲ了セサル請負工事ニ瑕疵アルトキハ注文者カ瑕疵ニ付キ修補ヲ請求シ又ハ損害賠償ヲ請求セサルモ民法第五三三條及ヒ第六三三條ニ依リ報酬ヲ支拂ヲ拒絶シ得ルモノトス…民法一〇八二頁

○反對給付ノ履行ヲ拒絶スルコトカ信義ノ原則ニ反スル場合ノ實例……………………民法一〇八二頁

◎相手方ヲシテ遲滯ノ責ニ任セシムル場合ノ要件……………民法一一五二頁

○相手方ニ債務履行ノ意思ナキコト確實ナル場合ニ於テ相手方ノ遲滯ニ付シ得ヘキ方法……………民法一二八八頁

◎雙務契約當事者間同時履行ノ抗辯權ヲ有スルトキ一方ノ義務ノ履行ニ支障アリテ其履行ヲ爲サザルトキハ他方ノ當事者モ亦其義務ノ履行ヲ爲スヲ要セス………………民法一三五三、一三五六頁

○雙務契約ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ辨濟ノ提供ヲ爲スモ相手方ニ於テ其債務ヲ履行セサルノ意思明確ナル場合ニハ辨濟ノ提供ヲ要セサルカ…民法一三九一頁

◎債務ノ本旨ニ適シタル辨濟ノ提供ナリヤ否ヤノ實例……………商法一八七頁

◎同時履行ノ抗辯權ヲ附帶スル債務ニ付テハ同抗辯ヲ喪失シタル相手方ニ對スル場合ニアラサレハ常ニ相殺適狀ニ在ラサルモノトス…………商法六〇一頁

◎物品賣買ノ當事者カ荷爲替ニ依リ代金ノ支ハチウヘキコトヲ約シタル場合ト雖モ實際荷爲替ニ依ラスシテ代金ノ支拂ハルヘキトキハ荷爲替ノ關係存セサルヲ以テ買主ハ賣主ニ對シ同時履行ノ抗辯ヲ提出スルコトヲ得ルモノトス…商法八九三頁

總益金

◎法人所有ノ土地ノ增價額ハ會社ノ總益金中ニ包含セラル…………諸法二八八頁

◎額面超過金ノ性質…………諸法三四六頁

總選擧

◎町村會議ノ任期中次ノ總選擧ヲ執行シタル場合ノ效力…………諸法三六六頁

贈與

○贈與ニ因ル所有權移轉登記……………………民法八二九頁

○贈與ハ毀棄履行ヲ終リタルモノト認定セラレタル場合ノ實例…民法一〇九七頁

即時ニ爲スコトヲ得サル證據調

◎新ニ證據調期日ヲ定メテ證人ヲ取調フヘキノ申立ハ疏明方法トナラサルヤ…………………民訴二三頁

即時抗告

◎執行裁判所ノ强制執行方法ニ關スル裁判ニ對スル救濟方法……民訴六〇三頁

即時取消

◎民法第一九二條ノ適用範圍……民訴六八〇頁

即時取得

◎民法第一九二條ノ要件……民法六八一頁
◎證書カ民法第八六條第一九條ノ適用ヲ受クル場合ノ要件……民法六八二頁
◎船舶法ノ適用ヲ受クヘキ艦船ニ關シテハ民法第一九二條ノ適用ナシ……民法六八三頁
◎即時取得ノ要件……民法六八三頁
◎即時取得ニヨリ取得セラルル權利ノ種類……民法六八四頁
◎民法第一九二條ノ適用ヲ受クヘキ動産上ノ物權ノ種類……民六八四頁
◎隱秘ノ意思及ヒ決定標準……民法六八四頁
◎善意無過失ヲ定ムル標準……民法六八六頁
◎善意ノ意義……民法六八六頁
◎即時取得ニハ正權限ヲ要スルヤ……民法六八六頁
◎正權限ノ意義……民法六八六頁
◎家畜外ノ動物ノ占有ニ付テハ民法第一九五條ヲ適用スヘキモノナリ……民法六七八頁
◎即時取得ハ原始取得ニシテ承繼取得ニ非ス……民法六八七頁
◎即時取得ノ效力……民法六八七頁
◎盗品ノ意義……民法六八八頁
◎遺失物ノ意義……民法六八八頁
◎民法第一九三條ニ於ケル回復請求權者及請求方法……民法六八九頁
◎通貨ハ即時取得ノ目的トナルヤ……民法六九〇頁
◎民法第一九四條ニ所謂競賣ノ意義……民法六九〇頁
◎公ノ市場ノ意義……民法六九一頁
◎同種ノ物ヲ販ス賣ル商人ノ意義……民法六九一頁
◎第一九四條ノ適用要件……民法六九一頁
◎盗品遺失物カ數回競賣又ハ公ノ市場ニ於テ又ハ同種ノ物ヲ販賣スル商人ノ手ヲ經テ販賣セラレタル場合ト占有者ニ支拂フヘキ辨償代金ノ額……民法六九三頁
◎盗品遺失物ヲ善意無過失ニテ占有シタル者カ確定的ニ所有權ヲ取得スル時期……民法六九三頁
◎逸走シタル家畜外ノ動物ノ所有權取得ニ第一九一條乃至第一九四條ノ適用アリヤ……民法六九四頁
◎家畜ト家畜外ノ動物ノ區別……民法六九四頁
◎民法第一九五條ノ適用範圍……民法六九四頁
◎船舶ニ對シ民法第一九二條適用ノ有無……民法七二四頁
◎債務ノ辨濟トシテ他人ノ物ヲ引渡シタル場合債權者カ第一九二條ノ規定ニ從ヒ又ハ取得時效ニ因リ辨濟トシテ給付ヲ受ケタル物ノ所有權ヲ取得スルニ至リタルトキノ辨濟ノ效力……民法一四二六頁

村長

◎村長カ其管理スル村有財産タル金員ヲ受取リ之ヲ檀ニ自己ノ用途ニ費消シタル場合ノ罪責……刑法一九八頁
◎村長カ村會ノ決議ヲ經スシテ村ノ爲メニ他ヨリ金員ヲ借入レタル場合ノ效力……諸法一九四頁

◎徳川時代ニ於ケル村ノ性質及村代表者……諸法五六六頁

村長退職届

◎村長退職届ノ效力發生時期……諸法五〇二頁

村會

◎縣參事會カ村會ノ決定ト反對ノ裁決ヲ爲シタル場合ノ效力……諸法三六六頁

村會ノ決議事項

◎村長カ村會ノ決議ヲ經スシテ村ノ爲メニ他ヨリ金品ヲ借入レタル場合ノ效力……諸法一九四頁

損害

◎一般的取引價格ニ依ル損害額ノ算定……民法一二六六頁
◎電信法第三三條第一項ニ所謂利益及損害ノ意義……民法二一二頁

損害賠償

◎人カ車夫ノ收入判斷資料……民法五二五頁
◎過失ノ實例……民法二六一頁
◎契約不履行ニ基ク損害賠償ノ實例……民法二九〇頁
◎婚姻拒絶ニ因ル慰籍金額ノ實例……民法四九二頁
◎婚姻豫約不履行ノ實例……民決四九二頁
◎滿三二年九ケ月ノ男子ノ爾後ノ生存平均年齢……民法四九八頁
◎永年ノ損害ヲ一時ニ請求スル場合ノ計算方……民法四九八頁
◎負傷ノ結果蒙ル損害賠償額ノ算定標準……民法五〇二頁
◎婚姻豫約不履行ニ基ク損害賠償義務ノ關係及慰籍金額……民法五三七頁
◎婚姻豫約不履行ト損害賠償額ノ決定……民法一二一五頁
◎不法行爲ニ困リ生シタル損害ノ範圍……民法一二三八頁
◎民法第五四五條ニ依リテ請求スルコトヲ得ヘキ損害ノ範圍……民法一二七一頁
◎最高價格ト契約代金トノ差額ハ原告ノ得ヘカリシ利益ナリヤ……民法一二七三頁
◎中間最高價格ニ依ル損害額ノ算定……民法一二六六頁
◎一般的取引價格ニ依ル損害額ノ算定……民法一二六六頁
◎民法第七一五條損害賠償請求ト立證責任……民法一四二九頁
◎第二項ハ損害賠償ノ額ヲ定ムルニ付キ被害者ノ過失ヲ斟酌スルト否トノ自由ヲ裁判所ニ許與シタルモノニ過キス……民法一四二九頁
◎契約解除ニヨリ生スル損害賠償ノ實例……商法六三三頁
◎契約ヲ解除セスト雖モ直ニ履行ニ代ヘルニツキ全部ノ損害賠償ヲ請求シ得ル場合ノ實例……商法六三八頁

損害賠償額

◎賣主不履行ニヨリ契約ノ解除セラレタル場合ノ買主ノ損害額ニ關スル實例……民法三三〇頁
◎賣主ノ遲滯ニ因ル損害賠償額ノ實例……民法四二九頁
◎損害賠償額算定ノ標準タルヘキ時期……民法一二六七頁

損害賠償ノ訴

◎民法第五四五條第三項ハ獨立ノ新ナル損害賠償請求權ヲ認メタルモノニ非スシテ債務不履行ニ因ル損害賠償請求權ノ行使ハ解除權ノ行使ニヨリ妨ケラレサルコトヲ規定シタルニ止マル……民法一一四八頁

○民法第五四五條第三項ヲ根據トスル訴ノ管轄裁判所……民法一一四八頁

損害賠償ノ責任

○受寄者カ受寄物ノ保管ニ付キ注意ヲ怠ラサリシコトヲ立證シ得ルヤ否ヤハ寄託者ニ對スル損害賠償責任ノ有無ヲ決スルニ必要ナル事項ナリ……民法一三九三頁

損害賠償金

○不履行ニ因リテ蒙リタル損害額ノ實例……民法八四〇頁

損害賠償請求

○契約ノ解除ヲ爲サヽルモ履行ニ代ヘテ損害ノ賠償ヲ求メ得ヘキ場合ノ實例……民法七八七頁

損害賠償請求權

○即時ニ死亡シタル場合其相續人ニ損害賠償請求權アリヤ……民法一六四頁

○他人ノ不法行爲ニ因リ即死シタル場合死者ニ損害賠償請求權アリヤ……民法一六四頁

○不法ニ鑛業權ノ名義變更並ニ鑛區ノ分害ヲ爲シタルニ因ル損害賠償請求權ノ時效起算點……民法二二五一頁

○不法行爲ニ因ル損害賠償請求權ノ時效起算點……民法二二五一頁

○不法行爲ニ因ル損害賠償請求權者カ故意又ハ過失ヲ拒斷シ得ヘキ事實ヲ證明シタルトキハ其立證責任ヲ盡シタルモノト謂ヒ得ヘキヤ……民法二九五頁

○契約ノ合意解除ト不履行ニ因リ生シタル損害賠償請求權ノ有無……民法四二六頁

○買主ニ於テ一旦賣主ノ不履行ニ因リ損害ヲ蒙リタル以上ハ契約ノ解除ニ係ラス尙賣主ニ對シ其損實倍償ヲ請求シ得ルヤ……民四二九頁

○賣主ノ遲滯ニ因ル損害賠償額ノ實例……民法四二九頁

○不法行爲者ノ損害賠償義務ノ範圍……民法四四三頁

○不法行爲ニ因リ蒙リタル損害ノ範圍算定ノ標準……民法四四三頁

○不法行爲ニ因リテ負傷後死亡シタル場合ノ被害者ノ損害賠償請求權ノ性質……民法五二四頁

○解除權ノ行使ニアラサル合意解除ノ場合ニハ民法五四五條ノ適用ナキヤ……民法九四四頁

○解除權行使ノ效力……民法一二七〇頁

○運送取扱人カ委任者ニ對シ運送品ノ保管義務ヲ負ハス全ク委託者ノ危險ニ於テ自己ノ名ヲ以テ之ヲ倉庫ニ寄託セル場合倉庫業者ノ責ニ歸スヘキ事由ニヨリ返還不能トナリタルトキノ運送取扱人ノ損害賠償請求權……商法七四頁

○物ノ返還ニ代ル損害賠償ノ請求權ハ其物ノ上ニ占有權ヲ有シ得タリトノ一事ニヨリ必然發生スヘキ權利ニ非ス……商法一四五頁

○裏書人ハ損害賠償請求權ヲ所持人ニ對シテ主張スルコトヲ得ヘキ場合……商法六八四頁

○損害賠償ヲ請求スル者ハ其損害額ヲ立證セサル場合ト裁判長ノ審究權……民訴二五八頁

損害金

○ホフマン式年金算出法……民法一一九頁

○普通健康體ヲ有スル三十一年餘ノ男子ヲ死ニ至ラシメタル場合ノ損害金算定方法……民法一一九頁

損金

○使用人ニ支拂フ賞與金ノ性質……諸法三四八頁

○賞與金カ當該事業年度ノ利益ノ一部ヲ給與シタルモノナル場合ト所得計算方法……諸法五一四頁

損壞罪

○過テ激發スヘキ物ヲ破裂セシメタル一個ノ行爲ニ因リ刑法一〇八條ニ記載シタル建造物ト他人ノ所有ニ係ル第一〇九條ノ建造物トヲ損壞シタル場合ト罪責……諸法八八頁

訴ノ併立

○二個ノ訴カ併立スル場合ニ於テ後訴ヲ不適法ト爲ス所以……刑訴四九頁

訴ノ併合

○裁判所ノ機宜ノ處分ニ任セタルモノナリヤ……刑訴五頁

○刑事事件ノ分離併合ヲ認ムルヤ……刑訴五頁

訴ノ併合審理

○裁判所ノ機宜ノ處分ニ任セタルモノナリヤ……刑訴五頁

○刑事事件ノ分離併合ヲ認ムルヤ……刑訴五頁

訴ノ取下

○意義……民訴四〇二頁

○故障ニ付キ定メラレタル口頭辯論ノ新期日ニ當事者雙方出頭セス訴訟手續休止ト爲リタル場合ニ於テ爾後一ケ年ヲ經過シタルトキノ效力……民訴一七二頁

○被告カ取下ニ同意シタルモノト認ムヘキ場合ノ實例……民訴四〇二頁

訴ノ變更

○訴ノ變更トナラサル場合ノ實例……商法七一三頁

○訴ノ原因ヲ變更シタルモノト謂フヲ得サル場合ノ實例……商法八一四頁

○原審ニ於テ物ノ引渡ヲ求メ其不能ノ場合ニ於ケル損害賠償ヲ求メナカラ二審ニ至リ單ニ損害ノ賠償ヲ求ムルハ訴ノ變更ナルヤ……民訴二四頁

○訴ノ變更ノ有無ニ關スル實例……民訴二八頁

○不法行爲ニ因ル損害賠償請求ノ訴ト不當利得ニ因ル返還請求ノ訴トハ請求原因ヲ異ニス……民訴四六頁

○債務ノ辨濟ヲ以テ請求原因トセル訴訟ト債務ノ更改ヲ以テ請求原因トナセル請求原因トナセル訴訟ハ同一ナリヤ……民訴五九頁

○法律上代理人ノ變更ハ訴ノ變更トナラサルヤ……民訴一〇〇頁

○訴ノ原因ノ變更ニ該當セサル場合ノ實例……民訴一三二頁

○訴ノ原因ヲ變更シタルモノニアラサル實例……民訴二〇八頁

○訴ヲ變更シタル場合ノ實例……民訴四一一頁

○訴ノ原因ヲ變更シタルモノナリヤ否ヤノ實例……民訴四九二頁

○訴ノ變更トナラサル場合ノ實例……民訴五九八頁

○賣買豫約ヲ爲シタル順序ト其豫約成立ノ日時ヲ更正スルニ止マルトキハ訴ノ變更トナラス……民訴六一一頁

○訴ノ原因ヲ事實ヲ變更シタルモノト謂ヒ得サル場合ノ實例……民法六二二頁

訴ノ原因

○利息債權カ執行命令ニ表示セル金額ヨリ寡少ナリトノコトハ請求異議主張事實タルヲ得ス……民訴二二六頁

○當初ノ請求カ一旦發生シタル後ニ至リテ新事由ノ起リタル場合ナルトキハ其事由カ訴提起前已ニ生シ居タルト將タ訴提

起後ニ至リ始メテ生シタルトハ之ヲ區別スヘキニ非ス……民訴三八三頁
○訴ノ原因ヲ變更シタルモノナリヤ否ヤノ實例……民訴四九二頁

訴ノ原因ノ變更

○訴ノ原因ヲ變更シタルモノニアラサル實例……民訴二〇八頁
○訴ノ原因ヲ變更セスシテ訴ノ申立ヲ擴張シ又ハ減縮シタルモノニ該當スル實例……民訴五六三頁

訴提起期間

◎本案ノ提起ニ依リ假處分ノ取消ヲ排除シ之ヲ持續セシメ得ル期間……民訴二〇四頁

ツ

圖面

○願書ト圖面トノ間ニ契印ヲ爲ササリシ試掘願書ノ效力……諸法三四四頁

追認

◎代理權ヲ有セサル者カ他人ノ代理人トシテ契約ヲ爲シタル場合ノ本人ノ追認拒絶權……民法二二二頁
○本人カ無權代理人ノ爲シタル契約ヲ代理人ニ對シテ追認シタル場合ノ效力……民法三一一頁

通貨

◎通貨ハ即時取得ノ目的トナルヤ……民法六九〇頁

通知

○會社ノ株主ニ對スル通知又ハ催告ノ方法……商法三〇〇頁

通知義務

◎問屋カ二人ノ委任者ヨリ委託契約ヲ引受ケ其帳何レカ一方ノ不利益ト爲ル場合ト通知義務……商法七〇〇頁

妻

○妻ノ行爲ニ對シ夫ノ爲ス許可ノ方法……民法一〇一四頁
◎妻ヲ無能力者ト爲シタル理由……民法一一一八頁

罪トナルヘキ事實

○刑ノ言渡ヲ爲スニ明示スヘキ罪トナルヘキ事實ノ例示……刑訴一一八頁

罪ノ個數ヲ定ルムル標準

◎……刑訴一九頁

積荷處分權

◎積荷利害關係人ノ意義……商法四三九頁
◎積荷處分ノ要件……商法四三ヵ頁
◎積荷ノ利害關係人ノ爲メニスル船長ノ積荷處分權……商法四三九頁
○積荷處分ノ效果……商法四四一頁
○積荷ニ對シ法律上ノ處分行爲ヲ爲ス場合ニ於ケル船長ノ地位……商法四四一頁
○船長ノ爲ス法律上ノ處分行爲ノ利害關係人ニ對スル效果……商法四四二頁
◎船長カ積荷ノ利害關係人及ヒ處分行爲ノ相手方ニ對シテ責任ヲ負フヘキ場合ニ於ケル船舶所有者ノ責任……商法四四三頁
◎船舶所有者ノ爲メニスル船長ノ積荷處分權……商法四四四頁
◎船長カ航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ爲ス積荷處分權……商法四四五頁
◎船長カ航海ヲ續繼スル爲メ積荷ヲ處分スル場合……商法四四七頁
◎船舶所有者及ヒ船荷ノ利害關係人ノ爲メニ積荷ヲ處分スル場合……商法四四八頁

ナ

内亂罪

○内亂罪ノ構成要件……刑法七六頁

內緣ノ夫婦

○脅利關係人ニ非サル實例……民法五八一頁

仲買人

○仲買人ニ於テ委託者ノ實建委託ノ本旨ニ從フ委任事務ヲ處理セサルニ拘ラス買戻手仕舞ニヨル損害塡補ノ名義ノ下ニ證據金ヲ給付セシメタル場合ノ不當利得ノ返還請求權ト時效期間……民法二八八頁
○公債證書返還請求權金錢ノ債權ニアラサルヲ以テ該債權ニ對スル强制施行トシテハ同法第六一七條ニヨリ支拂ニ換ヘ轉付スル命令ヲ爲スコトヲ得ス……民訴二〇五頁
○業務……諸法二五四頁
○仲買人ニ非サル者ハ仲買人ノ業務ヲ行フヲ得ルサヤ……諸法二五四頁
○仲買人ニ非サル者カ仲買人ノ名義ノ下ニ自ラ委託契約ノ當事者ト爲リタル場合ノ效力……諸法二五四頁
◎仲買人ニ非サル第三者カ客ニ對シ其委託契約ヨリ生スル損益ノ結果ニ付キ自ラ實ニ任スヘキ旨ノ擔保契約ノ效力……諸法二五五頁
◎會社ハ實質上ニ於テ其期間取引ノ委託ヲ受クル關係ニ立ツコトヲ得サルヤ……諸法二六五頁
◎仲買人カ委託者ノ注文ニ基キ賣買ヲ實行シ委託者ニ其通知ヲ爲シタルトキト委託者ノ證據金差入義務……諸法二六八頁
◎委託者カ相當ノ期間內ニ證據金ヲ差入レサル場合　仲買人ハ建米ヲ處分シ手仕舞ヲ爲シ得ル慣習アリヤ……諸法二六八頁

ム

無因債務

◎代物辨濟ニ因ル給付義務ハ法律上無因債務ナルヲ以テ辨濟者ハ既存債務ノ不存在ヲ理由トシテ該代物辨濟契約ノ無效ヲ主張スルヲ得ス……民法三九四頁

無過失

◎無過失事實ノ立證責任……民法五一七頁
○甲カ隱居後特定不動產自己ノ名義トシテ存セシメ其相續人ノ名義ヲ變更セス引續十年以上其不動產ノ占有ヲ繼續シ來リタル場合ノ效力……民法五四四頁
◎隱居者カ留保ノ手續ヲ爲ササルニ拘ラス自己ニ不動產ノ所有權アルカ如ク誤信シ所有ノ意思ヲ以テ平穩且公然ニ右不動產ヲ占有シタル場合ノト取得時效……民法六一五頁
◎善意無過失ヲ定ムル標準……民法六八六頁

無過失占有

◎我民法ハ占有ノ無過失ヲ推定セス……民法一二五頁

無訴權

◎仲裁契約成立ノ抗辯ハ無訴權抗辯卽妨訴辯抗ニ屬セス……民訴三一八頁
◎妻ヲ無能力者ト爲シタル理由……民法一一一八頁